

# 若者の人権意識調査報告書

平成24年3月

奈良県



## はじめに

本県においては、平成16年に「奈良県人権施策に関する基本計画」を策定し、あらゆる差別が撤廃され、県民一人ひとりの人権が尊重される自由で平等な社会づくりに向けた取組を進めてきました。その基本理念は、人権尊重の精神を当たり前の社会意識として身につけ行動し、人権を基本とした人間関係が広く社会に根付く「豊かな人権文化の創造」をめざすものです。

昨年は、東日本大震災や台風12号豪雨災害など、本当に多くの尊い命が奪われ、被災された方々の心には一生消えることのない深い傷を与えました。ボランティアをはじめたくさんの方々が一生懸命に支援活動に取り組み、人と人を繋ぐ「絆」の大切さを痛感させられましたが、一方で、原子力発電所から漏れ出る放射性物質に関わって、偏見や差別、いじめの事例が報告されています。

また、変化する社会の中で、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、犯罪被害者、性同一性障害者等々に関わる多くの人権課題が多様化、複雑化し、インターネット等を悪用した人権侵害、児童虐待などは増加傾向にあります。

平成20年度に本県が実施した「人権に関する県民意識調査」の結果をみますと、「人権侵害や差別はいけない」という意識は高いのですが、生活の具体的な場面で根強い差別意識が現存しています。日常の中にある差別や人権侵害の現実には、県民一人ひとりがどう向き合うかが問われています。

こうした中、昨年9月、将来の社会をつくる若い県民の皆様の人権意識を把握し、人権施策を推進するうえでの参考資料とするため、「若者の人権意識調査」を実施しました。平成20年度の調査と比較、分析することで、県民の人権に関する意識の動向等把握に努め、今後の効果的な施策につなげていきたいと考えています。

県民の皆様や関係機関をはじめ、多くの方々にこの報告書を、様々な機会でご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、この調査にあたりまして、ご協力いただきました県民の皆様や関係者の方々に対し、心から厚くお礼申し上げます。

平成24年3月

奈良県くらし創造部長 影山 清



## 目 次

### 序 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の実施要領	1
3 調査票の配付・回収の状況	1
4 集計方法、数値の取り扱いについて	1
5 調査結果の信頼性	2
6 調査項目の検討体制	2
7 調査結果の分析・考察	2
8 回答者について	3

### 第1部 調査結果

第1章 生活や社会に対する意識、自己イメージについて（問1～問3）	7
第2章 自身のいじめや人権侵害に関する経験について（問4～問6-5）	42
第3章 偏見や差別に対する学習経験、意識や態度について（問7～問14）	57
第4章 インターネット上での人権侵害に関する意識について（問15～問16）	94
第5章 人権啓発や人権尊重の社会づくりに向けた意識について（問17～問19）	101
第6章 自由回答意見（問20）	119
〈第1部まとめ〉	122

### 第2部 人権意識に関する分析・考察

第1章 社会に対する考え方、自尊感情と人権意識	125
第2章 結婚についての考え方	132
第3章 同和地区忌避の態度について	142
第4章 啓発、教育の効果について	149
〈第2部まとめ〉	158

### 資 料

・集計表	163
・調査票	245



## 序 調査の概要





## 1 調査の目的

「人権を尊重したまちづくり」のための施策を推進するにあたって、次世代を担う若者の人権に関する意識を調査し、今後の人権施策を展開する上での参考資料とする。

## 2 調査の実施要領

- 調査地域 奈良県全域（全市町村）
- 調査対象者 平成23年4月1日現在における県内在住の満15歳以上満19歳以下の男女
- 調査対象者数 5,000人
- 標本抽出方法 各市町村の住民基本台帳から無作為抽出  
市町村ごとの抽出数は、平成22年10月1日現在の県内在住の満15歳以上19歳以下の男女の人口に基づき、各市町村の人口に応じて按分して算出。
- 調査方法 郵送による無記名アンケート方式  
調査期間中にはがきによる札状兼依頼状の配付1回
- 調査時期 平成23年9月（調査票発送日：9月1日、回収締切日：9月22日）

## 3 調査票の配付・回収の状況

配付件数	不達件数	実配付件数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)
5,000件	102件	4,898件	2,003件 (40.9%)	2,002件 (40.9%)

※「不達件数」は、対象者の転居や宛名不明により配達ができなかった件数。「回収率」及び「有効回答率」は「実配付件数」に対する「回収」及び「有効回答率」の割合。「有効回答数」は「回収数」から白票を除外した件数。

## 4 集計方法、数値の取り扱いについて

- 集計は百分率（％）によるものとし、集計結果は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記している。
- 単数回答（選択肢を1つだけ選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（該当する選択肢すべてを選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比は、当該設問に回答すべき人数を集計母数として求めているため、回答構成比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 全体集計のグラフでは、当該設問の集計母数を「(N=\*\*\*）」と表記している。
- 回答者の属性等によるクロス集計のグラフ・数表では、集計区分ごとの集計母数を「(N=\*\*\*）」と表記している。
- 平成20年度に実施した「人権に関する県民意識調査」（20歳以上の県民が対象）と比較が可能な設問については、図表中に「平成20年度調査（20歳以上）」と表記の上で比較を行っている。

## 5 調査結果の信頼性

今回の調査は標本調査であるため、調査結果（標本測定値）から母集団における意識・意見を推定することができる。ただ、標本（調査対象）を抽出する上で生じる標本誤差を考慮した上で調査結果を分析し、また母集団における意識・意見を推定する必要がある。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を標本（調査対象）を変えて実施した場合、100回中95回までは同様の回答結果が得られると考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされている。これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差の近似値は、以下の数式で求められる。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

1.96：信頼度95%の時の信頼係数

N：母集団数（本調査では72,673人）

n：標本数（有効回答数。本調査では2,002人）

P：標本測定値（50%）

※母集団数72,673人は、平成22年10月1日現在の県内在住の満15歳以上19歳以下の男女の人口

上記の数式に必要な数値をあてはめて計算すると、「ε（標本誤差）=2.2」（小数第2位四捨五入）という数値が得られる。

このことから、今回と同じ調査を同じ母集団の中から調査対象を変えて100回行った場合、95回までは今回の調査で得られた結果の「±2.2%」の範囲内の結果が得られると考えることができる。

## 6 調査項目の検討体制

調査項目を専門的、多角的に検討するため、「『若者の人権意識調査』に係る調査項目検討委員会」を設置し、有識者を交えて検討を行った。

### ●検討委員会委員

分野	氏名	役職等
人権諸問題	野口 道彦	大阪市立大学特任教授
教育	河合 隆次	奈良県高等学校人権教育研究会事務局長
社会調査	竹村 一夫	大阪樟蔭女子大学教授
行政 (奈良県)	吉田 育弘	教育次長
	荒木 保幸	人権・社会教育課長
	堀川 幸男	くらし創造部次長
	鍵田 徳光	人権施策課長

※委員長

### ●検討委員会開催経過

第1回：平成23年6月27日

第2回：平成23年7月11日

第3回：平成23年7月25日

## 7 調査結果の分析・考察

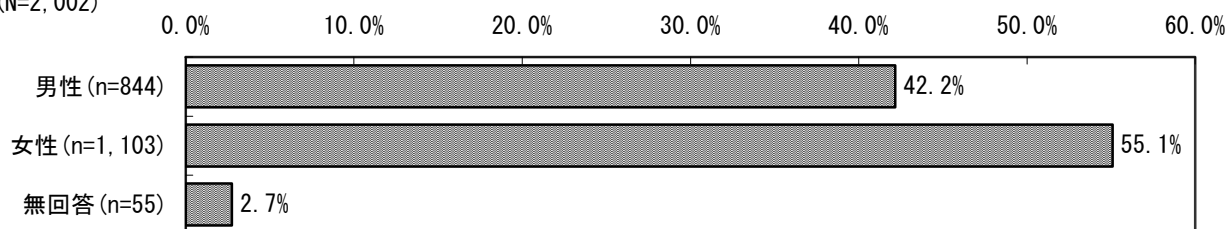
「第2部 人権意識に関する分析・考察」については、野口道彦大阪市立大学特任教授に執筆していただいた。また、調査全般についても野口教授にご指導いただいた。

## 8 回答者について

### 【F 1】回答者の性別

図表 回答者の性別

(N=2,002)

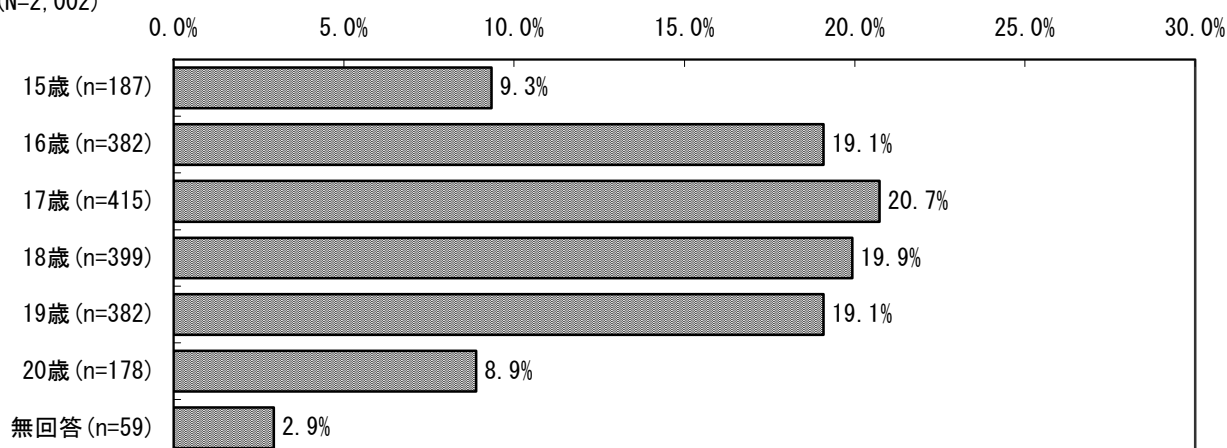


回答者の性別は、「女性」が55.1%、「男性」が42.2%となっている。

### 【F 2】回答者の年齢

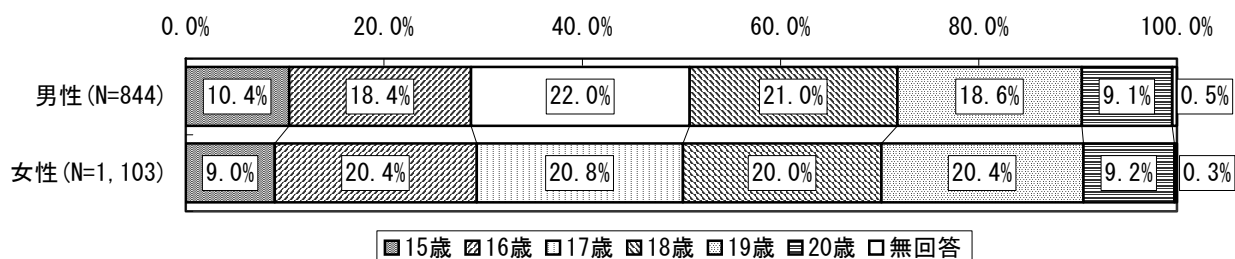
図表 回答者の年齢

(N=2,002)



回答者の年齢は、「17歳」が20.7%で最も多く、以下、「18歳」が19.9%、「16歳」と「19歳」がともに19.1%などとなっている。

図表 性別 回答者の年齢



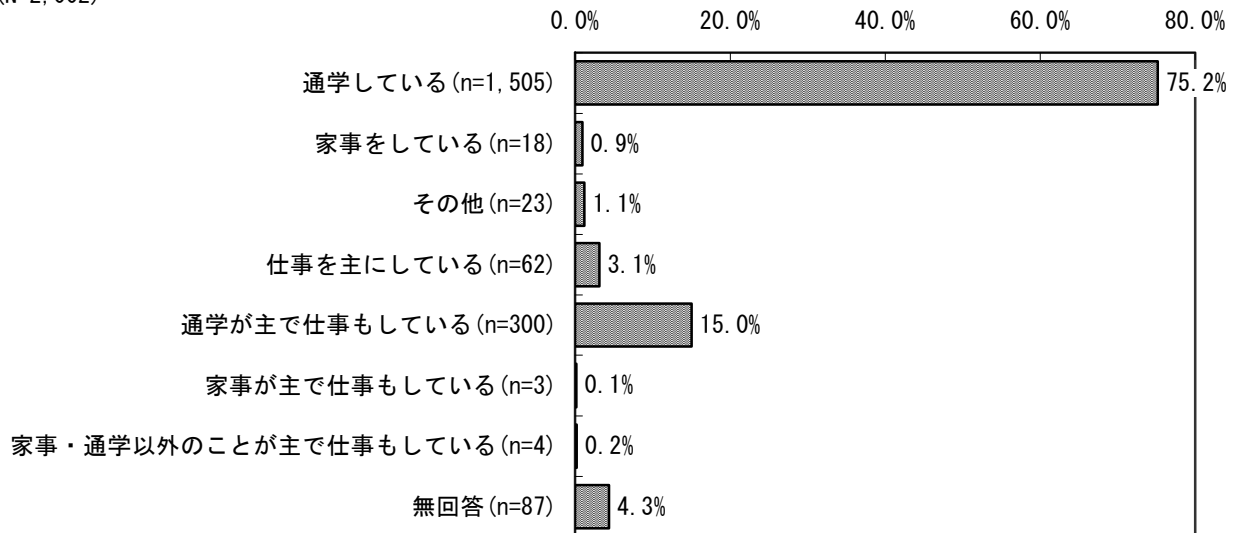
年齢別にみると、男女間で年齢構成の大差はみられず、男女ともに「17歳」が最も多い。

## 【F3】回答者の就労・就学状況、通っている学校の種類、就労・雇用形態

### F3-1 回答者の就労・就学状況

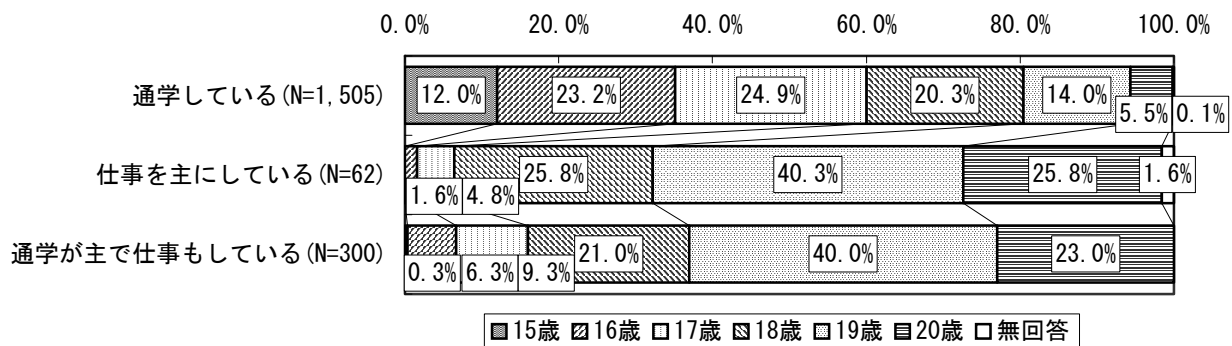
図表 回答者の就労・就学状況

(N=2,002)



回答者の就労・就学の状況は、「通学している」が75.2%で最も多く、次いで、「通学が主で仕事もしている」が15.0%となっている。

図表 回答者の就労・就学状況別 年齢



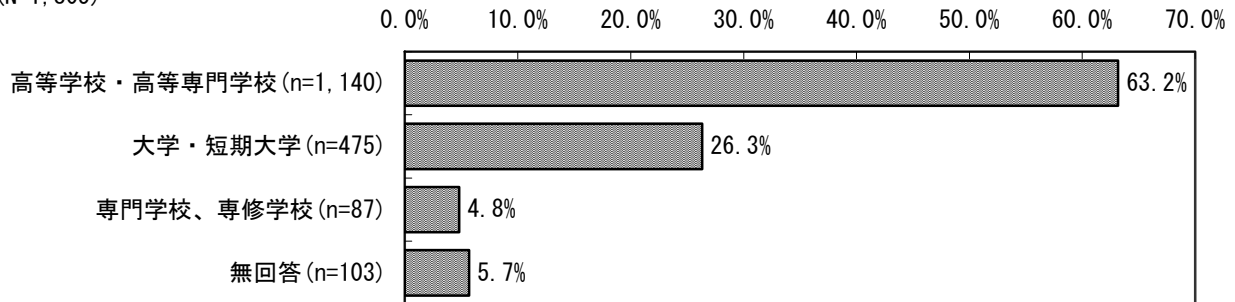
就労・就学状況別に年齢構成をみると、通学している人では「17歳」が最も多く、以下、「16歳」、「18歳」と続いている。

仕事を主にしている人は、18歳以上が91.9%となっている。また、通学が主で仕事もしている人は、18歳以上が84.0%となっている。

### F 3 - 2 通学している学校の種類（通学しながら仕事もしている人を含む）

図表 通学している回答者が通学している学校の種類

(N=1,805)

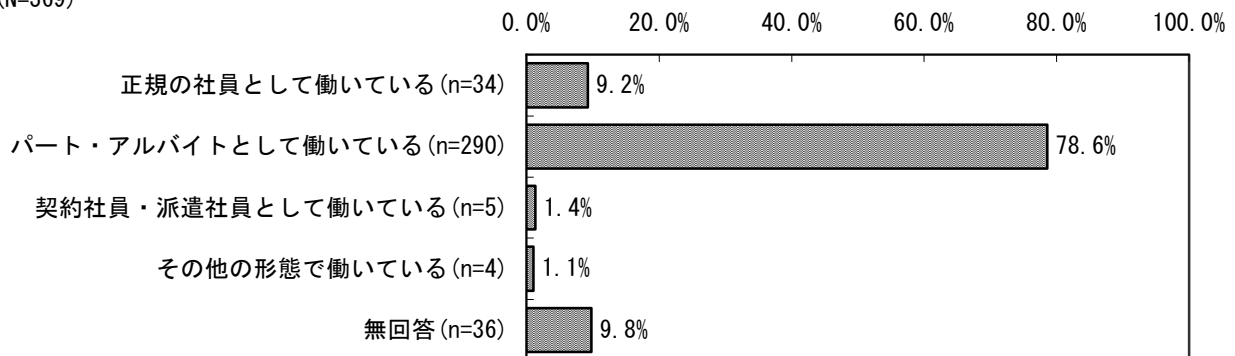


通学している回答者（通学しながら仕事もしている人を含む）の通学している学校の種類は、「高等学校・高等専門学校」が63.2%で最も多く、以下、「大学・短期大学」が26.3%、「専門学校・専修学校」が4.8%となっている。

### F 3 - 2 就労・雇用形態（通学、家事等をしている人を含む）

図表 仕事をしている回答者の就労・雇用形態

(N=369)

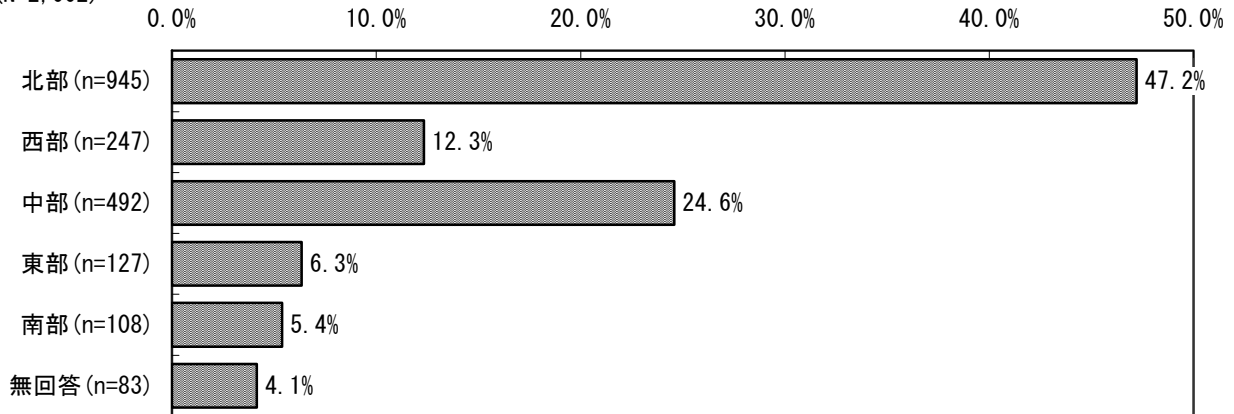


仕事をしている回答者（通学、家事等をしている人も含む）の就労・雇用形態は、「パート・アルバイトとして働いている」が78.6%で最も多く、以下、「正規の職員として働いている」が9.2%、「契約社員・派遣社員として働いている」が1.4%などとなっている。

## 【F 4】回答者の居住地（地域別）

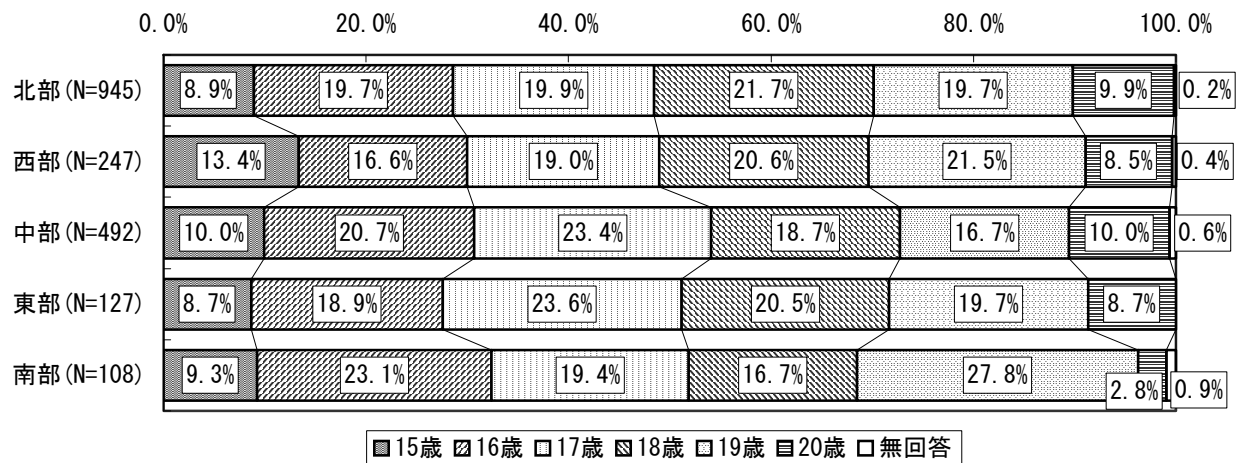
図表 回答者の居住地（地域別）

(N=2,002)



地域区分	市郡
北 部	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山辺郡、磯城郡
西 部	生駒郡、北葛城郡
中 部	大和高田市、橿原市、御所市、香芝市、葛城市、高市郡
東 部	桜井市、宇陀市、宇陀郡
南 部	五條市、吉野郡

図表 地域別 回答者の年齢



## 第 1 部 調査結果

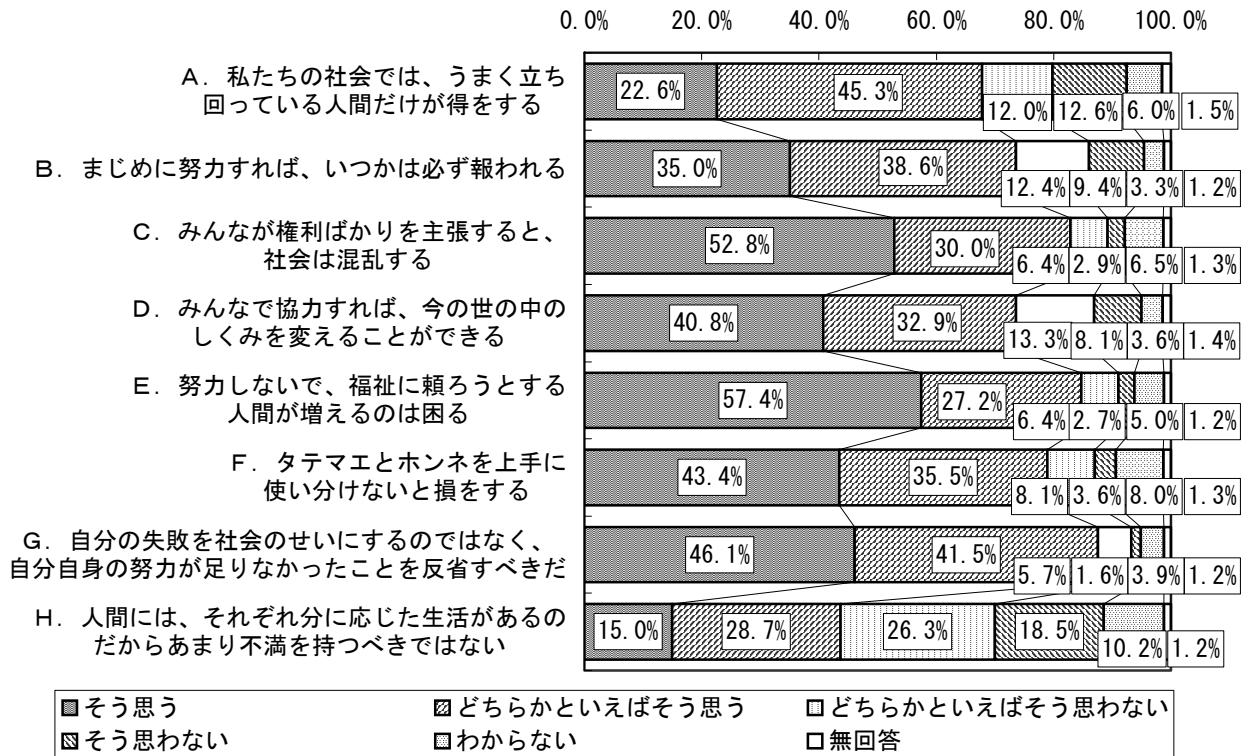




# 第1章 生活や社会に対する意識、自己イメージについて

問1 今の社会について次のような意見があります。これらについて、あなたはどのように思いますか。A～Hのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 今の社会についてどのように思っているか



今の社会についてどのように思っているかをたずねたところ、「そう思う」は「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」が57.4%で最も多く、次いで、「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」が52.8%となっており、これらは「そう思う」が半数以上を占めている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意識は「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」(87.6%)、「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」(84.6%)、「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」(82.8%)では80%以上を占めている。

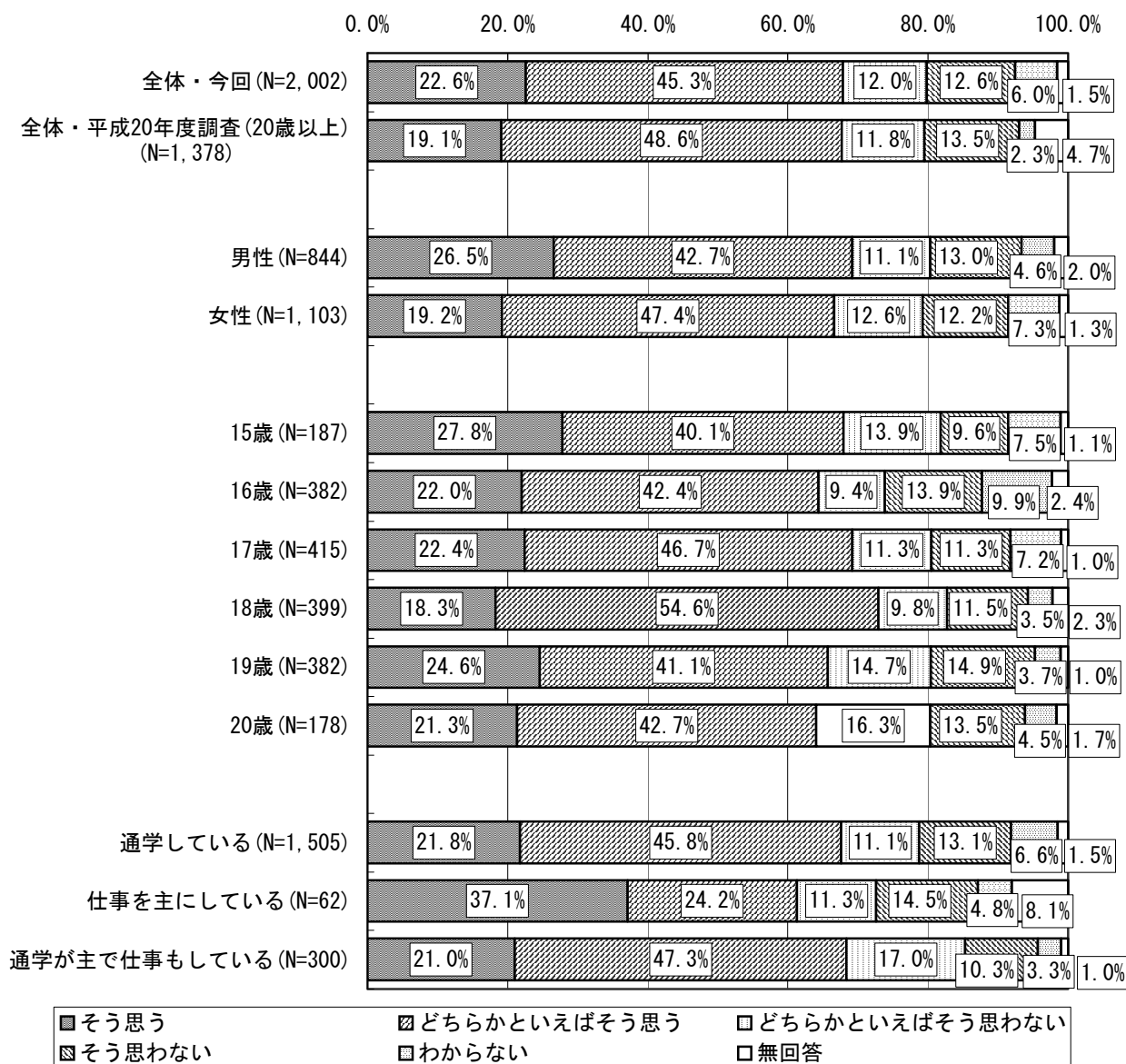
逆に、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意識は「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」が44.8%で最も多く、肯定的意識(43.7%)と拮抗している。

### 問1～問3の分析における表記について

問1～問3の分析においては、選択肢「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とをあわせて「肯定的意識」、選択肢「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」とをあわせて「否定的意識」と表記して分析を行う。以下、問1～問3の設問項目ごとに特に断りなくこれらの表記を用いる。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」



「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が67.7%、今回が67.9%でほぼ同率となっており、否定的意識も平成20年度調査が25.3%、今回が24.6%でほぼ同率となっている。

性別にみると、肯定的意識は男性が69.2%、女性が66.6%で2.6ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は18歳が72.9%で最も多いが、「そう思う」という強い肯定的意識は15歳が27.8%で最も多い。否定的意識は19歳で29.6%、20歳で29.8%となっており、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が68.3%で最も多く、否定的意識も、通学が主で仕事もしている人が27.3%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が37.1%で最も多い。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」



「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が62.9%、今回が73.6%で10.7ポイント多く、特に「そう思う」という強い肯定的意識は今回が9.8ポイント多い。

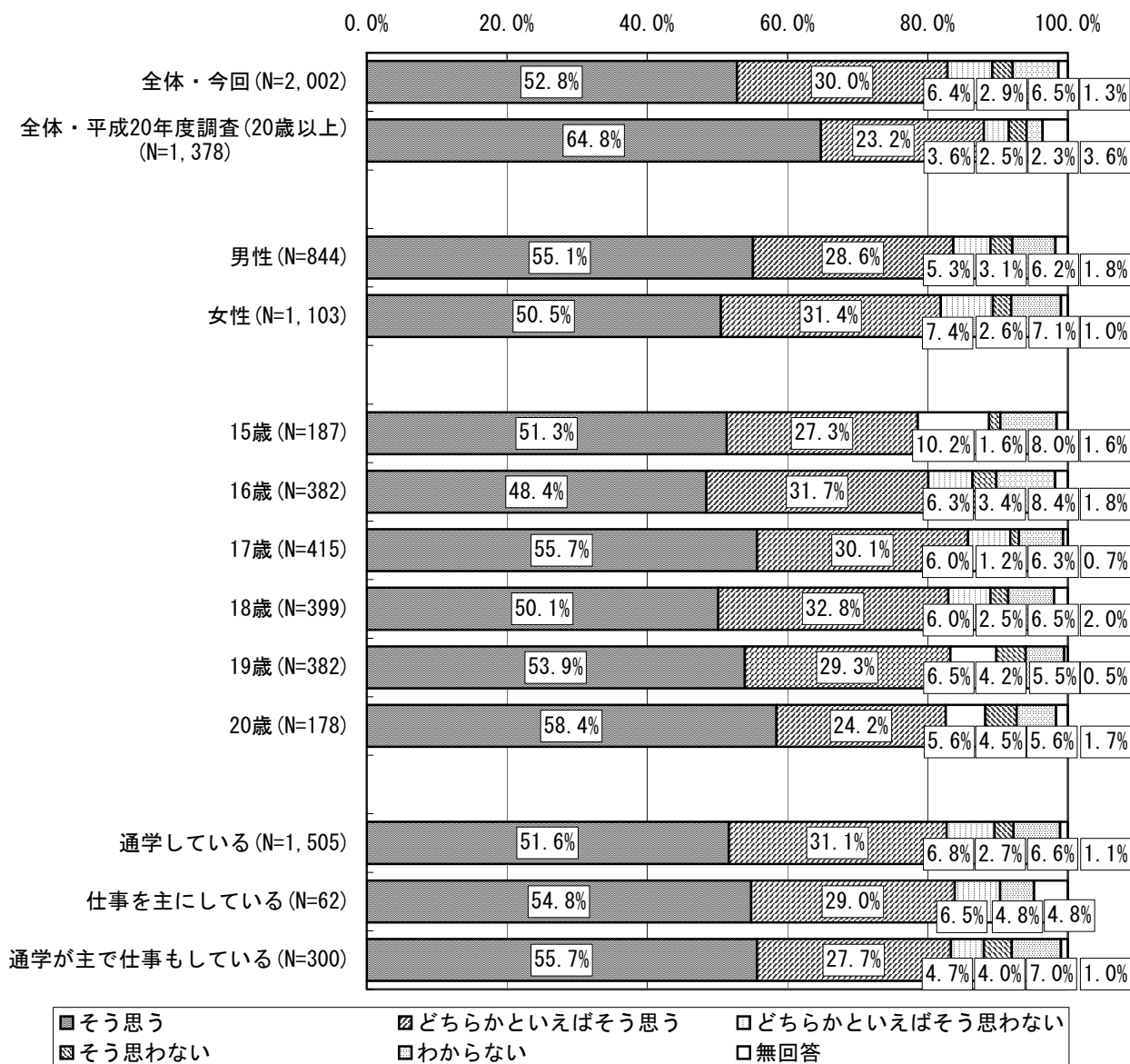
性別にみると、肯定的意識は女性（76.7%）が男性（69.1%）に比べて7.6ポイント多い。

年齢別にみると、肯定的意識は15歳が76.0%で最も多く、顕著な傾向ではないが、「そう思う」という強い肯定的意識は年齢が低いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は仕事を主にしている人が74.2%で最も多く、否定的意識は、通学が主で仕事もしている人が24.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学している人が36.1%で最も多い。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」



「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が88.0%、今回が82.8%で5.2ポイント少なく、特に「そう思う」という強い肯定的意識は今回が12.0ポイント少ない。

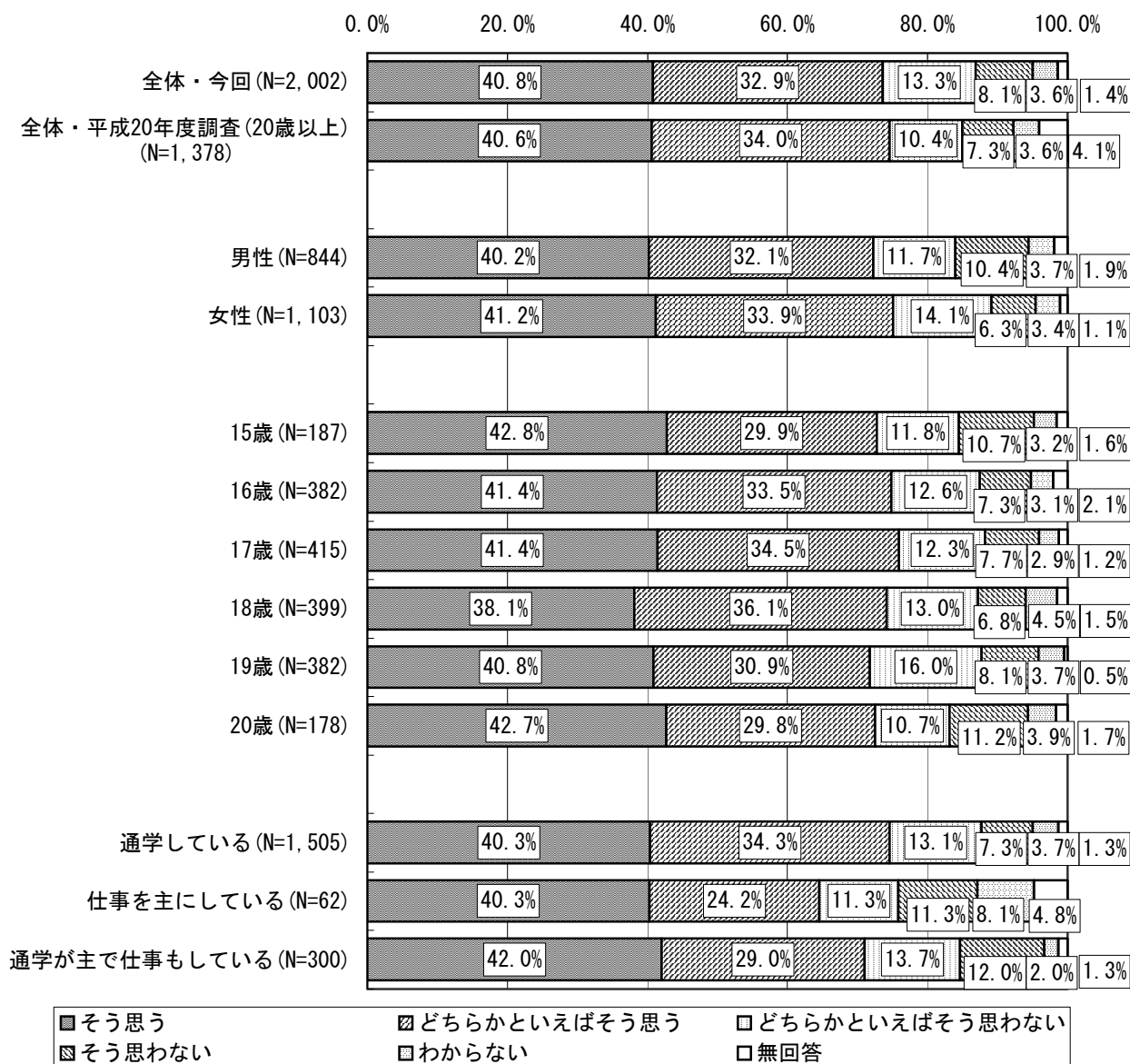
性別にみると、肯定的意識は男性が83.7%、女性が81.9%で1.8ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は17歳が85.8%で最も多いが、「そう思う」という強い肯定的意識は20歳が58.4%で最も多く、16歳以外では半数以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は仕事を主にしている人が83.8%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が11.3%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が55.7%、仕事を主にしている人が54.8%、通学している人が51.6%となっており、就労・就学状況に関係なく半数以上を占めている。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」



「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が74.6%、今回が73.7%で大差はなく、否定的意識も平成20年度調査が17.7%、今回が21.4%で大差はない。

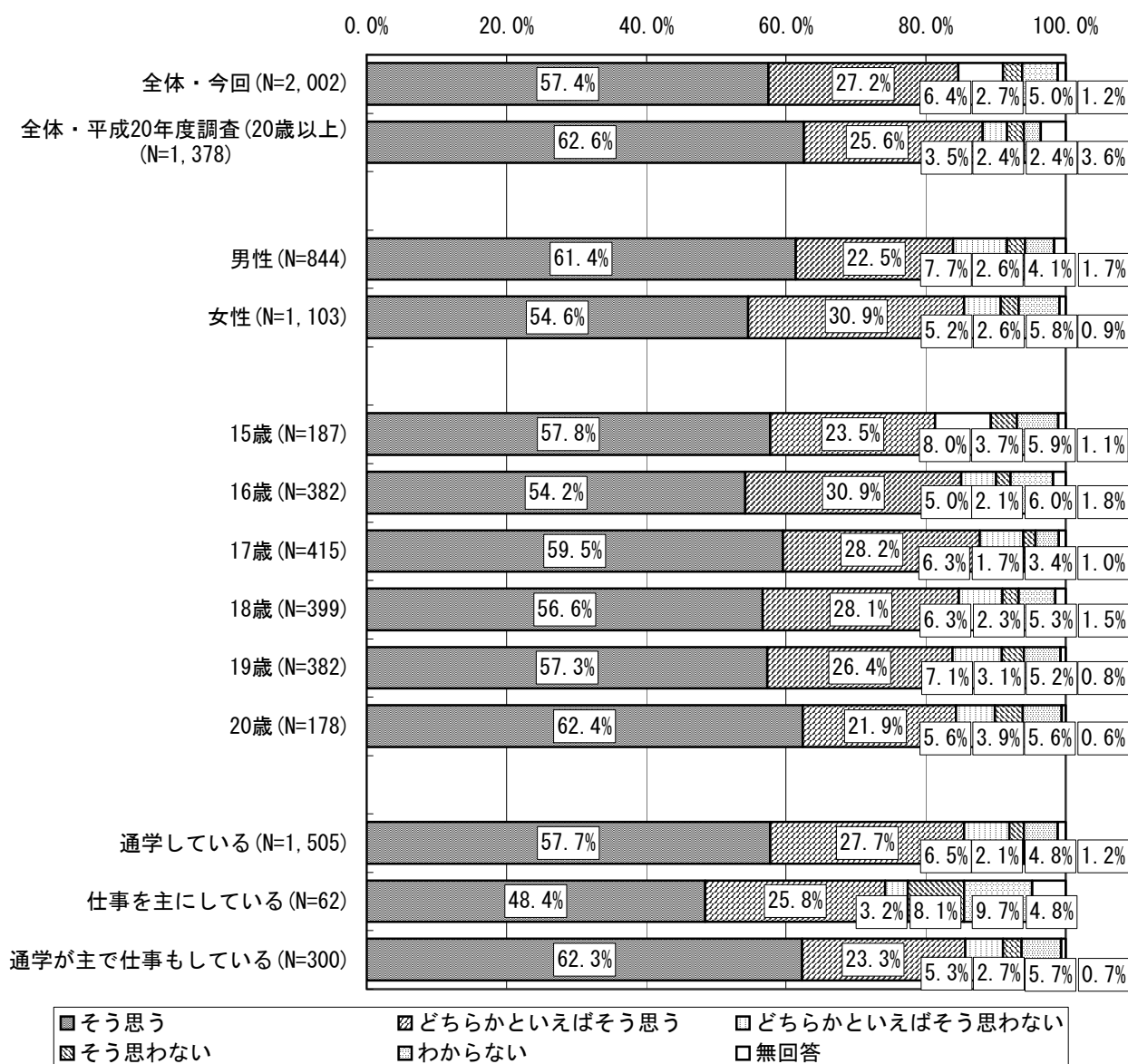
性別にみると、肯定的意識は女性が75.1%、男性が72.3%で2.8ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は17歳が75.9%で最も多いが、年齢間での大差はない。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が74.6%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が25.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が42.0%、通学している人が40.3%、仕事を主にしている人が40.3%となっており、就労・就学状況による大差はない。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」



「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が88.2%、今回が84.6%で大差はない。

性別にみると、肯定的意識は女性が85.5%、男性が83.9%で1.6ポイント差となっており、大差はないが、「そう思う」という強い肯定的意識は男性（61.4%）が女性（54.6%）に比べて6.8ポイント多い。

年齢別にみると、肯定的意識は17歳が87.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は20歳が62.4%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が85.6%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が11.3%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が62.3%で最も多く、「そう思わない」という強い否定的意識は仕事を主にしている人が8.1%で最も多く、他の就労・就学状況に比べてやや多い。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする」



「F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が63.7%、今回が78.9%で15.2ポイント多く、特に「そう思う」という強い肯定的意識は今回が21.1ポイント多い。

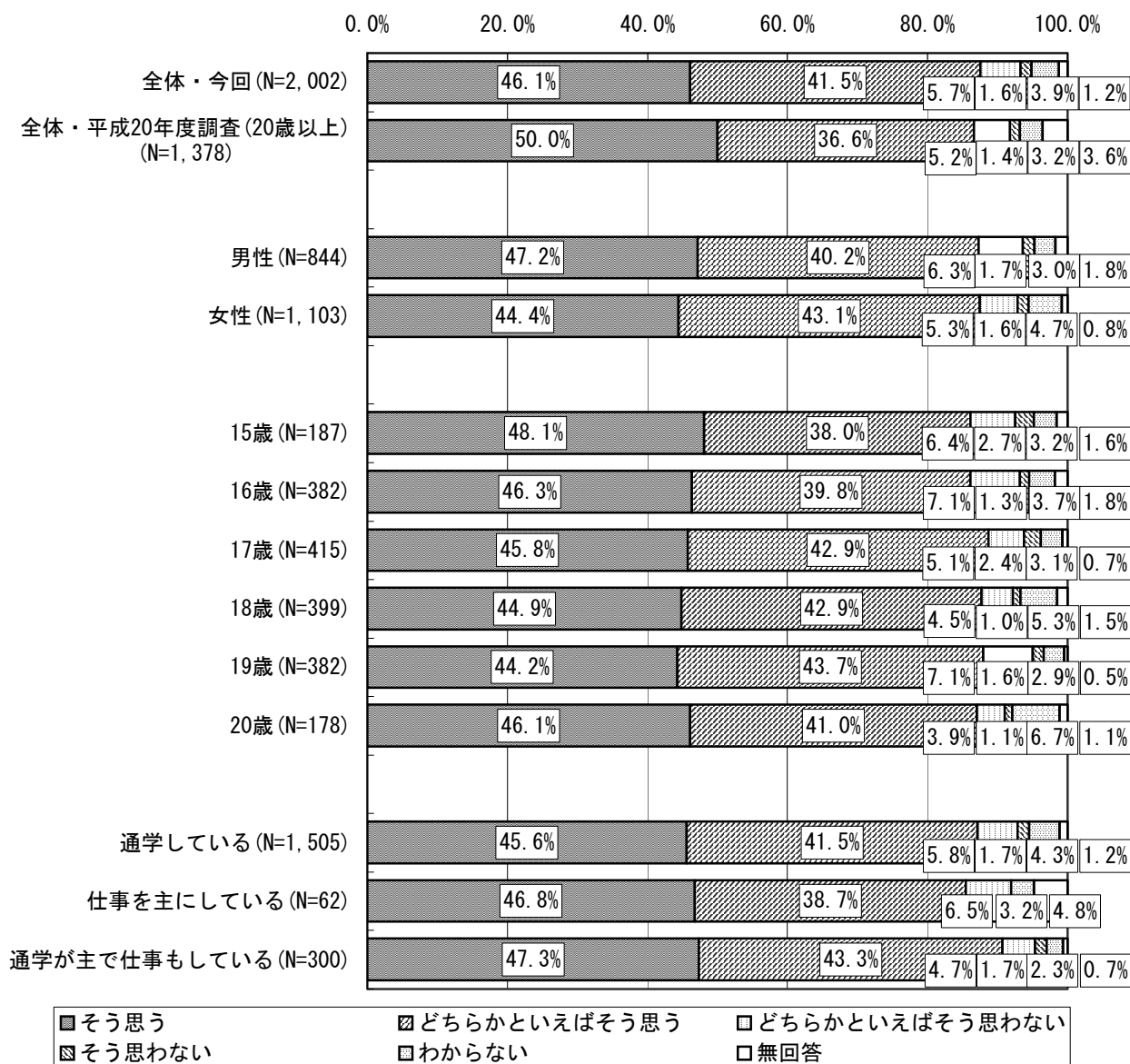
性別にみると、肯定的意識は男性が79.1%、女性が78.9%で0.2ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は18歳が83.2%で最も多く、18歳にかけては年齢が高いほど肯定的意識が多い傾向がみられるが、18歳を境に20歳にかけては少なくなる傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が84.3%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が14.5%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が49.0%で最も多い。

図表 今の社会についてどのように思っているか

「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」



「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が86.6%、今回が87.6%で大差はないが、「そう思う」は平成20年度調査に比べて少なく、「どちらかといえばそう思う」は平成20年度調査に比べて多い。

性別にみると、肯定的意識は女性が87.5%、男性が87.4%で0.1ポイント差となっており、ほぼ同率である。

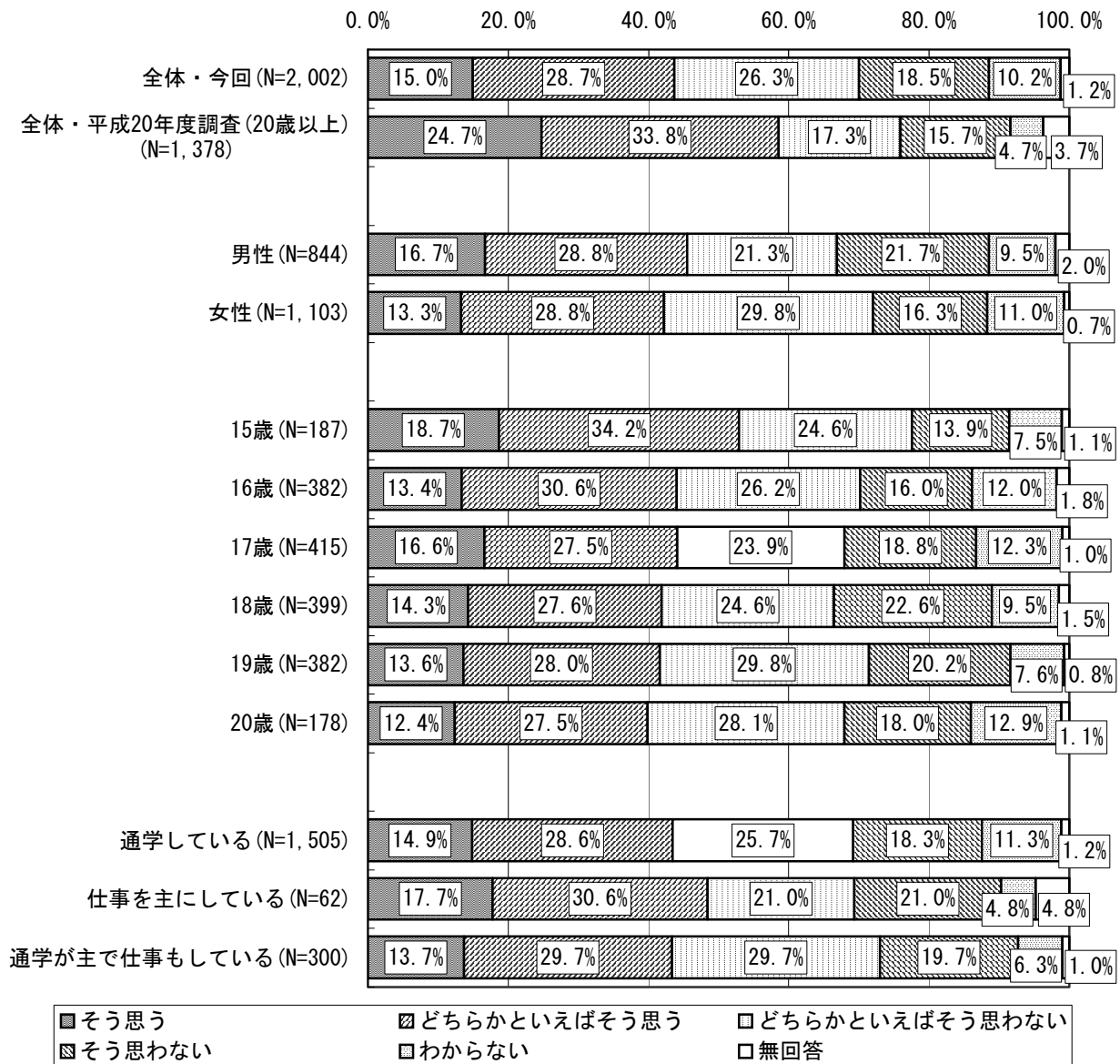
年齢別にみると、肯定的意識は17歳が88.7%で最も多いが、年齢間での大差はない。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が90.6%で最も多く、否定的意識は通学している人が7.5%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が47.3%で最も多い。



図表 今の社会についてどのように思っているか

「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」



「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が58.5%、今回が43.7%で14.8ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が33.0%、今回が44.8%で11.8ポイント多く、今回は否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

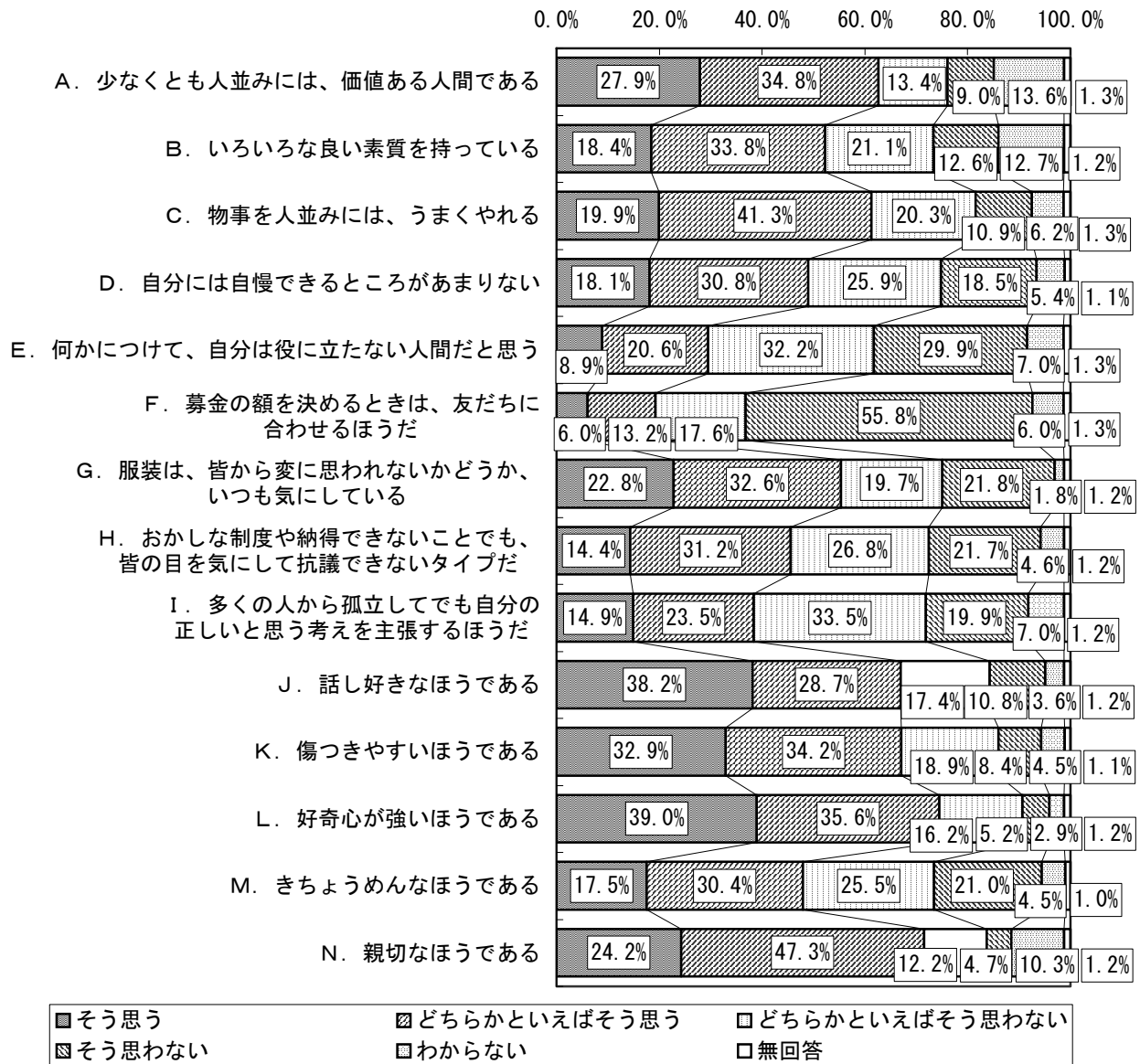
性別にみると、肯定的意識は男性が45.5%、女性が42.1%で3.4ポイント差となっており、大差はない。男性では肯定的意識（45.5%）が否定的意識（43.0%）に比べて多いが、女性では否定的意識（46.1%）が肯定的意識（42.1%）に比べて多い。

年齢別にみると、肯定的意識は15歳が52.9%で最も多い。年齢が高いほど否定的意識が多い傾向となっており、18歳以上では否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は仕事を主にしている人が48.3%で最も多く、肯定的意識が否定的意識に比べて多い。否定的意識は通学が主で仕事もしている人が49.4%で最も多く、通学が主で仕事もしている人と通学している人では、否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

問2 あなたは自分自身をどのような人間だと思いますか。A～Nのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 自分自身に対する評価・価値観

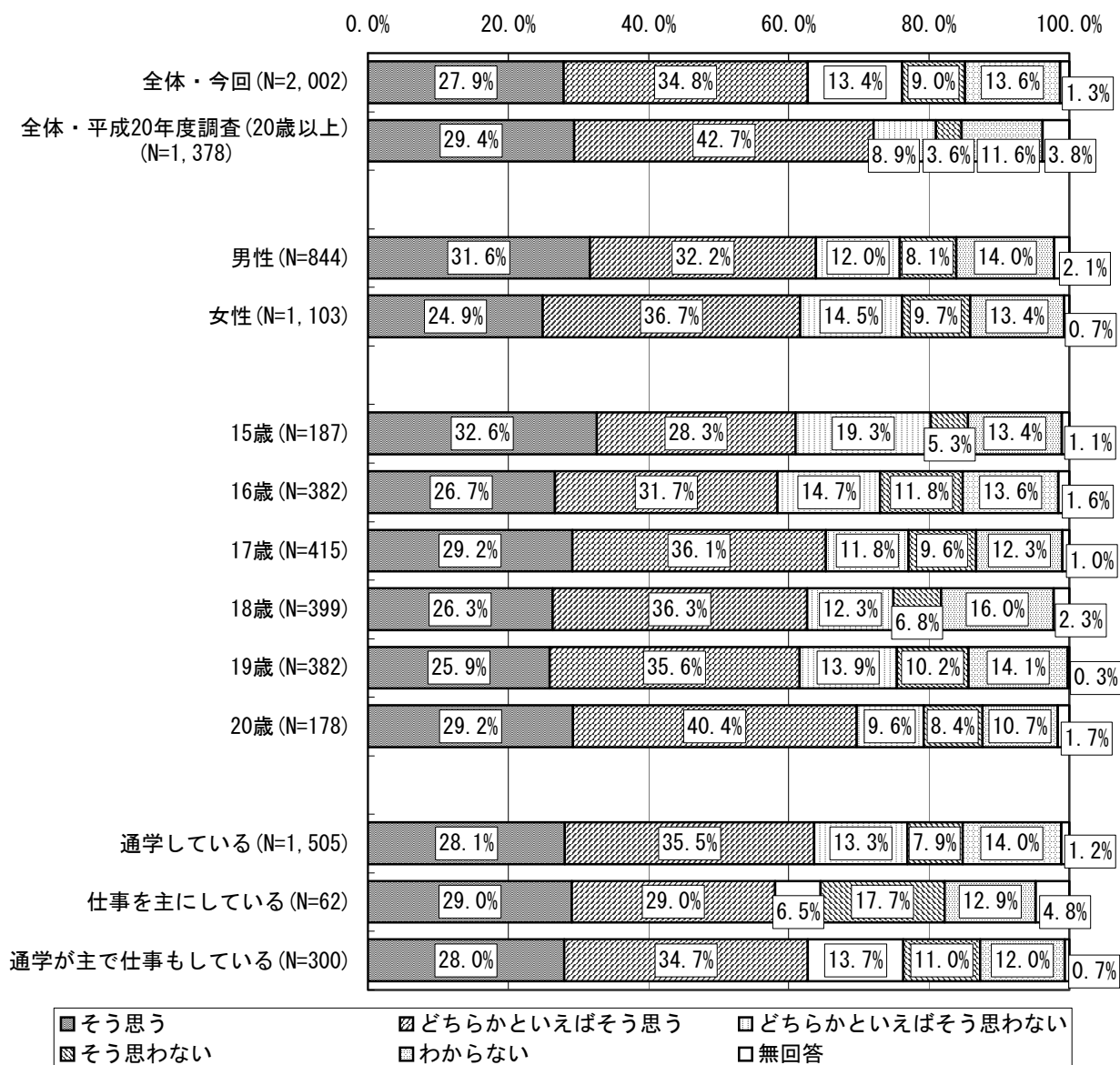


自分自身に対する評価・価値観をたずねたところ、「そう思う」は「L. 好奇心が強いほうである」が39.0%で最も多く、以下、「J. 話し好きなほうである」が38.2%、「K. 傷つきやすいほうである」が32.9%となっており、これらは「そう思う」が30%以上を占めている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意識は「L. 好奇心が強いほうである」(74.6%)、「N. 親切なほうである」(71.5%)、「K. 傷つきやすいほうである」(67.1%)、「J. 話し好きなほうである」(66.9%)などが特に多い。

逆に、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意識は「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」が73.4%で最も多く、以下、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」が62.1%、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」が53.4%、「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」が48.5%となっており、これらは否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」



「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が72.1%、今回が62.7%で9.4ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が12.5%、今回が22.4%で9.9ポイント多い。

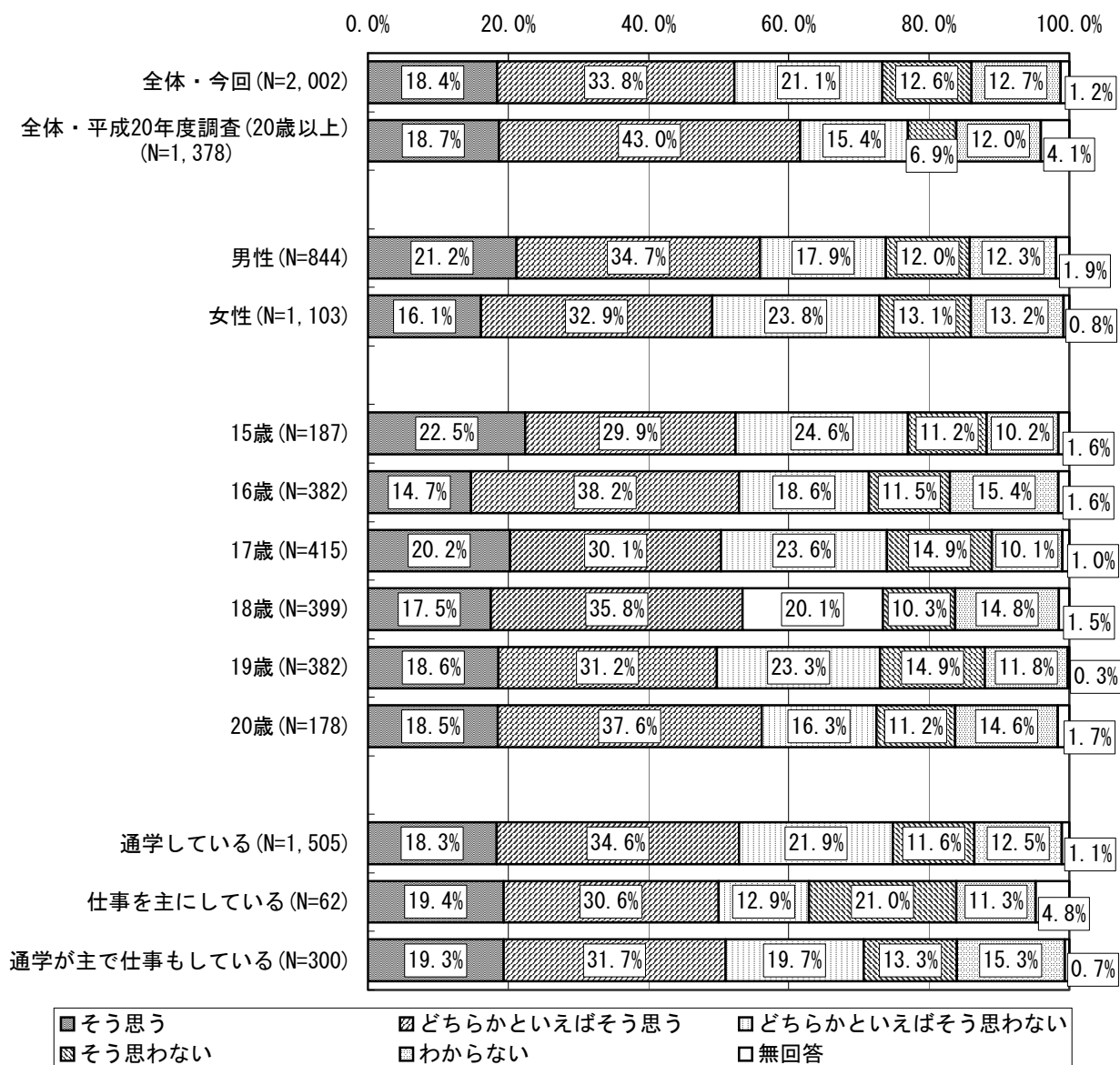
性別にみると、肯定的意識は男性が63.8%、女性が61.6%で2.2ポイント差となっており、大差はないが、「そう思う」という強い肯定的意識は男性（31.6%）が女性（24.9%）に比べて6.7ポイント多い。

年齢別にみると、肯定的意識は20歳が69.6%で最も多い。15歳～17歳・19歳では否定的意識が20%以上を占め、他の年齢が10%台であるのに比べてやや多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が63.6%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が24.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が29.0%、通学している人が28.1%、通学が主で仕事もしている人が28.0%となっており、ほぼ同率となっている。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「B. いろいろな良い素質を持っている」



「B. いろいろな良い素質を持っている」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が61.7%、今回が52.2%で9.5ポイント少なく、特に「どちらかといえばそう思う」が9.2ポイント少ない。

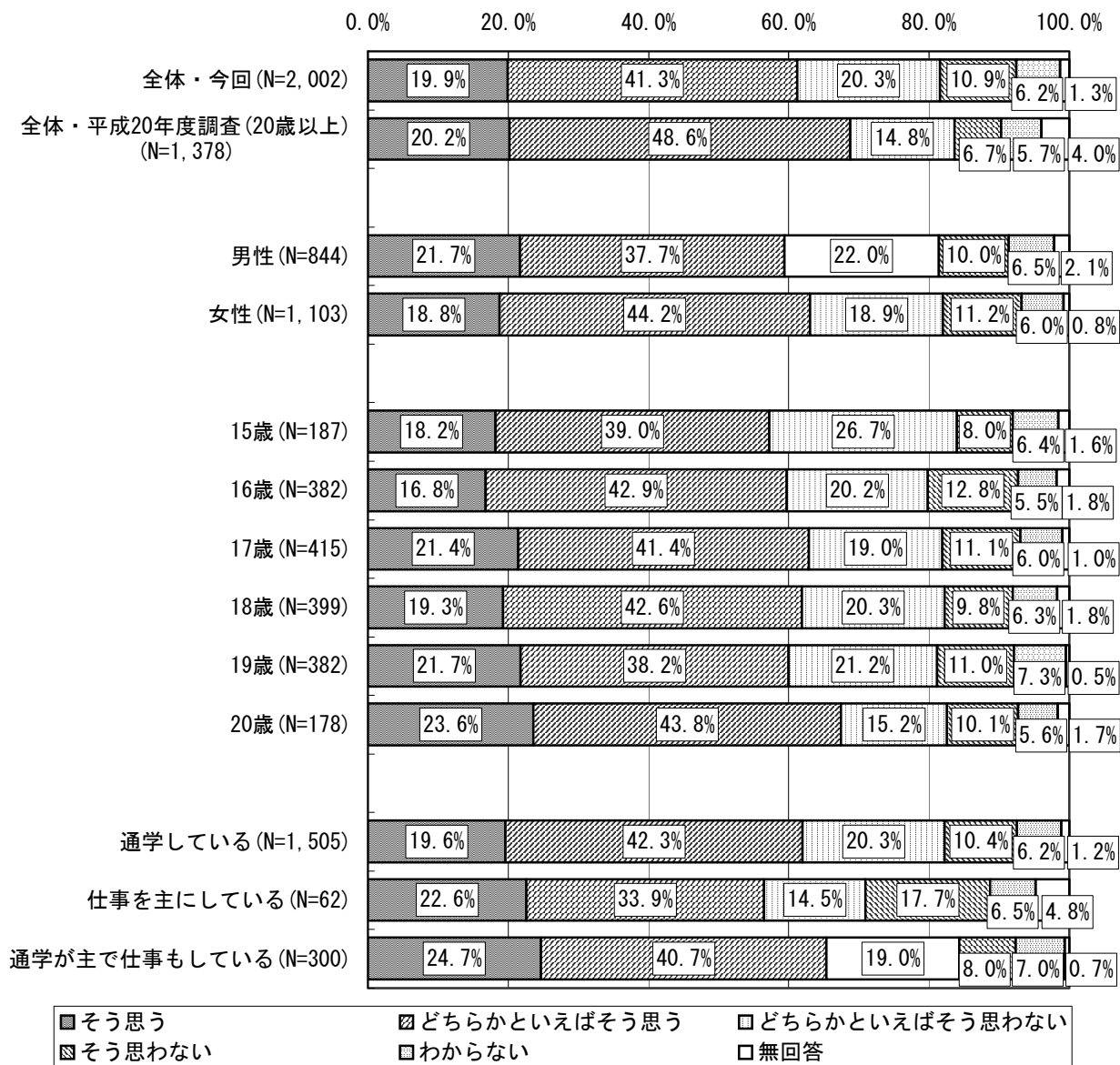
性別にみると、肯定的意識は男性（55.9%）が女性（49.0%）に比べて6.9ポイント多い。

年齢別にみると、肯定的意識は20歳が56.1%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が52.9%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が33.9%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識は仕事を主にしている人が21.0%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「C. 物事を人並みには、うまくやれる」



「C. 物事を人並みには、うまくやれる」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が68.8%、今回が61.2%で7.6ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が21.5%、今回が31.2%で9.7ポイント多い。

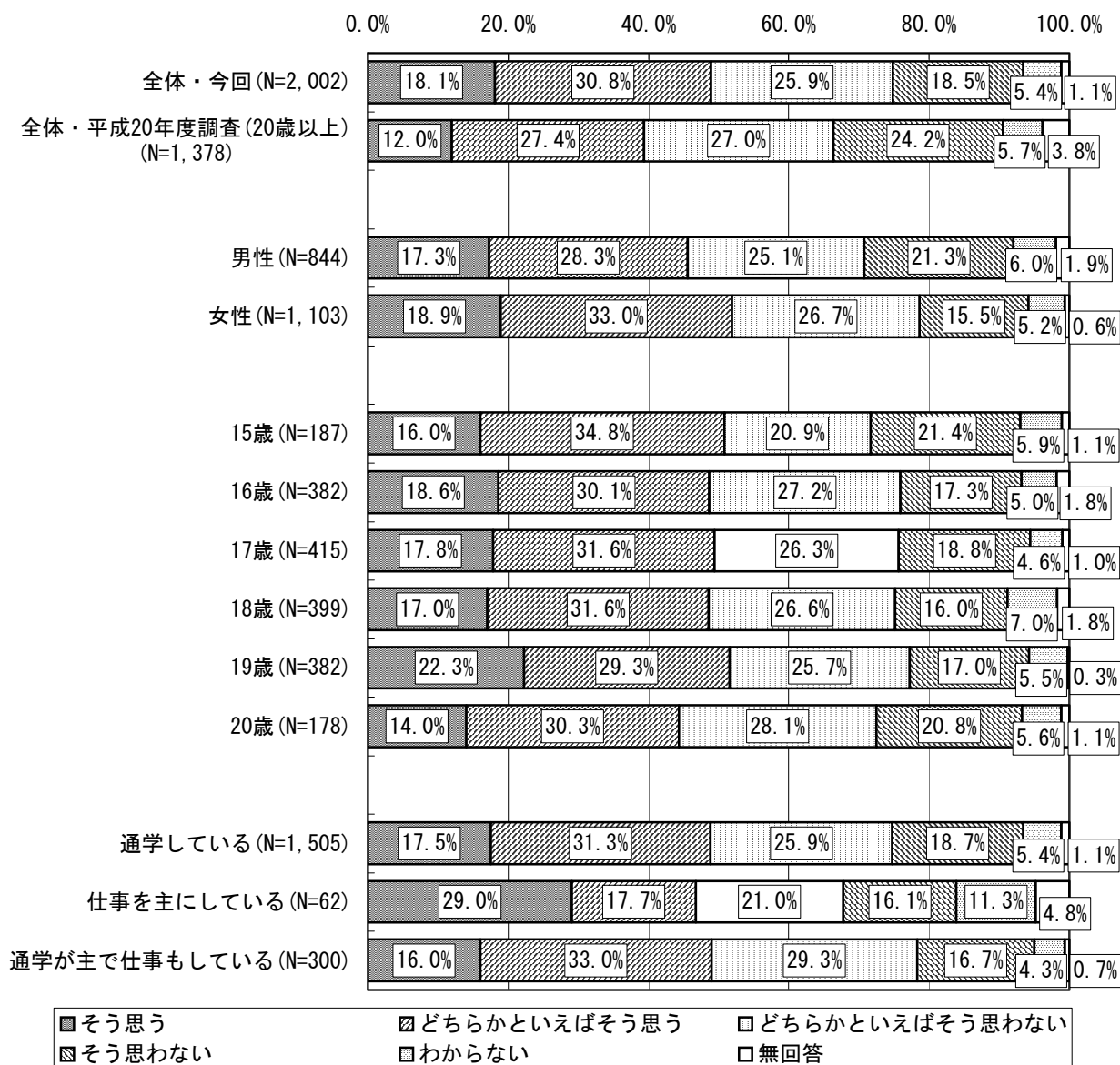
性別にみると、肯定的意識は女性が63.0%、男性が59.4%で3.6ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は20歳が67.4%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が65.4%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が32.2%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識も仕事を主にしている人が17.7%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「D. 自分には自慢できるところがあまりない」



「D. 自分には自慢できるところがあまりない」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が39.4%、今回が48.9%で9.5ポイント多い。否定的意識は平成20年度調査が51.2%、今回が44.4%で6.8ポイント少なく、平成20年度調査は否定的意識が肯定的意識に比べて多いが、今回は逆転している。

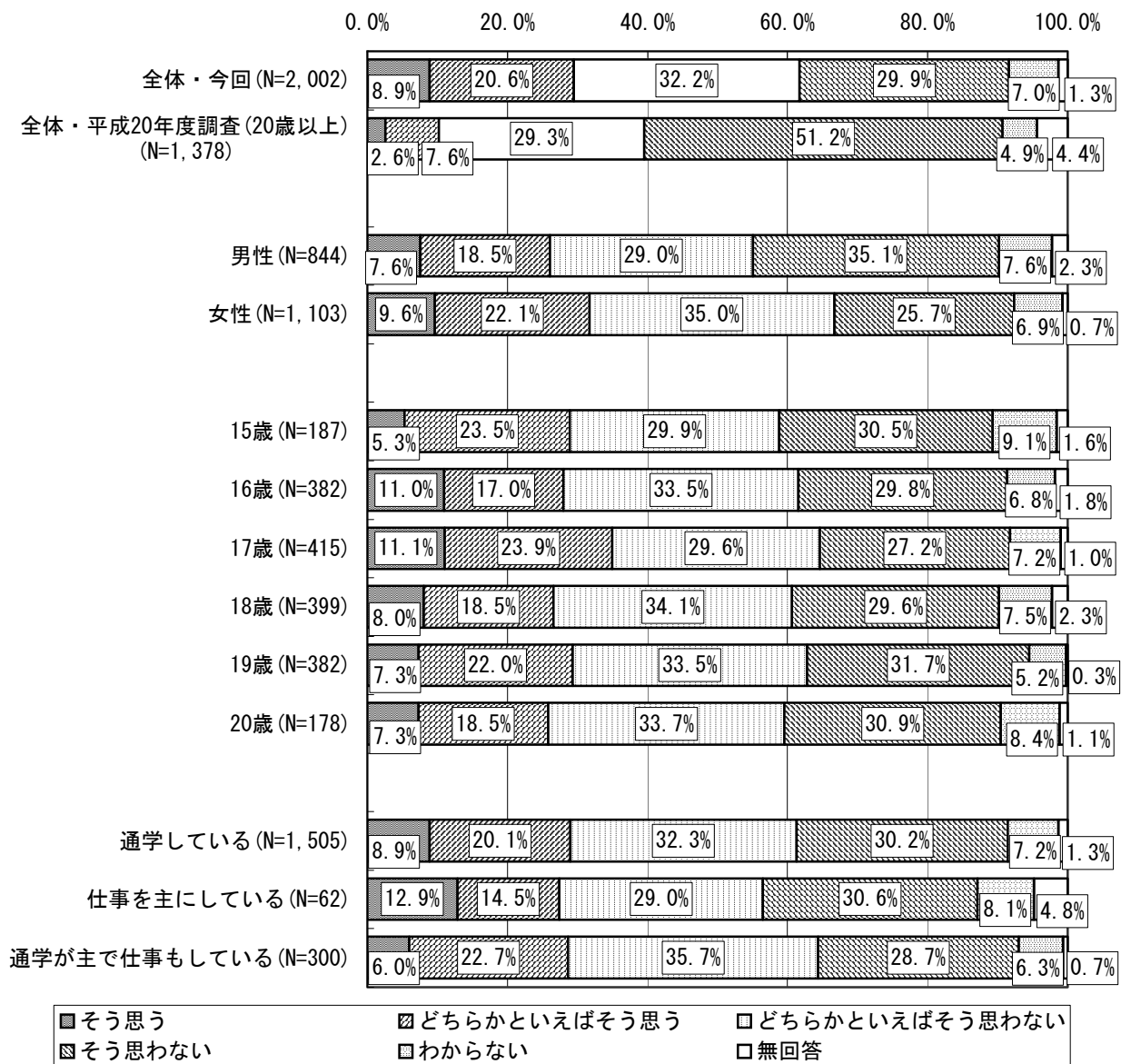
性別にみると、肯定的意識は女性（51.9%）が男性（45.6%）に比べて6.3ポイント多く、女性では肯定的意識（51.9%）が否定的意識（42.2%）に比べて9.7ポイント多いが、男性では肯定的意識（45.6%）と否定的意識（46.4%）が拮抗している。

年齢別にみると、肯定的意識は19歳が51.6%で最も多く、20歳では否定的意識（48.9%）が肯定的意識（44.3%）に比べて4.6ポイント多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が49.0%で最も多く、否定的意識も通学が主で仕事もしている人が46.0%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が29.0%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて10ポイント以上多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」



「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」について、平成20年度調査と比較すると、否定的意識は平成20年度調査が80.5%、今回が62.1%で18.4ポイント少なく、特に「そう思わない」という強い否定的意識は平成20年度調査に比べて21.3ポイント少ない。

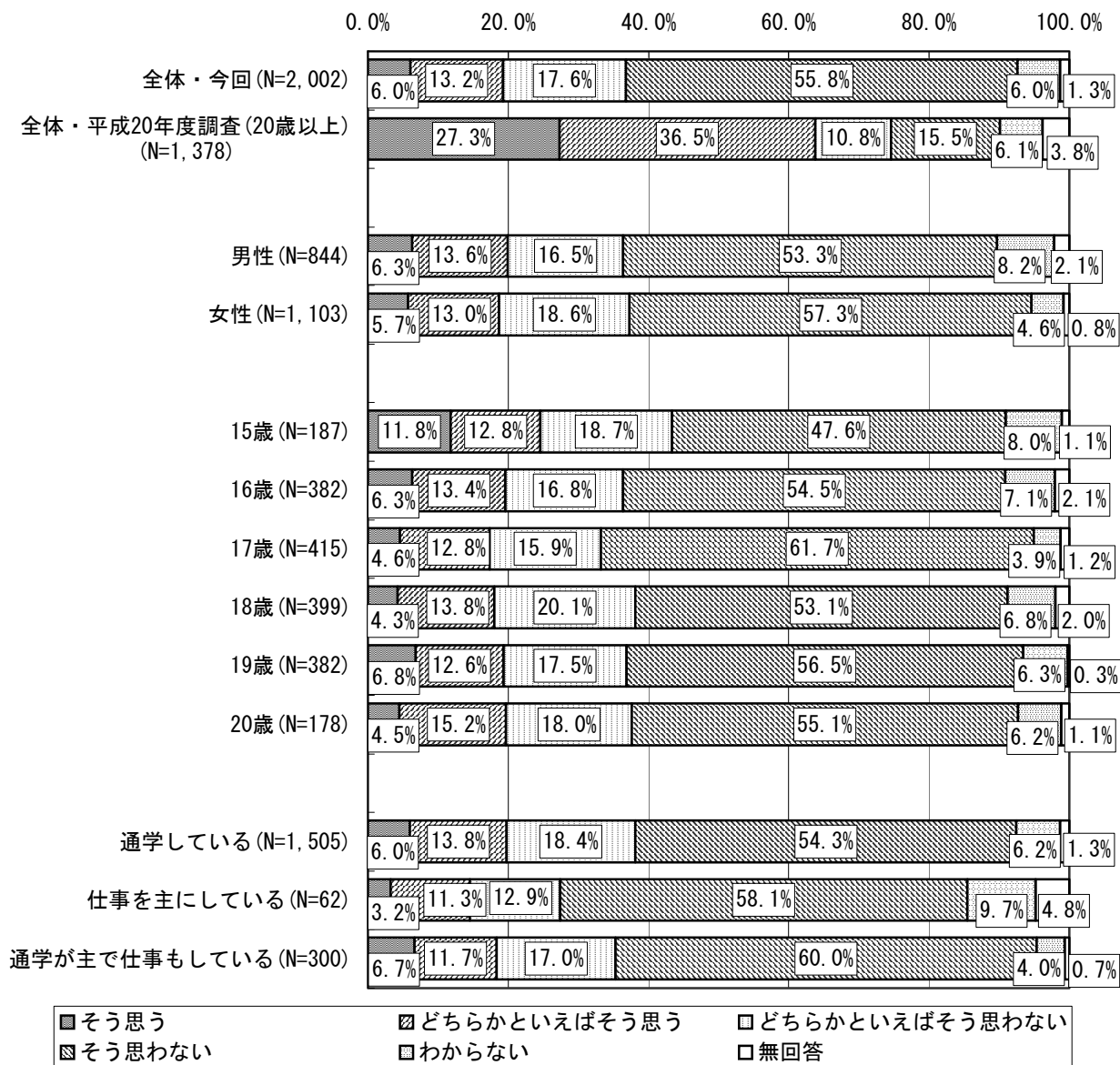
性別にみると、男女ともに否定的意識が60%以上を占め、肯定的意識に比べて多いが、肯定的意識は女性（31.7%）が男性（26.1%）に比べて5.6ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも否定的意識が半数以上を占め、肯定的意識に比べて多いが、17歳では56.8%にとどまり、他の年齢が60%以上であるのに比べて少ない。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が29.0%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が64.4%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識は仕事を主にしている人が30.6%、通学している人が30.2%、通学が主で仕事もしている人が28.7%となっており、就労・就学状況にかかわらず30%前後を占めている。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」



※平成20年度調査の設問項目は「募金の額を決めるときは、隣近所にあわせて、あまり突出しないようにする方だ」であった。

「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が63.8%、今回が19.2%で44.6ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が26.3%、今回が73.4%で47.1ポイント多く、回答傾向の大差がみられる。

性別にみると、男女ともに否定的意識が60%以上を占め、女性（75.9%）が男性（69.8%）に比べて6.1ポイント多い。

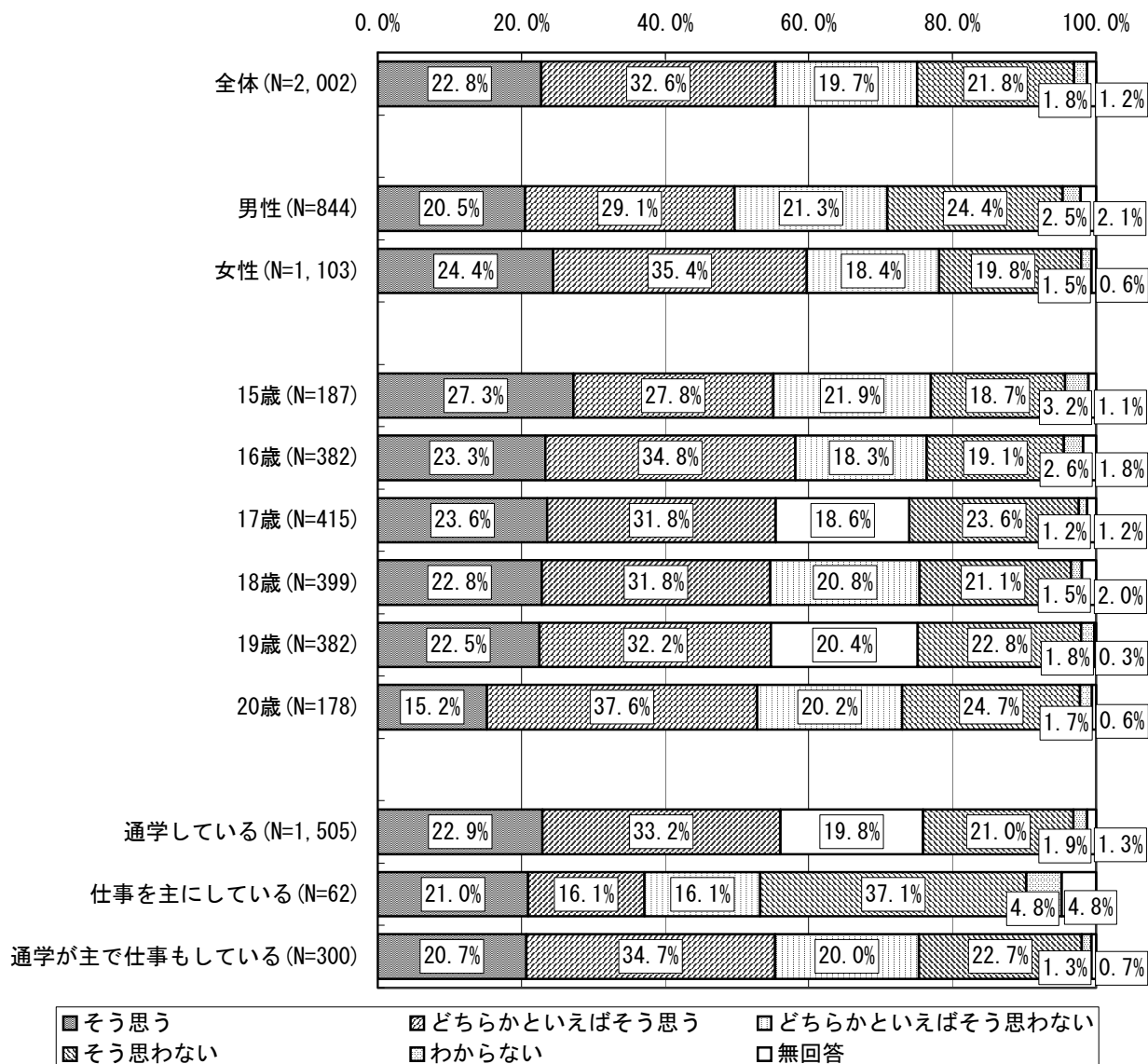
年齢別にみると、否定的意識は16歳以上では70%以上を占めているが、15歳では66.3%と他の年齢に比べて少なく、肯定的意識が24.6%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が19.8%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が77.0%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識は通学が主で仕事もしている人が60.0%で最も多い。



図表 自分自身に対する評価・価値観

「G. 服装は、皆から変に思われないかどうか、いつも気にしている」



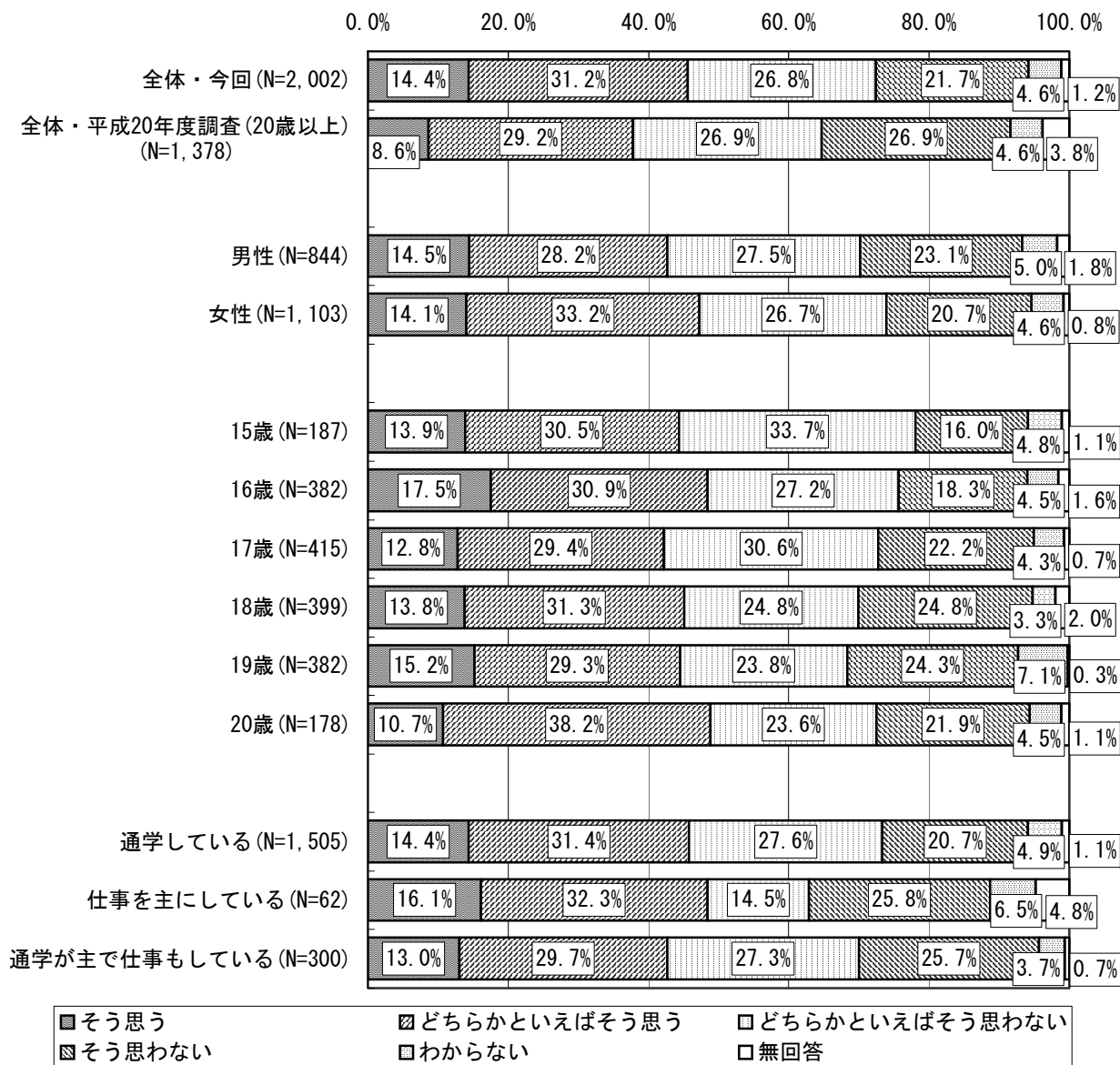
「G. 服装は、皆から変に思われないかどうか、いつも気にしている」について、性別にみると、肯定的意識は女性（59.8%）が男性（49.6%）に比べて10.2ポイント多いが、男性では否定的意識が45.7%で、肯定的意識との差が3.9ポイントと小さい。

年齢別にみると、肯定的意識は16歳が58.1%で最も多く、顕著な傾向ではないが、「そう思う」という強い肯定的意識は年齢が低いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は、通学している人が56.1%で最も多く、否定的意識は、仕事を主にしている人が53.2%で最も多い。また、通学している人と通学が主で仕事もしている人では、肯定的意識が否定的意識に比べて多く、仕事を主にしている人では、否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」



「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が37.8%、今回が45.6%で7.8ポイント多い。否定的意識は平成20年度調査が53.8%、今回が48.5%で5.3ポイント少ない。平成20年度調査・今回ともに否定的意識が肯定的意識に比べて多いが、平成20年度調査の差は16.0ポイントと大きい。

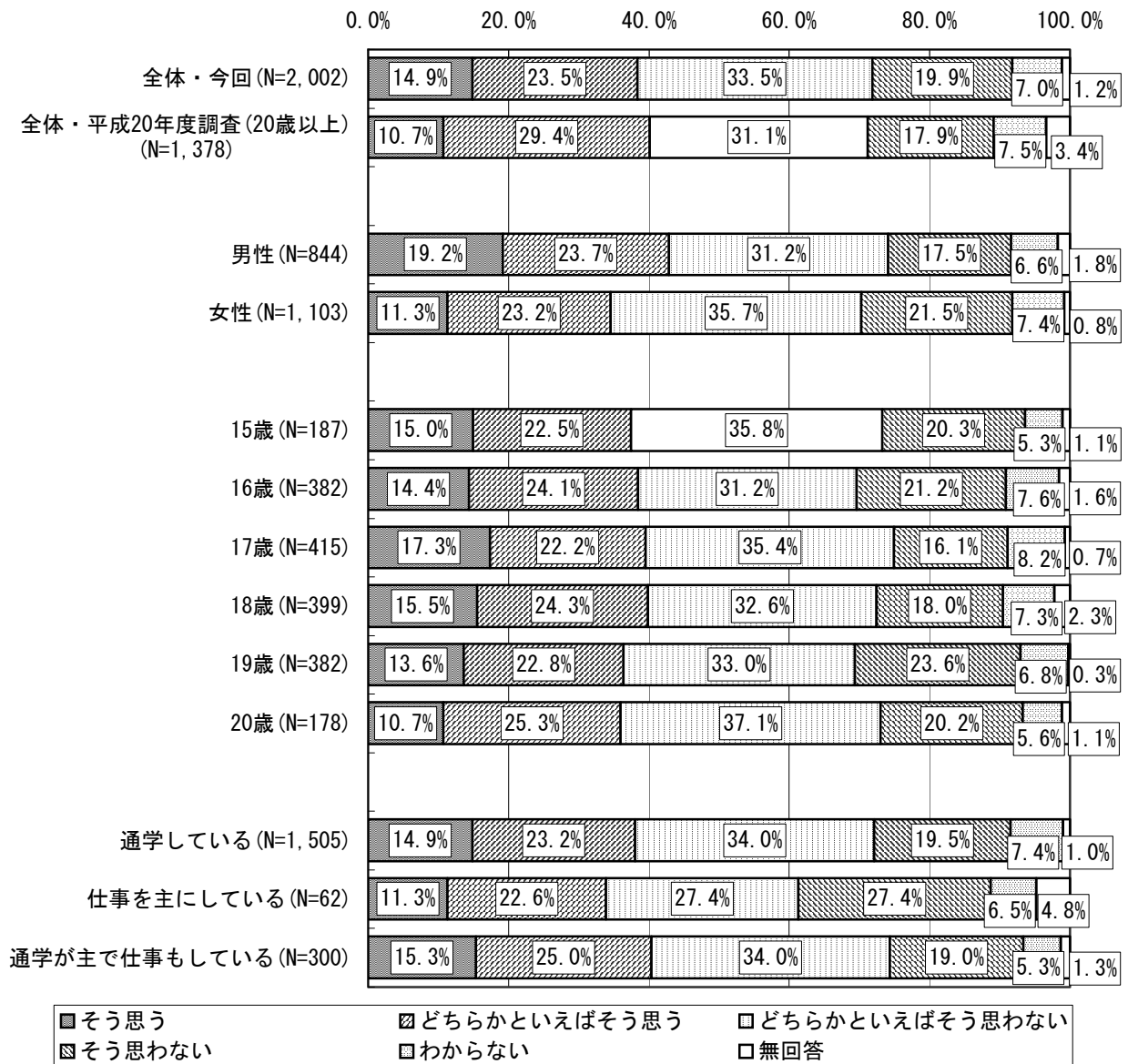
性別にみると、肯定的意識は女性（47.3%）が男性（42.7%）に比べて4.6ポイント多いが、男性では否定的意識（50.6%）と肯定的意識（42.7%）との差が7.9ポイントであるのに対し、女性では肯定的意識（47.3%）と否定的意識（47.4%）が拮抗している。

年齢別にみると、16歳と20歳では肯定的意識が否定的意識に比べて多いが、他の年齢では逆転している。「そう思わない」という強い否定的意識は19歳以下では年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は仕事を主にしている人が48.4%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が53.0%で最も多い。また、仕事を主にしている人では、肯定的意識が否定的意識に比べて多く、通学している人と通学が主で仕事もしている人では、否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」



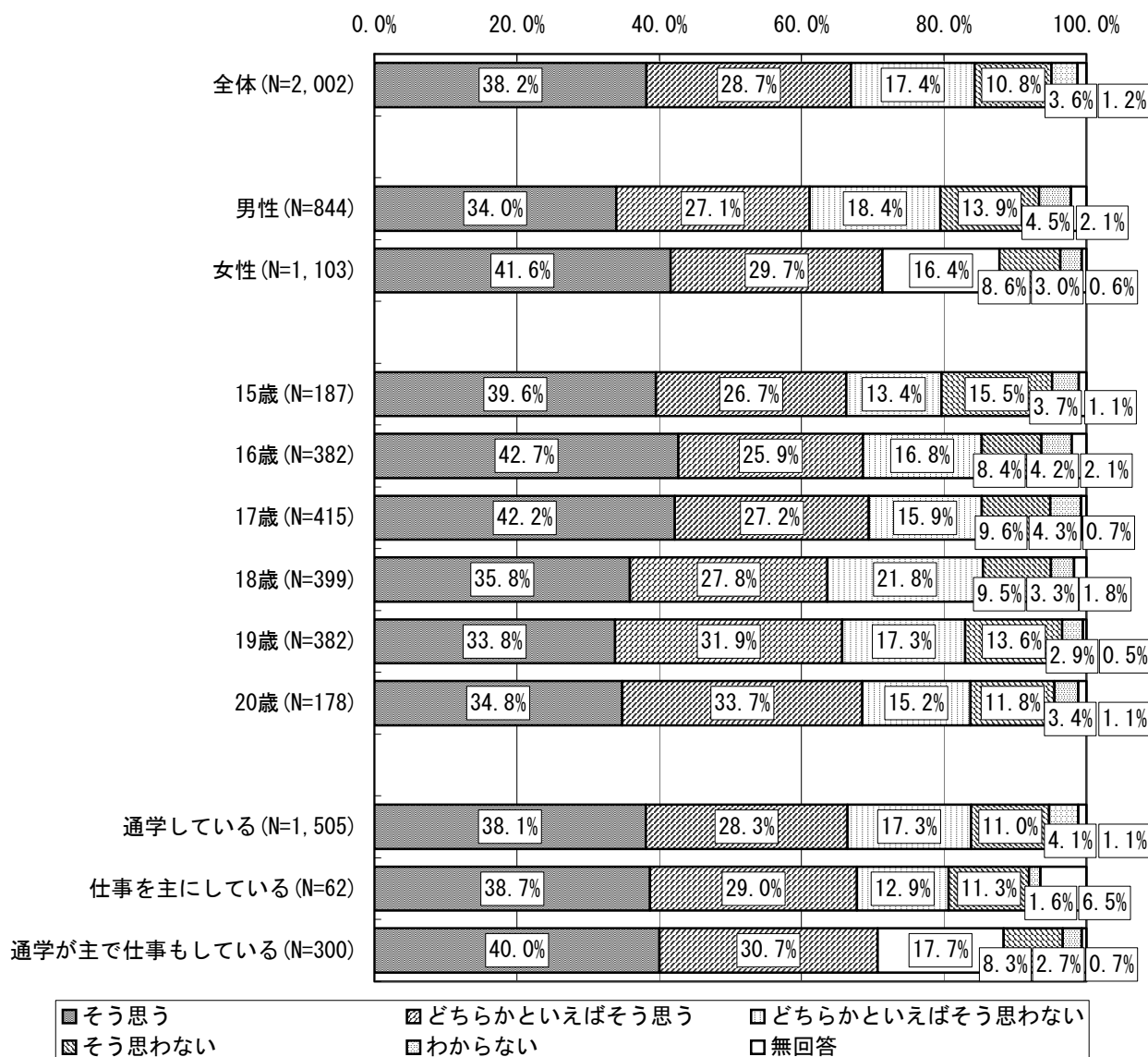
「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が40.1%、今回が38.4%で大差はない。否定的意識は平成20年度調査が49.0%、今回が53.4%で4.4ポイント多い。

性別にみると、肯定的意識は男性（42.9%）が女性（34.5%）に比べて8.4ポイント多いが、男性では肯定的意識（42.9%）と否定的意識（48.7%）との差が5.8ポイントであるのに対し、女性では肯定的意識（34.5%）と否定的意識（57.2%）との差が22.7ポイントと大きい。

年齢別にみると、各年齢とも否定的意識が半数以上を占めているが、15歳と19歳以上では50%台後半で16歳～18歳に比べてやや多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が40.3%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が54.8%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識も仕事を主にしている人が27.4%で最も多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観  
「J. 話し好きなほうである」

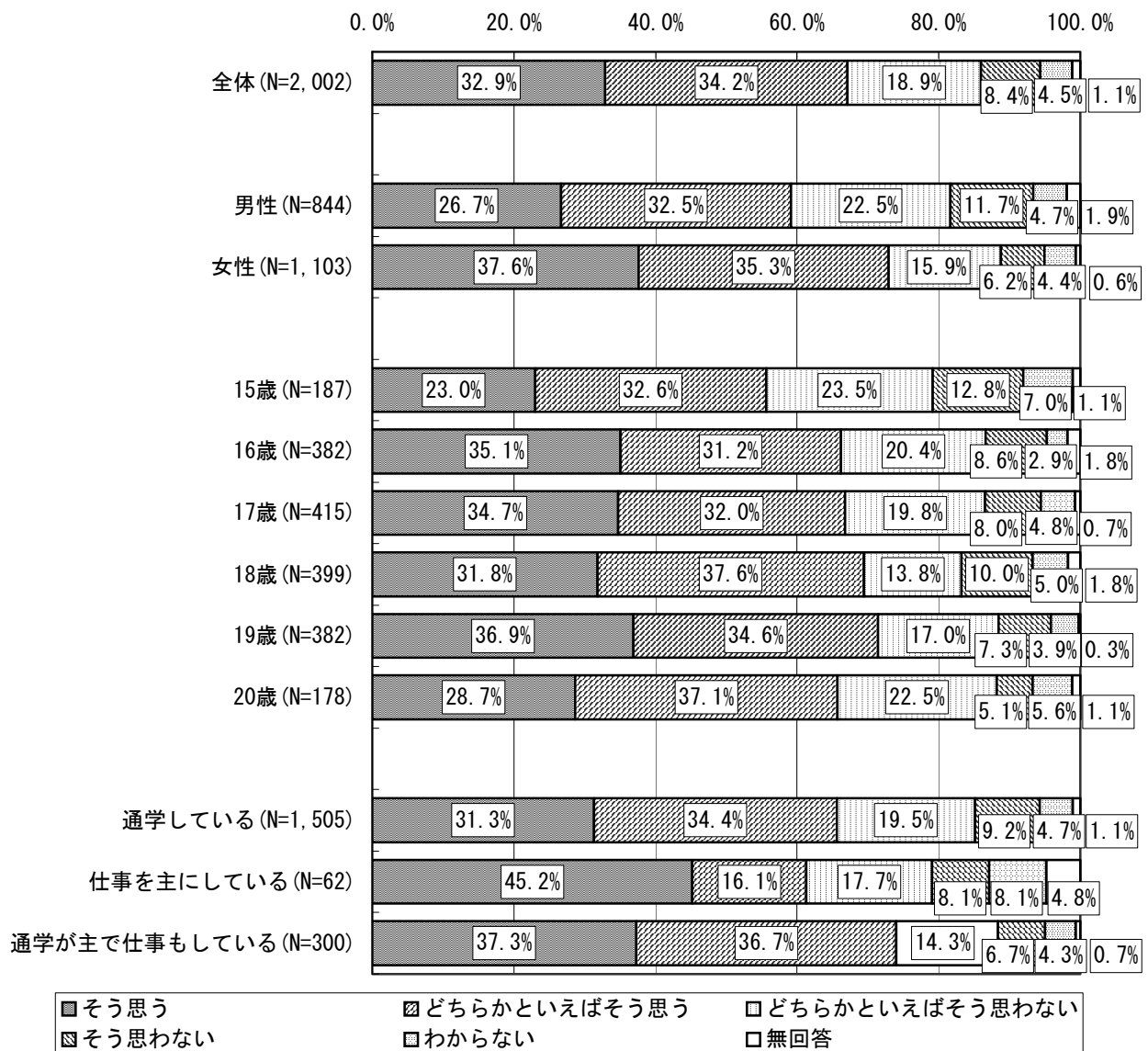


「J. 話し好きなほうである」について、性別にみると、肯定的意識は女性(71.3%)が男性(61.1%)に比べて10.2ポイント多い。

年齢別にみると、「そう思う」という強い肯定的意識は15歳～17歳では40%前後となっており、18歳以上に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が70.7%で最も多く、否定的意識は通学している人が28.3%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が40.0%、仕事を主にしている人が38.7%、通学している人が38.1%となっており、就労・就学状況にかかわらず40%程度と大差はない。

図表 自分自身に対する評価・価値観  
「K. 傷つきやすいほうである」



「K. 傷つきやすいほうである」について、性別にみると、肯定的意識は女性（72.9%）が男性（59.2%）に比べて13.7ポイント多い。

年齢別にみると、「そう思う」という強い肯定的意識は16歳～19歳では30%以上を占め、他の年齢が20%台であるのに比べて多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が74.0%で最も多く、否定的意識は通学している人が28.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が45.2%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観  
「L. 好奇心が強いほうである」

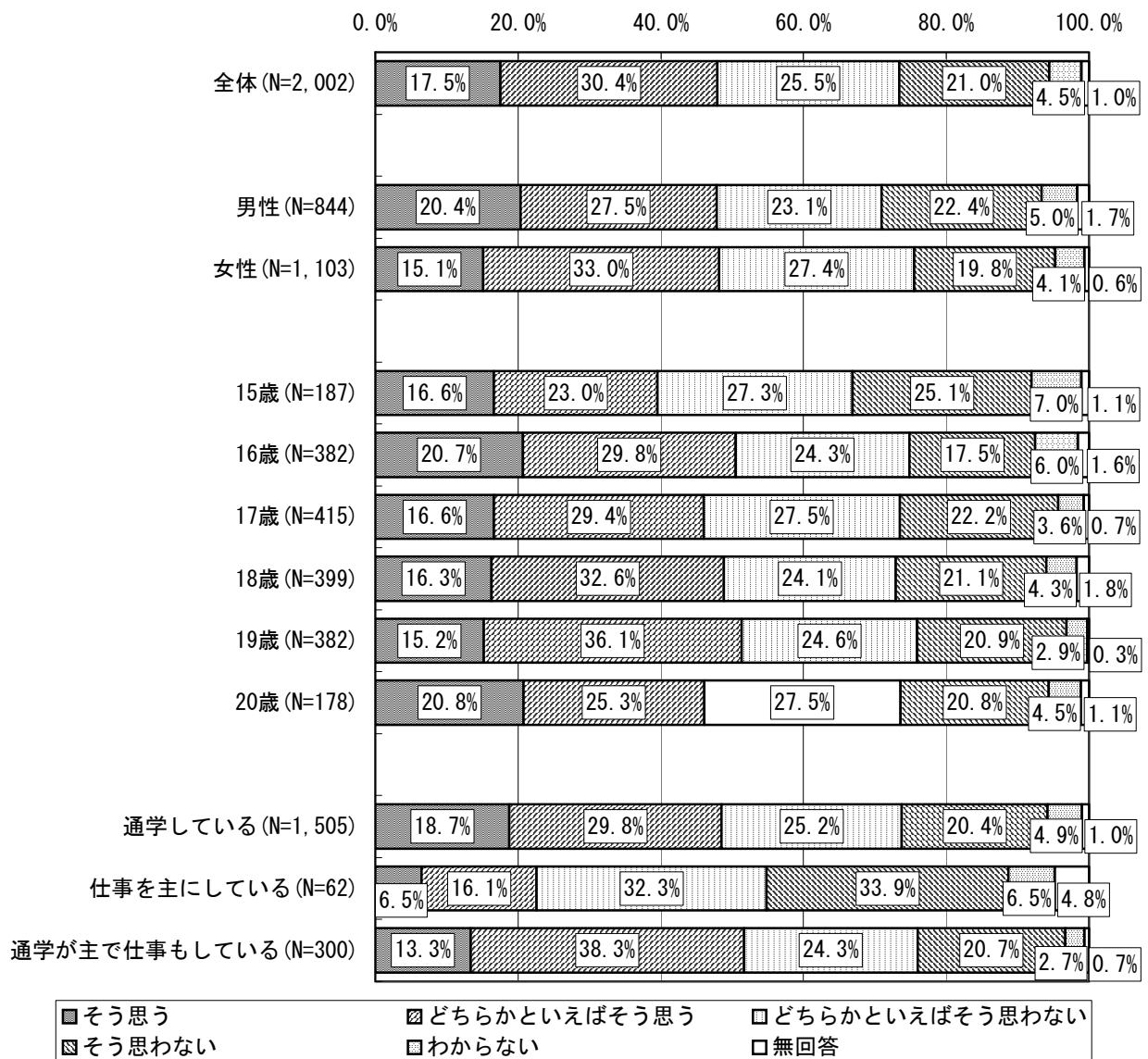


「L. 好奇心が強いほうである」について、性別にみると、肯定的意識は女性が76.1%、男性が72.6%で3.5ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、各年齢とも肯定的意識が70%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人と通学が主で仕事もしている人でともに75.0%で最も多いが、仕事を主にしている人でも74.2%となっており、就労・就学状況による大差はない。否定的意識は通学が主で仕事もしている人が22.3%で最も多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観  
「M. きちようめんなほうである」



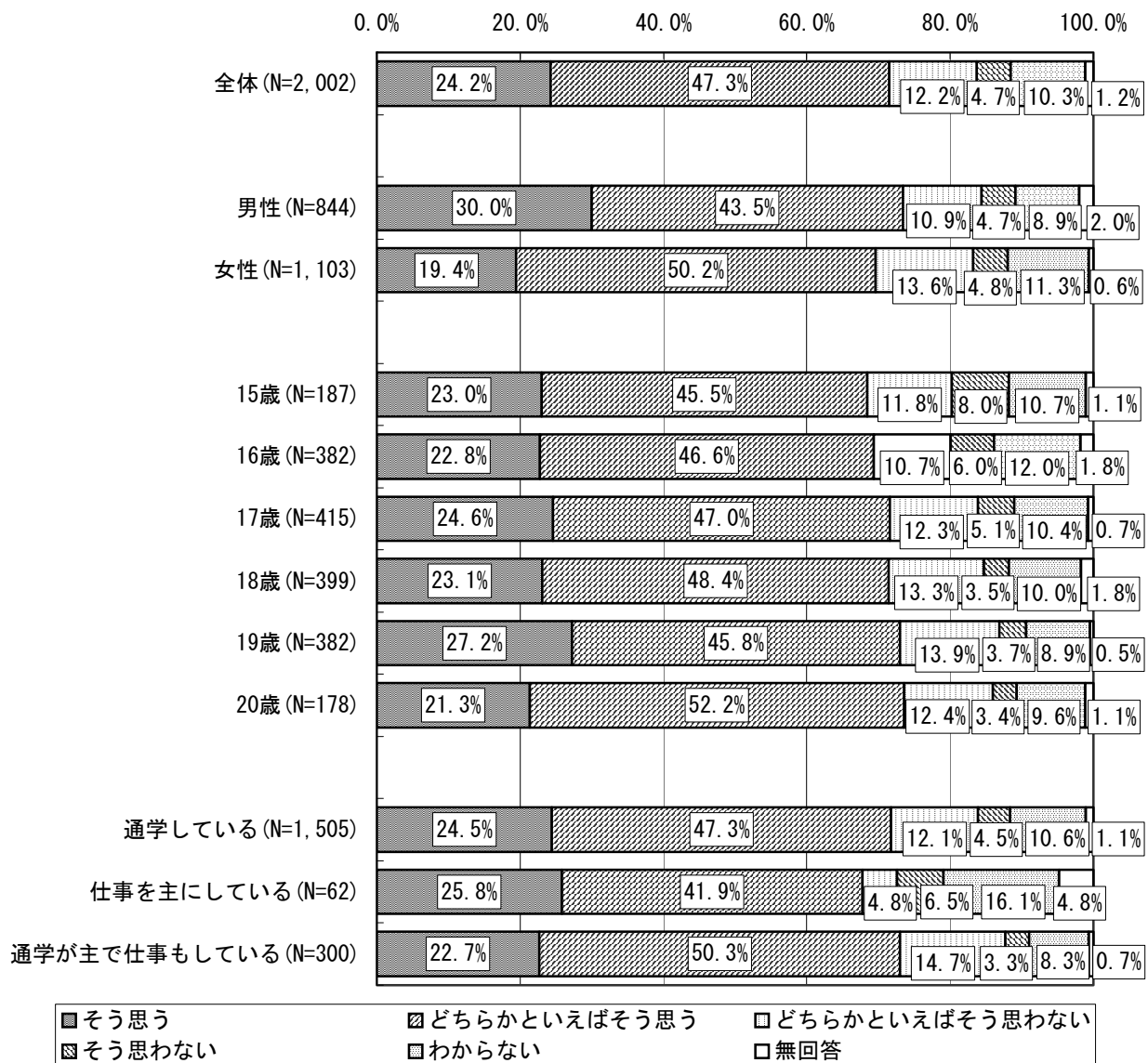
「M. きちようめんなほうである」について、性別にみると、肯定的意識は女性が48.1%、男性が47.9%でほぼ同率となっており、大差はない。また、肯定的意識と否定的意識との差は、男女ともに3ポイント以下と小さい。

年齢別にみると、15歳・17歳・20歳では否定的意識が肯定的意識に比べて多く、15歳では半数以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が51.6%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が66.2%で最も多い。また、通学している人と通学が主で仕事もしている人では肯定的意識が否定的意識に比べて多く、仕事を主にしている人では否定的意識が肯定的意識に比べて多い。

図表 自分自身に対する評価・価値観

「N. 親切なほうである」



「N. 親切なほうである」について、性別にみると、肯定的意識は男性が73.5%、女性が69.6%で3.9ポイント差となっており、大差はない。

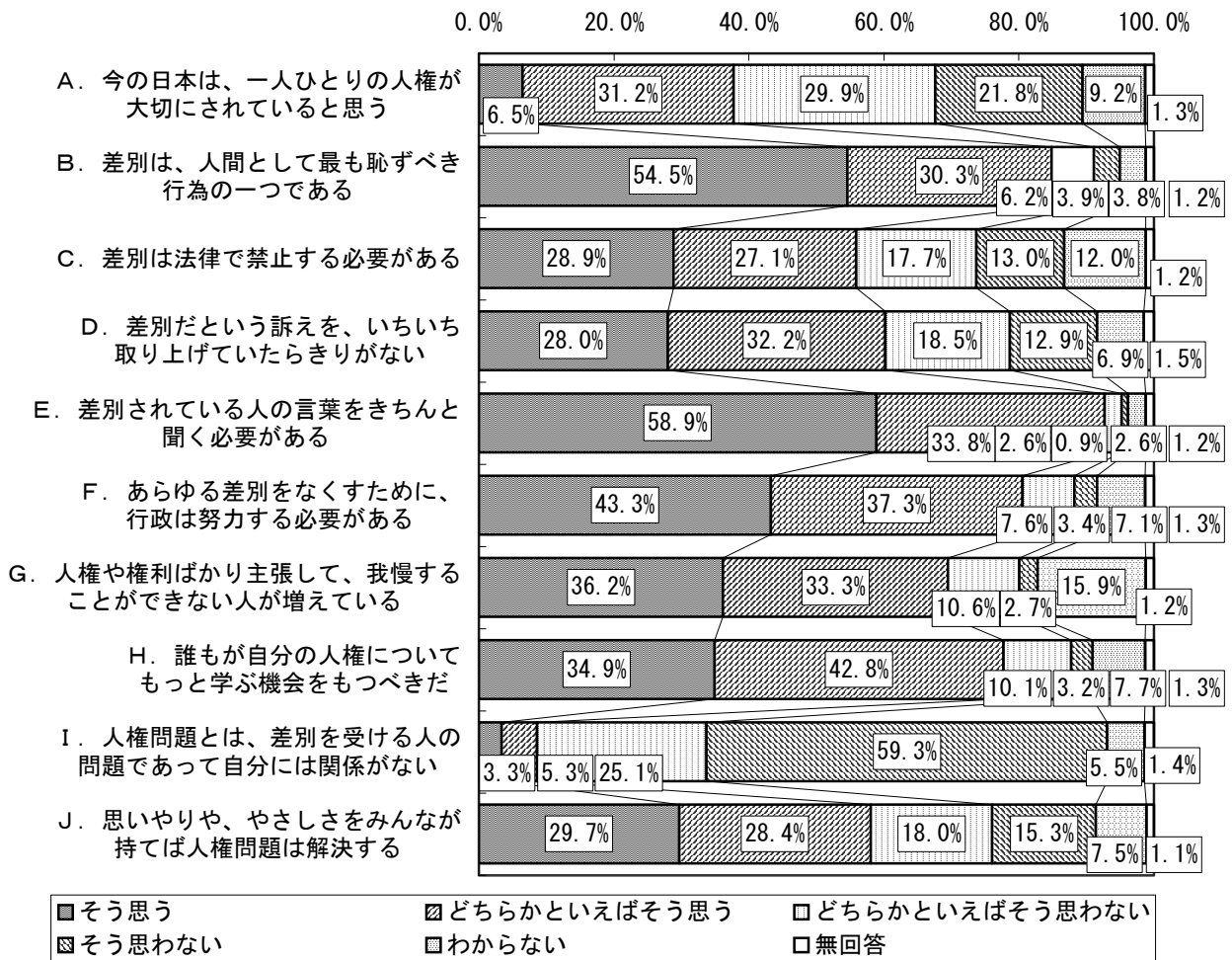
年齢別にみると、年齢が高いほど肯定的意識が多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が73.0%で最も多く、否定的意識も通学が主で仕事もしている人が18.0%で最も多い。



問3 人権や差別をめぐるいろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。A～Jのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

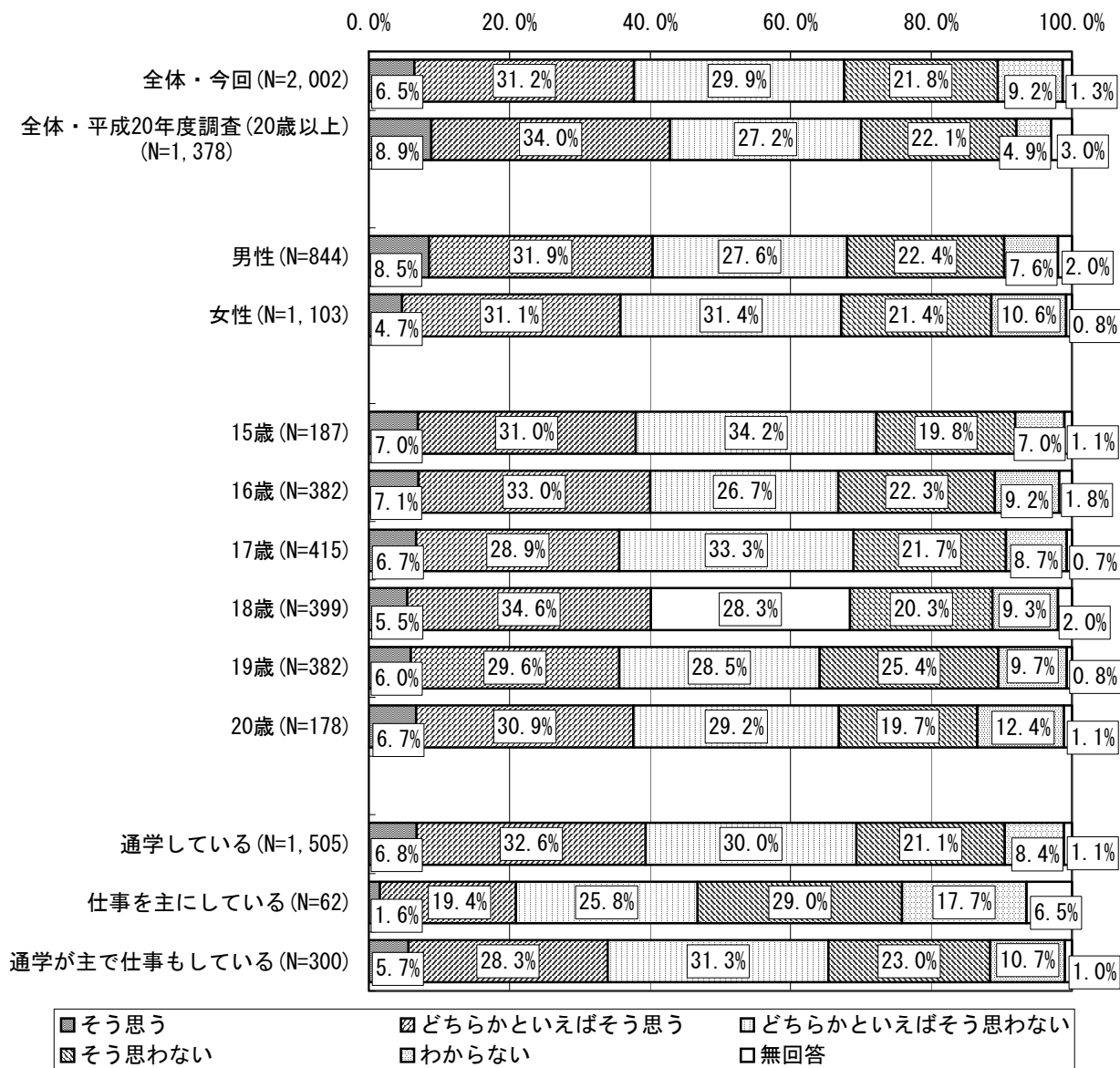


人権・差別に対する意識・考え方をたずねたところ、「そう思う」は「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」が58.9%で最も多く、次いで、「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」が54.5%となっており、これらは「そう思う」が半数以上を占めている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意識は「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」(92.7%)、「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」(84.8%)、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」(80.6%)、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」(77.7%)などが特に多い。

逆に、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意識は「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」が84.4%で最も多く、次いで、「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」が51.7%となっている。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」



「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が42.9%、今回が37.7%で5.2ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が49.3%、今回が51.7%で大差はない。平成20年度調査・今回ともに否定的意識が肯定的意識に比べて多いが、その差は今回が14.0ポイントと大きい。

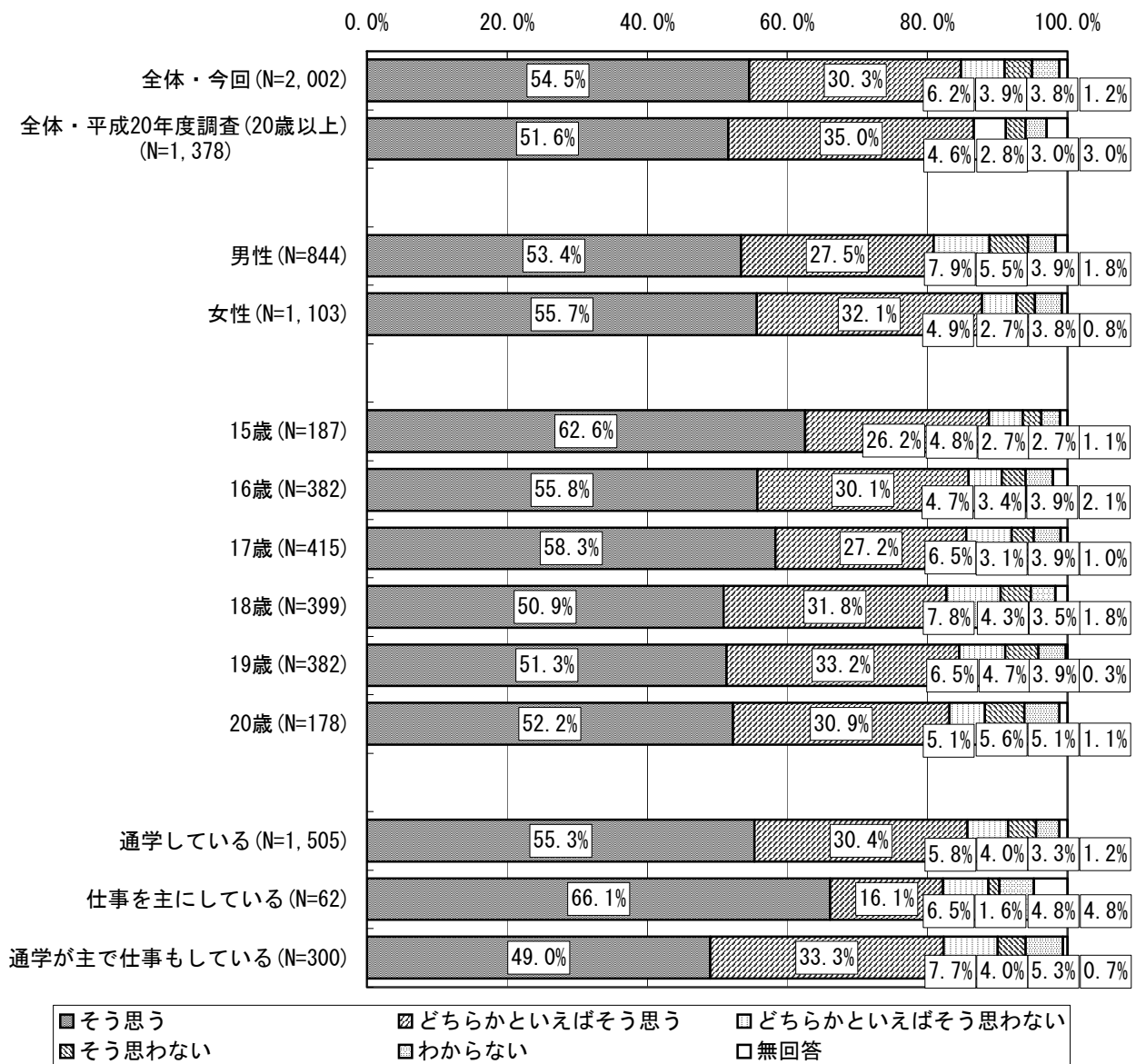
性別にみると、男女ともに否定的意識が半数以上を占め、肯定的意識に比べて多い。

年齢別にみると、各年齢とも否定的意識が肯定的意識に比べて多いが、15歳・17歳・19歳では半数以上を占め、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が39.4%で最も多く、否定的意識は仕事を主にしている人が54.8%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識も仕事を主にしている人が29.0%で最も多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」



「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が86.6%、今回が84.8%で大差はない。

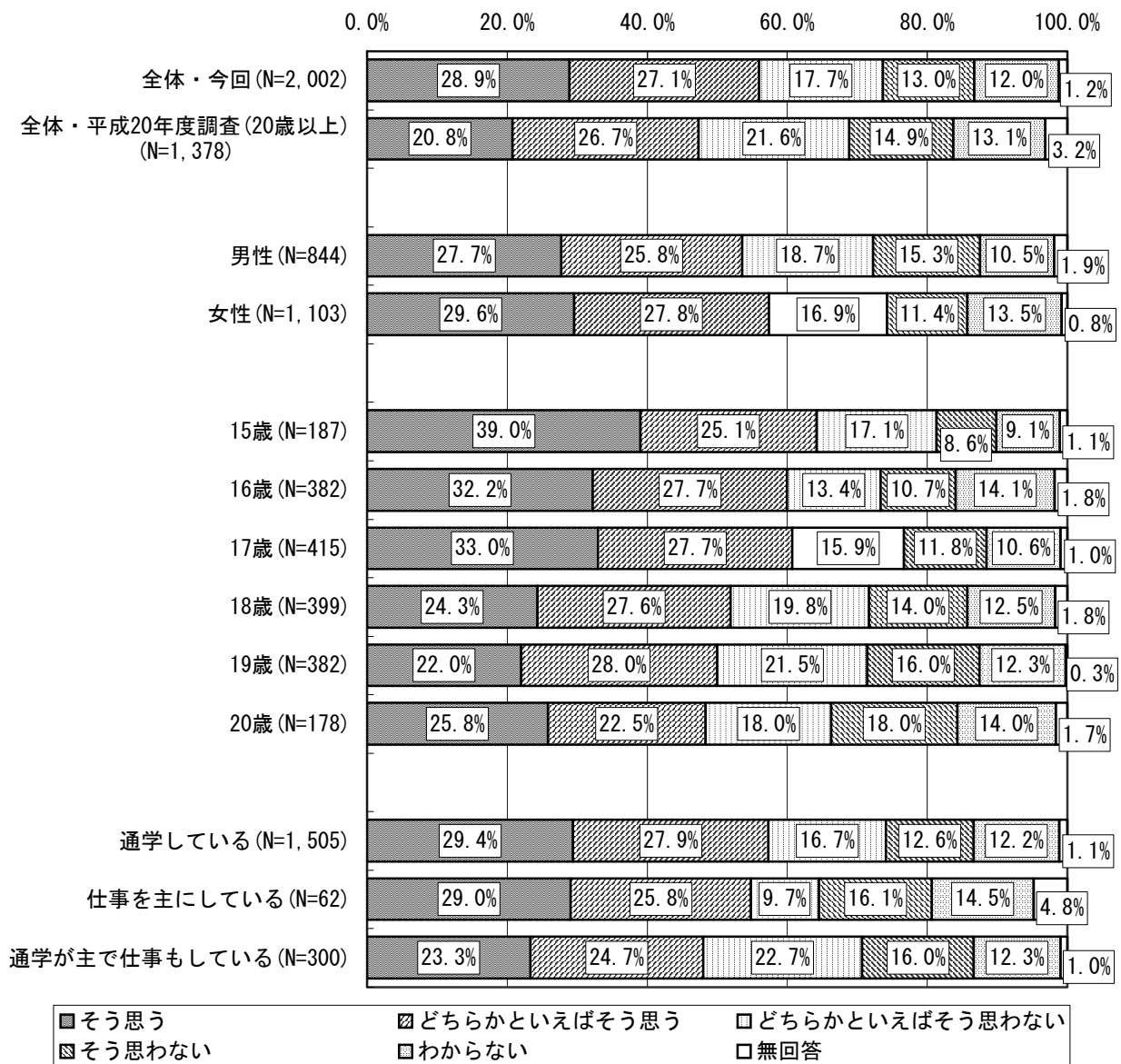
性別にみると、肯定的意識は女性（87.8%）が男性（80.9%）に比べて6.9ポイント多いが、「そう思う」という強い肯定的意識は男女ともに50%台となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は15歳が88.8%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が85.7%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が11.7%で最も多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が66.1%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて10ポイント以上多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「C. 差別は法律で禁止する必要がある」



「C. 差別は法律で禁止する必要がある」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が47.5%、今回が56.0%で8.5ポイント多く、特に「そう思う」という強い肯定的意識は8.1ポイント多い。否定的意識は平成20年度調査が36.5%、今回が30.7%で5.8ポイント少ない。

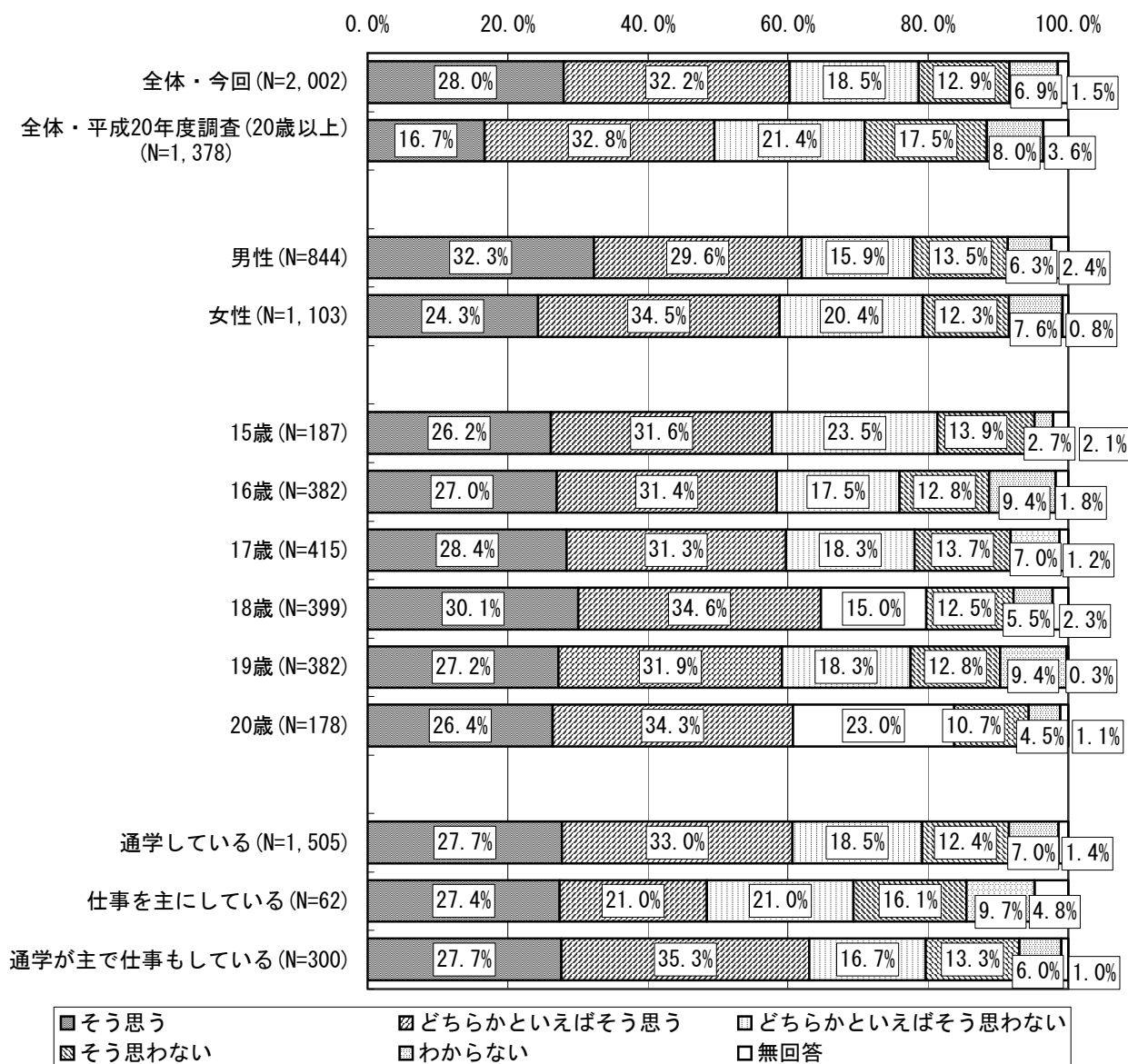
性別にみると、肯定的意識は女性が57.4%、男性が53.5%で3.9ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、肯定的意識は年齢が低いほど多い傾向となっており、18歳以上では50%前後であるのに対し、17歳以下では50%台後半～60%台半ばと多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が57.3%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が38.7%で最も多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」



「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が49.5%、今回が60.2%で10.7ポイント多く、特に「そう思う」という強い肯定的意識が11.3ポイント多い。否定的意識は平成20年度調査が38.9%、今回が31.4%で7.5ポイント少ない。

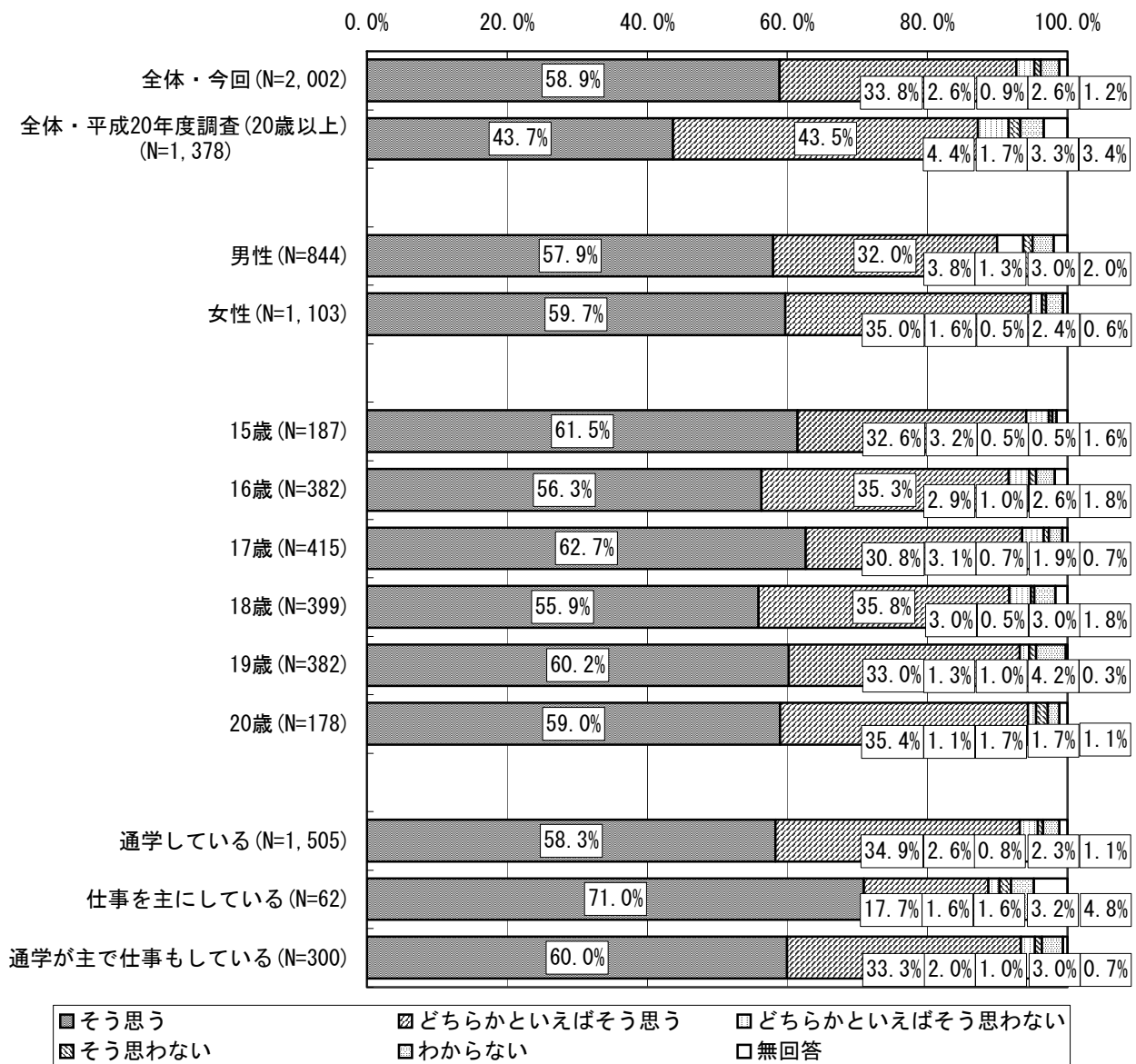
性別にみると、肯定的意識は男性が61.9%、女性が58.8%で3.1ポイント差となっており、大差はない。「そう思う」という強い肯定的意識は男性（32.3%）が女性（24.3%）に比べて8.0ポイント多い。

年齢別にみると、肯定的意識は18歳が64.7%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が63.0%で最も多い。否定的意識は仕事を主にしている人が37.1%で最も多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」



「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が87.2%、今回が92.7%で5.5ポイント多く、特に「そう思う」という強い肯定的意識は15.2ポイント多い。

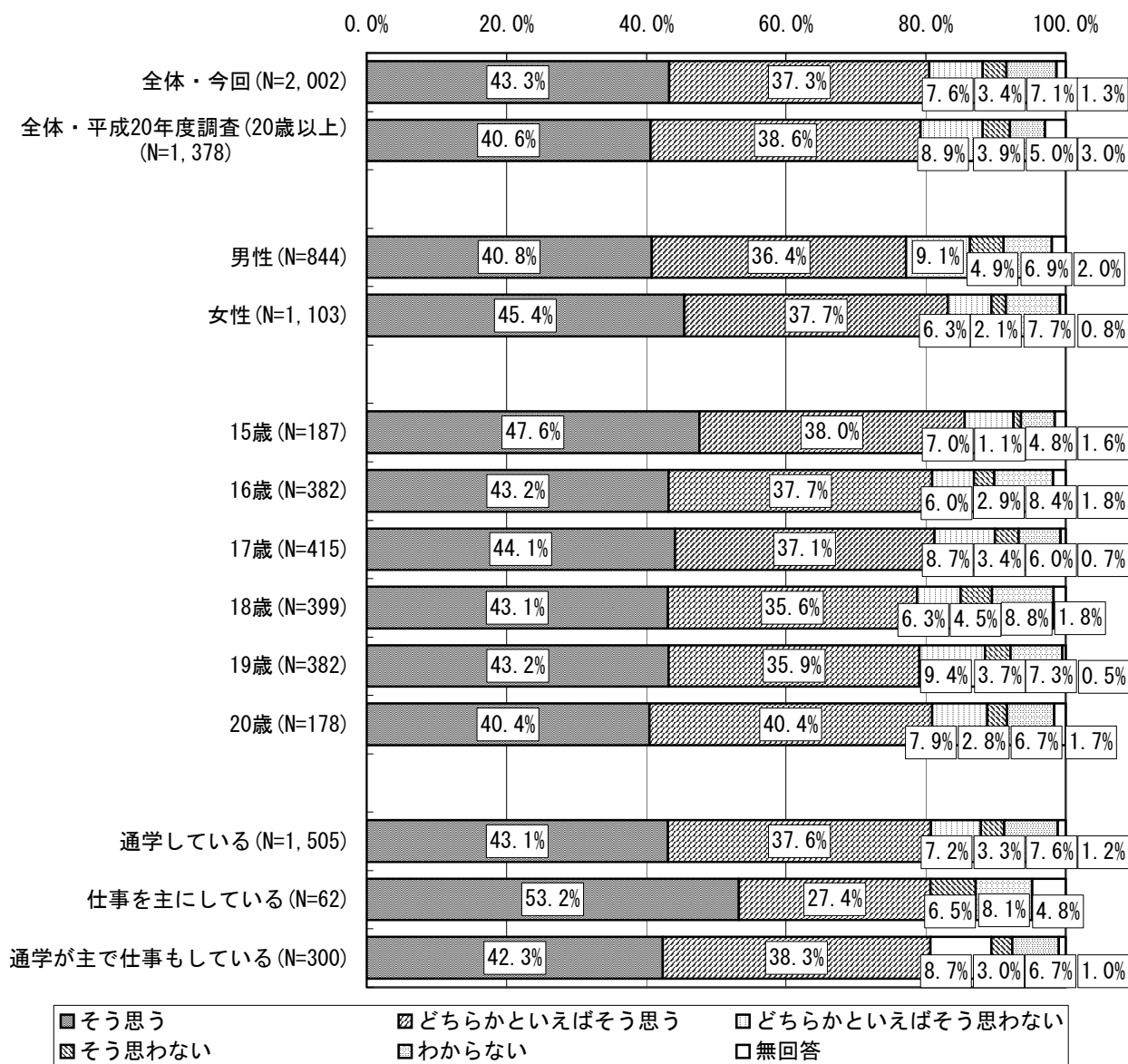
性別にみると、肯定的意識は女性（94.7%）が男性（89.9%）に比べて4.8ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも肯定的意識が90%以上を占めており、年齢間での大差はない。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が93.3%で最も多く、次いで、通学している人が93.2%、仕事を主にしている人が88.7%となっており、就労・就学状況にかかわらず90%前後となっている。「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が71.0%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて10ポイント以上多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」



「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が79.2%、今回が80.6%で大差はない。

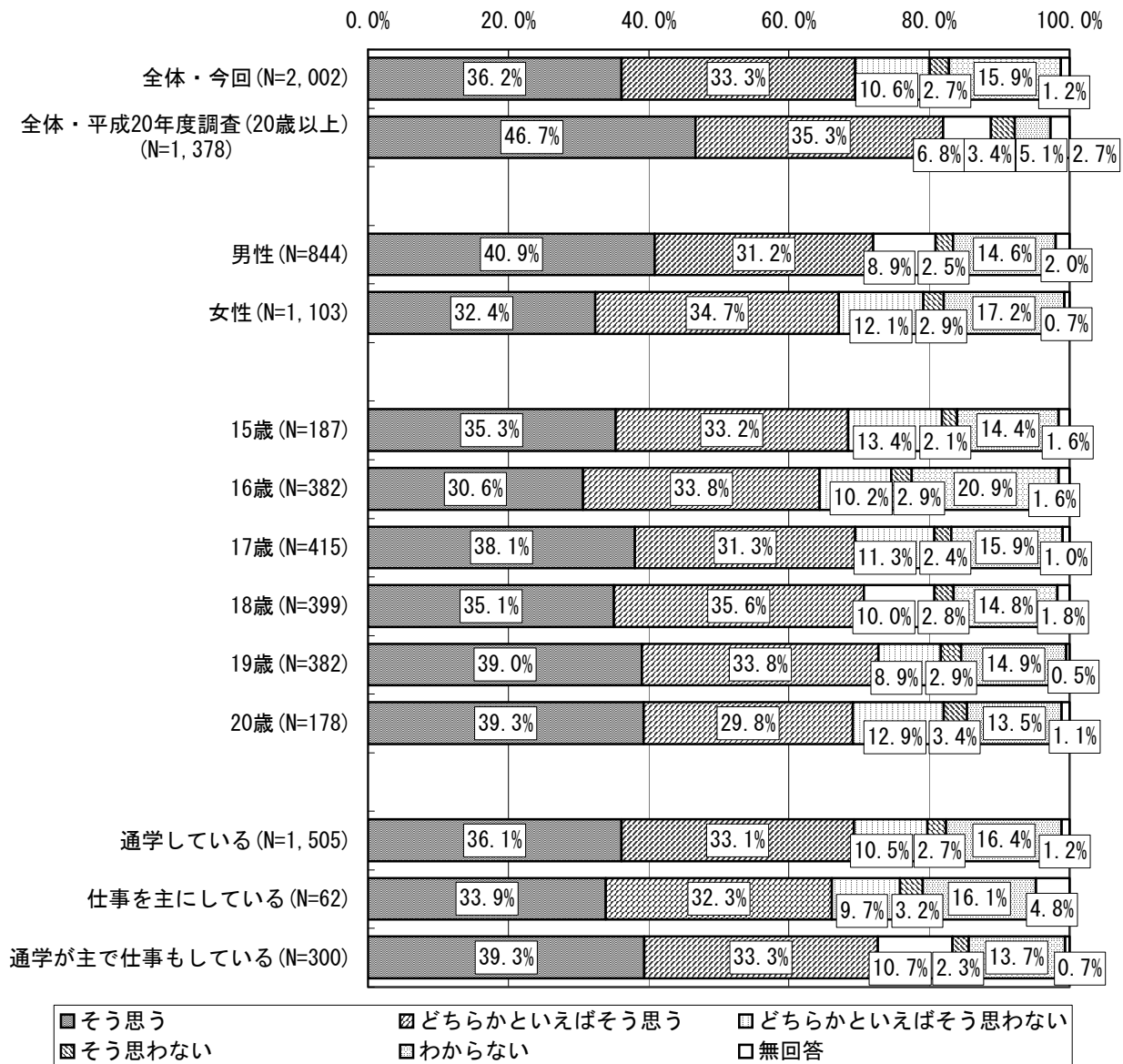
性別にみると、肯定的意識は女性（83.1%）が男性（77.2%）に比べて5.9ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも肯定的意識は70%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が80.7%、仕事を主にしている人と通学が主で仕事もしている人ではともに80.6%となっており、就労・就学状況にかかわらずほぼ同率となっている。「そう思う」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が53.2%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて10ポイント以上多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」



「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が82.0%、今回が69.5%で12.5ポイント少なく、特に「そう思う」という強い肯定的意識は10.5ポイント少ない。

性別にみると、肯定的意識は男性（72.1%）が女性（67.1%）に比べて5.0ポイント多い。また、「そう思う」という強い肯定的意識も男性（40.9%）が女性（32.4%）に比べて8.5ポイント多い。

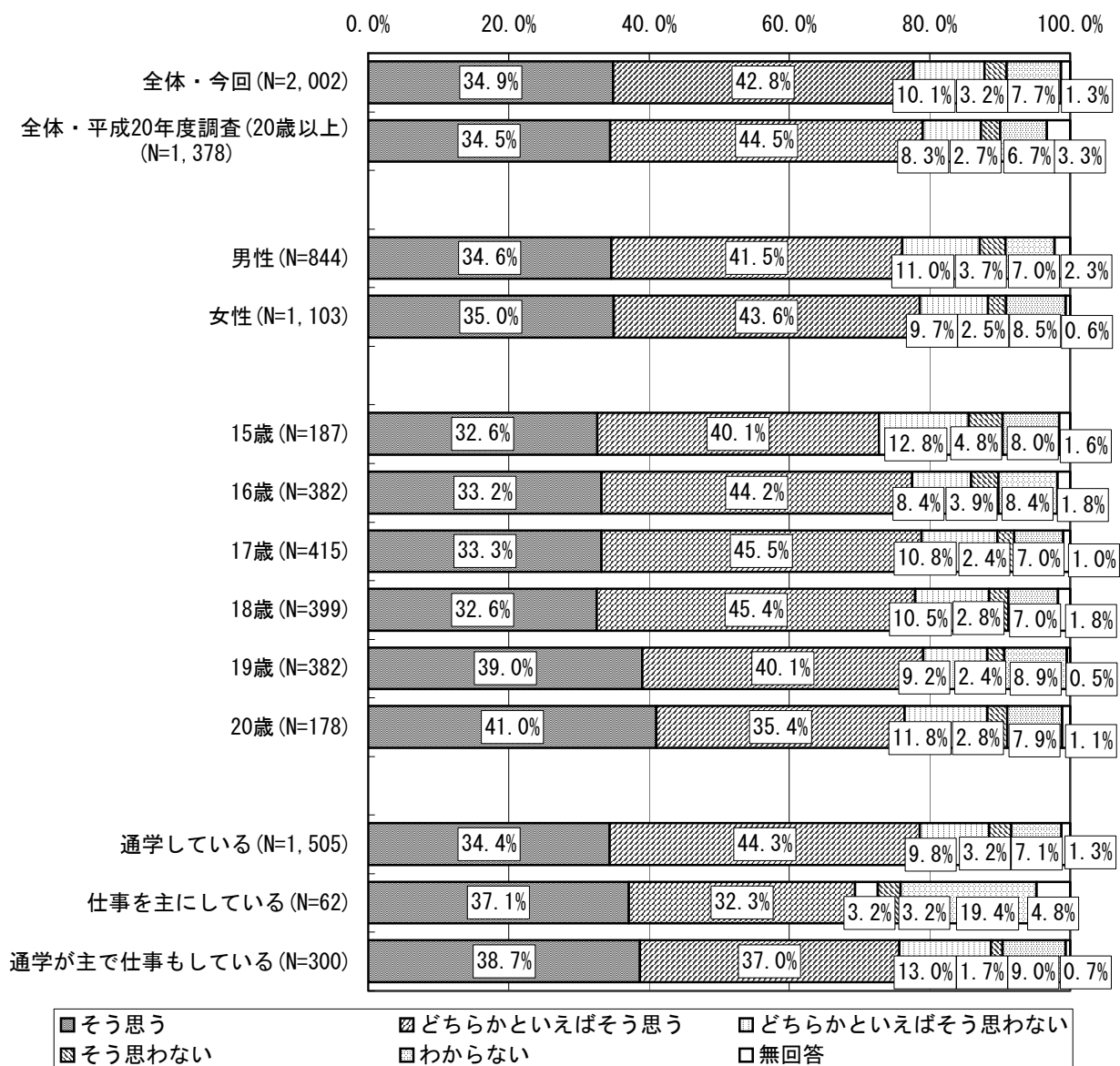
年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「そう思う」という強い肯定的意識は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学が主で仕事もしている人が72.6%で最も多い。否定的意識は通学している人が13.2%、通学が主で仕事もしている人が13.0%、仕事を主にしている人が12.9%となっており、就労・就学状況による大差はない。



図表 人権・差別に対する意識・考え方

「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」



「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が79.0%、今回が77.7%で大差はない。

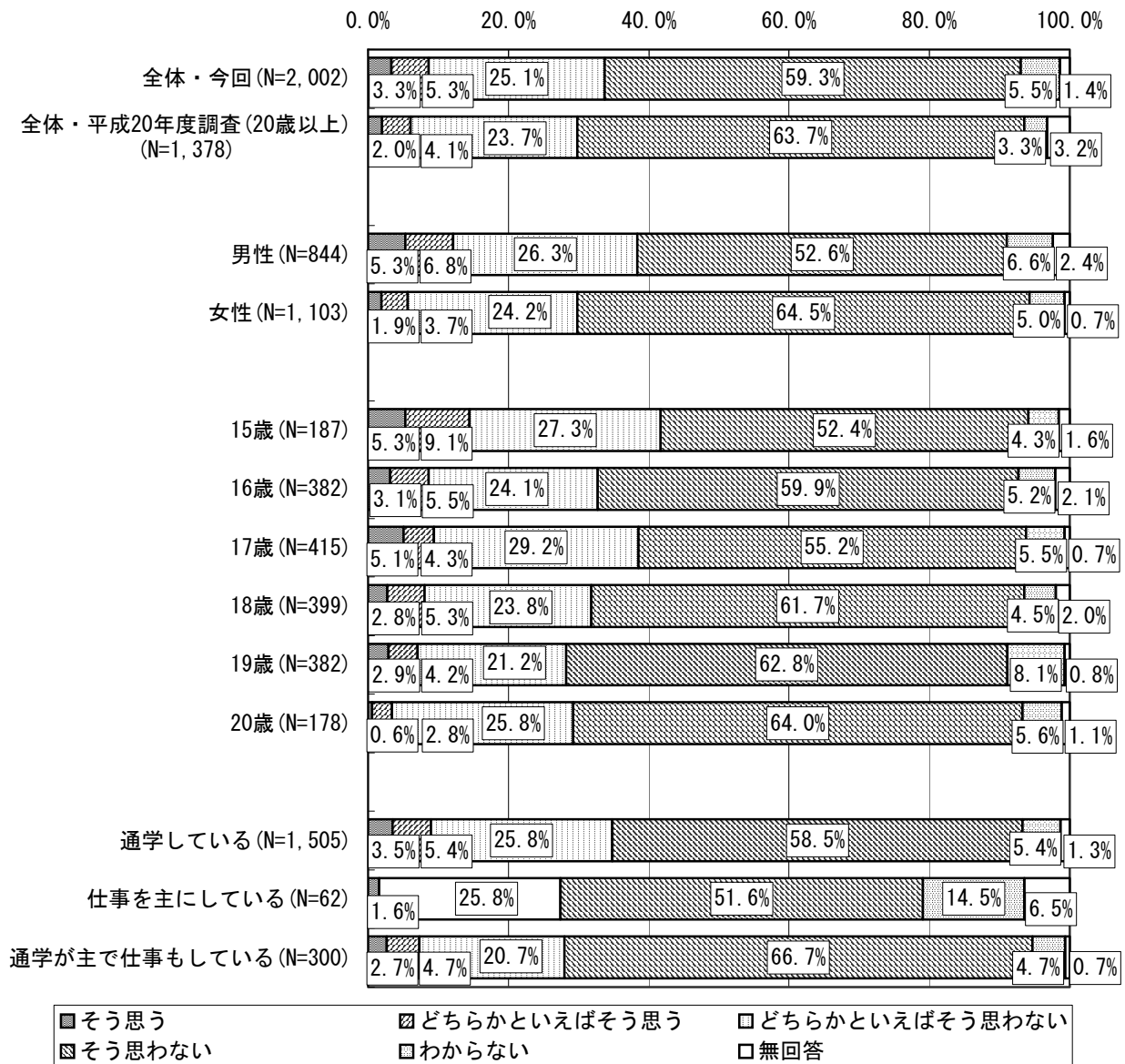
性別にみると、肯定的意識は女性が78.6%、男性が76.1%で2.5ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、15歳～18歳では「そう思う」という強い肯定的意識は30%台前半であるのに対し、19歳と20歳では約40%となっており、年齢間での差がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が78.7%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が14.7%で最も多い。また、仕事を主にしている人では「わからない」が19.4%と特に多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」



「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」について、平成20年度調査と比較すると、否定的意識は平成20年度調査が87.4%、今回が84.4%で大差はない。

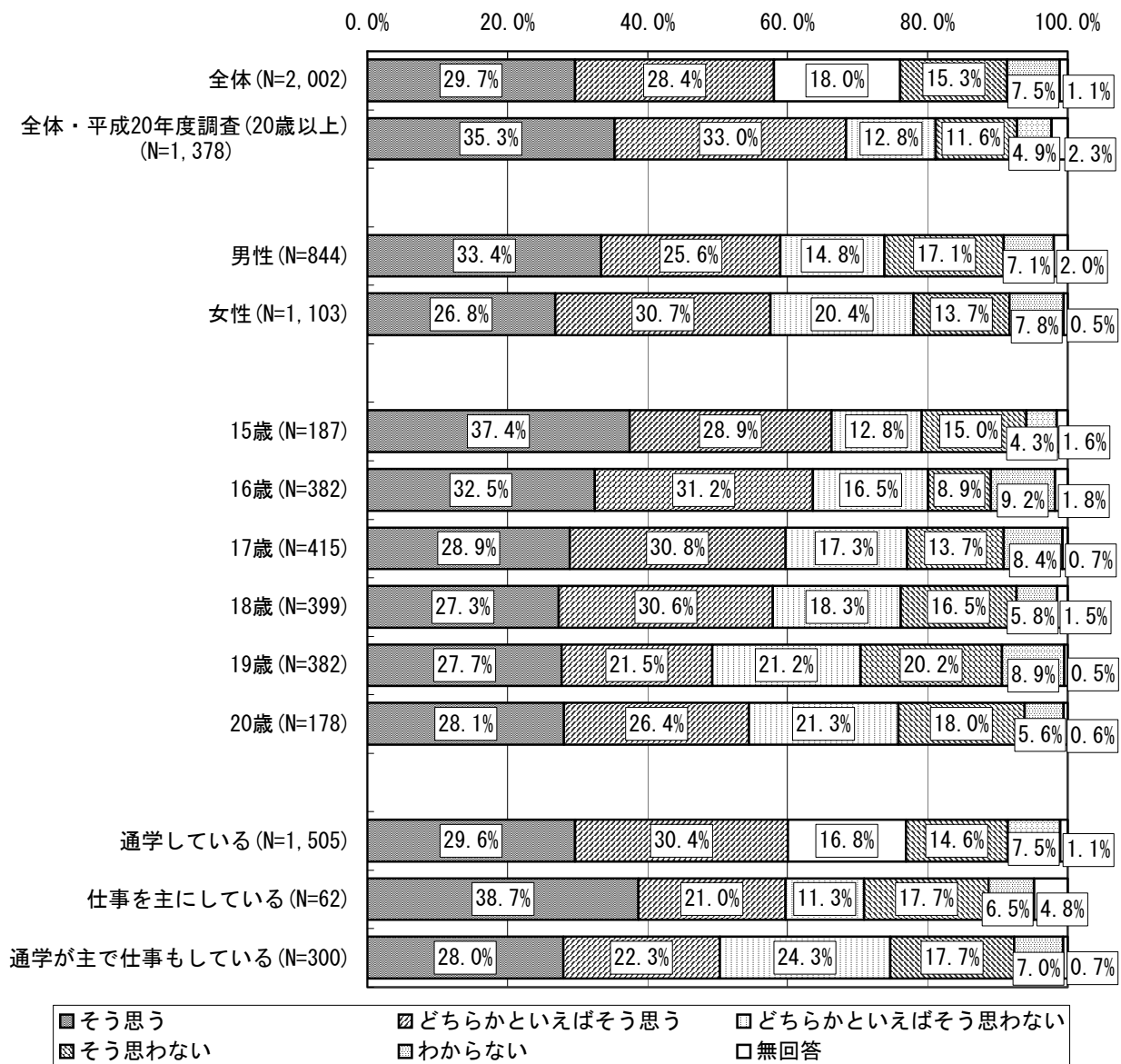
性別にみると、否定的意識は女性（88.7%）が男性（78.9%）に比べて9.8ポイント多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識は女性（64.5%）が男性（52.6%）に比べて11.9ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、否定的意識は年齢が高いほど多い傾向がみられ、18歳以上では「そう思わない」という強い否定的意識が60%以上を占め、17歳以下に比べてやや多い。

就労・就学状況別にみると、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が87.4%で最も多い。また、「そう思わない」という強い否定的意識は通学が主で仕事もしている人が66.7%で最も多い。仕事を主にしている人では「わからない」が14.5%と特に多い。

図表 人権・差別に対する意識・考え方

「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」



「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」について、平成20年度調査と比較すると、肯定的意識は平成20年度調査が68.3%、今回が58.1%で10.2ポイント少ない。否定的意識は平成20年度調査が24.4%、今回が33.3%で8.9ポイント多い。

性別にみると、肯定的意識は男性が59.0%、女性が57.5%で1.5ポイント差となっており、大差はない。

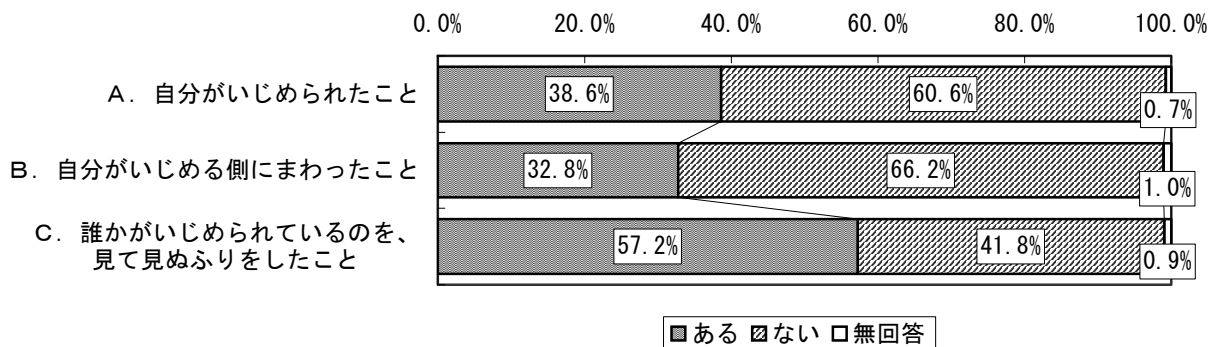
年齢別にみると、肯定的意識は15歳が66.3%で最も多く、顕著な傾向ではないが、19歳以下では肯定的意識は年齢が低いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、肯定的意識は通学している人が60.0%で最も多く、否定的意識は通学が主で仕事もしている人が42.0%で最も多い。また、「I think so」という強い肯定的意識は仕事を主にしている人が38.7%で最も多い。

## 第2章 自身のいじめや人権侵害に関する経験について

問4 あなたは、これまでにいじめを体験したことがありますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまるものどちらか1つだけを選び、その番号に○をつけてください。

図表 いじめの体験の有無



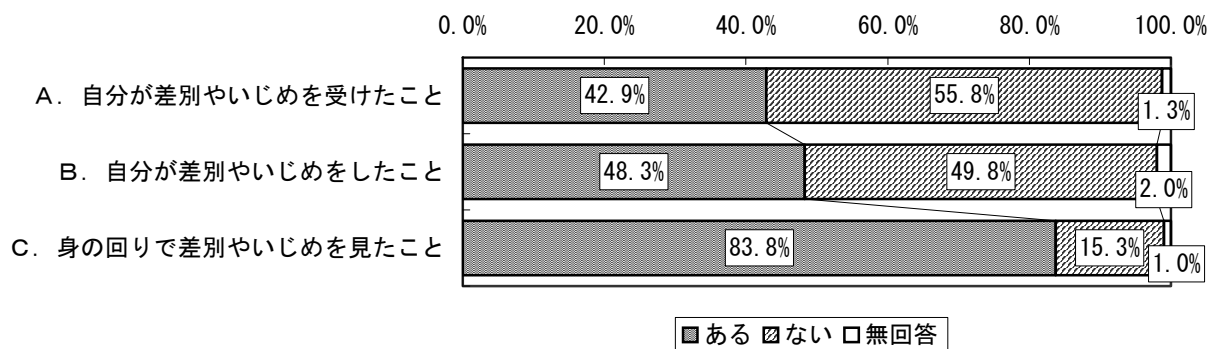
いじめの体験の有無をたずねたところ、「A. 自分がいじめられたこと」については、「ない」が60.6%、「ある」が38.6%となっている。

「B. 自分がいじめる側にまわったこと」については、「ない」が66.2%、「ある」が32.8%となっている。

「C. 誰かがいじめられているのを、見て見ぬふりをしたこと」については、「ある」が57.2%、「ない」が41.8%となっている。

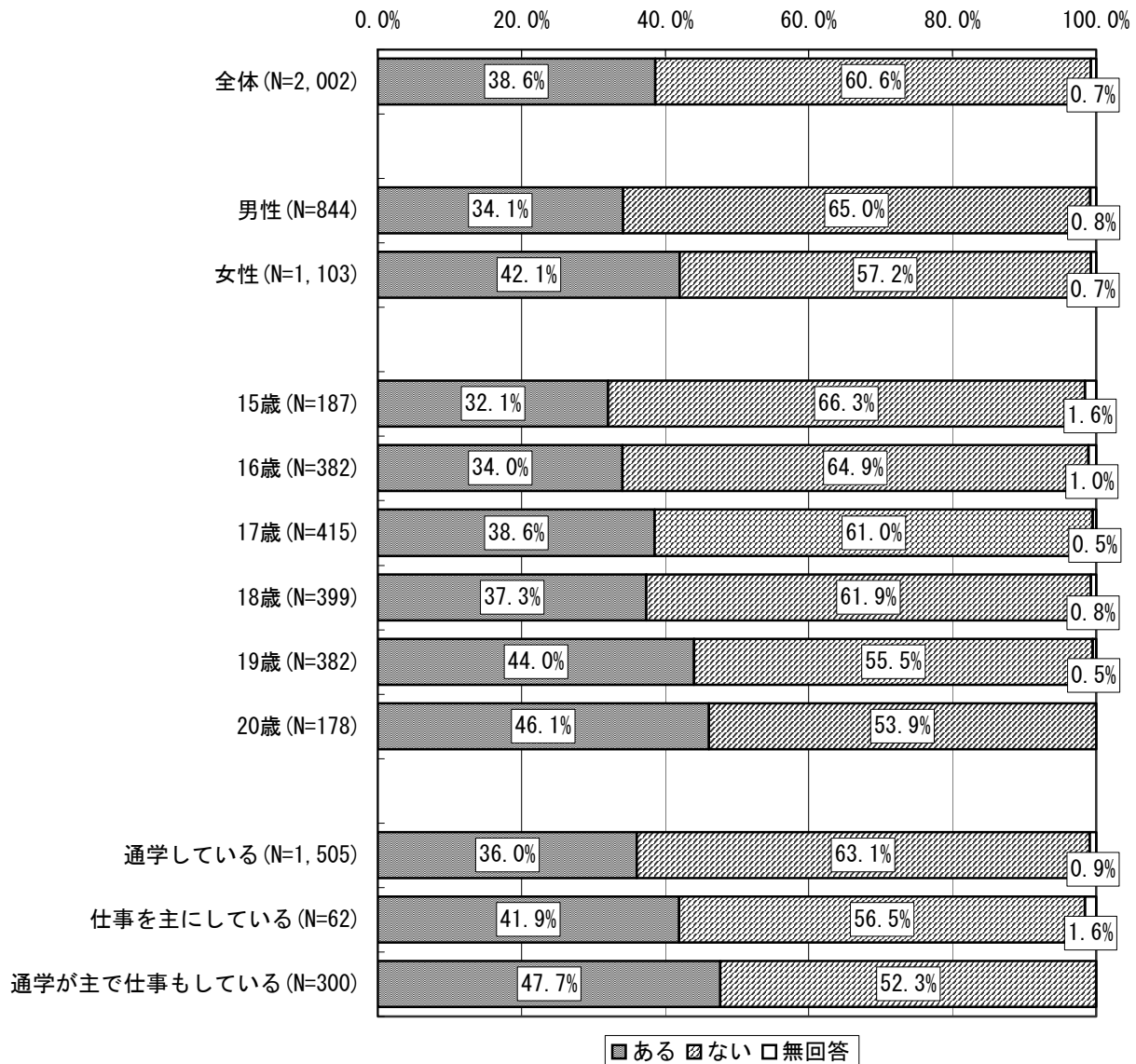
《参考：2004年度人権問題に関する高校生意識調査》

図表 いじめの体験の有無



※資料：「2004年度人権問題に関する高校生意識調査 報告書」P.15～P.17（奈良県高等学校人権教育研究会、くらしと環境研究委員会、平成17年3月）

図表 いじめの体験の有無 「A. 自分がいじめられたこと」

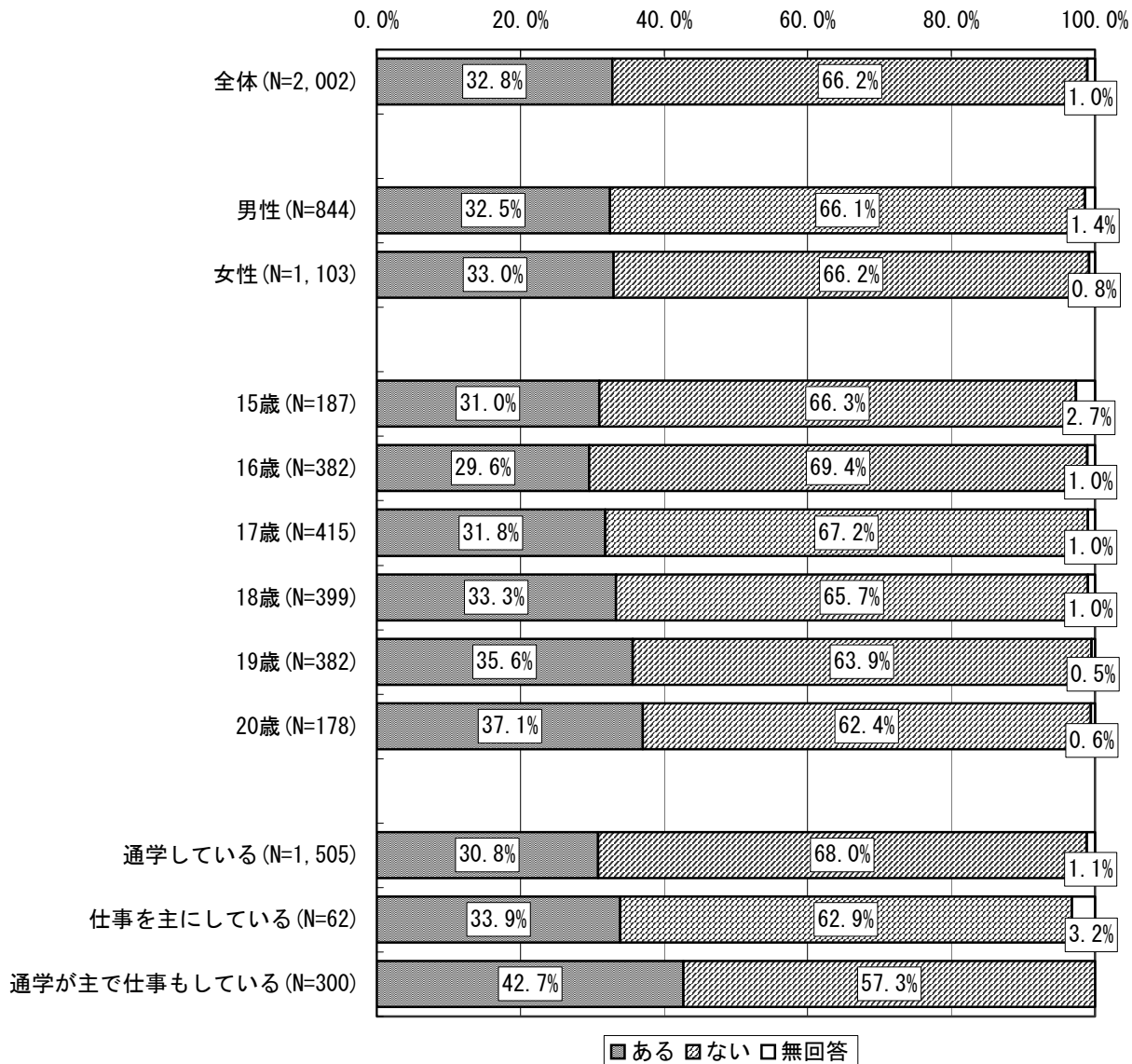


「A. 自分がいじめられたこと」について、性別にみると、いじめられたことが「ある」は女性（42.1%）が男性（34.1%）に比べて8.0ポイント多い。

年齢別にみると、いじめられたことが「ある」は年齢が高いほど多い傾向がみられ、19歳以上では40%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、いじめられたことが「ある」は通学が主で仕事もしている人が47.7%で最も多いが、就労・就学状況にかかわらず「ない」が半数以上を占めている。

図表 いじめの体験の有無 「B. 自分がいじめられる側にまわったこと」

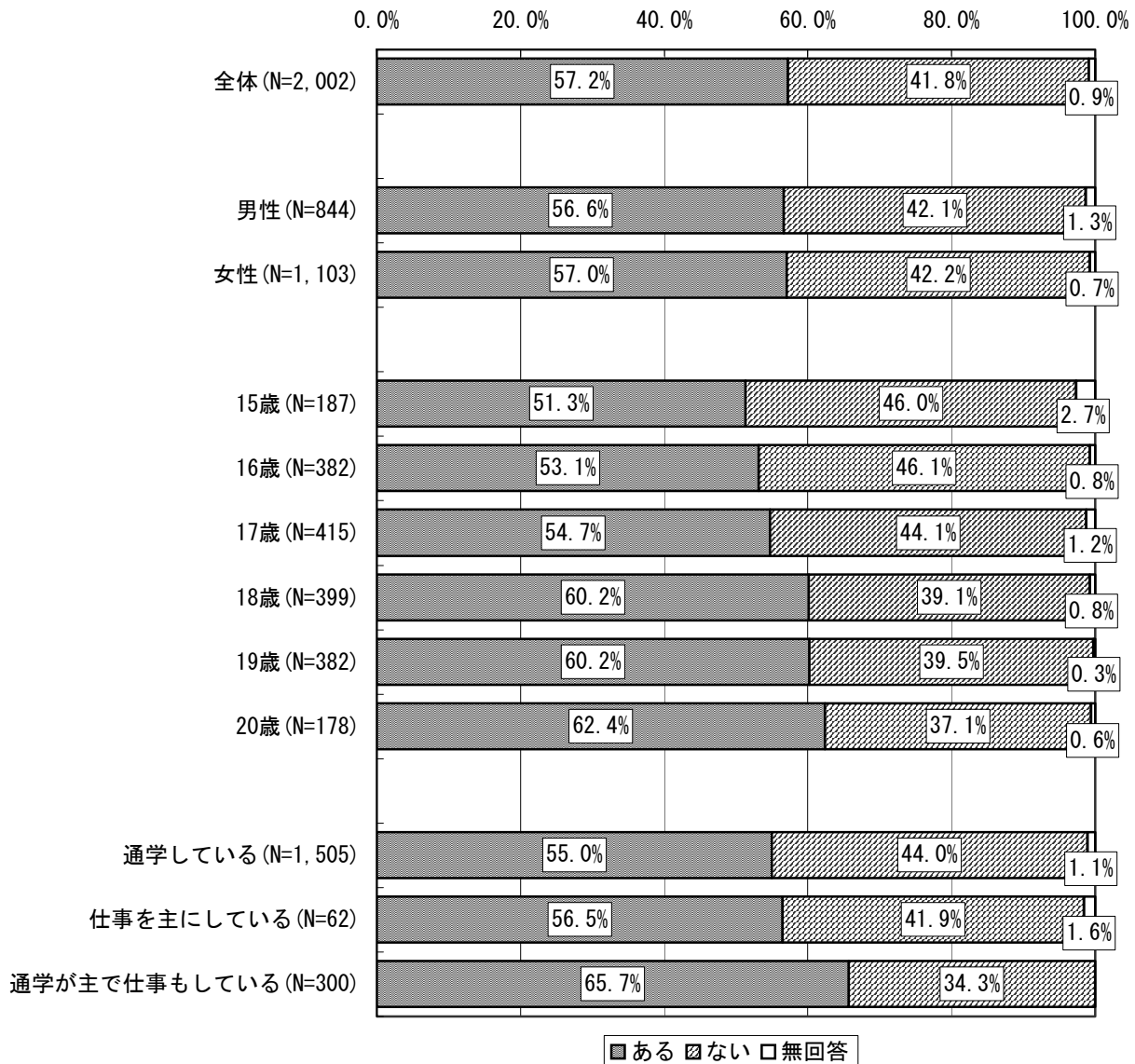


「B. 自分がいじめられる側にまわったこと」について、性別にみると、いじめられる側にまわったことが「ある」は男性が32.5%。女性が33.0%で0.5ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、いじめられる側にまわったことが「ある」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、いじめられる側にまわったことが「ある」は通学が主で仕事もしている人が42.7%で最も多く、他の就労・就学状況が30%台であるのに比べて多い。いじめられる側にまわったことが「ない」は通学している人が68.0%で最も多い。

図表 いじめの体験の有無 「C. 誰かがいじめられているのを、見て見ぬふりをしたこと」



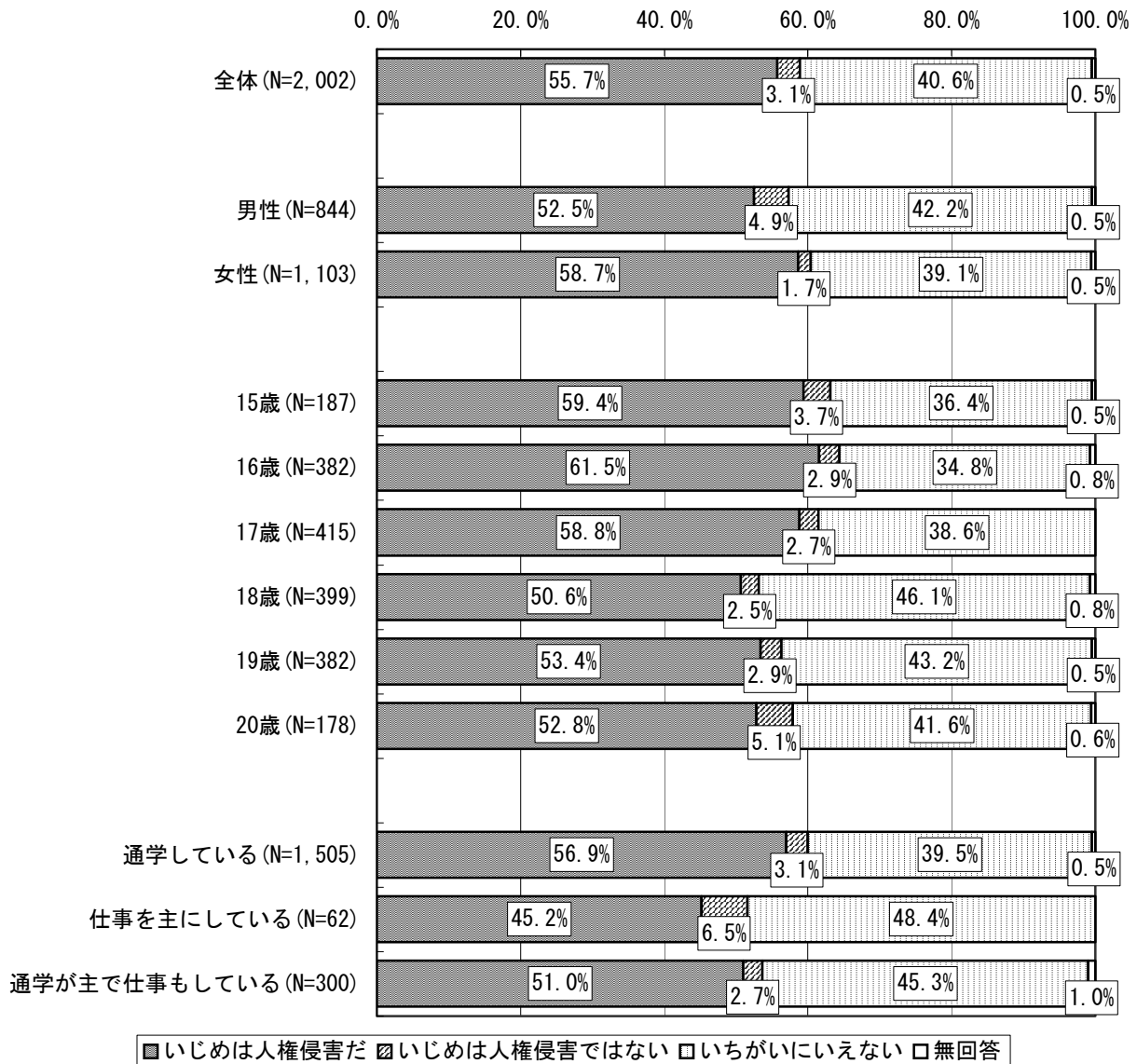
「C. 誰かがいじめられているのを、見て見ぬふりをしたこと」について、性別にみると、見て見ぬふりをしたことが「ある」は女性が57.0%、男性が56.6%となっており、男女ともに半数以上を占めている。

年齢別にみると、見て見ぬふりをしたことが「ある」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、見て見ぬふりをしたことが「ある」は通学が主で仕事もしている人が65.7%で最も多く、他の就労・就学状況が50%台であるのに比べて多い。

問5 あなたは、いじめを人権侵害だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 いじめを人権侵害だと思うか



いじめを人権侵害だと思うかをたずねたところ、「いじめは人権侵害だ」が55.7%で最も多く、以下、「いちがいにいえない」が40.6%、「いじめは人権侵害ではない」が3.1%となっている。

性別にみると、「いじめは人権侵害だ」は女性（58.7%）が男性（52.5%）に比べて6.2ポイント多い。

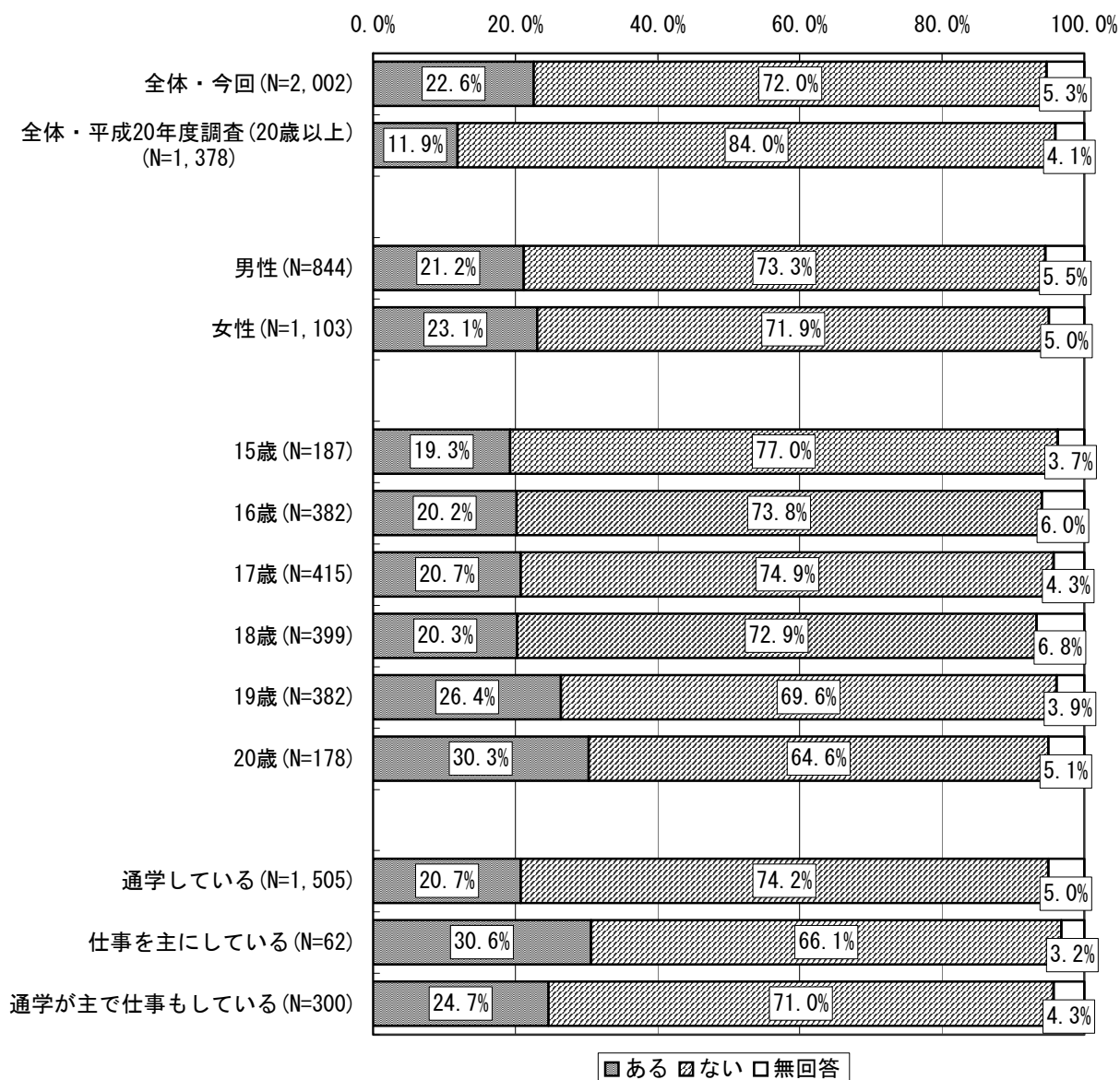
年齢別にみると、「いじめは人権侵害だ」は15歳～17歳では約60%となっており、18歳以上が50%台前半であるのに比べて多い。逆に、「いちがいにいえない」は18歳以上では40%以上を占め、17歳以下が30%台であるのに比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「いじめは人権侵害だ」は通学している人が56.9%で最も多く、次いで、通学が主で仕事もしている人が51.0%となっており、それぞれ半数以上を占めている。「いじめは人権侵害ではない」は仕事を主にしている人が6.5%で最も多い。「いちがいにいえない」は仕事を主にしている人と通学が主で仕事もしている人では40%以上を占めている。



問6 あなたは、過去に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものどちらか1つだけを選び、その番号に○をつけてください。

図表 過去に自分の人権が侵害されたと思った経験の有無



※平成20年度調査の設問は「最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか」であった。

過去に自分の人権が侵害されたと思った経験の有無をたずねたところ、「ない」が72.0%、「ある」が22.6%となっている。

平成20年度調査と比較すると、「ない」は今回が12.0ポイント少なく、「ある」は今回が10.7ポイント多い。

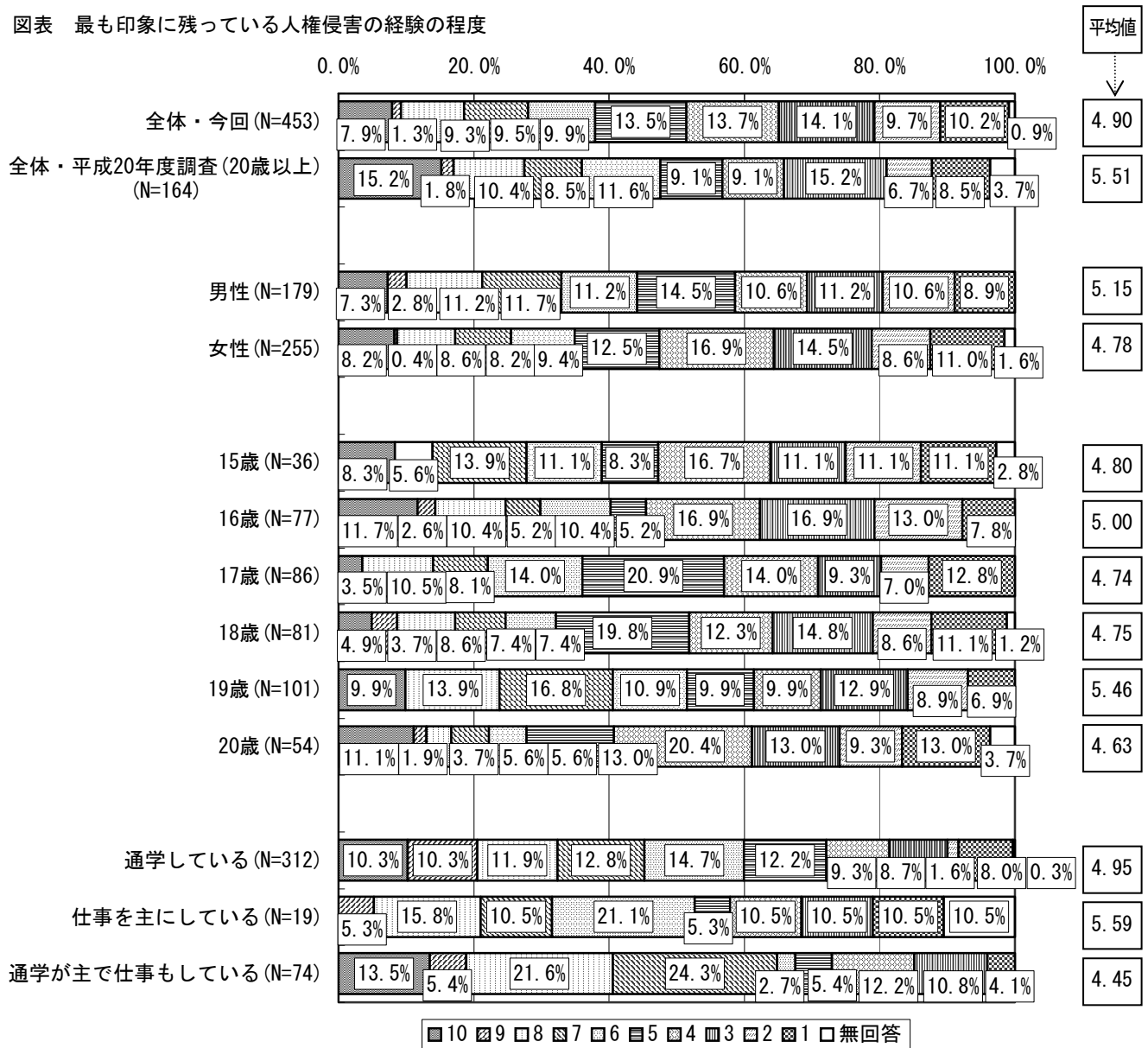
性別にみると、「ない」は男女ともに70%以上を占めているが、「ある」・「ない」ともに男女間での大差はない。

年齢別にみると、19歳以上では「ある」が25%以上を占め、18歳以下が約20%であるのに比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「ない」は通学している人が74.2%で最も多く、通学が主で仕事もしている人も71.0%で70%以上を占めている。

問6-1 問6で「1. ある」と回答された方におたずねします。あなたにとって最も印象に残っている人権侵害の経験は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。法的に訴える必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる度合いの数字を1つだけ選び、○をつけてください。

図表 最も印象に残っている人権侵害の経験の程度



過去に人権を侵害された経験がある人に対して、最も印象に残っている人権侵害の経験の程度(1(軽度の人権侵害)～10(重大な人権侵害)の数値)をたずねたところ、全体の平均値は4.90となっている。「1」～「3」の比較的低度の人権侵害だと考えている人が34.0%、「4」～「7」の中程度の人権侵害だと考えている人が46.6%、「8」～「10」の比較的重大な人権侵害だと考えている人が18.5%となっている。

平成20年度調査と比較すると、平成20年度調査の全体の平均値(5.51)に比べて0.61ポイント少ない。

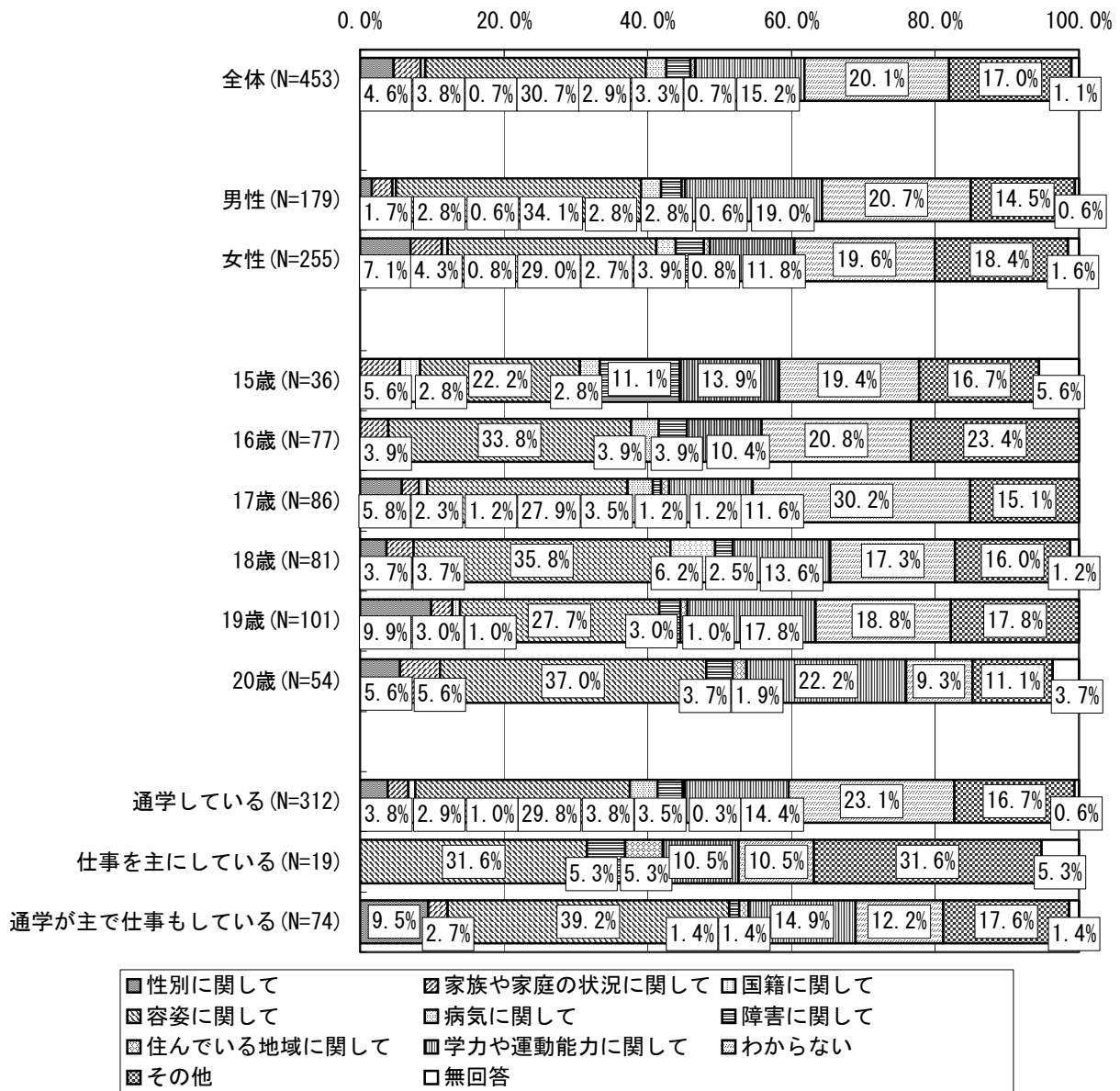
性別にみると、平均値は男性が5.15、女性が4.78となっている。

年齢別にみると、平均値が最も高いのは19歳(5.46)で、最も低いのは20歳(4.63)となっている。

就労・就学状況別にみると、平均値は仕事を主にしている人が5.59で最も高く、以下、通学している人が4.95、通学が主で仕事もしている人が4.45となっている。

問6-2 問6で「1. ある」と回答された方におたずねします。あなたが経験した人権侵害は、どのような内容でしたか。最も印象に残っているものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 経験した人権侵害の内容



過去に人権を侵害された経験がある人に対して、経験した人権侵害の内容をたずねたところ、「わからない」と「その他」を除くと、「容姿に関して」が30.7%で最も多く、次いで、「学力や運動能力に関して」が15.2%となっている。

性別にみると、男女ともに「容姿に関して」が最も多く、次いで、「学力や運動能力に関して」となっているが、いずれも男性が女性に比べて多い。また、「性別に関して」は男性が1.7%、女性が7.1%となっている。

年齢別にみると、「容姿に関して」は20歳が37.0%で最も多く、16歳と18歳も30%以上を占めており、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「容姿に関して」は就労・就学状況にかかわらず最も多く、通学が主で仕事もしている人が39.2%で最も多い。仕事を主にしている人が31.6%、通学している人が29.8%となっている。

＜選択肢「その他」の具体的な回答内容＞

- 自分の物を物色される。
- 一人でいたから。
- ひがまれていた。
- 会話中、冗談半分で死ねと言われた。
- 行動の制限
- いじめる人の気まぐれ
- 交換日記を生徒指導に見せられ、その内容について生徒指導に言いふらされ、笑いものにされた。
- 趣味に関して
- 死ねという書き込みをされた。
- 考え方に関して
- 感受性に関して
- 思考・意志
- 部活の勝歴に関してねたまれて。
- 塾の先生に存在がムダと言われた。
- 名前で呼んでももらえない。番号で呼ばれました。
- DV
- 自分の趣味を不特定多数の人の前でさらされて、馬鹿にされた。
- 性格に関して
- 仲間はずれ
- 生まれてこなければよかったと言われた。
- 意見を言えなくされた。
- 人間として
- 歴史認識について
- 人格・能力
- 産まれた意味
- 上下関係
- 性格や存在
- 行動が障害者みたいと言われた。
- 同和地区の人は税金を納めていない。車の免許の助成金等、逆差別！！
- 行動選択
- 暴言
- いじめ
- 外見や性格
- 名前に関して
- 流産する時、助けてもらえなかった。
- 嫉妬心
- 教師から一方的に
- 性的な内容に関して
- 過去の失敗
- 存在
- 友人関係
- 泥棒扱い
- ウソの噂を流されて
- 親友に関して
- 性格・個性に対して
- 集中的に

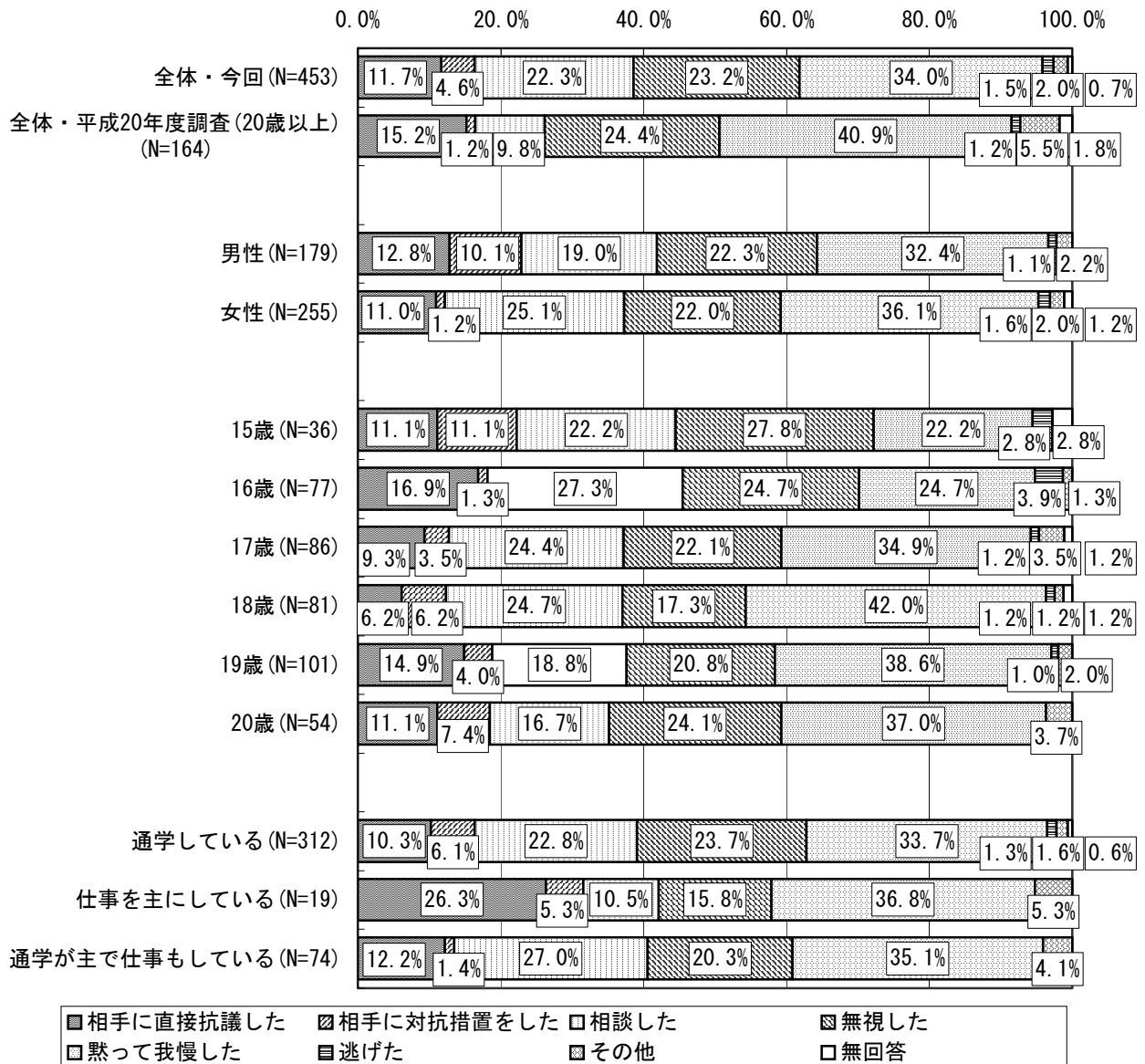
＜設問選択肢を複数選んで回答していたものの回答ケース＞

- 容姿に関して／住んでいる地域に関して／学力や運動能力に関して
- 容姿に関して／学力や運動能力に関して（同意見合計9件）
- 性別に関して／家族や家庭の状況に関して／住んでいる地域に関して
- 病気に関して／学力や運動能力に関して
- 性別に関して／家族や家庭の状況に関して／容姿に関して
- 性別に関して／国籍に関して
- 家族や家庭の状況に関して／住んでいる地域に関して

※本設問は単数回答設問だが、複数回答されたケースが多数みられたため、当該回答は「その他」として集計した。

問6-3 問6で「1. ある」と回答された方におたずねします。そのとき、あなたはどのように対応しましたか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 過去に人権を侵害されたとき、どのように対応したか



※平成20年度調査にあった選択肢「訴えた」は、平成20年度調査の「その他」に含めて集計しなおした。

過去に人権を侵害された経験がある人に対して、人権侵害をされたときどのように対応したかをたずねたところ、「黙って我慢した」が34.0%で最も多く、以下、「無視した」が23.2%、「相談した」が22.3%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、「黙って我慢した」は今回が6.9ポイント少なく、「相談した」は今回が12.5ポイント多い。

性別にみると、男女ともに「黙って我慢した」が最も多く、次いで、男性では「無視した」、女性では「相談した」となっている。「相談した」は女性（25.1%）が男性（19.0%）に比べて6.1ポイント多い。また、「相手に対抗措置をした」は男性が10.1%、女性が1.2%となっており、男女間での差が8.9ポイントと最も大きい。

年齢別にみると、「黙って我慢した」は15歳と16歳では20%台にとどまっているが、17歳以上では30%以上を占めている。また、「相談した」は19歳と20歳では10%台にとどまっているが、18歳以下では20%以上を占めている。

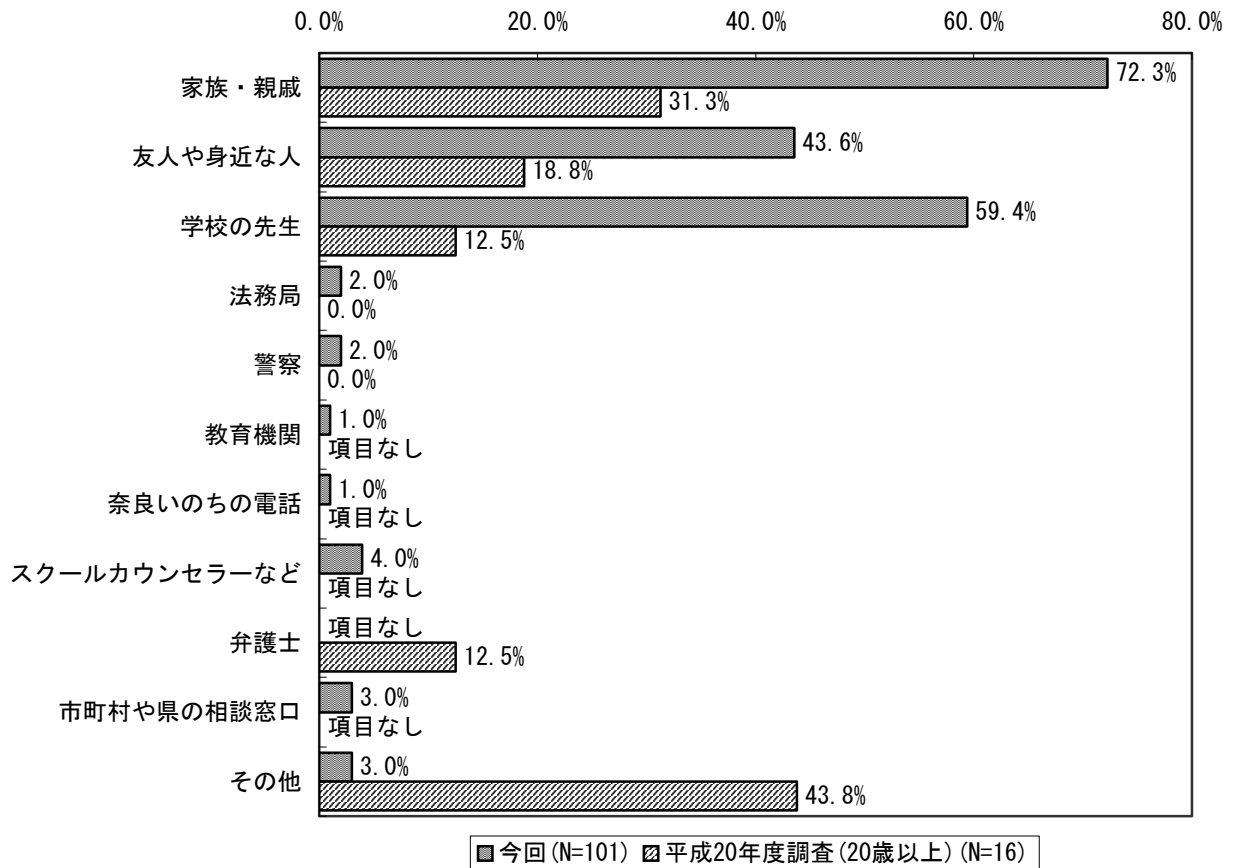
就労・就学状況別にみると、「黙って我慢した」は就労・就学状況にかかわらず最も多く、30%以上を占めている。これに次いで、仕事を主にしている人では「相手に直接抗議した」が26.3%、通学が主で仕事もしている人では「相談した」が27.0%、通学している人では「無視した」が23.7%となっている。

＜選択肢「その他」の具体的な回答内容＞

- パニックになった。
- 学校に行くのをやめた。
- あきらめる。
- 自分自身を変えた。
- 学校の廊下での出来事だったので、見ていた同級生が先生に言ってくれた。
- 笑ってごまかした。
- 不登校になった。

問6-4 問6-3で「3. 相談した」と回答された方におたずねします。そのとき、あなたは誰に相談しましたか。相談した人や機関としてあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

図表 過去に人権を侵害された経験がある人が相談した相手（複数回答）



※選択肢「法務局」・「教育機関」・「奈良いのちの電話」・「スクールカウンセラーなど」は今回調査のみ。選択肢「弁護士」は平成20年度調査のみ。平成20年度調査の選択肢「法務局や人権擁護委員」は今回調査の選択肢「法務局」に位置づけ、同様に「市町村の窓口」は「市町村や県の窓口」に位置づけている。

過去に人権を侵害された経験がある人のうち、誰かに相談した人に対して、その相手をたずねたところ、「家族・親戚」が72.3%で最も多く、以下、「学校の先生」が59.4%、「友人や身近な人」が43.6%などとなっている。

図表 性別、年齢別、就労・就学状況別 過去に人権侵害をされた経験がある人が相談した相手（複数回答）

		有効回答数	家族・親戚	友人や身近な人	学校の先生	法務局	警察	教育機関	話の良いのちの電	スクールなどカウ	市町村や県の相	その他
全体	今回	101	72.3%	43.6%	59.4%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%	4.0%	3.0%	3.0%
	平成20年度調査(20歳以上)	16	31.3%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.8%
性別	男性	34	64.7%	29.4%	61.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%
	女性	64	75.0%	50.0%	57.8%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	4.7%	0.0%	3.1%
年齢別	15歳	8	75.0%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	16歳	21	66.7%	33.3%	61.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%
	17歳	21	66.7%	42.9%	66.7%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳	20	85.0%	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%
	19歳	19	63.2%	57.9%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
	20歳	9	77.8%	33.3%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労・就学状況別	通学している	71	71.8%	38.0%	60.6%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	5.6%	2.8%	2.8%
	仕事を主にしている	2	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	通学が主で仕事もしている	20	65.0%	55.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

性別にみると、男女ともに「家族・親戚」が最も多く、以下、「学校の先生」、「友人や身近な人」などとなっているが、「家族・親戚」や「友人や身近な人」は女性が男性に比べて多く、「学校の先生」は男性が女性に比べて多い。「友人や身近な人」は女性が男性に比べて20.6ポイント多く、男女差が最も大きい。

集計母数が少ない15歳と20歳を除いて年齢別にみると、各年齢とも「家族・親戚」が最も多いが、18歳では85.0%に達している。「友人や身近な人」は年齢が高いほど多い傾向がみられ、18歳と19歳では50%を超えている。

集計母数が少ない仕事を主にしている人を除いて就労・就学状況別にみると、通学している人・通学が主で仕事もしている人ともに「家族・親戚」が最も多く、次いで、通学している人では「学校の先生」、通学が主で仕事もしている人では「友人や身近な人」となっている。

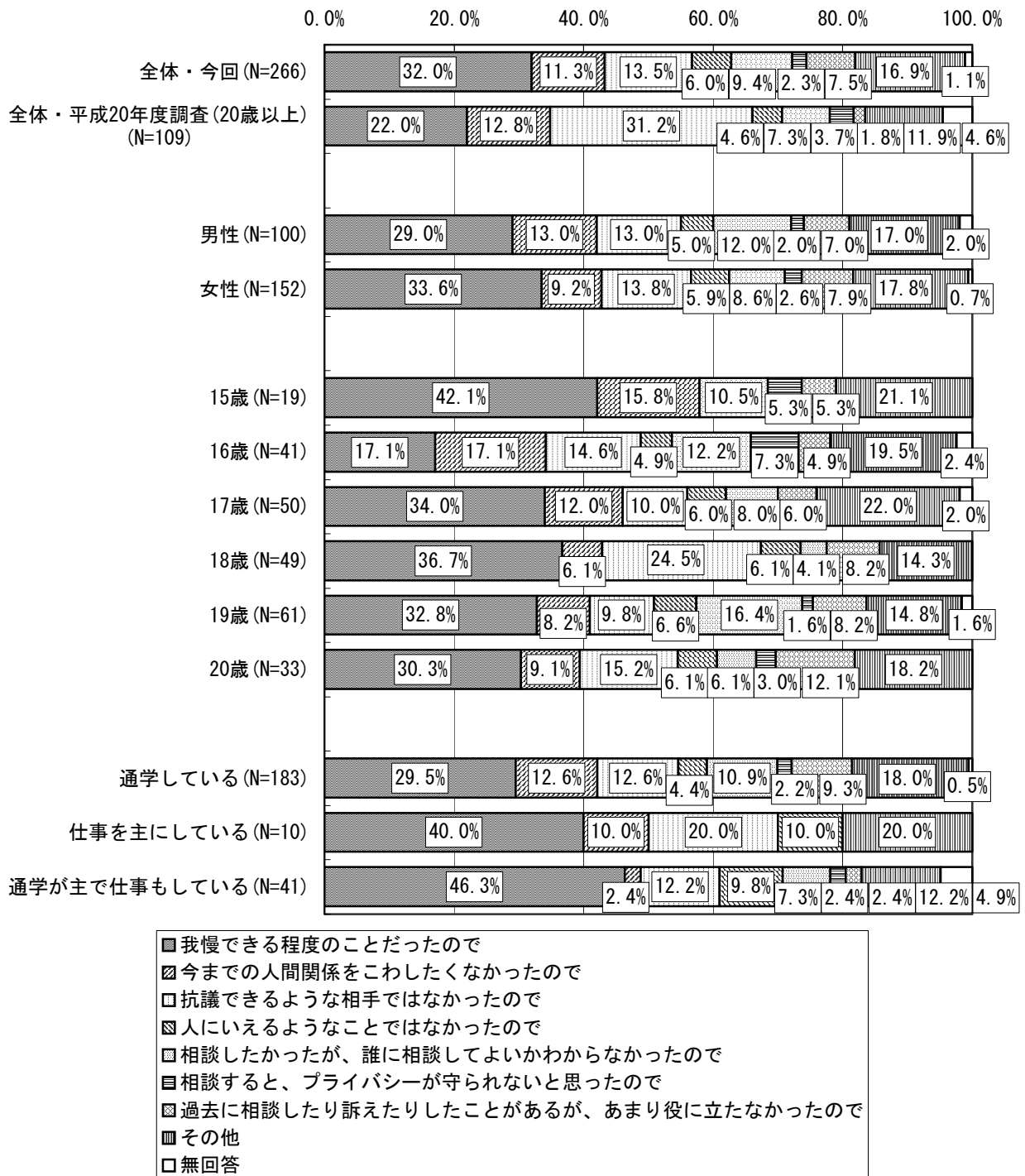
<選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- 私立中学高校の相談窓口
- 医者や習い事の先生
- 言っても無駄だった。



問6-5 問6-3で「4. 無視した」「5. 黙って我慢した」「6. 逃げた」と回答された方におたずねします。あなたがそのように対応された理由は何でしょうか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 過去に人権を侵害された経験がある人が特に対応をしなかった理由



過去に人権を侵害された経験がある人のうち、特に対応をしなかった人に対して、その理由をたずねたところ、「その他」を除くと、「我慢できる程度のことだったので」が32.0%で最も多く、以下、「抗議できるような相手ではなかったのが」13.5%、「今までの人間関係をこわしたくなかったのが」11.3%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、「抗議できるような相手ではなかったの」は今回が17.7ポイント少なく、「我慢できる程度のことだったので」は今回が10.0ポイント多い。

性別にみると、「我慢できる程度のことだったので」は女性(33.6%)が男性(29.0%)に比べて4.6ポイント多く、「今までの人間関係をこわしたくなかったの」は男性(13.0%)が女性(9.2%)に比べて3.8ポイント、「相談したかったが、誰に相談してよいかわからなかったの」は男性(12.0%)が女性(8.6%)に比べて3.4ポイント多いのを除くと、男女間での大差はない。

年齢別にみると、「我慢できる程度のことだったので」は15歳が42.1%で最も多く、「抗議できるような相手ではなかったの」は18歳が最も多く、それぞれ他の年齢との差が大きい。

集計母数が少ない仕事を主にしている人を除いて就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「我慢できる程度のことだったので」が最も多いが、通学している人では29.5%であるのに対し、通学が主で仕事もしている人では46.3%と多い。

#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

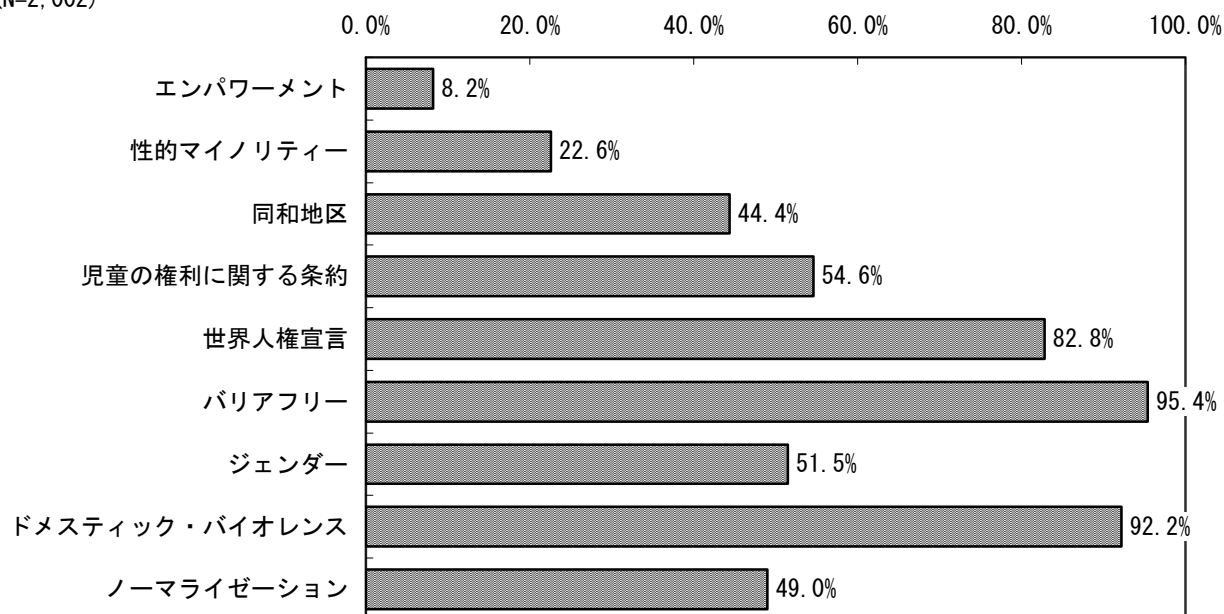
- 怖かったから。
- 1対6人だったから負ける。
- そんなに気にしなかったから。
- 話が平行線のままだったから。
- 言えば傷つくと思ったから。
- 相談して解決することではなかったの。
- 相手にしていたらばかばかしいから。
- 無視していると先生がなんとかしてくれた。
- 子供相手に言ってもムダ。
- 相手がどうしてもよい人だったから。
- 辛かったが、そんな相手のために時間を費やすなら自分の未来を変えようと頑張った。
- 面倒なことになりたくなかった。
- 相手をしていたら自分が疲れるから。
- 言うのが恥ずかしかった。
- 相手がばかばかしかったから。関わったら負けだ。
- 学校の先生だったから。
- 相手にするのが面倒だった。
- 言ったところでどうしようもないのがわかっていたから。
- 誰かに相談しても仕方ないと思ったから。
- 相談できる相手がいなかったの。
- 現時点での人間関係が壊れるのを恐れたため。
- 以前、親に相談したら、「親が出てくる」と周りに言われたことがあるので、我慢するしかなかった。
- 相談するのが怖かったから。
- 学校の先生に相談したが改善されなかった。
- 現実社会がそうだから。
- その人が嫌いだったため、話すのも嫌だった。
- 人間として認めない。救いようのない為、どうすることもできないから放置。
- 相手するだけ無駄だと思った。
- その人は他人の気持ちを考える力がない人で面倒くさかったから。
- 相談してもどうなると思えなかったし、相談できる人等いなかった。
- 相手にしたら面倒くさいから。
- 信じてもらえないし、人事だと思われてしまう。親に言ったら学校に言ってもめ事になるし、余計に言いにくかった。
- 相手を自分より劣っているゴミ野郎だと思ったの。
- 反応してやるほどの価値のある相手ではなかった。
- 心配を掛けたくなかった。
- かわいそうな人達だと思ったから。
- 何をしても相手が反省したりしないだろうし、やめるとは思えなかったから。

### 第3章 偏見や差別に対する学習経験、意識や態度について

問7 次の言葉の中で、あなたが聞いたことがあるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

図表 聞いたことがある人権問題に関わるキーワード（複数回答）

(N=2,002)



聞いたことがある人権問題に関わるキーワードをたずねたところ、「バリアフリー」が95.4%で最も多く、以下、「ドメスティック・バイオレンス」が92.2%、「世界人権宣言」が82.8%などとなっている。

逆に、認知度が低いのは「エンパワーメント」(8.2%)や「性的マイノリティー」(22.6%)などとなっている。

図表 性別、年齢別、就労・就学状況別 聞いたことがある人権問題に関わるキーワード（複数回答）

		有効 回答数	エン パワ ーメ ン ト	性的 マイ ノリ	同 和 地 区	児 童 の 権 利 に 関 す る 条 約	世 界 人 権 宣 言	バ リ ア フ リ ー	ジ ェ ン ダ ー	ド メ ス テ ィ ッ ク ・ バ イ オ レ ン ス	シ ョ ー マ ラ イ ゼ ー シ ョ ン
全体		2,002	8.2%	22.6%	44.4%	54.6%	82.8%	95.4%	51.5%	92.2%	49.0%
性別	男性	844	8.8%	22.4%	47.7%	49.6%	80.3%	94.1%	49.3%	91.7%	46.0%
	女性	1,103	8.0%	23.3%	41.8%	58.3%	84.9%	96.4%	52.9%	92.7%	51.2%
年齢別	15歳	187	4.3%	11.8%	38.5%	59.4%	87.2%	93.0%	27.8%	86.1%	34.2%
	16歳	382	2.9%	14.7%	37.4%	56.5%	83.2%	95.8%	35.6%	88.5%	35.6%
	17歳	415	5.5%	16.6%	38.1%	50.6%	80.2%	96.9%	47.2%	93.0%	46.5%
	18歳	399	10.8%	25.3%	45.4%	53.1%	84.5%	95.7%	62.7%	94.0%	57.1%
	19歳	382	13.4%	35.1%	53.4%	54.2%	83.5%	94.8%	63.4%	95.5%	59.4%
	20歳	178	14.6%	36.0%	58.4%	58.4%	80.9%	96.1%	66.3%	95.5%	59.0%
就 労 ・ 就 学 状 況 ・ 別 就 学	通学している	1,505	7.2%	20.3%	42.1%	55.3%	84.0%	95.7%	49.8%	91.6%	47.8%
	仕事を主に している	62	4.8%	19.4%	66.1%	33.9%	62.9%	88.7%	29.0%	93.5%	25.8%
	通学が主で 仕事もしている	300	13.7%	34.3%	50.7%	59.0%	87.7%	97.7%	68.0%	97.7%	63.0%

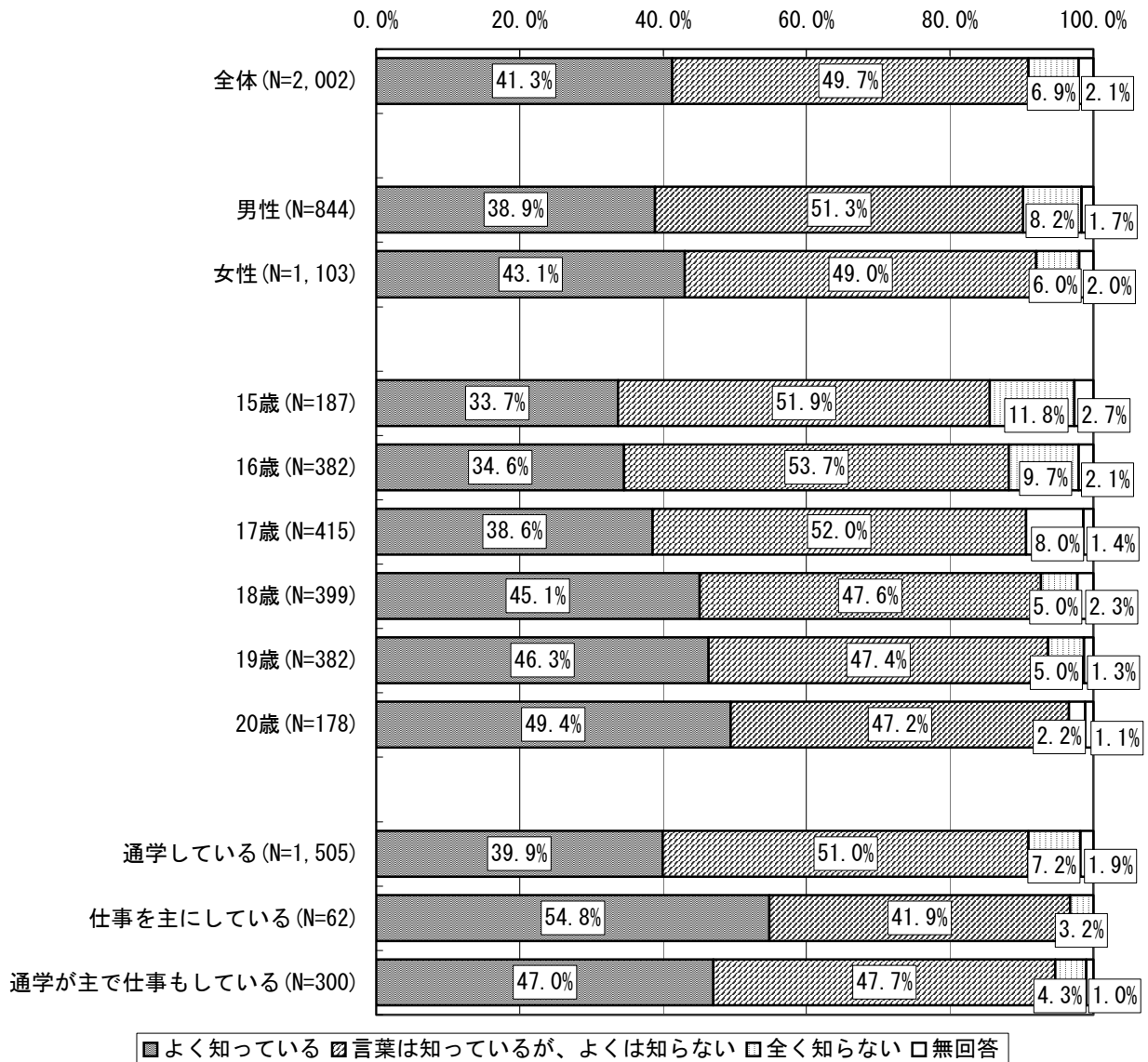
性別にみると、男女ともに「バリアフリー」が最も多い。差の大小はあるものの、「同和地区」と「エンパワーメント」は男性が女性に比べて多いが、他の項目は女性が男性に比べて多い。

年齢別にみると、19歳では「ドメスティック・バイオレンス」が最も多く、他の年齢では「バリアフリー」が最も多い。逆に、各年齢とも「エンパワーメント」が最も少ない。「エンパワーメント」や「性的マイノリティー」、「同和地区」、「ジェンダー」、「ドメスティック・バイオレンス」、「ノーマライゼーション」は、顕著な傾向ではないものも含め、年齢が低いほど認知度が低い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、通学している人では「バリアフリー」が最も多く、他の就労・就学状況では「ドメスティック・バイオレンス」が最も多い（通学が主で仕事もしている人では「バリアフリー」も同率で最多）。「世界人権宣言」は仕事を主にしている人では62.9%であるのに対し、他の就労・就学状況では80%を超えている。同様に、「児童の権利に関する条約」も仕事を主にしている人では33.9%であるのに対し、他の就労・就学状況では50%を超えている。「エンパワーメント」はいずれの就労・就学状況でも最も少ないが、通学が主で仕事もしている人では10%を超えて最も多い。

問8 あなたは、部落差別について知っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 部落差別の認知度



部落差別の認知度をたずねたところ、「言葉は知っているが、よくは知らない」が49.7%で最も多く、次いで、「よく知っている」が41.3%となっており、これらをあわせた部落差別のことを知っている人は91.0%を占めている。

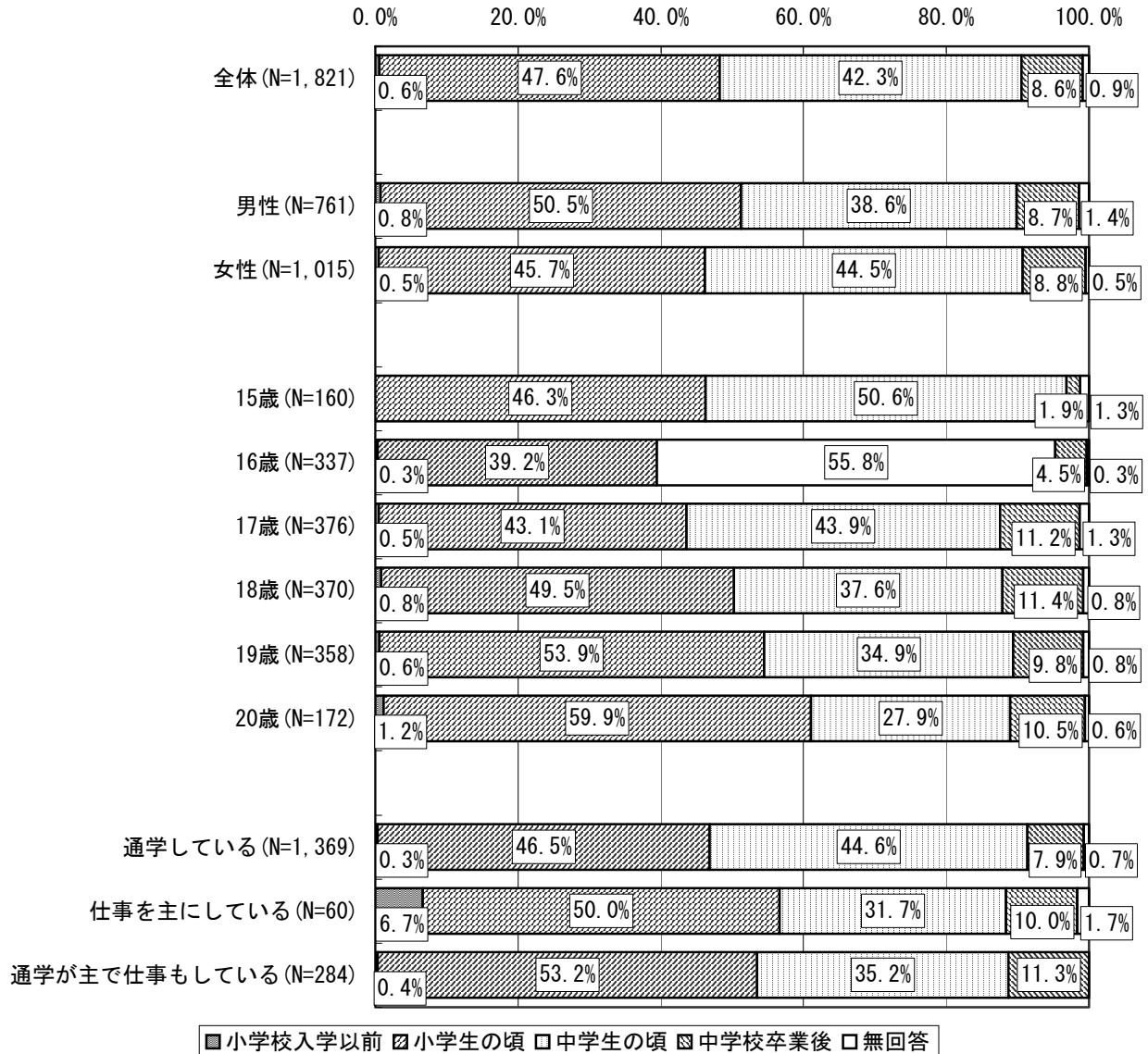
性別にみると、「言葉は知っているが、よくは知らない」は、男女ともに約半数を占めている。「よく知っている」は、女性（43.1%）が男性（38.9%）に比べて4.2ポイント多い。

年齢別にみると、「よく知っている」は年齢が高いほど多い傾向がみられ、これに「言葉は知っているが、よくは知らない」をあわせた部落差別のことを知っている人は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、部落差別のことを知っている人は仕事を主にしている人が96.7%で最も多く、以下、通学が主で仕事もしている人が94.7%、通学している人が90.9%となっており、「よく知っている」が最も多いのも仕事を主にしている人となっている。

問8-1 問8で「1. よく知っている」「2. 言葉は知っているが、よくは知らない」と回答された方におたずねします。あなたは、部落差別があることを一番初めに知ったのはいつ頃ですか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 部落差別を知っている人が初めて部落差別のことを知った時期



部落差別のことを知っている人に対して、初めて部落差別のことを知った時期をたずねたところ、「小学生の頃」が47.6%で最も多く、次いで、「中学生の頃」が42.3%となっており、義務教育の期間中に部落差別のことを知った人が89.9%を占めている。

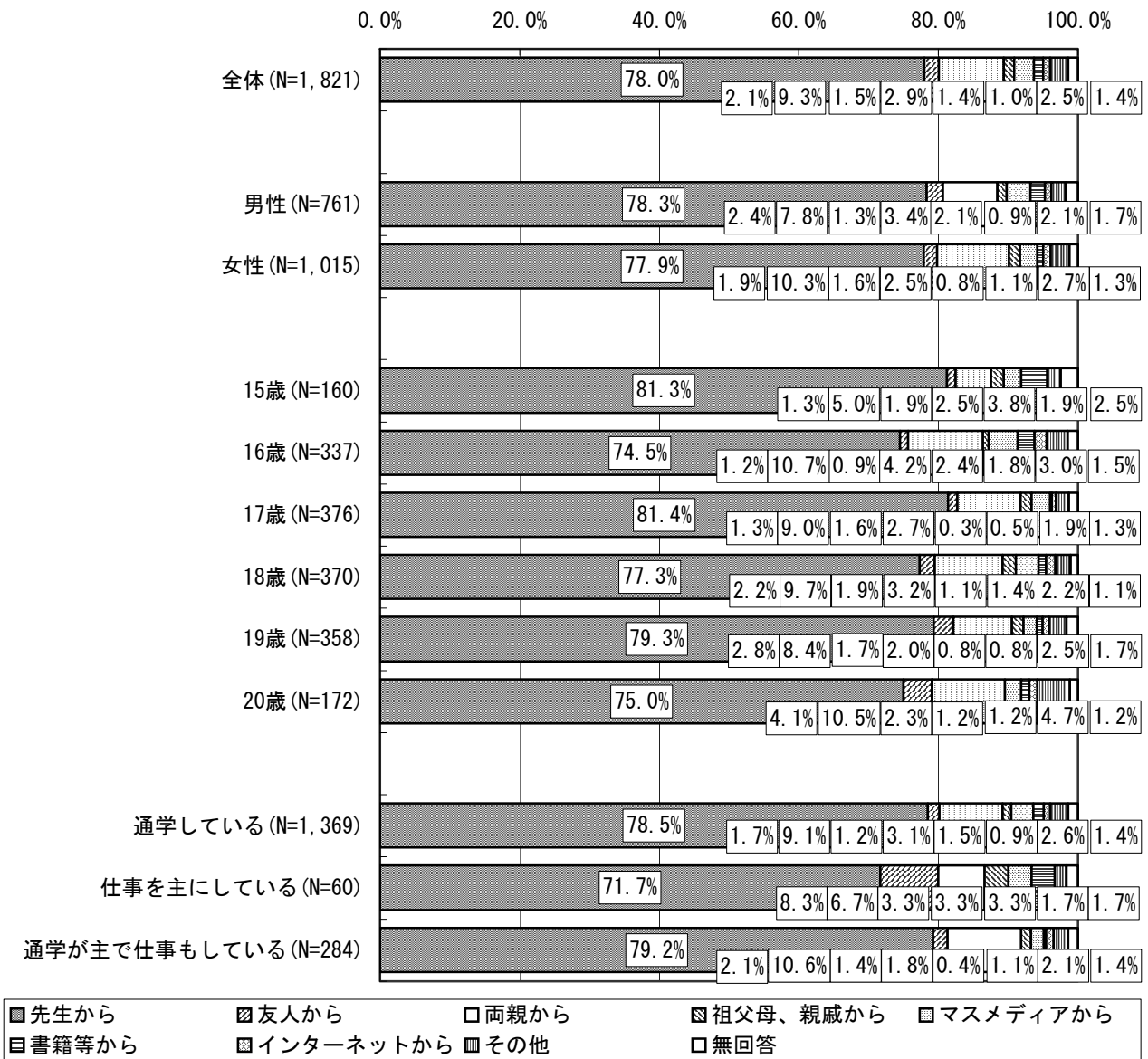
性別にみると、男女ともに「小学生の頃」が最も多いが、男性（50.5%）が女性（45.7%）に比べて4.8ポイント多い。

年齢別にみると、15歳と16歳では「中学生の頃」が半数以上を占めている。17歳では「小学生の頃」と「中学生の頃」が拮抗しており、18歳以上では「小学生の頃」が「中学生の頃」に比べて多くなっており、16歳以上では年齢が高いほど「小学生の頃」が多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「小学生の頃」が最も多く、次いで、「中学生の頃」となっている。

問8-2 問8で「1. よく知っている」「2. 言葉は知っているが、よくは知らない」と回答された方におたずねします。あなたは、そのことを一番初めに誰（何）から知りましたか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 部落差別を知っている人が初めて部落差別のことを教わったきっかけ



部落差別のことを知っている人に対して、初めて部落差別のことを教わったきっかけをたずねたところ、「先生から」が78.0%で最も多く、次いで、「両親から」が9.3%となっている。

性別にみると、男女ともに「先生から」が最も多く、ほぼ同率となっている。

年齢別にみると、「先生から」は17歳が81.4%で最も多い。「両親から」は15歳が5.0%で最も少なく、他の年齢では約10%となっている。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「先生から」が最も多く、いずれも70%以上を占めている。これに次いで、通学している人と通学が主で仕事もしている人では「両親から」で約10%、仕事を主にしている人では「友人から」で8.3%となっている。

<選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 友人の親から | <input type="radio"/> 学校の映像で |
| <input type="radio"/> 知人     | <input type="radio"/> 塾      |
| <input type="radio"/> 妹から    | <input type="radio"/> 姉      |
| <input type="radio"/> 盗み聞き   |                              |

<設問選択肢を複数選んで回答していたものの回答ケース>

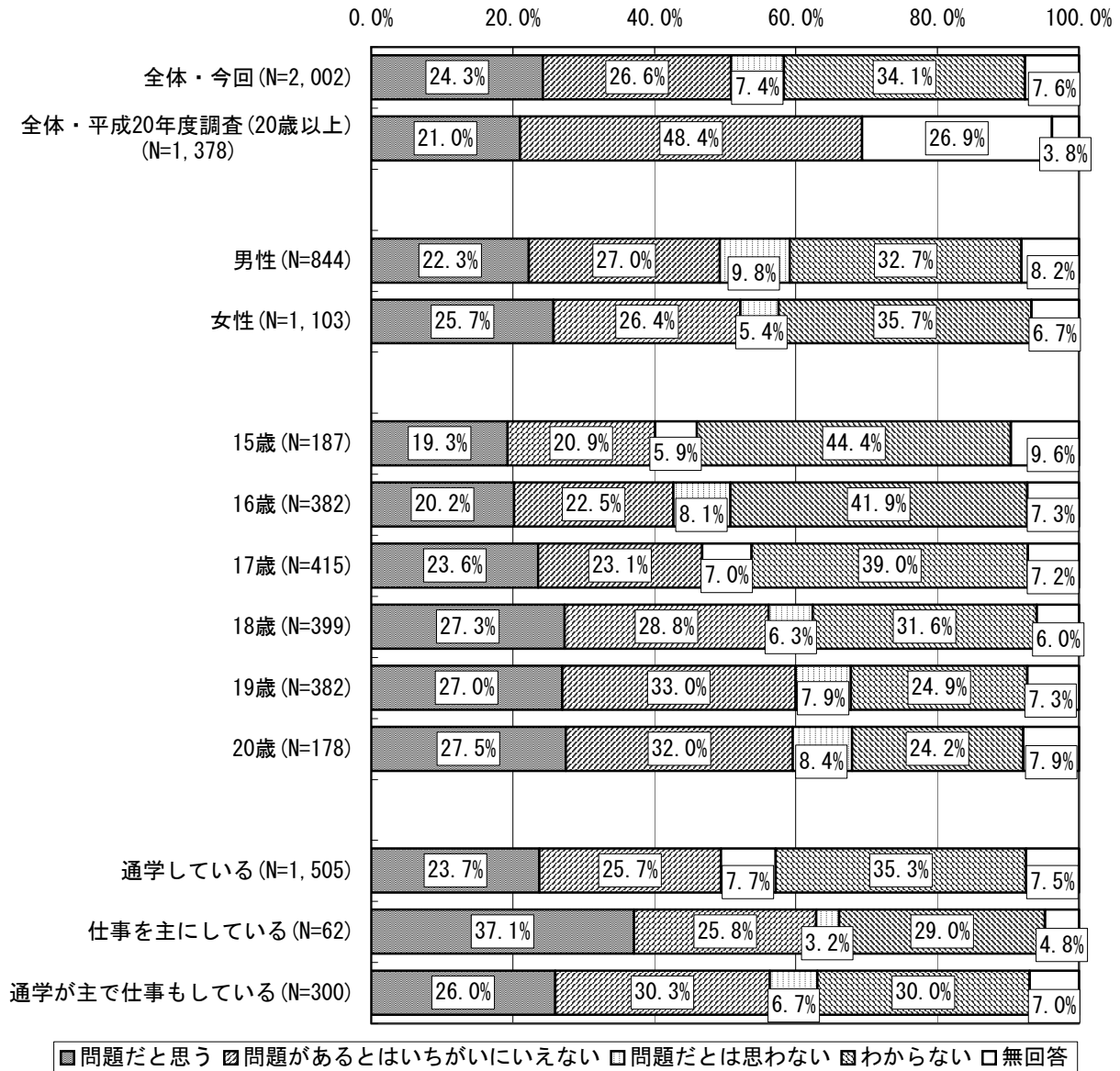
- 先生から／両親から（同意見合計 9 件）
- 両親から／祖父母、親戚から（同意見合計 5 件）
- 先生から／友人から（同意見合計 2 件）
- 先生から／友人から／両親から（同意見合計 2 件）
- 先生から／マスメディアから（同意見合計 2 件）
- 先生から／両親から／書籍等から（同意見合計 2 件）
- 先生から／両親から／祖父母、親戚から
- 先生から／祖父母、親戚から／書籍等から
- 友人から／両親から
- 先生から／祖父母、親戚から／マスメディアから／インターネットから
- 先生から／両親から／書籍等から／インターネットから
- 両親から／書籍等から
- 先生から／書籍等から
- マスメディアから／書籍等から
- 友人から／両親から／祖父母、親戚から

※本設問は単数回答設問だが、複数回答されたケースが多数みられたため、当該回答は「その他」として集計した。



問9 親が住宅を購入することについてのお話を親戚の人としている時に、親が「この物件は同和地区であるかどうか心配なので、市町村に問い合わせようと思う」と言いました。あなたは、親の態度についてどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親に対する意識



※平成20年度調査の設問は「親しい友達と話している時に、友達が、『住宅を購入しようと思っているのだが、その物件が同和地区であるかどうか心配なので、市町村に問い合わせようと思う』と言いました。あなたは、その友人の態度について、どのように思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「同和地区かどうか心配する気持ちはよくわかる」は今回調査の選択肢「問題だとは思わない」に位置づけている。なお、選択肢「わからない」は平成20年度調査にはなかった。

住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親に対する意識をたずねたところ、「わからない」が34.1%と最も多く、以下、「問題があるとはいちがいにいえない」が26.6%、「問題だと思う」が24.3%などとなっている。

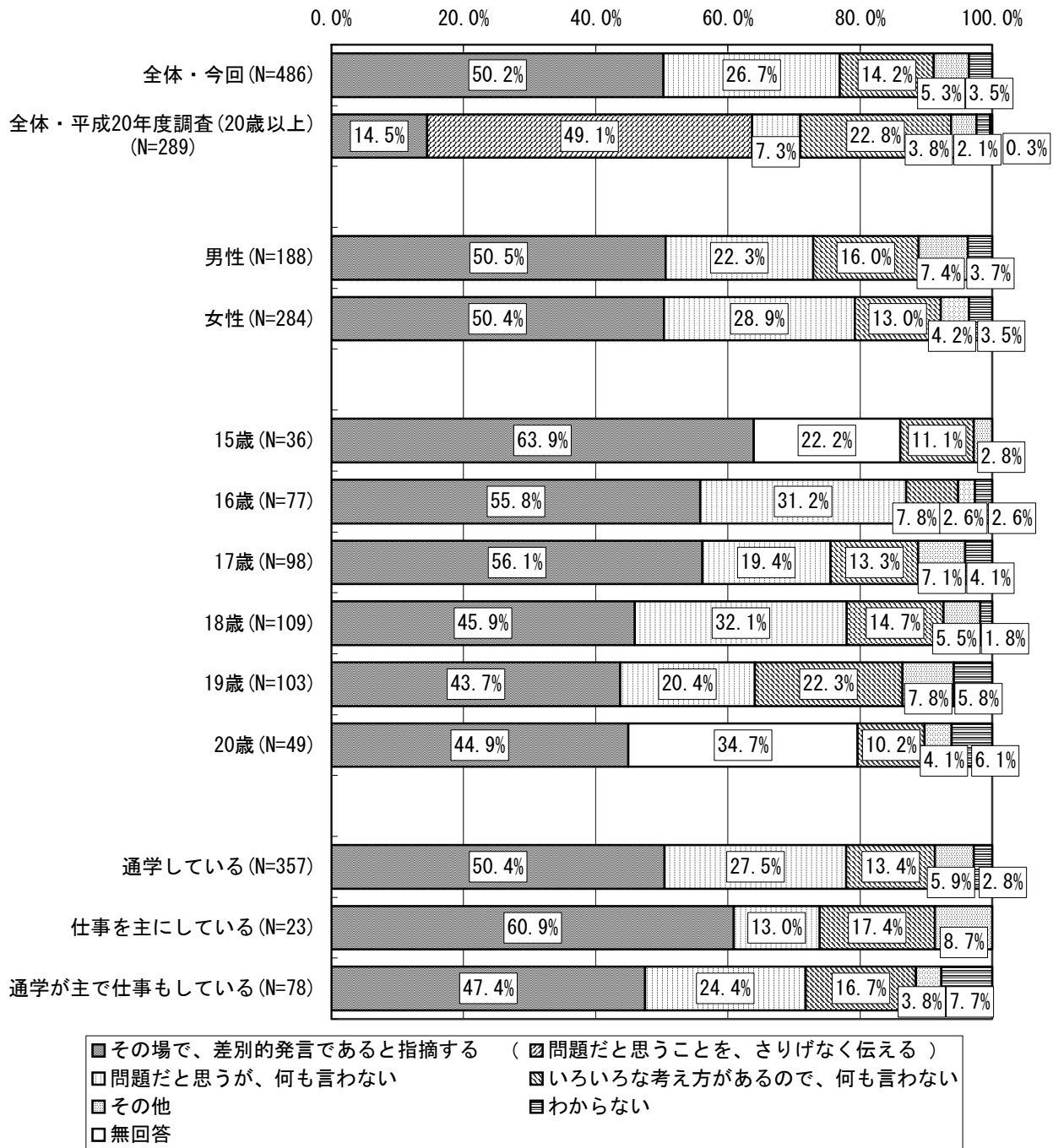
平成20年度調査と比較すると、「問題があるとはいちがいにいえない」は今回が21.8ポイント少なく、「問題だとは思わない」(平成20年度調査では「同和地区かどうか心配する気持ちはよくわかる」)も今回が19.5ポイント少ない。

性別にみると、「問題だとは思わない」は男性（9.8%）が女性（5.4%）に比べて4.4ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「問題だと思う」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。就労・就学状況別にみると、「問題だと思う」は仕事を主としている人が37.1%で最も多く、他の就労・就学状況に比べて10ポイント以上多い。「問題があるとはいちがいにいけない」は通学が主で仕事もしている人が30.3%で最も多く、「わからない」は通学している人が35.3%で最も多い。

問9-1 問9で「1. 問題だと思う」と回答された方におたずねします。このような場合、あなたは、親にどのような態度をとると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親に対する態度



※平成20年度調査の設問は「そのような場合、あなたは、友達にどのように言いますか」であった。また、選択肢「問題だと思うことを、さりげなく相手に伝える」は、今回調査にはない。

住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親の行為が問題だと認識している人に対して、どのような態度をとると思うかをたずねたところ、「その場で、差別的発言であると指摘する」が50.2%で最も多く、以下、「問題だと思うが、何も言わない」が26.7%、「いろいろな考え方があるので、何も言わない」が14.2%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、設問に「親」と「友達」の違いはあるが、「その場で、差別的発言であると指摘する」は今回が35.7ポイント多く、「問題だと思うが、何も言わない」は今回が19.4ポイント多い。

性別にみると、男女ともに「その場で、差別的発言であると指摘する」が半数以上を占めている。「問題だと思うが、何も言わない」は女性（28.9%）が男性（22.3%）に比べて6.6ポイント多い。年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、年齢が低いほど「その場で、差別的発言であると指摘する」が多い傾向がみられ、17歳以下では半数以上を占めている。これに対し、19歳では「いろいろな考え方があるので、何も言わない」が22.3%占め、他の年齢に比べて多い。

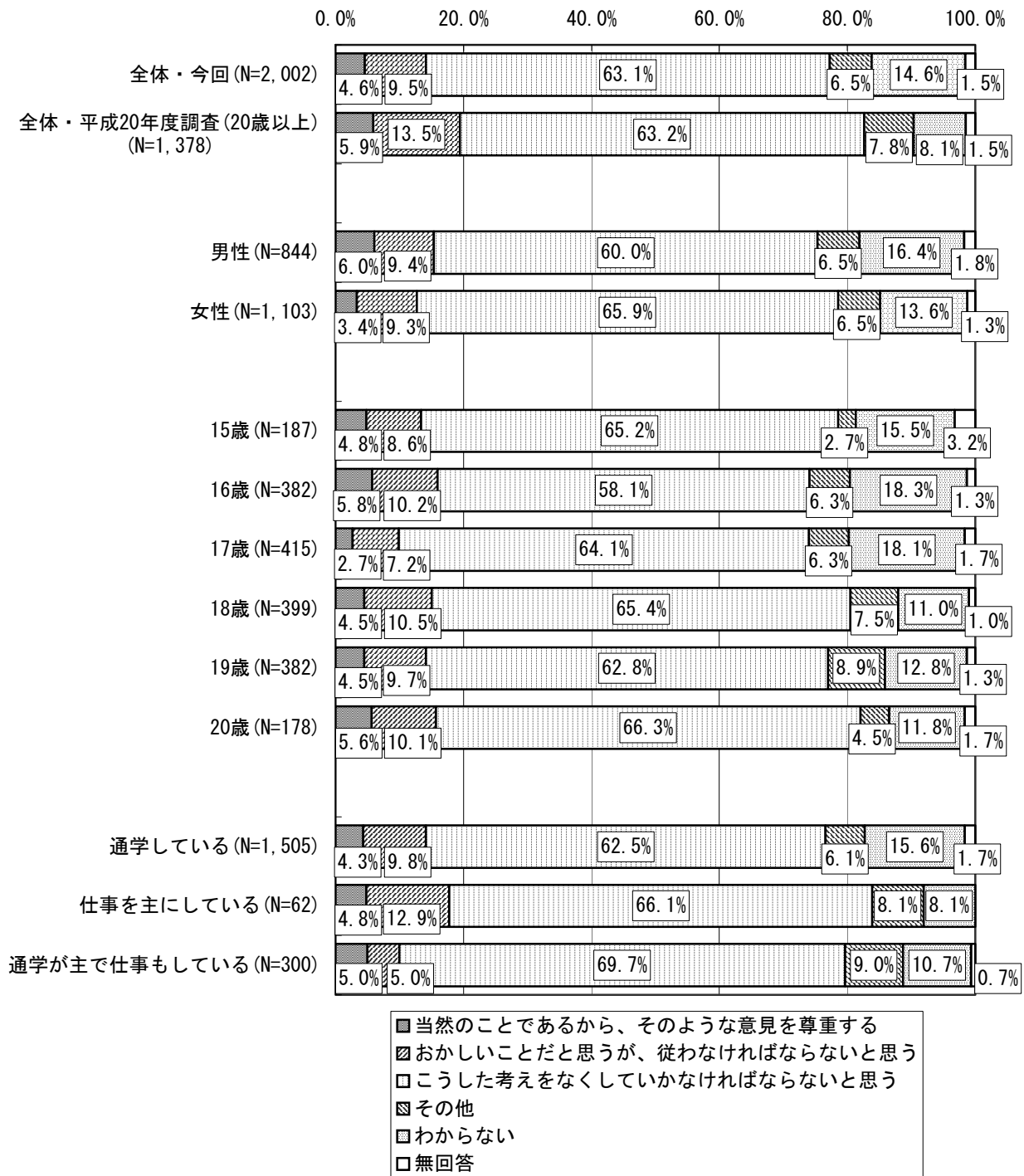
就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「その場で、差別的発言であると指摘する」が最も多く、仕事を主にしている人が60.9%で最も多い。

#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- どうしてそのような発言をしたのか聞く。
- あとで言う。
- 単に差別発言だと指摘するにとどまらず、差別について家族で話し合うよい機会とする。（問題発言でもあります。しかし、もっと大きな問題は、今なお差別される地区があり、そこに住めば自分達も差別を受けるかもしれないと思わせる社会状況です。つまり、問9で1と答えた理由は、両親が問題だからというよりそこに住むのをためらってしまうという社会の現状に問題があるからです。）
- 問題ではあると思うが、やはり私も気になるし、そう言った親の気持ちがわかるので、何とも言えない。
- 仮に、同和地区であったとして、何が問題なのかを問う。
- なぜそういう考え方をしているのか聞く。
- 指摘してみるが、結果的には親に従うしかない。
- 市町村がそうだと断言する訳がないと親に言う。
- アカンやろって言う。
- 関係ない。
- 差別だけど、怖い人が住んでいるなら、あんまりそばに住みたくないから賛成するかも。
- 「それ差別だよ」と指摘しても、頭ごなしに「子供はだまってなさい」と言われたり、親が親戚の前で恥をかいたりするので、「どうして同和地区だと心配なの？」等と無知を装って質問していき、だんだんと差別なのだとすることを自覚させる。そうすれば親にも親戚にも差別はいけなことだと、気づかせることができる。
- 親がどう思っているのか話を聞く。
- 理由を親に聞いてみる。
- 人として信じることができなくなる。
- 自分には関係がない。
- 自分はそれは気にしていないと言う。
- 常識的に考えて市町村は答えてくれないので、そのように考えるのは間違っていると指摘する。
- とうかそんなことを言う親ではないのでありえない。
- なぜそのことを心配するのかたずねる。
- そこに意味がないから。
- なぜ部落がダメなのか聞く。昔の考えが入っている。私は気にしたことがない。
- 問題だと思うので、指摘したいが、両親が頑固で古い考えしか持っておらず、一方的に自分の意見を否定されるだけなので、何も言わない。
- 市町村に問い合わせてもムダなので、インターネットを使って調べるように言う。
- 同和地区の何が問題になるのか聞く。

問10 結婚にあたり、家柄、出身地、財産、国籍、親の仕事、社会的地位など、本人たちの責任でないことを理由にして、周りから反対されることについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 本人の責任ではないことを理由に結婚を反対されることに対する意識



本人の責任ではないことを理由に結婚を反対されることに対する意識をたずねたところ、「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」が63.1%で最も多く、以下、「わからない」が14.6%、「おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う」が9.5%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、「おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う」は今回が4.0ポイント少なく、「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」は今回・平成20年度調査ともにほぼ同率、「わからない」は今回が6.5ポイント多い。

性別にみると、「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」は女性（65.9%）が男性（60.0%）に比べて5.9ポイント多い。大差ではないが、「当然のことであるから、そのような意見を尊重する」（2.6ポイント差）や「わからない」（2.8ポイント差）は男性が女性に比べて多い。

年齢別にみると、「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」は20歳が66.3%で最も多く、16歳が58.1%で最も少ない。17歳以下では「わからない」が10%台後半となっており、18歳以上が10%台前半であるのに比べて多い。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」が最も多く、通学が主で仕事もしている人が69.7%で最も多い。また、「おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う」は仕事を主にしている人が12.9%で最も多い。

#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- 別に人にとやかく言われたくない。
- 反対する理由も聞かないといけないと思う。
- 良く話し合う必要があると思う。
- 正しいかどうかは別にして、自分と違う見方は有益な情報だと思う。しかし必ずしも従う必要はないと思う。
- 気にせず本人（二人）の意志を尊重すべきだと思う。
- 結局、反対されても好きなら結婚するだろうし、もしそれで壊れるようなら、2人の仲はそれぐらいのものなわけだから、周りのことは（周りから何と言われようと）関係なく、本人達の気持ち次第だと思う。ただ良くは思わない。
- ある程度はしょうがないと思う。
- 気にする必要がない。なくそうとは思わないが、本人には責任がないので。
- おかしいことだとは思いますが、意見は聞くだけ聞いてみようと思う。
- 自分が周りから差別（冷遇）されるのを心配して反対してくれているのだから、おかしいとは思っても一つの意見として受け入れる。
- おかしいと思うが、そのような反応は仕方ないと思う。だからといって、従うとも思わない。
- 自分の責任ではないので、無視する。
- 自分のしたいようにすればよい。
- 考え方の一つとして受け入れ、その上で意思決定をする。
- 結婚する2人がお互いに問題ないと思っていれば、周りが反対するのは迷惑だと思うけれど、考え方はそれぞれだから、こうした考えをなくしていかなければならないとは思わない。
- 自分は自分なので、他者の意見には振り回されない。
- おかしくないと思うが、従わない。
- 少なくとも、そうした環境で生活、教育を受けたことを考慮しなければならないと思う。
- 基本的には2，ただ従わなければならないというわけではない。抜け出す努力をしないといけない。努力しないで差別反対等と言う者はおかしい。
- その考えもわからないことではないが、自分は従おうとは思わない。
- そうしたものを受け入れる覚悟があれば問題ないと思う。
- 社会的地位は本人の努力次第だと思います。
- 将来的に問題がなければ、従う必要はない。
- 指摘された内容に関して自分で客観的に考え、自分で答えを出す。
- 反対する人の理由を聞いて話し合う。
- 個々人によって、生まれた環境も違うし、親からどのような教育を受けてきたか等色々な面で、その人の人格形成がなされるために、答えを一つに絞ることは難しい。

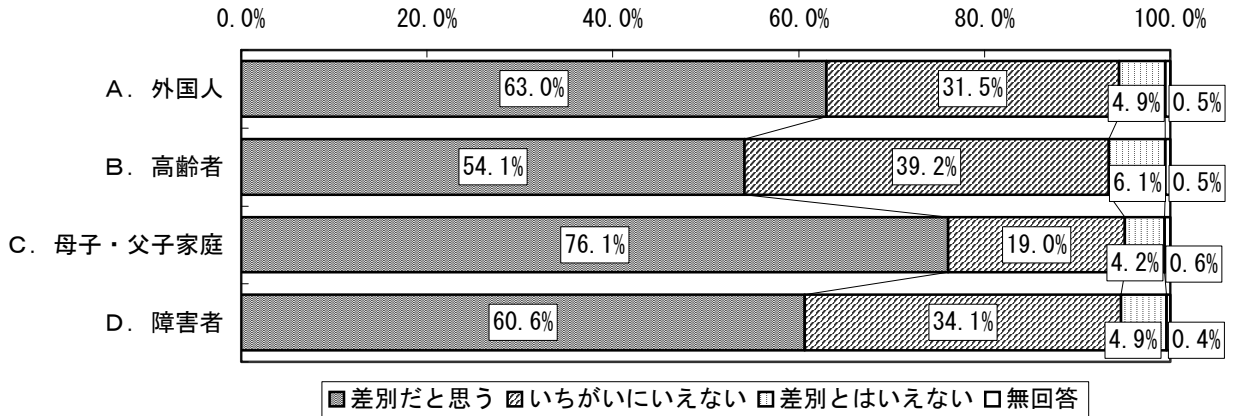
- こうした考えはなくならない気もするが、互いに好きなら（で、結婚したいなら）乗り越えていかなければならないと思う。
- 本人達がそのことについて了承し、理解して、立ち向かう覚悟があるのなら、別によいと思う。
- 考えがあってもよいが、従わなくてもよい。
- おかしいことだとは思わないが、それに従うかどうかは本人の判断でよいと思う。
- そういうものを踏まえてもこの人でなければとかこの人がいいとか思える人ならどうでもよい。人柄による。
- おかしいことだと思うが、親が子どもを心配して反対することは仕方ないと思う。
- 周りは結婚する本人達を心配して反対しているのだから、悪いこととは思わない。しかし、本人達の結婚の意志が強ければ、結婚してよいと思う。
- 親や親戚等との関わりを切れればよいと思う。
- なくなることはないと思うが、自分の意見を通す力が日本人には必要。
- そんなの関係なく反対を押し切る。
- 親の心配等も考えられるので、差別として受け取るのは間違いだと思う。なので、おかしいことだとは思わないが、従わなければいけないということはないと思う。
- 今の日本ではお金がなければ何もできないので少しは気にする。
- そういうことを言う人を変える必要はないと思うが、従わなくてもよいと思う。
- 結婚に関しては当人達の問題であるから、周りは口出ししてはいけないと思う。
- その時々で考えなければならない。
- おかしいと思うが、従うかどうかはその状況次第。
- 理由によっては仕方ない場合もある。
- 結婚に対しての障害となるものを一つずつ解決できるように努力してみる。
- 親の仕事や社会的地位等、反対されてもしかたないこともあると思う。
- 考えるべきだとは思いますが、やはり本人達の意志を尊重すべきだと思う。
- その意見の重要性を考慮して、納得のいく判断をしたいと思う。
- 結婚という幸せなことのはずなのに、本人達の責任でないことを理由に反対をするのは、おかしいと思う。
- 周りは関係ないと思います。
- こうした考えは根強くあるので、逃げだそうと思う。外国とかに。
- おかしいと思うから、従わない。
- 間違っているとは思いますが、実際に今の社会で生きることを考えれば、周りが反対することに、一概に差別意識があるとは言えないと思う。
- 考え方をなくすことは不可能で仕方ないこと。これらの人生の分岐は自分自身で考えたことを信じてやるべき。
- おかしいことだと思うが、同意できるところもある。
- おかしいことだと思うが、悩んでしまう。
- 家族内でも一人一人の考え方は異なるので、仕方ないことだと思う。他人の意見に耳を傾ける余裕と冷静な判断力を自分自身がしっかり持てばよいと思う。
- 最終的には2人の答えを尊重すべき！
- 無視する。3. は不可能というより、それができるならこんなアンケート自体存在しないはず。
- こういった昔の考え等を大切にするのは別に構わないが、他人にその考えを押しつけるのはおかしいと思う。
- 財産や相手の職業は自分達の将来に関わることなので、ある程度は仕方がない。
- おかしいと思うが、言っても仕方がない。従う従わないは状況次第。
- よいことではないが、周りが反対する理由もわかる。

- 当人の自由度は大事だが、現実問題として、そういった周りの人の意見も参考にするべき。
- 従う必要はないが、そうした見方がいまだにあるということは仕方がないと思う。
- 反対するという意見にも耳を傾け、自分が正しいと思う選択をする。
- 出身地、財産、国籍、社会的地位を理由にするのはおかしいと思うが、家柄や親の仕事は、ある程度は仕方がないと思う。
- 決して当然のことであるとは言えないが、一概にこの考えをなくさないといけないとも言えないと思う。やはりそれほど慎重にならなければいけないことだし、時と場合によると思う。
- 気になるのは仕方がないと思う。最後は本人達が決めればよい。
- そもそも同和地区という言葉を知らないので何も思わない。
- 各々の固定観念を変えるのは簡単には無理。だから意見の内容にもよるので、回答は出せない。
- すべてを無視することは現実的に無理だと思う。
- 実際にいろいろ周りの人の話を聞くと、「無視して全く考えない」というわけにもいかないと思う。
- 反対する人達の気持ちがわからないわけではないので、とりあえず意見を聞いてみる。
- 育ちも性別も違う2人がうまくやっていくだけでも難しいのに、親戚 e t c がからむと結婚はもっと難しいと予想されるのでよくよく考えてみないと。
- 反対される理由としては正当であると思うので仕方がないが、自分なら従うつもりはない。
- おかしなことだと思うが、自分達の意見だけを一方的に通すことはできないと思う。
- 好きだったらその人と結婚する。それだけ。
- おかしいがどう対処してよいかわからない。
- そんなくだらないことで反対するような人間の発言は一考する価値もない。無視する。
- 家柄等も才能のうちの一つだと思うから、どう思われても仕方がないことです。
- 反対意見も聞くが、それに従うかどうかは内容による。
- 周りが反対するということはそれなりの理由があり、よく考察する必要があるが、最後は自分の気持ちである。
- 個々の家の事情があるので、それらは話し合い、結婚する二人は周りの意見を受け入れ、そこからの一番の幸せをよく考えるべき。もちろん二人の幸せを優先する。それ以上のことは周りが言うことではないので、それはなくすべき。
- その地区に住む本人達にも問題があると思うので、仕方がないことだとも思う。
- 本人が気になるなら気にすればよいと思う。
- 両方の意見を尊重すべきである。
- 周りがそのように言うのにも理由があるだろうし、現実的に考えて財産や社会的地位が確立していないと生活できにくいことも事実である。
- 色々あると思うので、その時のその人達にしか決められないと思います。
- 自分が頑張ったりやそれでいいじゃない。
- 反対されている内容に納得できるなら、その意見を尊重する。
- 反対してきた人に反論する。 ○気にしない。
- 自由でよい。 ○無視する。
- 出身地は重要だと思う。 ○場合による。
- 場合によって従うべき。 ○そんなん関係ないと思う。
- 相談した上で決めたい。 ○どうでもよい。
- Yes, we can. ○まだ実感がない。
- その事柄による。 ○人間として
- 何も思わない。従わない。 ○したくない。
- 反抗する。



問11 家や部屋を貸すときに、貸し主さんが次のような人には貸さないと言っていることについて、あなたはどのように思いますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識

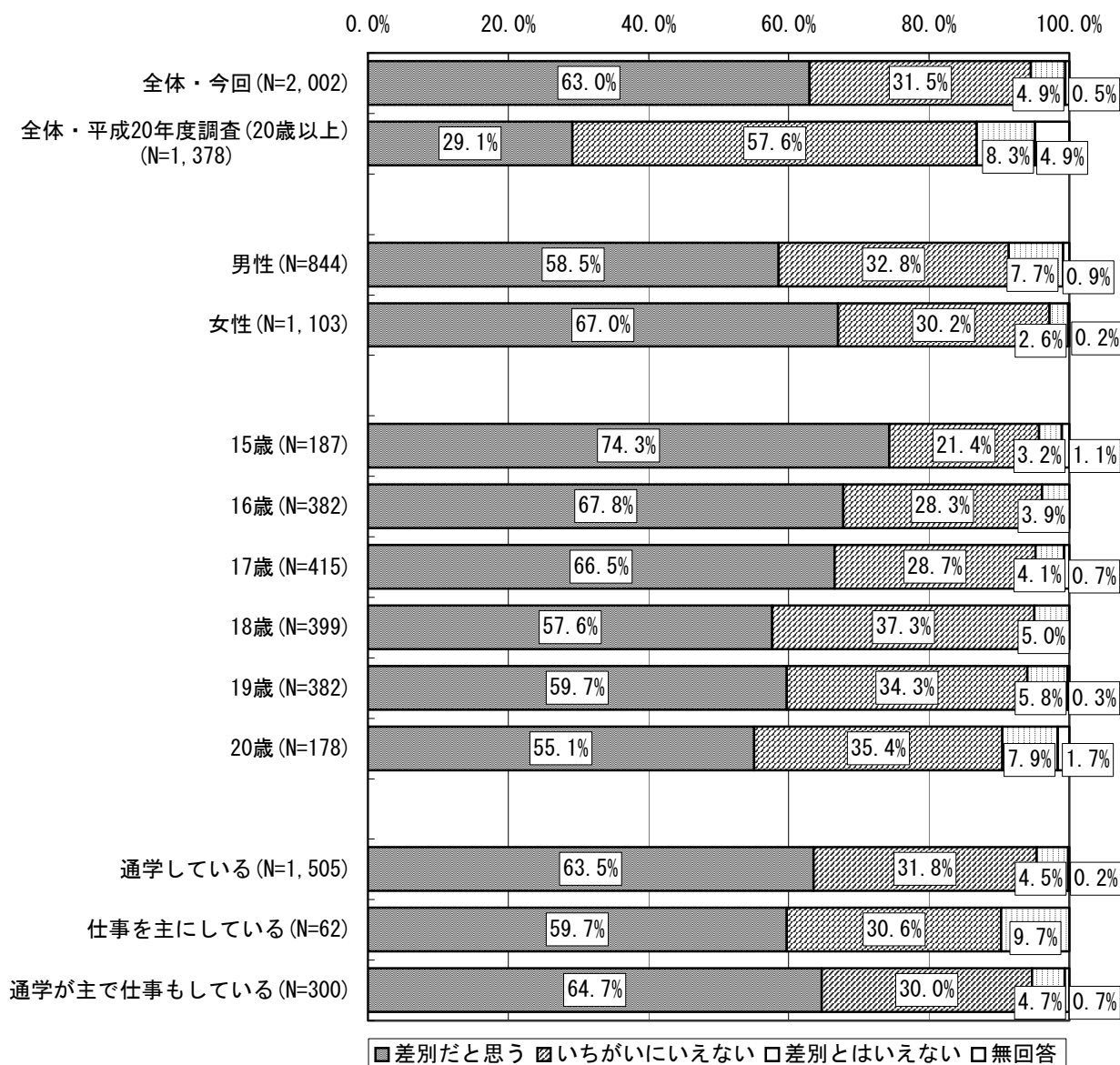


家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識をたずねたところ、「差別だと思う」は、「C. 母子・父子家庭」が76.1%で最も多く、以下、「A. 外国人」が63.0%、「D. 障害者」が60.6%、「B. 高齢者」が54.1%となっている。

「いちがいにいえない」は「B. 高齢者」が39.2%で最も多く、「D. 障害者」が34.1%、「A. 外国人」が31.5%、「C. 母子・父子家庭」が19.0%となっている。

「差別とはいえない」は、「B. 高齢者」が6.1%で最も多く、他の対象が4%台であるのに比べてわずかに多い。

図表 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識 「A. 外国人」



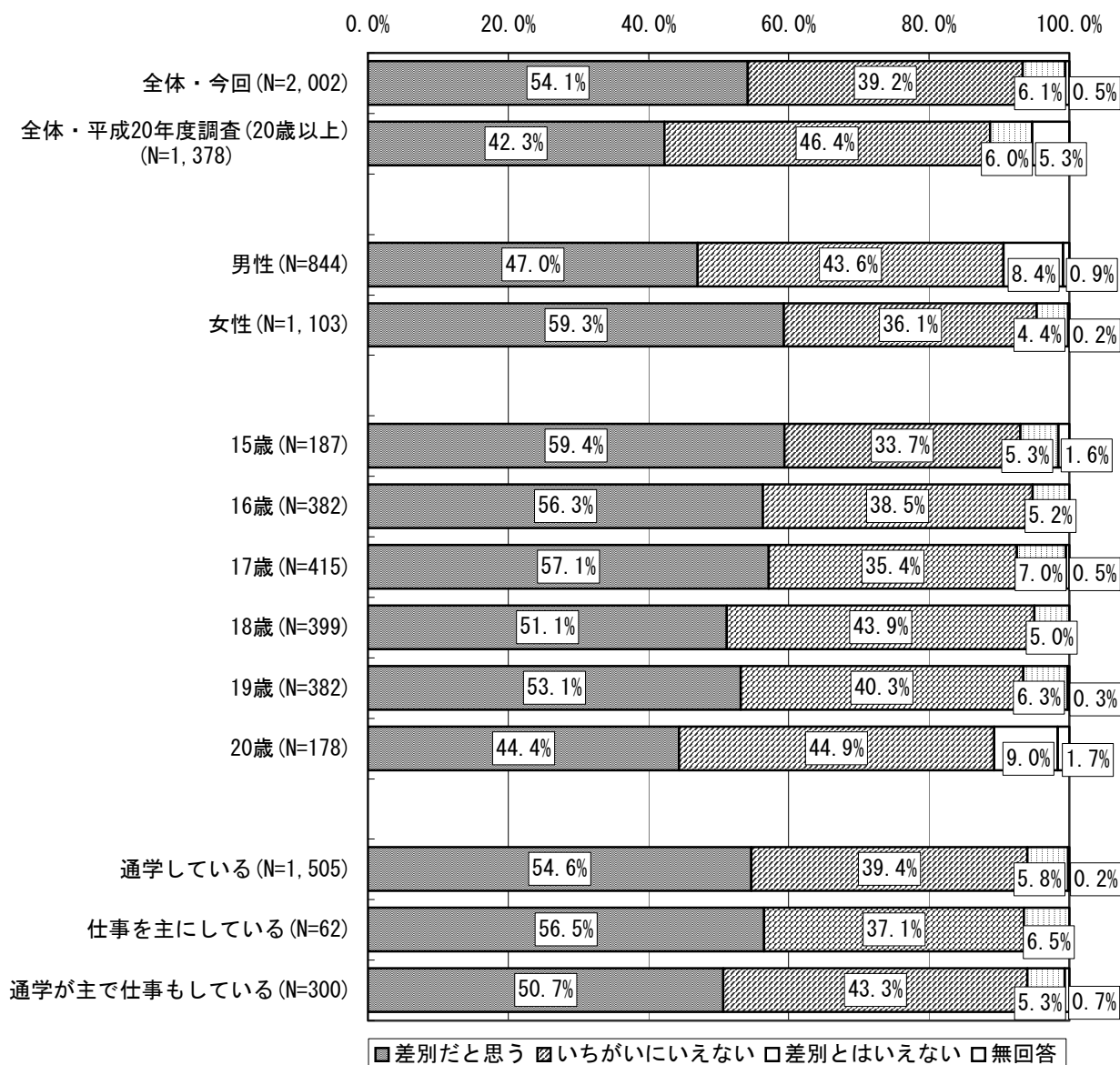
「A. 外国人」について、平成20年度調査と比較すると、「差別だと思う」は今回が33.9ポイント多く、「いちがいにいえない」は今回が26.1ポイント少なく、回答傾向に大差がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は女性（67.0%）が男性（58.5%）に比べて8.5ポイント多い。「差別とはいえない」は男性（7.7%）が女性（2.6%）に比べて5.1ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「差別だと思う」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、15歳では74.3%となっている。逆に、「いちがいにいえない」や「差別とはいえない」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「差別だと思う」が最も多いが、通学している人と通学が主で仕事もしている人では60%以上を占めている。

図表 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識 「B. 高齢者」



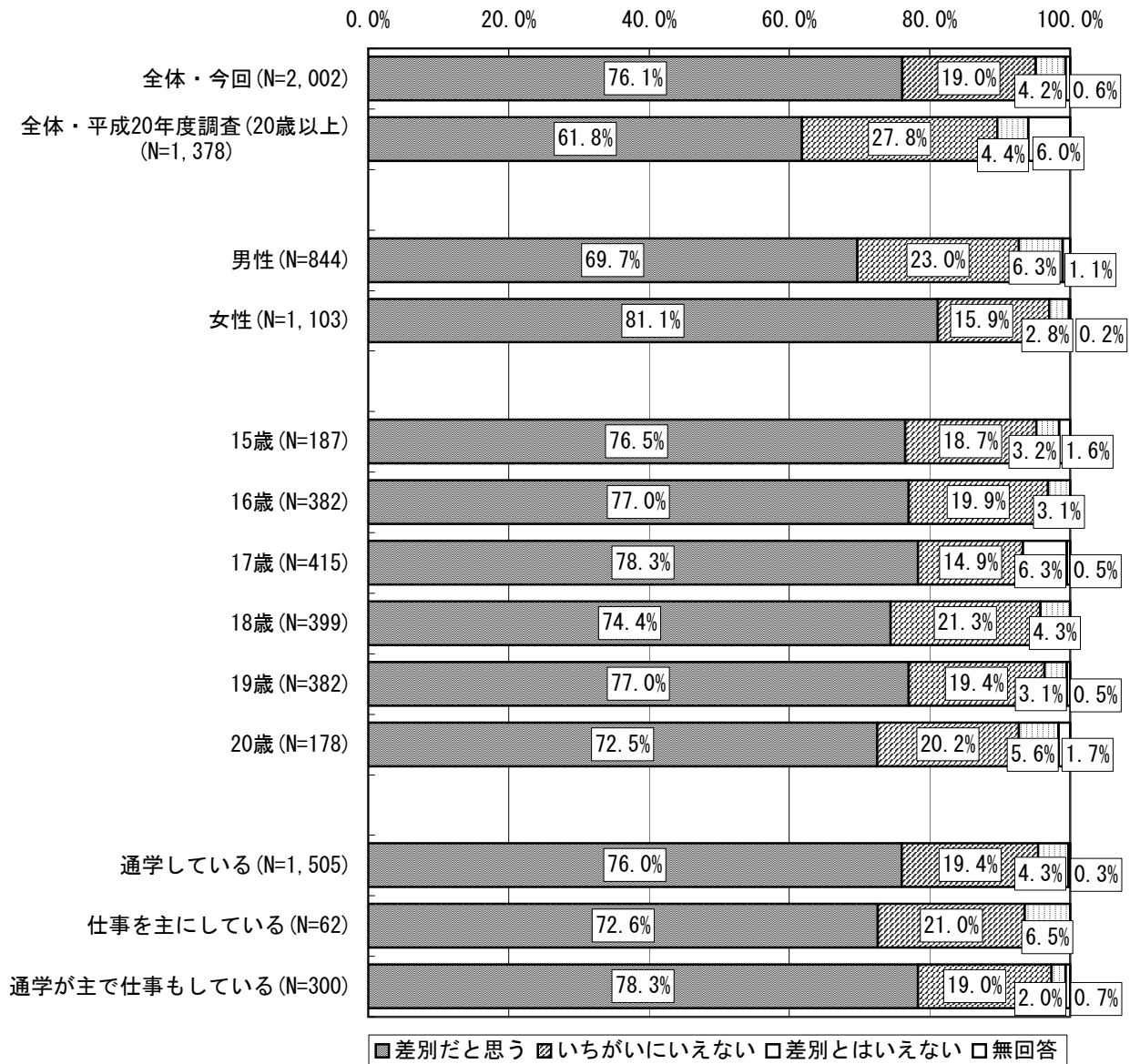
「B. 高齢者」について、平成20年度調査と比較すると、「差別だと思う」は今回が11.8ポイント多く、「いちがいにいえない」は今回が7.2ポイント少ない。

性別にみると、「差別だと思う」は女性（59.3%）が男性（47.0%）に比べて12.3ポイント多い。「いちがいにいえない」は男性（43.6%）が女性（36.1%）に比べて7.5ポイント多く、「差別とはいえない」は男性（8.4%）が女性（4.4%）に比べて4.0ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「差別だと思う」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、19歳以下では半数以上を占めている。逆に、「いちがいにいえない」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「差別だと思う」が最も多いが、通学している人と仕事を主にしている人では55%前後となっており、通学が主で仕事もしている人が50.7%であるのに比べてやや多い。

図表 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識 「C. 母子・父子家庭」



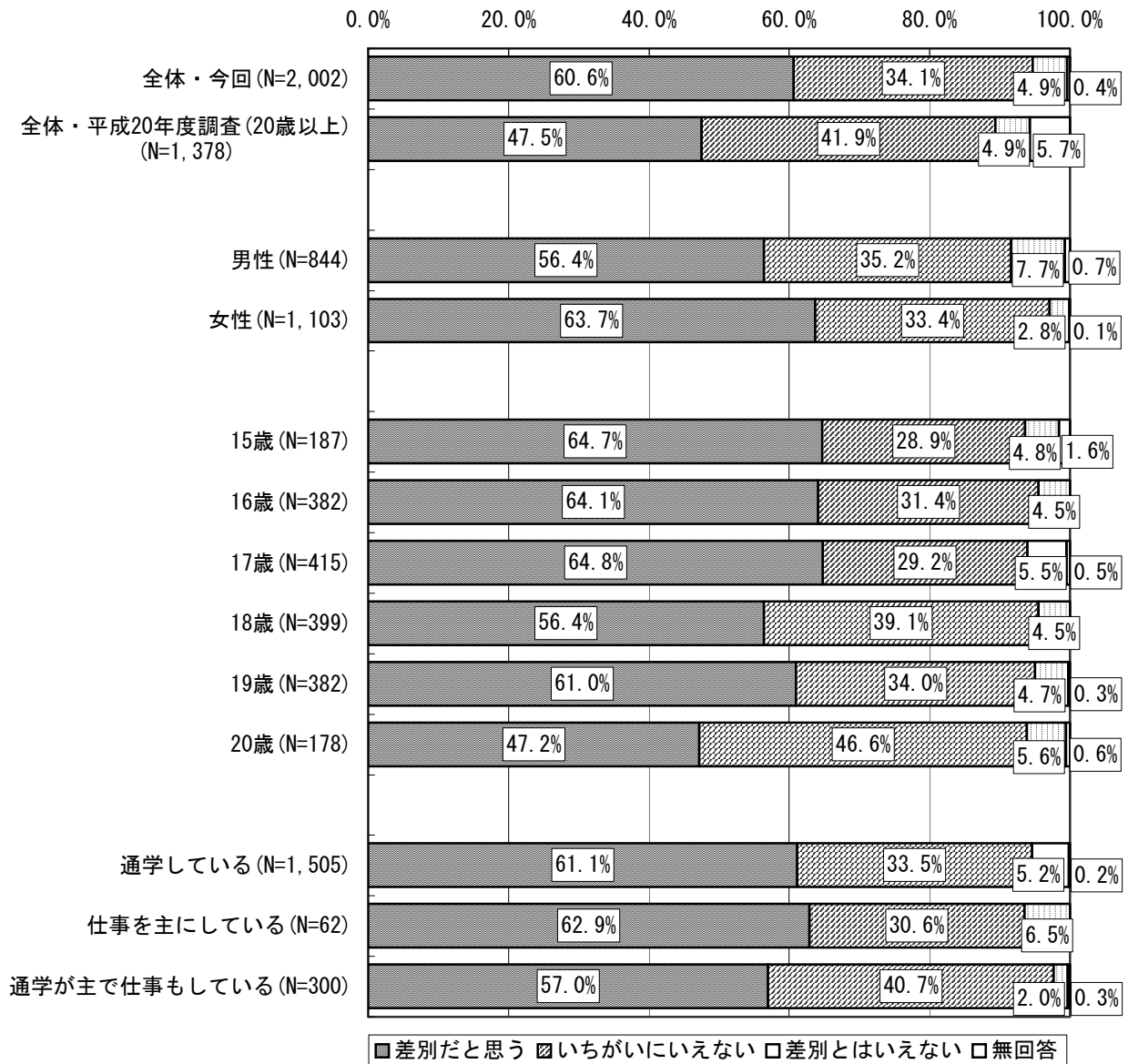
「C. 母子・父子家庭」について、平成20年度調査と比較すると、「差別だと思う」は今回が14.3ポイント多く、「いちがいにいえない」は今回が8.8ポイント少ない。

性別にみると、「差別だと思う」は女性（81.1%）が男性（69.7%）に比べて11.4ポイント多い。「いちがいにいえない」は男性（23.0%）が女性（15.9%）に比べて7.1ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも「差別だと思う」が70%以上を占めているが、20歳では他の年齢に比べてやや少ない。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「差別だと思う」が最も多いが、通学している人と通学が主で仕事もしている人では70%代後半となっており、仕事を主にしている人が72.6%であるのに比べてやや多い。

図表 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識 「D. 障害者」



「D. 障害者」について、平成20年度調査と比較すると、「差別だと思う」は今回が13.1ポイント多く、「いちがいにいえない」は今回が7.8ポイント少ない。

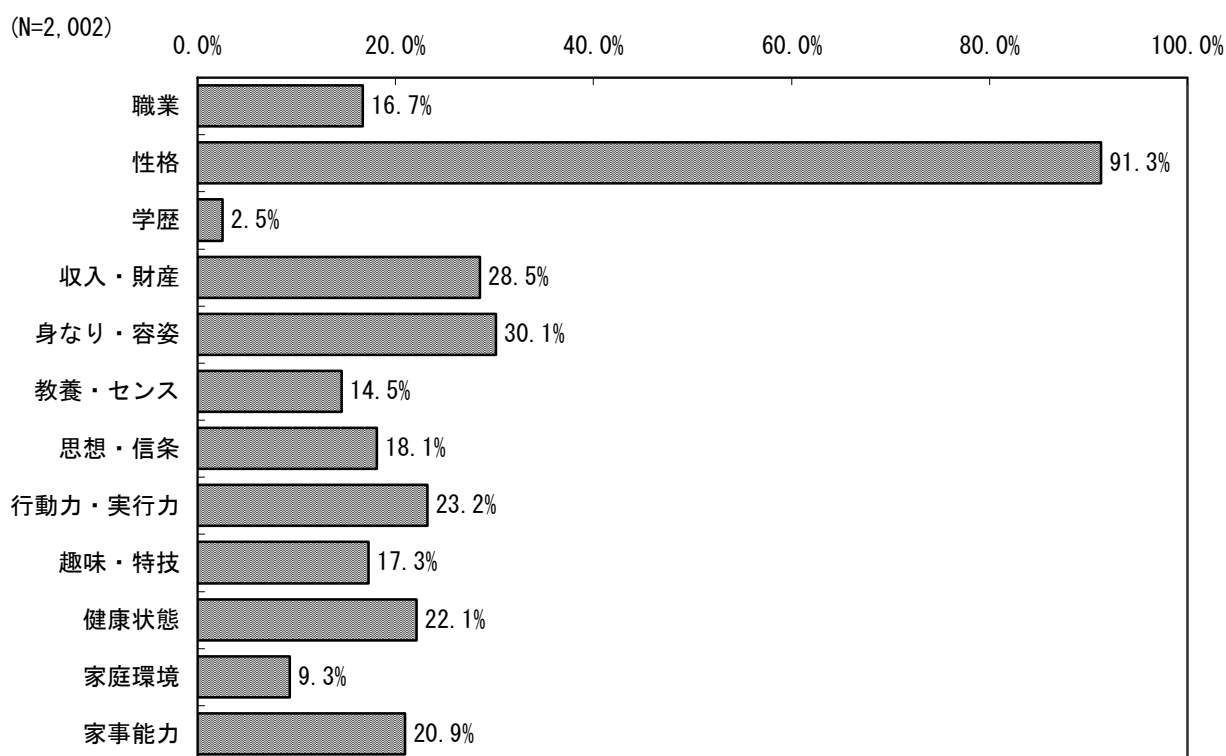
性別にみると、「差別だと思う」は女性（63.7%）が男性（56.4%）に比べて7.3ポイント多い。「差別とはいえない」は男性（7.7%）が女性（2.8%）に比べて4.9ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも「差別だと思う」が最も多いが、19歳以下では半数以上を占めているのに対して20歳では47.2%にとどまり、「いちがいにいえない」が46.6%を占め、拮抗している。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「差別だと思う」が最も多いが、通学している人と仕事を主にしている人では60%以上を占めており、通学が主で仕事もしている人が57.0%であるのに比べてやや多い。

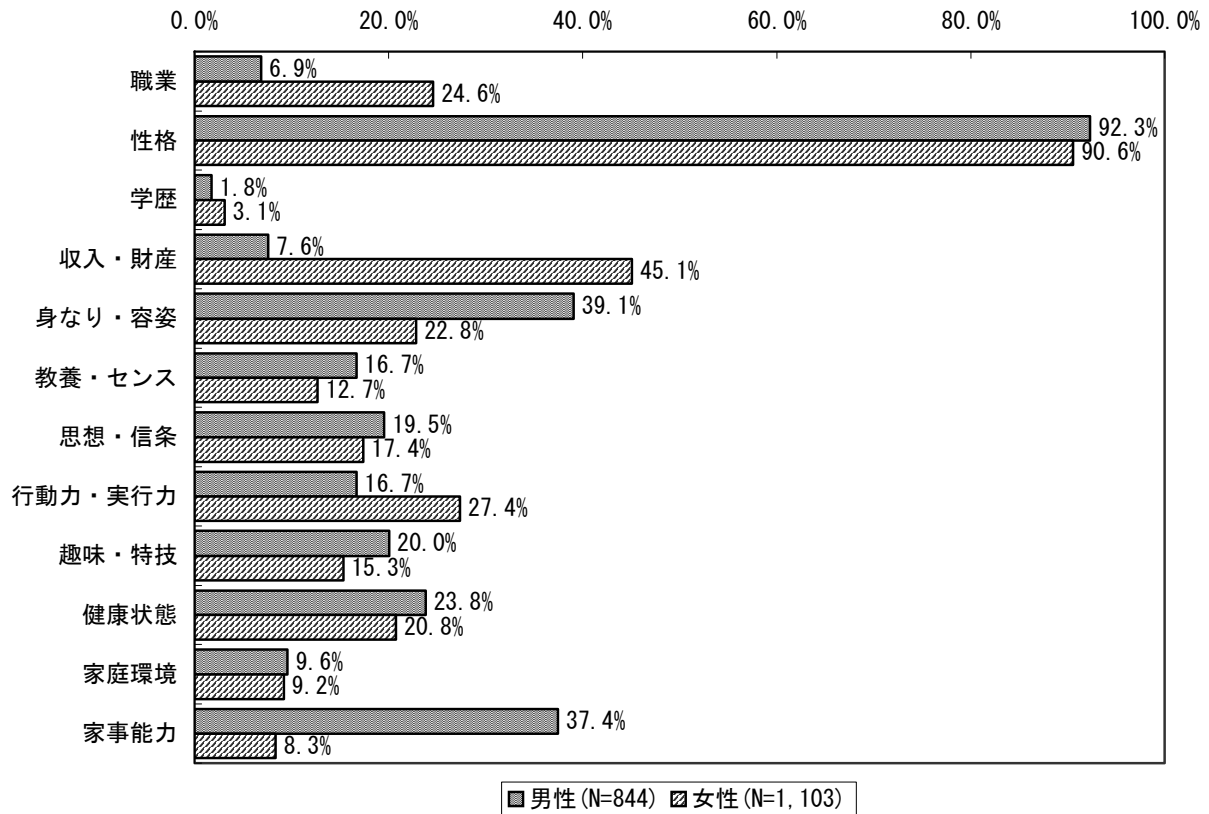
問12 あなたがもし結婚するとした場合、結婚相手に求めるものとして重視するものはどれですか。あてはまるものを3つまで選び、その番号を回答欄に記入してください。

図表 結婚相手に求めるもの（複数回答）



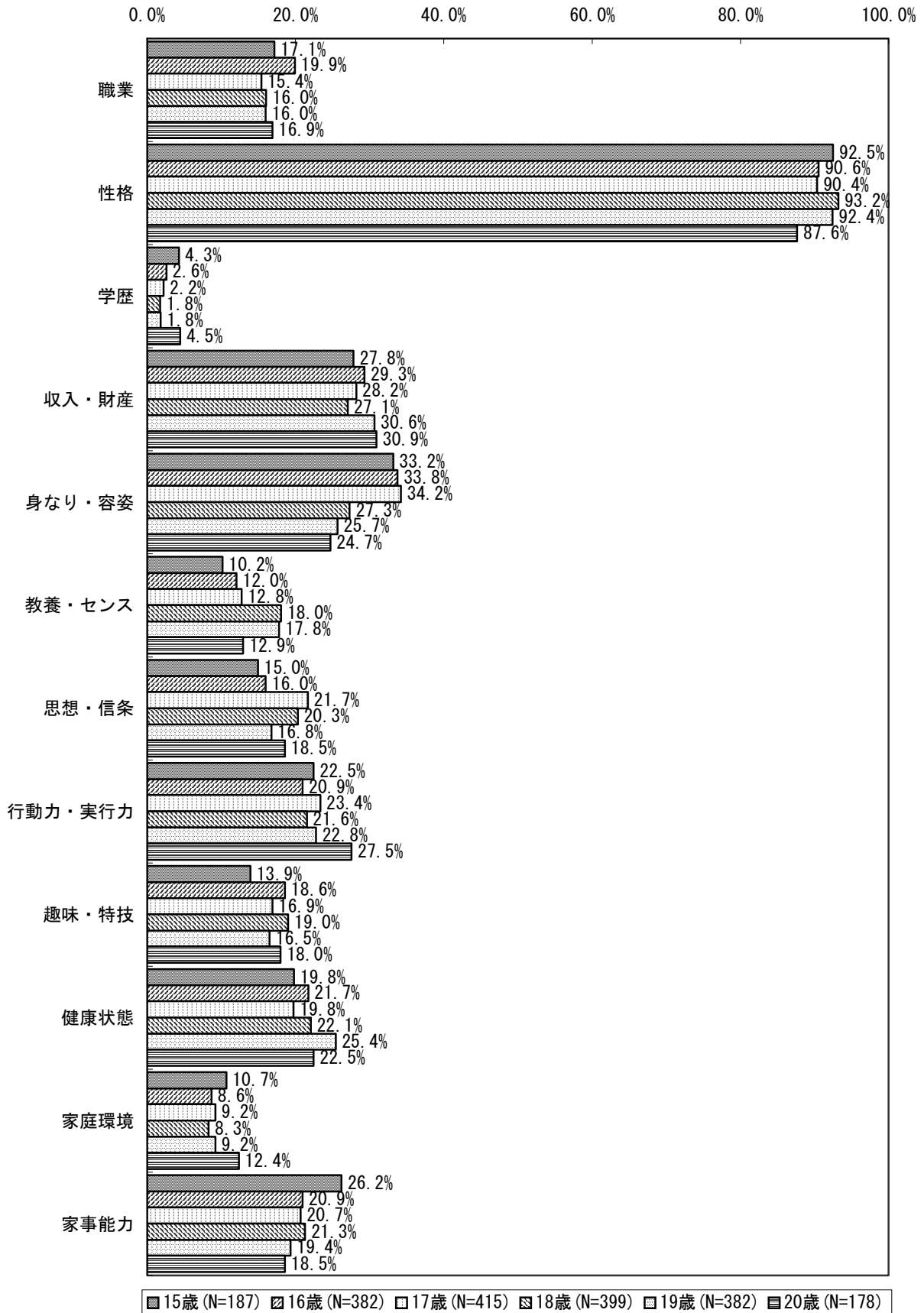
結婚相手に求めるものをたずねたところ、「性格」が91.3%で最も多く、以下、「身なり・容姿」が30.1%、「収入・財産」が28.5%、「行動力・実行力」が23.2%、「健康状態」が22.1%、「家事能力」が20.9%などとなっている。逆に、特に少なかったものは「学歴」(2.5%)や「家庭環境」(9.3%)となっている。

図表 性別 結婚相手に求めるもの（複数回答）



性別にみると、男女ともに「性格」が最も多い。男性が女性に比べて顕著に多いものとしては、「家事能力」（29.1ポイント差）や「身なり・容姿」（16.3ポイント差）などとなっている。逆に、女性が男性に比べて顕著に多いものとしては、「収入・財産」（37.5ポイント差）や「職業」（17.7ポイント差）、「行動力・実行力」（10.7ポイント差）などとなっている。

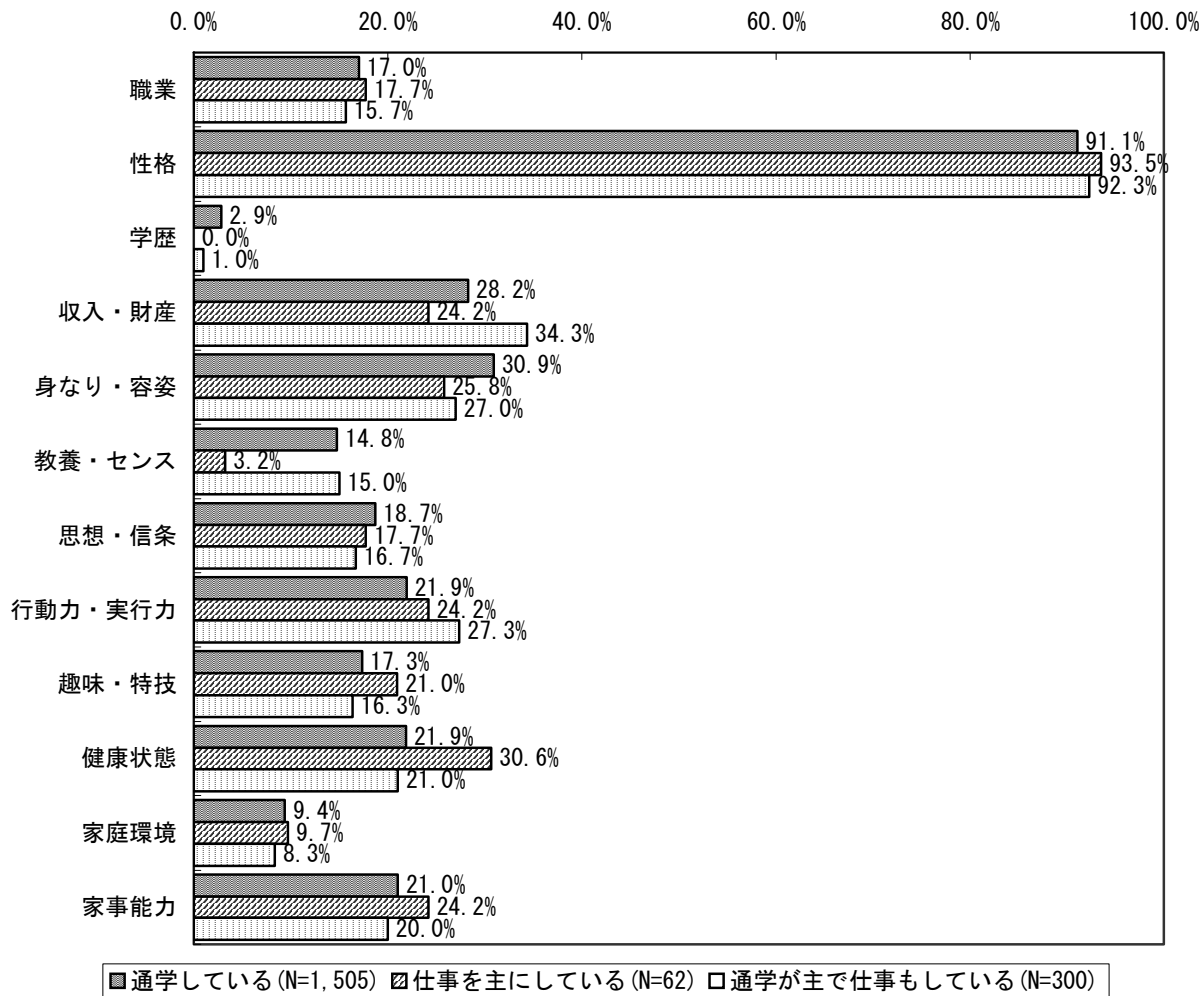
図表 年齢別 結婚相手に求めるもの（複数回答）



年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「身なり・容姿」や「家事能力」は年齢が低いほど多い傾向がみられる。



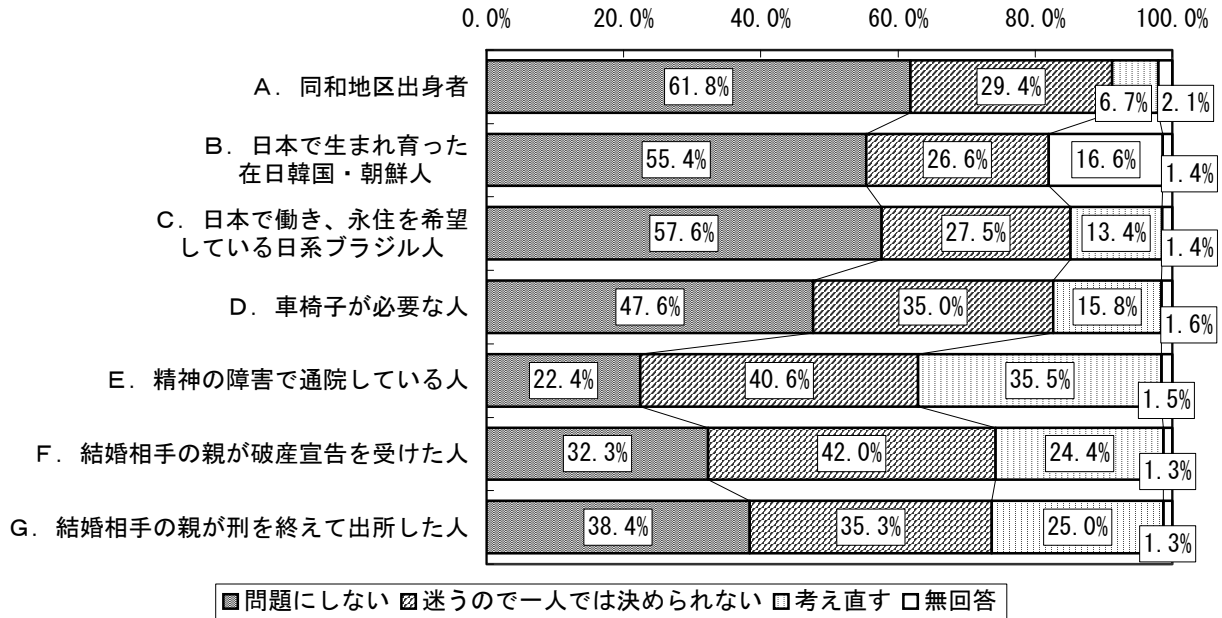
図表 就労・就学状況別 結婚相手に求めるもの（複数回答）



就労・就学状況別にみると、「収入・財産」は通学が主で仕事もしている人では34.3%となっており、他の就労・就学状況が20%台であるのに比べて多い。同様に、「教養・センス」は通学している人と通学が主で仕事もしている人では約15%となっており、仕事を主にしている人が3.2%であるのに比べて多い。また、「健康状態」は仕事を主にしている人では30.6%となっており、他の就労・就学状況が約20%であるのに比べて多い。

問13 あなたが問12で選んだ望ましいと思われる条件を備えている結婚相手が次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。A～Gのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度

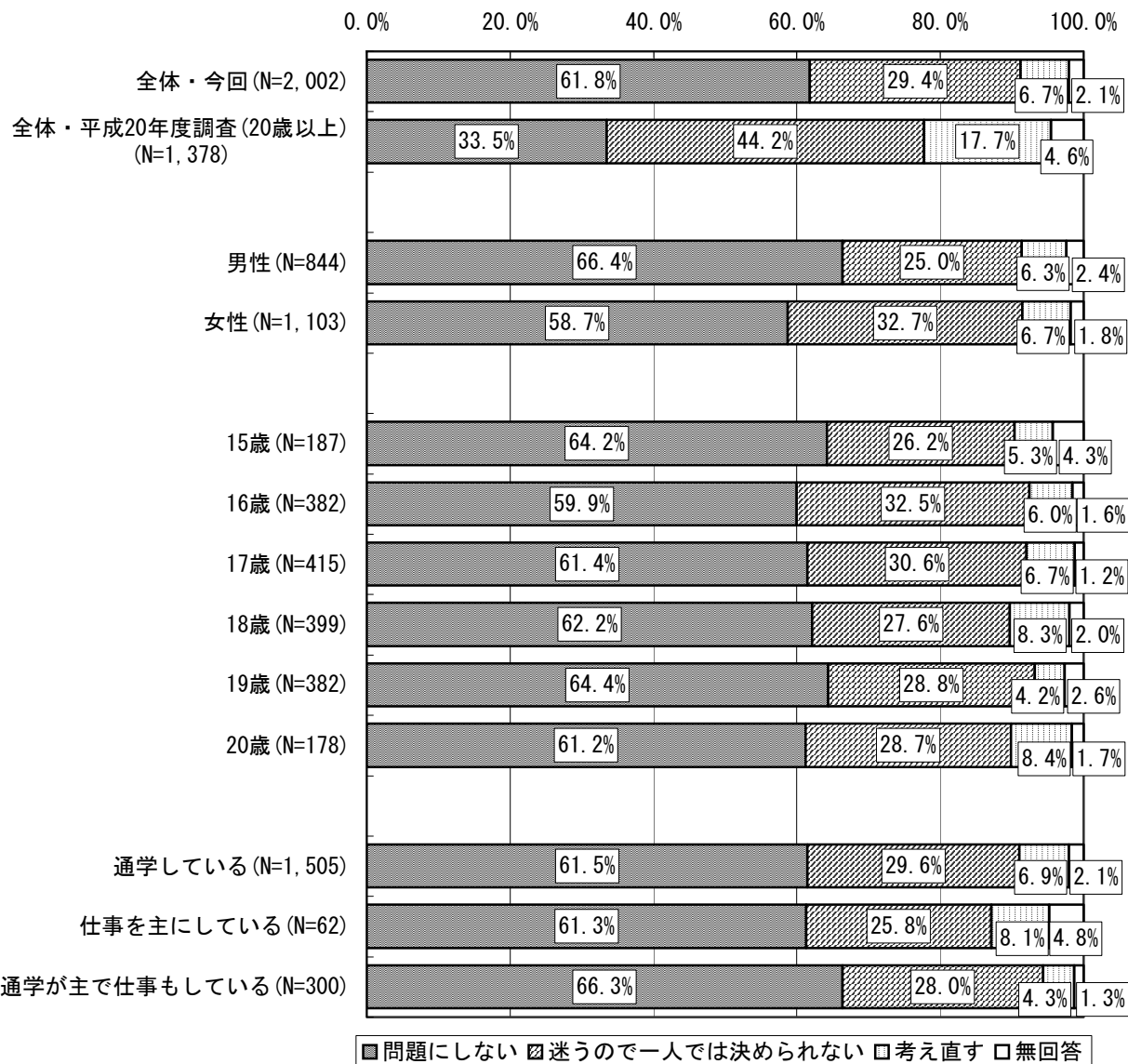


結婚相手の出生や国籍、障害の有無、家庭環境などがわかったときにとる態度をたずねたところ、「問題にしない」は「A. 同和地区出身者」が61.8%で最も多く、以下、「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」が57.6%、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」が55.4%などとなっている。

「迷うので一人では決められない」は「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」が42.0%で最も多く、以下、「E. 精神の障害で通院している人」が40.6%、「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」が35.3%、「D. 車椅子が必要な人」が35.0%などとなっている。

「考え直す」は「E. 精神の障害で通院している人」が35.5%で最も多く、以下、「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」が25.0%、「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」が24.4%などとなっている。

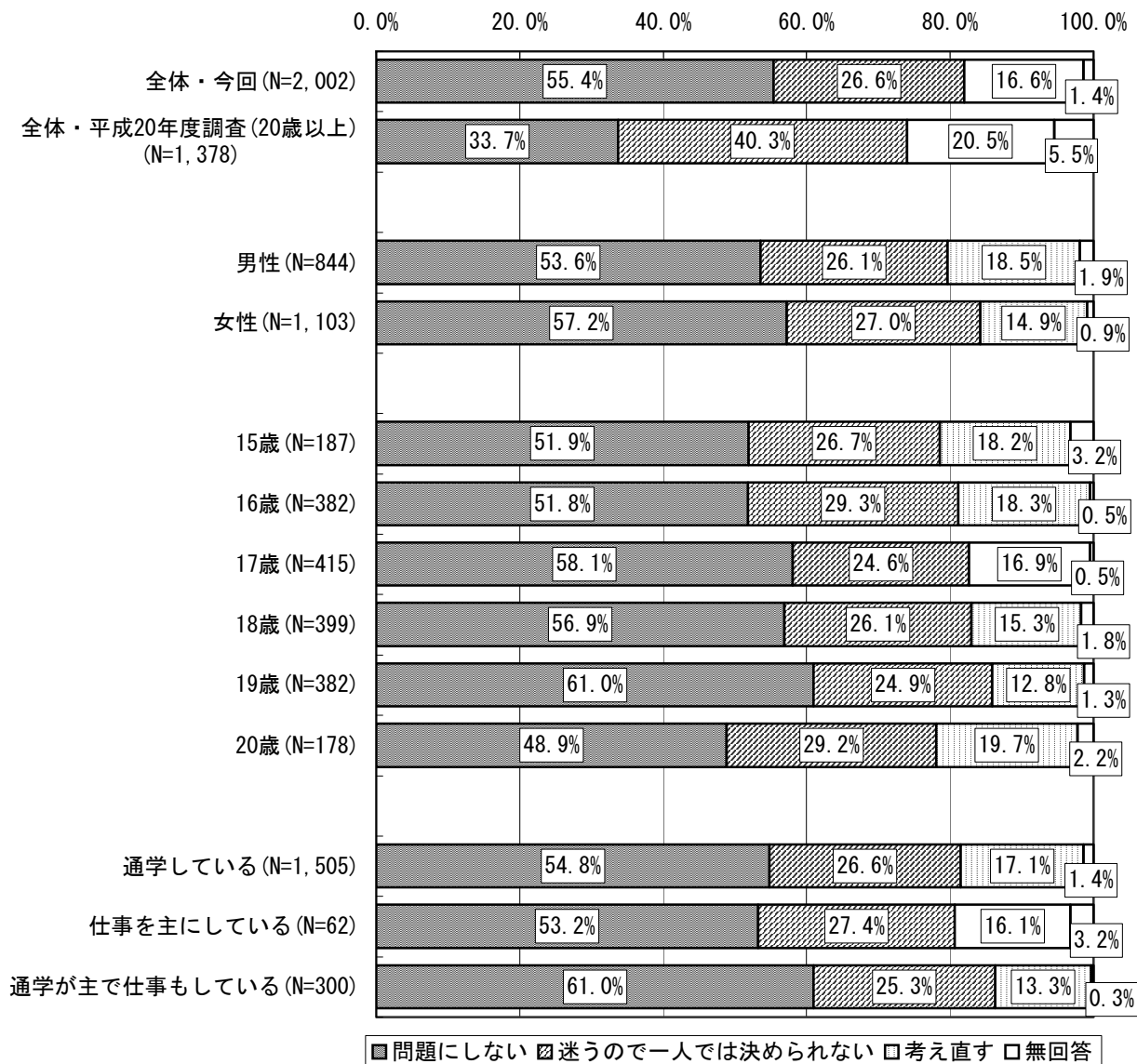
図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「A. 同和地区出身者」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

「A. 同和地区出身者」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」は今回が多く、「迷うので一人では決められない」と「考え直す」は今回が少ない。  
 性別にみると、「問題にしない」は男性（66.4%）が女性（58.7%）に比べて7.7ポイント多く、「迷うので一人では決められない」は女性（32.7%）が男性（25.0%）に比べて7.7ポイント多い。  
 年齢別にみると、15歳と19歳では「問題にしない」が64%以上となっており、他の年齢に比べてやや多い。「迷うので一人では決められない」は16歳と17歳では30%以上を占めている。  
 就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は就労・就学状況にかかわらず60%以上を占めているが、通学が主で仕事もしている人が66.3%で最も多い。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

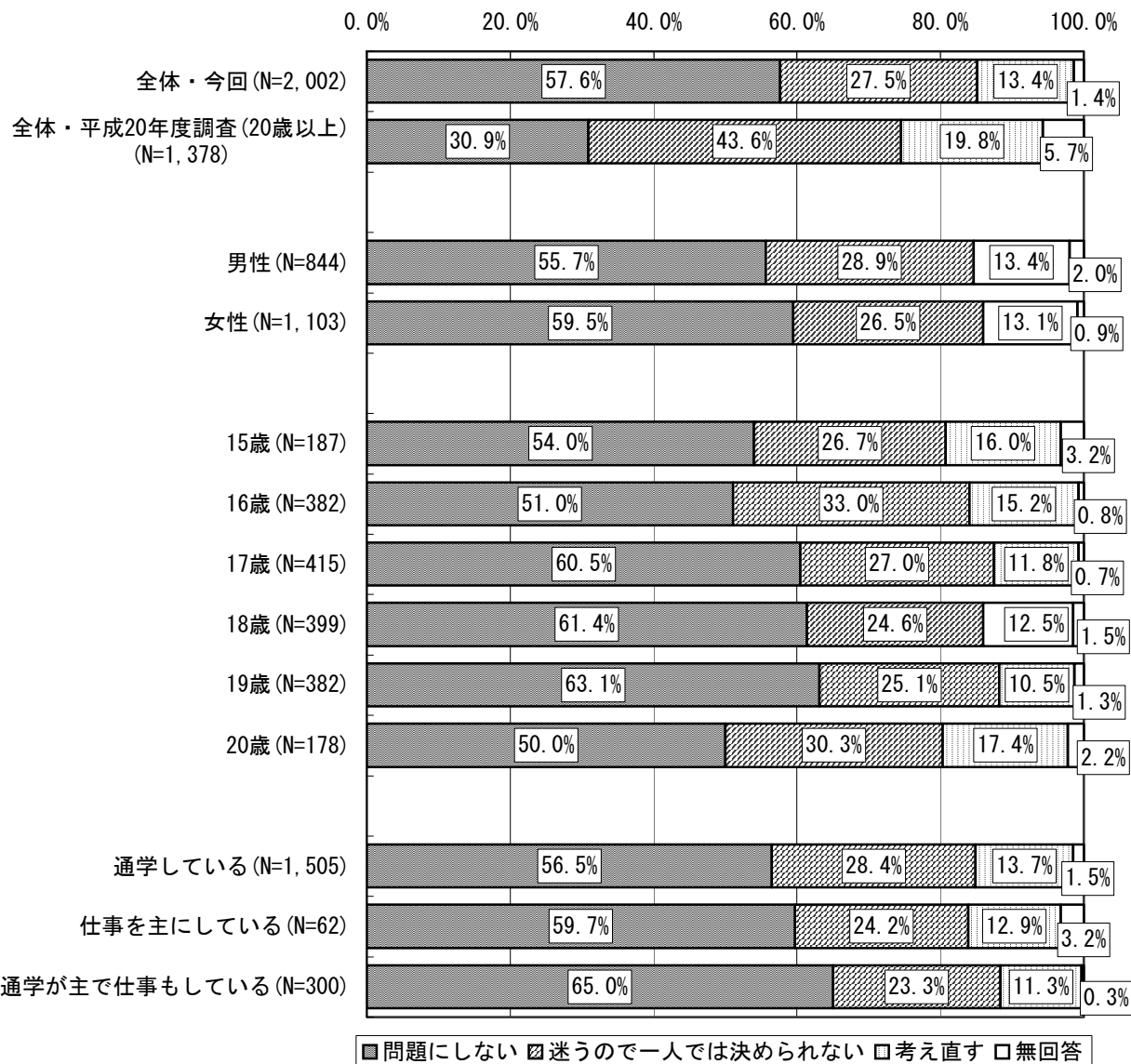
「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」は今回が多く、「迷うので一人では決められない」と「考え直す」は今回が少ない。

性別にみると、「問題にしない」は女性が57.2%、男性が53.6%で3.6ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳～19歳では60%近くを占め、他の年齢が50%前後であるのに比べて多い。「考え直す」は20歳が19.7%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は通学が主で仕事もしている人が61.0%で最も多い。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

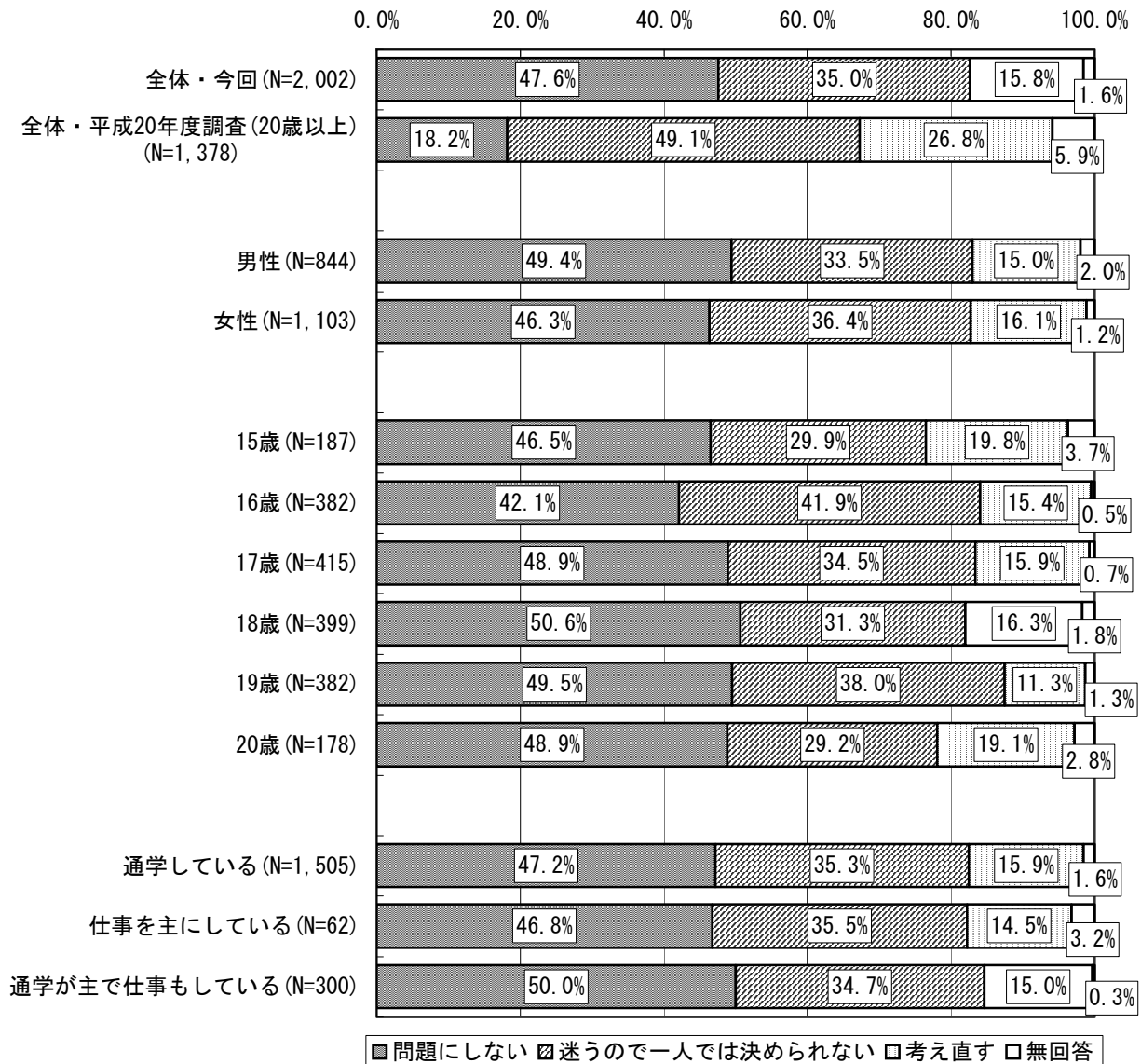
「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」は今回が多く、「迷うので一人では決められない」と「考え直す」は今回が少ない。

性別にみると、「問題にしない」は女性が59.5%、男性が55.7%で3.8ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳～19歳では60%以上を占め、他の年齢に比べて多い。「迷うので一人では決められない」は16歳と20歳では30%以上を占め、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は通学が主で仕事もしている人が65.0%で最も多い。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「D. 車椅子が必要な人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

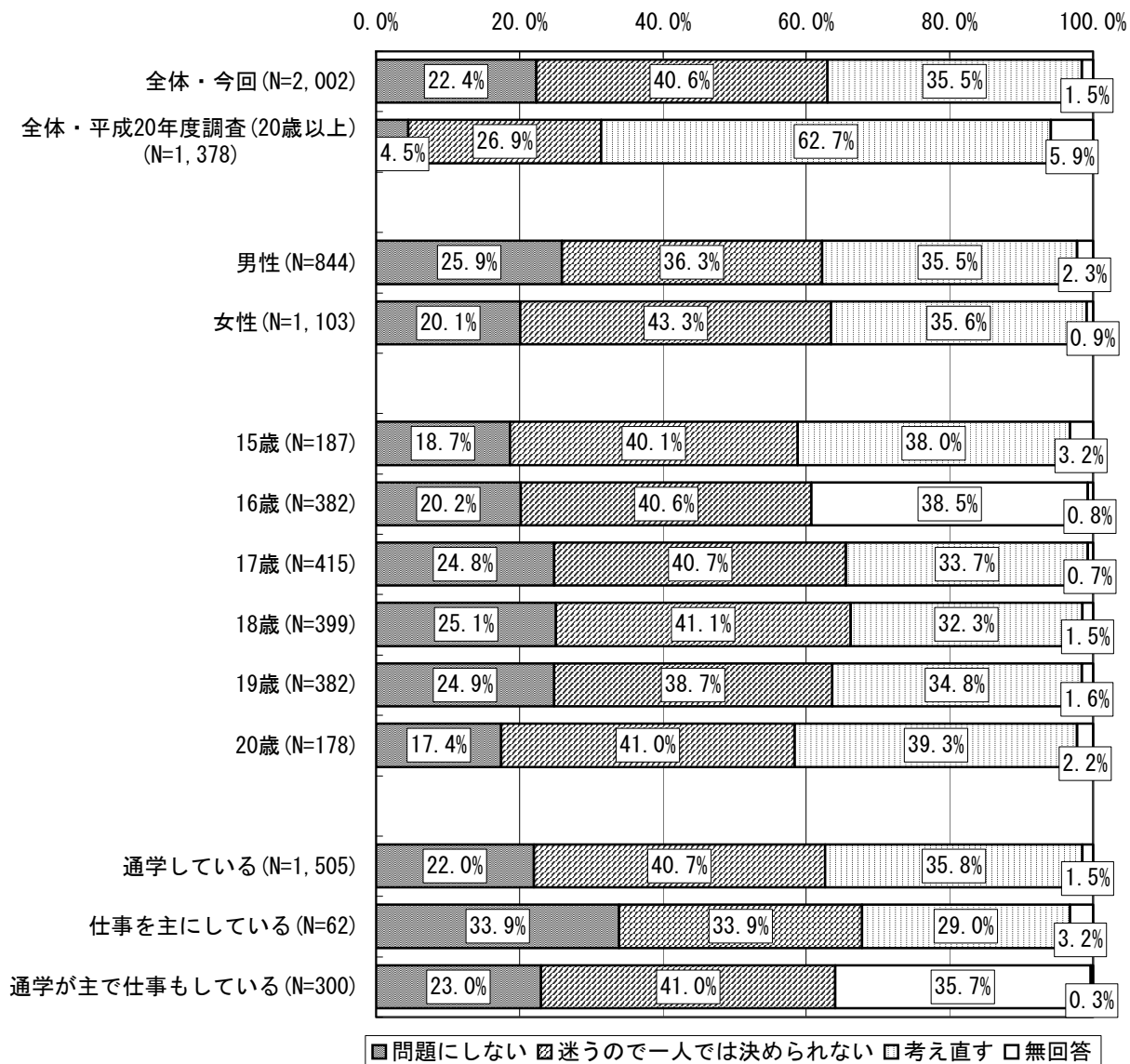
「D. 車椅子が必要な人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」は今回が多く、「迷うので一人では決められない」と「考え直す」は今回が少ない。

性別にみると、「問題にしない」は男性が49.4%、女性が46.3%で3.1ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳以上では約50%となっており、15歳と16歳に比べて多い。「迷うので一人では決められない」は16歳と19歳では約40%となっており、他の年齢に比べて多い。「考え直す」は15歳と20歳では19%を占め、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は通学が主で仕事もしている人が50.0%で最も多い。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「E. 精神の障害で通院している人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

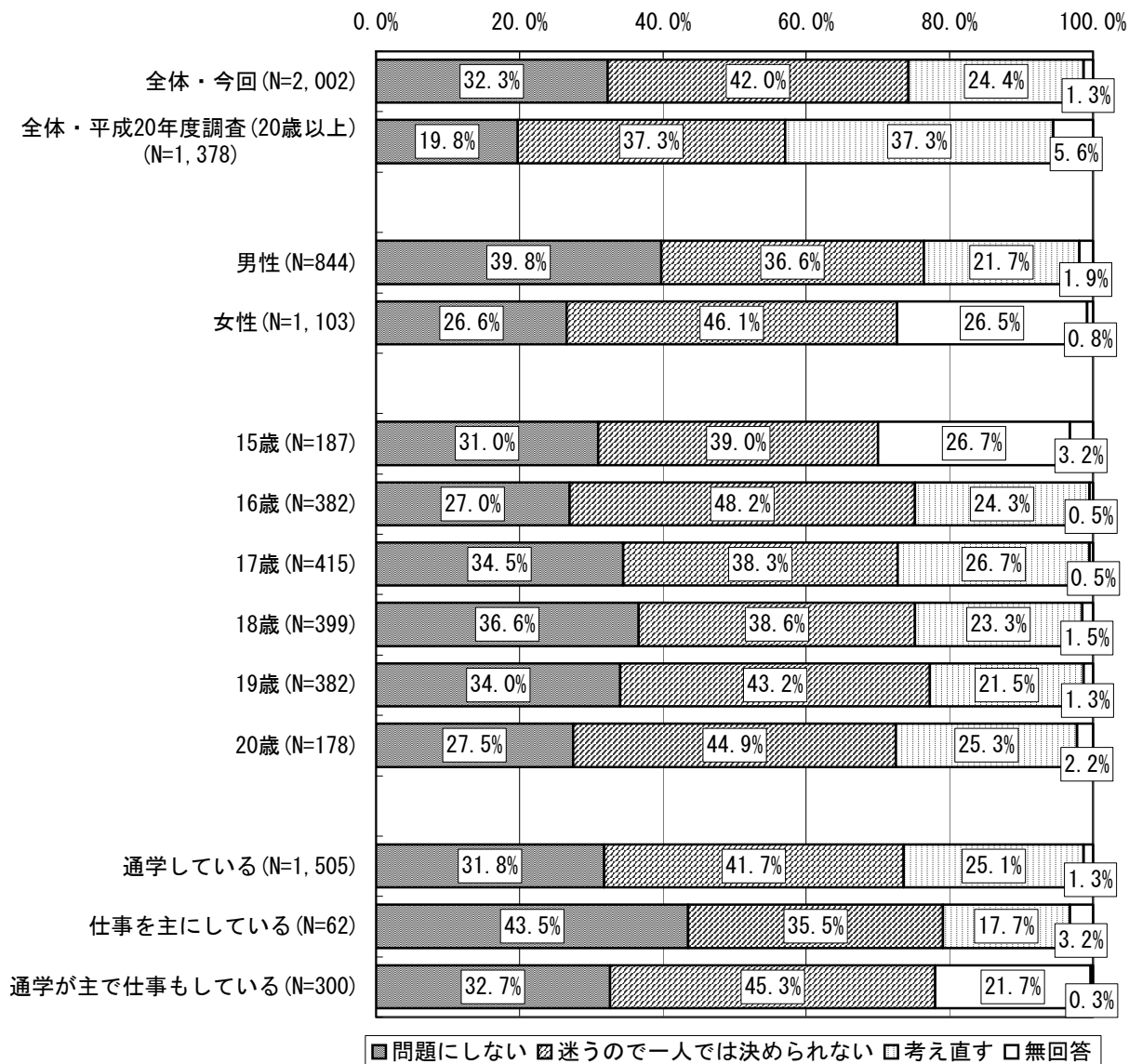
「E. 精神の障害で通院している人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」と「迷うので一人では決められない」は今回が多く、「考え直す」は今回が少ない。

性別にみると、「問題にしない」は男性（25.9%）が女性（20.1%）に比べて5.8ポイント多い。また、「迷うので一人では決められない」は女性（43.3%）が男性（36.3%）に比べて7.0ポイント多い。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳～19歳では約25%となっており、他の年齢に比べて多い。「考え直す」は20歳が39.3%で最も多く、15歳・16歳とともに40%近くを占めて他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は仕事を主にしている人が33.9%で最も多い。

図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」と「迷うので一人では決められない」は今回が多く、「考え直す」は今回が少ない。

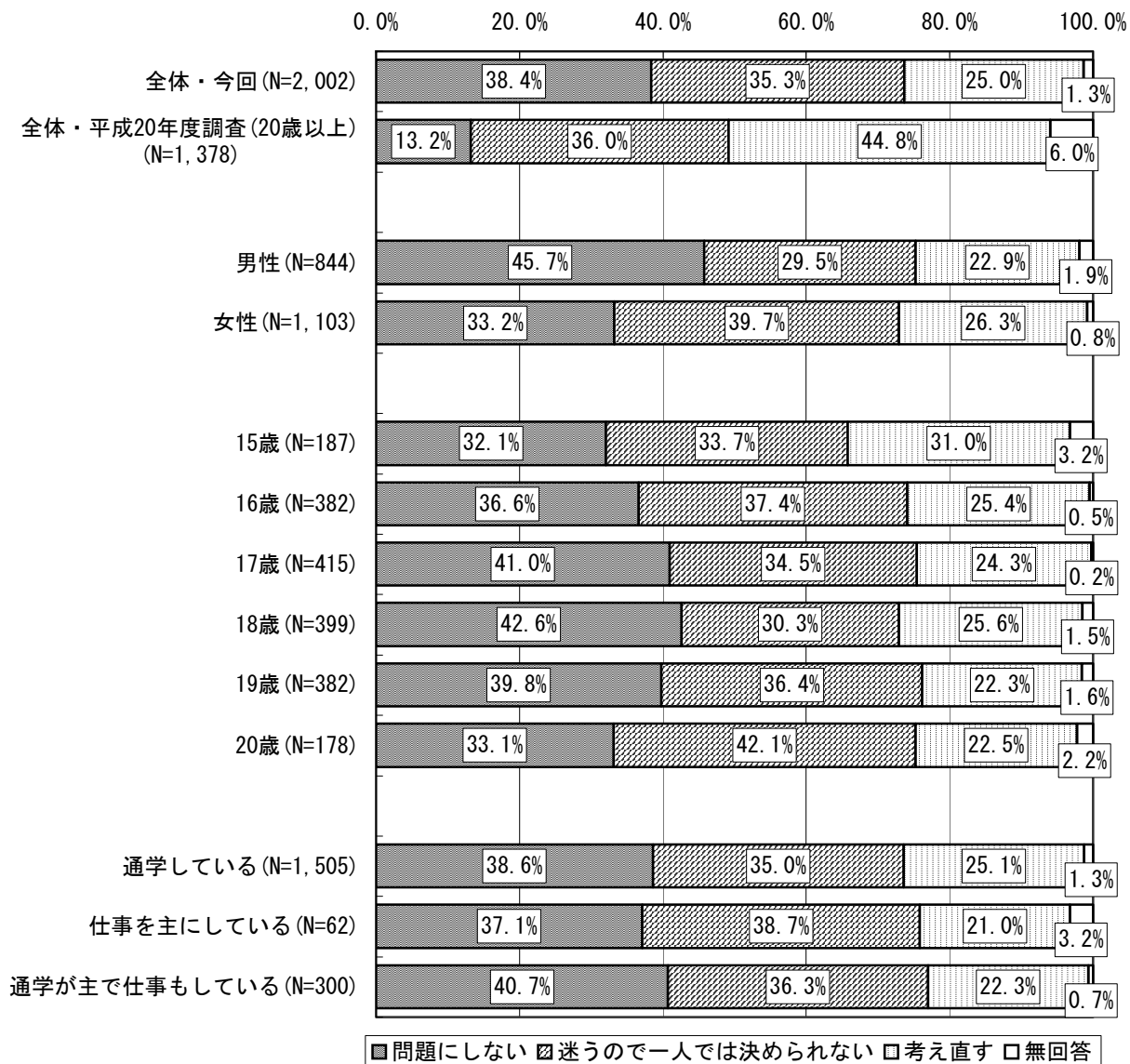
性別にみると、「問題にしない」は男性（39.8%）が女性（26.6%）に比べて13.2ポイント多い。また、「迷うので一人では決められない」は女性（46.1%）が男性（36.6%）に比べて9.5ポイント多い。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳～19歳では35%前後となっており、他の年齢に比べてやや多い。「迷うので一人では決められない」は16歳が48.2%で最も多く、19歳と20歳も40%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、「問題にしない」は仕事を主にしている人が43.5%で最も多い。



図表 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度 「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」



※平成20年度調査の設問は「望ましいと思われる条件を備えているお子さんの結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか」であった。平成20年度調査の選択肢「親としては反対だが、子どもの意思が堅ければ仕方がない」は今回調査の選択肢「迷うので一人では決められない」に位置づけ、同様に「考え直すように言う」は「考え直す」に位置づけている。

「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」について、平成20年度調査と比較すると、「問題にしない」は今回が多く、「迷うので一人では決められない」は拮抗しており、「考え直す」は今回が少ない。

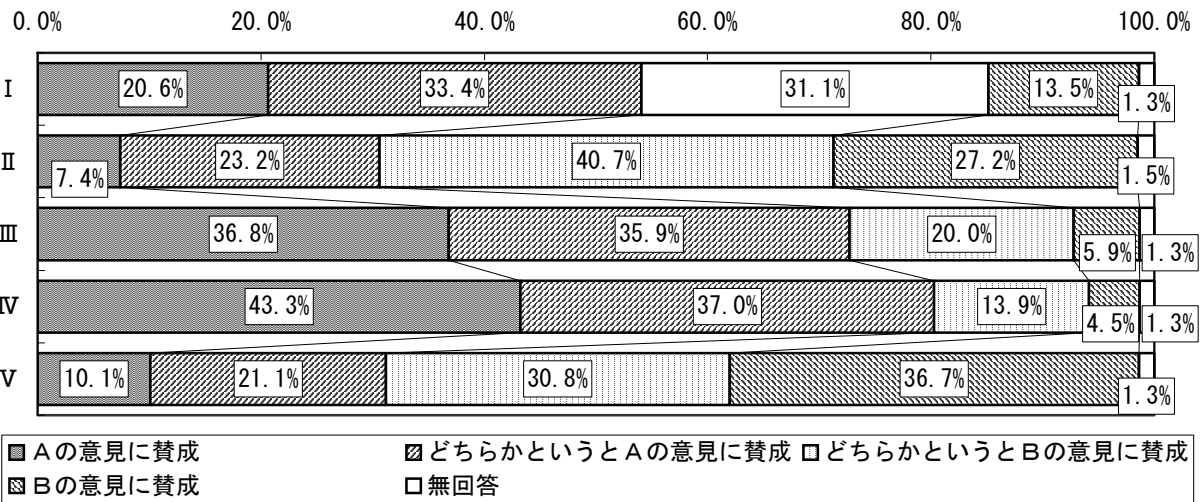
性別にみると、「問題にしない」は男性（45.7%）が女性（33.2%）に比べて12.5ポイント多い。また、「迷うので一人では決められない」は女性（39.7%）が男性（29.5%）に比べて10.2ポイント多い。

年齢別にみると、「問題にしない」は17歳～19歳では約40%となっており、他の年齢に比べてやや多い。顕著な傾向ではないが、「考え直す」は年齢が低いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、仕事を主にしている人では「迷うので一人では決められない」が最も多く、他の就労・就学状況では「問題にしない」が最も多くなっているが、就労・就学状況による回答傾向に大差はない。

問14 次のような考え方について、あなたはAとBどちらの意見に賛成ですか。I～Vのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか



設問に設定している意見

	Aの意見	Bの意見
I いじめ	いじめはどんな理由があってもいじめめる人が悪い	いじめは、いじめられる側にもそれなりの問題がある
II 障害者の人権	障害者施設の建設反対運動は、居住権を守るためなら人権侵害にあたらぬ	障害者が地域住民とともに生活するのは当然であり、反対運動は人権侵害である
III 外国人の人権	日本に住む外国人が母国の文化や慣習を大切に生きていくことは尊重されるべきだ	日本に住む外国人はできるだけ日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきだ
IV 女性の人権	女性だというだけで親の介護をしないといけぬのは女性を差別している	介護は女性に向いている仕事なので、必ずしも女性を差別しているとはいえない
V 学歴	どのような学校を卒業したかがその後の人生で決定的に重要である	どのような学校を卒業したかはその後の人生に決定的に重要ではない

※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

I～VのAまたはBの二者択一の意見について、回答者の考えがどちらの意見に近いかをたずねた。

Iについては、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は54.0%、Bの意見に賛成の人は44.6%となっている。

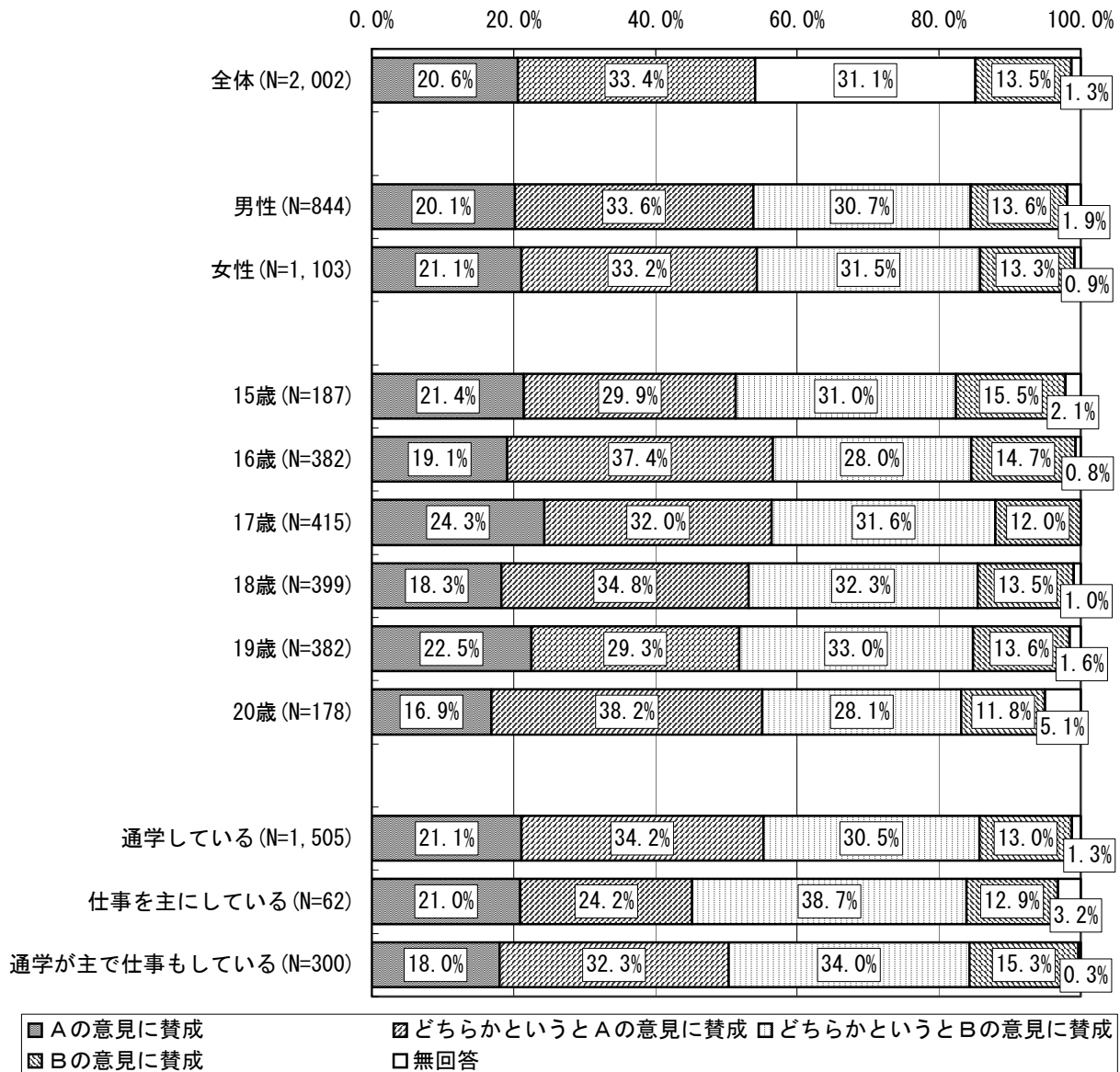
IIについては、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は67.9%、Aの意見に賛成の人は30.6%となっている。

IIIについては、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は72.7%、Bの意見に賛成の人は25.9%となっている。

IVについては、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は80.3%、Bの意見に賛成の人は18.4%となっている。特に、「Aの意見に賛成」という強く賛成する人が43.3%を占めている。

Vについては、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人が67.5%、Aの意見に賛成の人は31.2%となっている。特に、「Bの意見に賛成」という強く賛成する人が36.7%を占めている。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか 「I いじめ」



Aの意見	Bの意見
いじめはどんな理由があってもいじめの人が悪い	いじめは、いじめられる側にもそれなりの問題がある

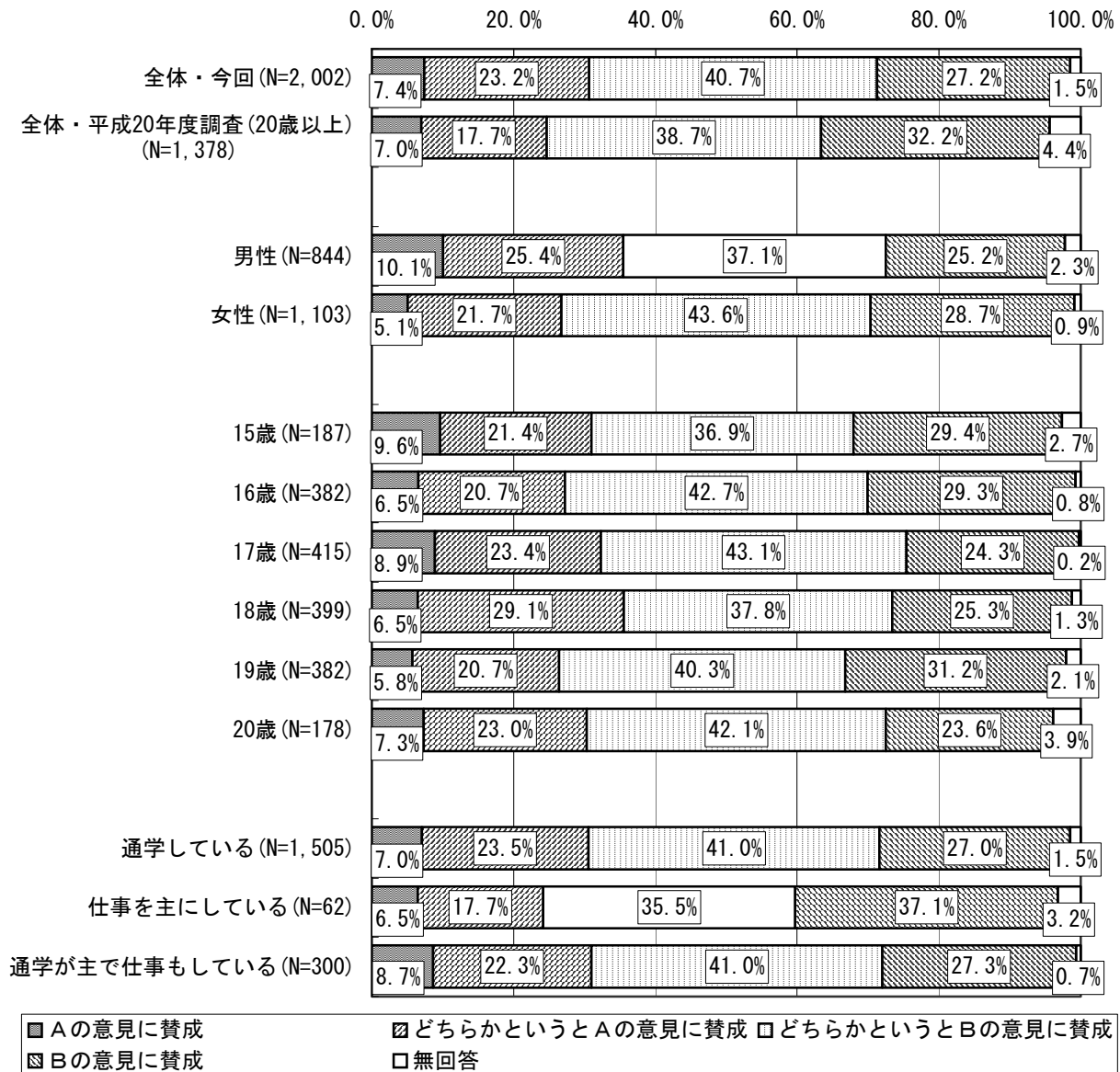
※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

「I いじめ」について、性別にみると、「どちらかというとも」までを含め、男女ともにAの意見に賛成の人が半数以上を占めており、男女間でも大差はない。

年齢別にみると、「どちらかというとも」までを含め、各年齢ともAの意見に賛成の人が半数以上を占めているが、16歳・17歳・20歳では50%台後半となっており、他の年齢に比べてわずかに多い。「Aの意見に賛成」という強く賛成する人は17歳が24.3%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は通学している人と通学が主で仕事もしている人では半数以上を占めている。逆に、仕事を主にしている人では「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人が半数以上を占めている。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか 「Ⅱ 障害者の人権」



Aの意見	Bの意見
障害者施設の建設反対運動は、居住権を守るためなら人権侵害にあたらぬ	障害者が地域住民とともに生活するのは当然であり、反対運動は人権侵害である

※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

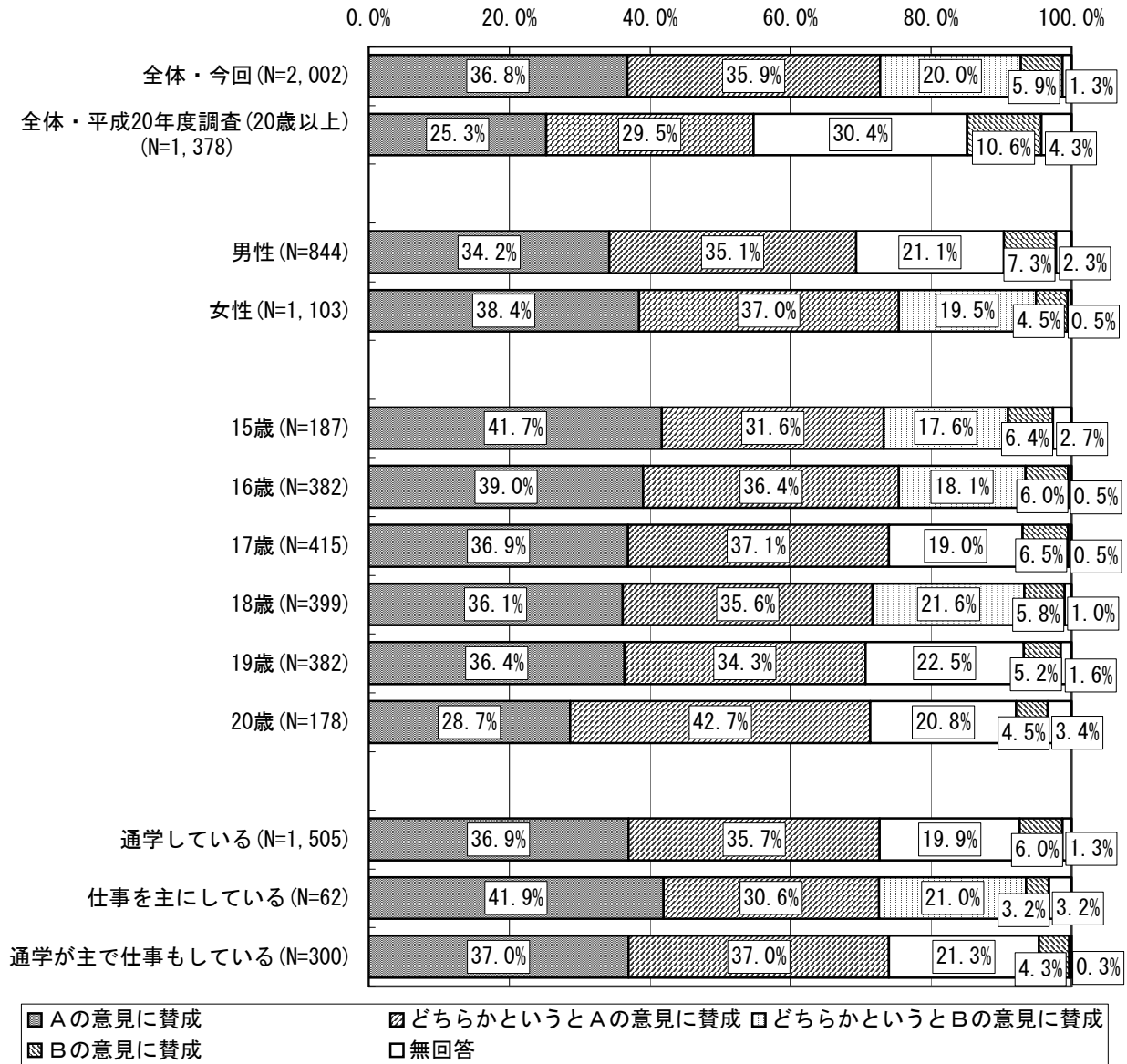
「Ⅱ 障害者の人権」について、平成20年度調査と比較すると、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は平成20年度調査が70.9%、今回が67.9%で大差はないが、「Bに意見に賛成」という強く賛成する人は平成20年度調査に比べて5.0ポイント少ない。

性別にみると、「どちらかというとも」までを含め、男女ともにBの意見に賛成の人が60%以上を占めており、女性（72.3%）が男性（62.3%）に比べて10.0ポイント多い。

年齢別にみると、「どちらかというとも」までを含め、各年齢ともBの意見に賛成の人が60%以上を占めているが、16歳と19歳では70%以上を占め、他の年齢に比べて多い。「Bの意見に賛成」という強く賛成する人は15歳・16歳・19歳では約30%となっており、他の年齢に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は仕事を主にしている人が72.6%で最も多い。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか 「Ⅲ 外国人の人権」



Aの意見	Bの意見
日本に住む外国人が母国の文化や慣習を大切に生きていくことは尊重されるべきだ	日本に住む外国人はできるだけ日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきだ

※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

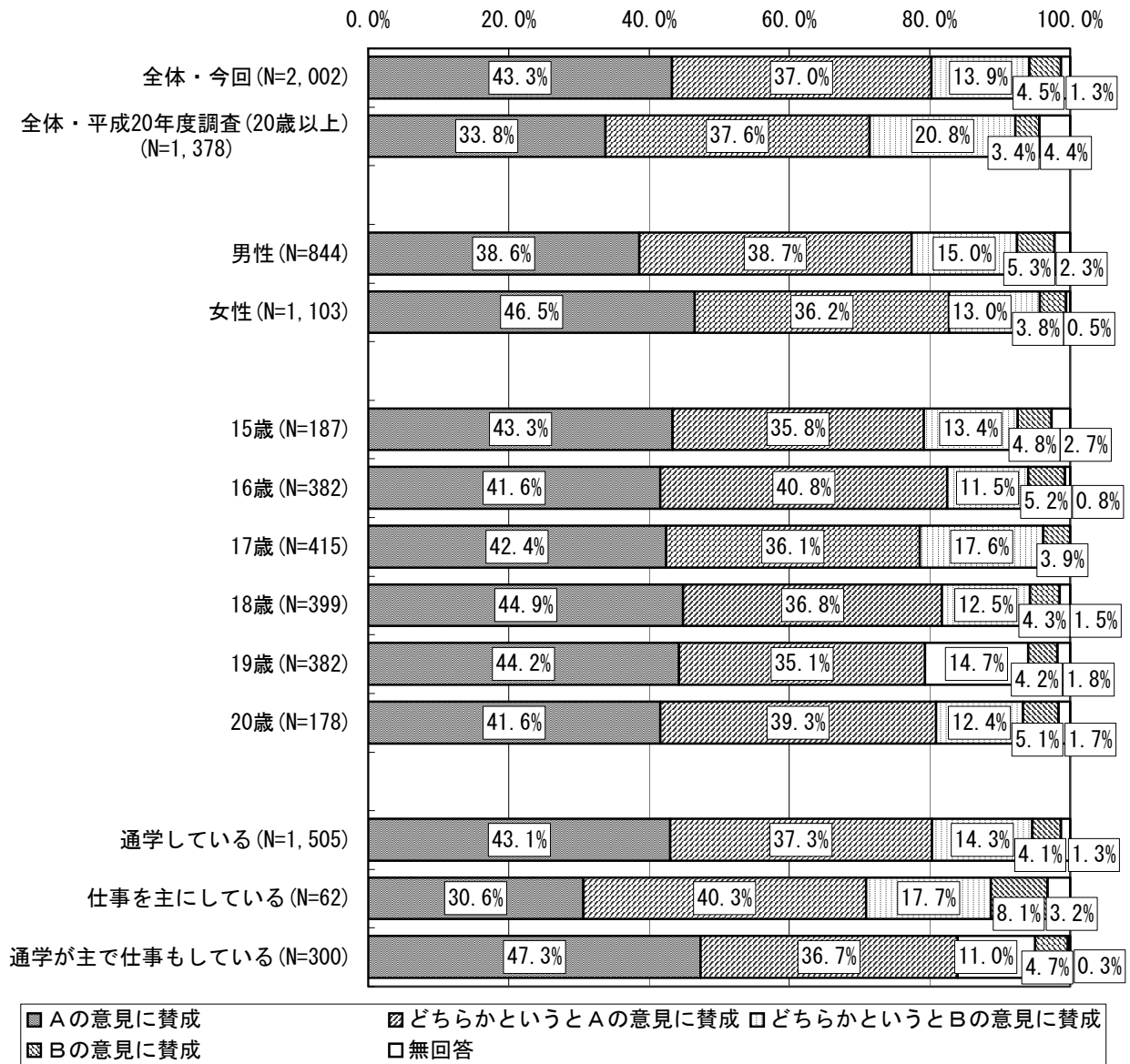
「Ⅲ 外国人の人権」について、平成20年度調査と比較すると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は平成20年度調査が54.8%、今回が72.7%で17.9ポイント多い。

性別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は女性（75.4%）が男性（69.3%）に比べて6.1ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「Aの意見に賛成」という強く賛成する人は年齢が低いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は通学が主で仕事もしている人が74.0%で最も多いが、いずれの就労・就学状況でもAの意見に賛成の人が70%以上を占めている。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか 「IV 女性の人権」



Aの意見	Bの意見
女性だというだけで親の介護をしないとイケないのは女性を差別している	介護は女性に向いている仕事なので、必ずしも女性を差別しているとはいえない

※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

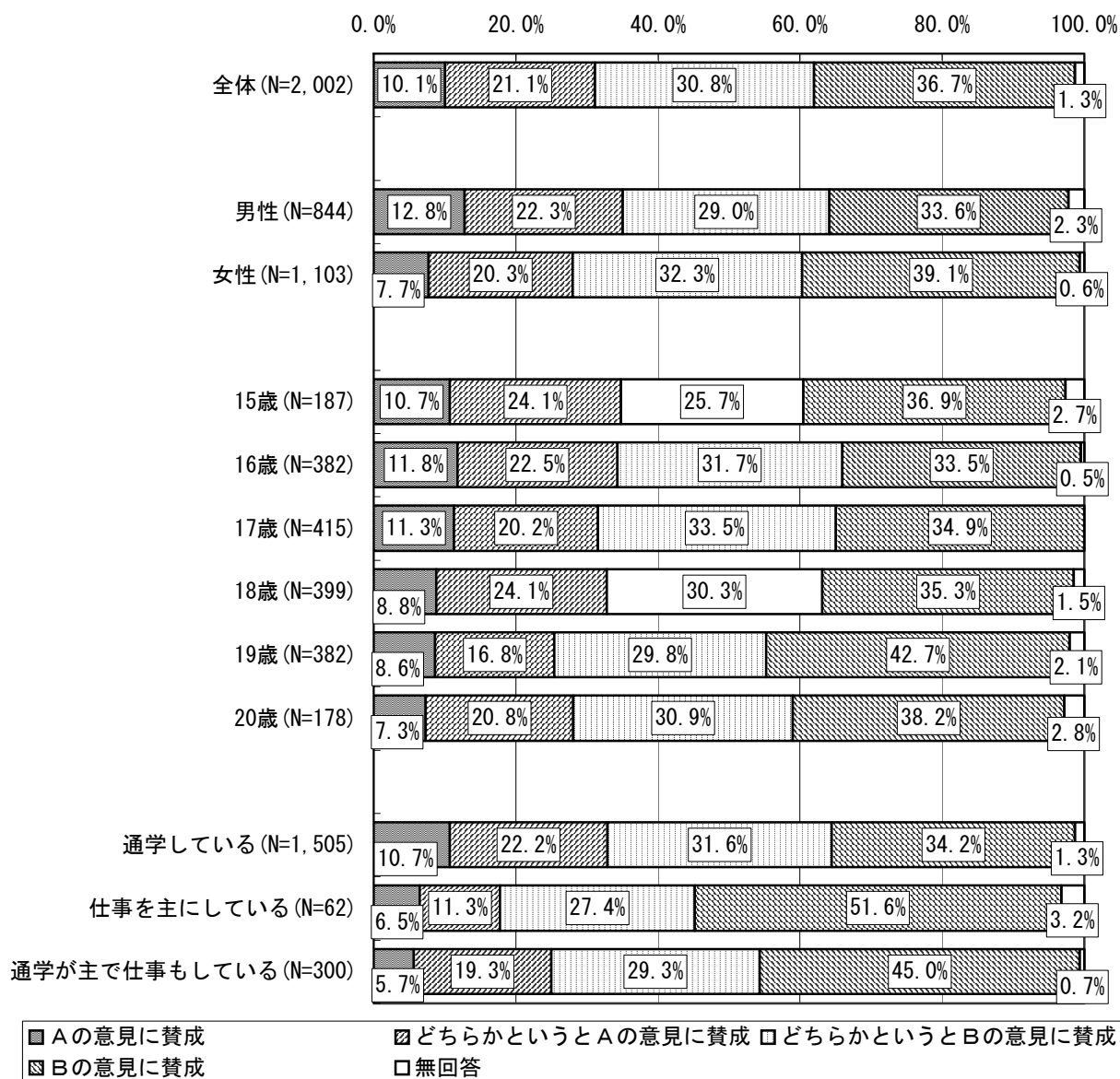
「IV 女性の人権」について、平成20年度調査と比較すると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は平成20年度調査が71.4%、今回が80.3%で8.9ポイント多い。

性別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成する人は女性（82.7%）が男性（77.3%）に比べて5.4ポイント多い。

年齢別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は各年齢とも約80%となっており、大差はない。

就労・就学状況別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Aの意見に賛成の人は通学している人と通学が主で仕事もしている人では80%以上を占めているが、仕事を主にしている人は70.9%にとどまっております、10ポイント程度少ない。

図表 自分の考えはどちらの意見に近いか 「V 学歴」



Aの意見	Bの意見
どのような学校を卒業したかがその後の人生で決定的に重要である	どのような学校を卒業したかはその後の人生に決定的に重要ではない

※各意見とも、調査票の表記や表現の一部を省略または加筆し、短くしている。

「V 学歴」について、性別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は女性（71.4%）が男性（62.6%）に比べて8.8ポイント多い。「Bに賛成」という強く賛成する人は女性（39.1%）が男性（33.6%）に比べて5.5ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は年齢が高いほど多い傾向がみられ、19歳と20歳では約70%となっている。

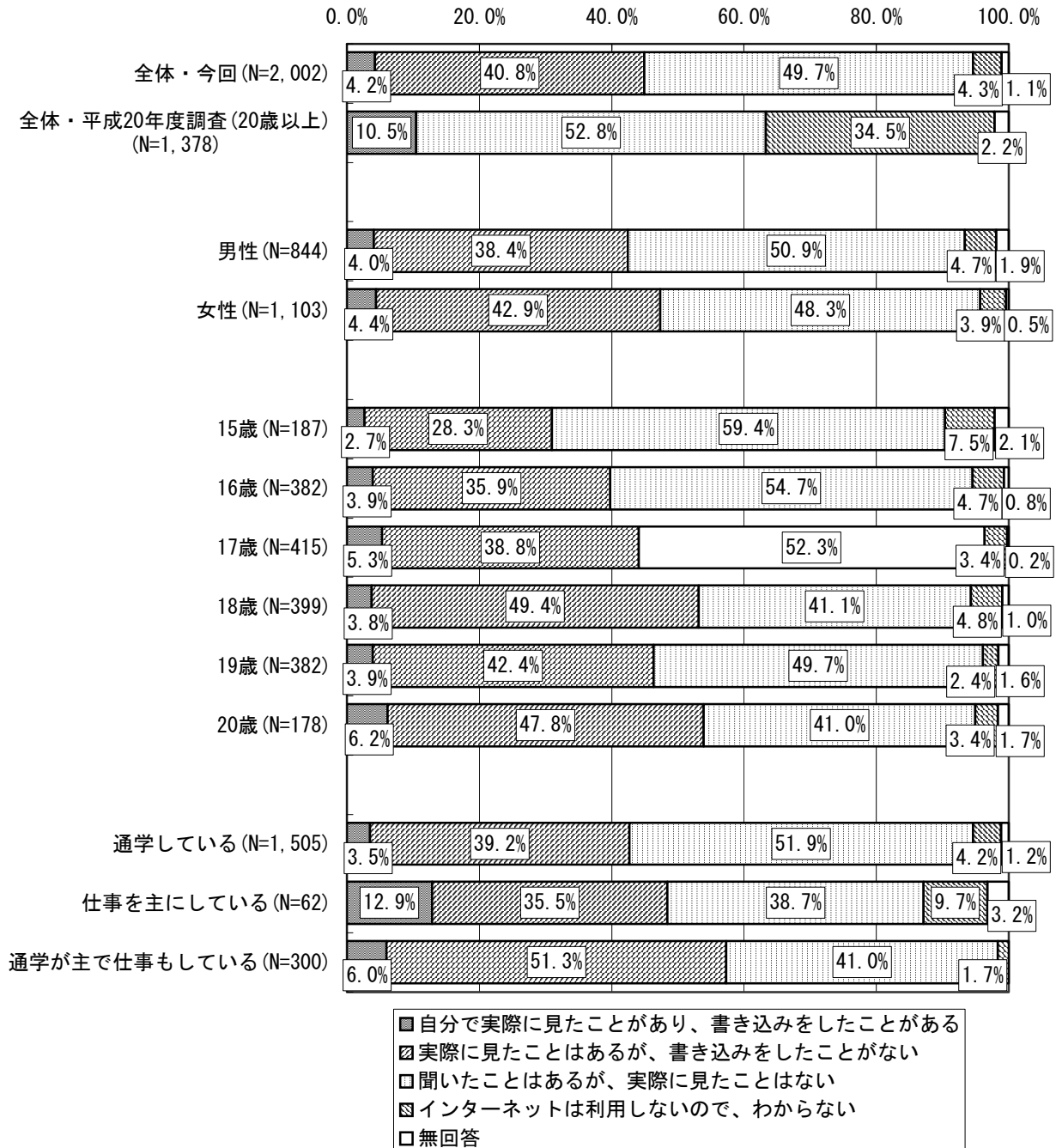
就労・就学状況別にみると、「どちらかというとも」までを含め、Bの意見に賛成の人は仕事を主にしている人が79.0%で最も多く、「Bの意見に賛成」という強く賛成する人が51.6%と半数以上を占めている。

## 第4章 インターネット上での人権侵害に関する意識について

問15 パソコンや携帯電話のインターネット上で、個人名を取り上げて、悪口やプライバシーを暴露する書き込みがあります。

(1) あなたは、それを見たり、自分でも書き込みをしたりしたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 インターネット上での差別的な書き込み等の閲覧や書き込みの経験があるか



※平成20年度調査の選択肢は「自分で実際に見たことがある」・「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」・「インターネットは利用しないので、わからない」となっており、「自分で実際に見たことがある」は今回調査の選択肢「自分で見たことがあり、書き込みをしたことがある」に位置づけている。



インターネット上での人権侵害や差別的書き込みの閲覧や書き込みの経験があるかをたずねたところ、「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」が49.7%で最も多く、以下、「実際に見たことはあるが、書き込みをしたことがない」が40.8%、「インターネットは利用しないので、わからない」が4.3%、「自分で実際に見たことがあり、書き込みをしたことがある」が4.2%となっている。

平成20年度調査と比較すると、書き込みの経験の有無に関係なく、閲覧経験がある人は平成20年度調査が10.5%、今回が45.0%で34.5ポイント多い。「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」は、平成20年度調査・今回ともに50%前後と大差はない。

性別にみると、男女ともに「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」が最も多いが、男性が50.9%、女性が48.3%で2.6ポイント差となっており、大差はない。「実際に見たことはあるが、書き込みをしたことがない」は女性（42.9%）が男性（38.4%）に比べて4.5ポイント多い。

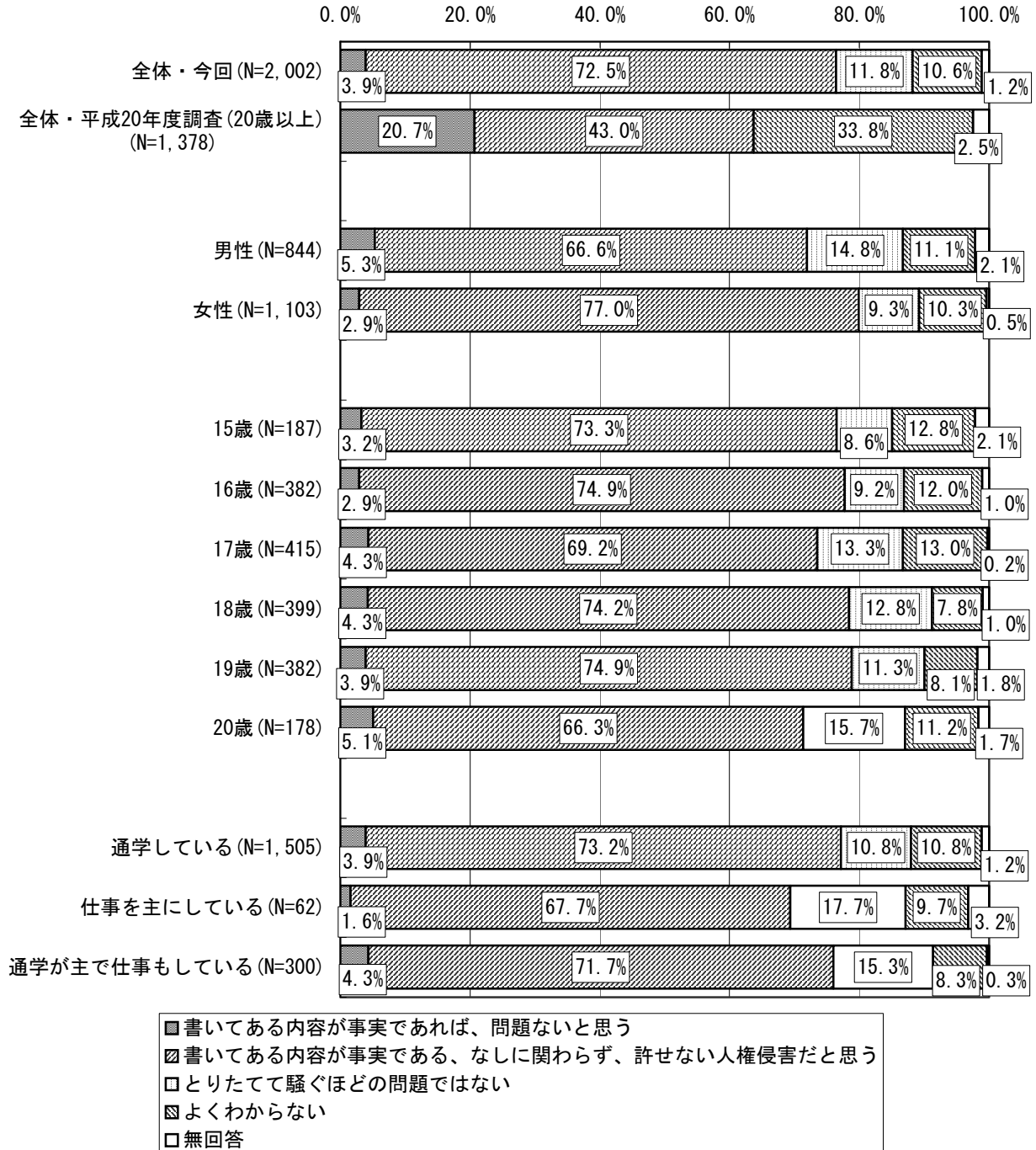
年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「自分で実際に見たことがあり、書き込みをしたことがある」と「実際に見たことはあるが、書き込みをしたことがない」をあわせた閲覧経験がある人は年齢が高いほど多い傾向がみられる。一方で、「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」は17歳以下では半数以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、閲覧経験がある人は通学が主で仕事もしている人では57.3%となっており、「実際に見たことはあるが、書き込みをしたことがない」は51.3%となっている。「聞いたことはあるが、実際に見たことはない」は通学している人では51.9%を占めている。

問15 パソコンや携帯電話のインターネット上で、個人名を取り上げて、悪口やプライバシーを暴露する書き込みがあります。

(2) あなたは、悪口やプライバシーを暴露する書き込みについて、どのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

図表 インターネット上での差別的な書き込み等をする行為に対する意識



※平成20年度調査の設問は「インターネットの掲示板に、歌手、タレント、スポーツ選手など有名人の名前をあげて、日本名を使っているが在日朝鮮人であると暴露する書き込みがあります。そのような書き込みについて、あなたはどのように思いますか」であった。選択肢「とりたてて騒ぐほどの問題ではない」は今回調査のみ。

インターネット上での差別的な書き込み等をする行為に対する意識をたずねたところ、「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」が72.5%で最も多く、以下、「とりたてて騒ぐほどの問題ではない」が11.8%、「よくわからない」が10.6%、「書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う」が3.9%となっている。

平成20年度調査と比較すると、「書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う」は今回が16.8ポイント少なく、「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」は今回が29.5ポイント多い。

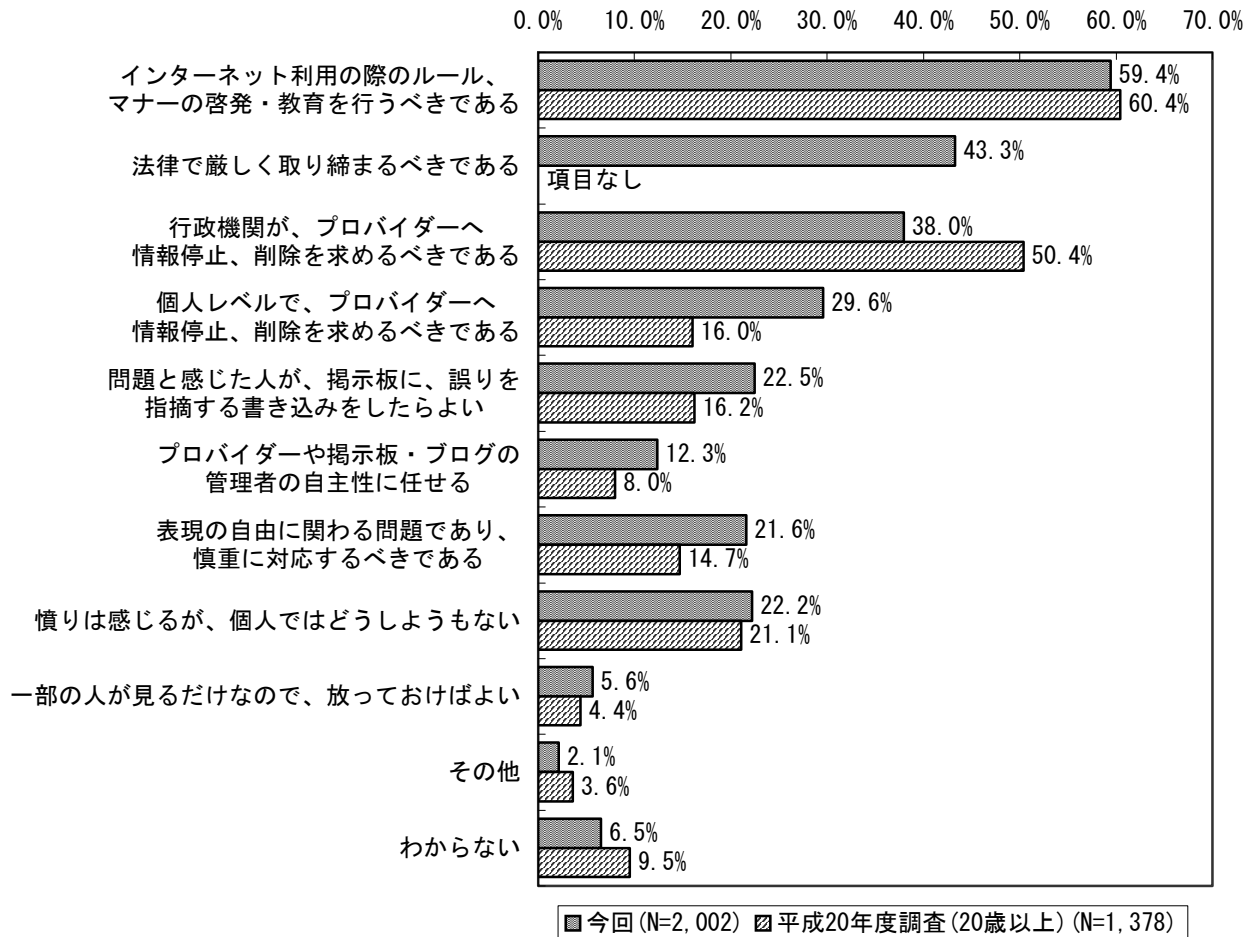
性別にみると、男女ともに「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」が最も多いが、女性（77.0%）が男性（66.6%）に比べて10.4ポイント多い。「とりたてて騒ぐほどの問題ではない」は男性（14.8%）が女性（9.3%）に比べて5.5ポイント多い。

年齢別にみると、「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」は、17歳と20歳では60%台後半であるのに対し、他の年齢では75%近くを占めている。また、「とりたてて騒ぐほどの問題ではない」は17歳以上では10%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、通学している人と通学が主で仕事もしている人では「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」が70%以上を占めており、仕事を主にしている人が67.7%であるのに比べてやや多い。

問16 パソコンや携帯電話のインターネット上の差別的な書き込みや個人情報のばらまきなどの問題を改善するために、あなたはどうすればいいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

図表 インターネット上での差別的な書き込みなどの問題の改善に必要と思う対策（複数回答）



※選択肢「法律で厳しく取り締まるべきである」は今回調査のみ。

インターネット上での差別的な書き込みなどの問題の改善に必要と思う対策をたずねたところ、「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである」が59.4%で最も多く、以下、「法律で厳しく取り締まるべきである」が43.3%、「行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」が38.0%、「個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」が29.6%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、「行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」は今回が少なく、「個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」や「問題と感じた人が、掲示板に、誤りを指摘する書き込みをしたらよい」、「プロバイダーや掲示板・ブログの管理者の自主性に任せる」、「表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応するべきである」は、それぞれ今回が多い。

図表 性別、年齢別、通学している学校種別 インターネット上での差別的な書き込みなどの問題の改善に必要と思う対策（複数回答）

		有効回答数	インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである	法律で厳しく取り締まるべきである	行政機関が、情報停止、削除を求めるべきである	個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである	掲示板に、誤りを指摘する書き込みをしたらよい	問題と感じた人が、掲示板の管理者に知らせる
全体	今回	2,002	59.4%	43.3%	38.0%	29.6%	22.5%	12.3%
	平成20年度調査(20歳以上)	1,378	60.4%	項目なし	50.4%	16.0%	16.2%	8.0%
性別	男性	844	57.5%	44.8%	35.7%	27.0%	24.9%	13.4%
	女性	1,103	61.3%	41.9%	39.9%	31.6%	20.4%	11.7%
年齢別	15歳	187	56.1%	44.4%	33.2%	28.3%	24.1%	12.3%
	16歳	382	59.4%	43.7%	39.0%	29.6%	23.0%	13.9%
	17歳	415	60.0%	40.7%	33.5%	31.3%	21.7%	13.7%
	18歳	399	54.9%	42.1%	43.6%	30.3%	24.8%	11.5%
	19歳	382	62.6%	46.3%	40.1%	28.0%	18.6%	9.2%
	20歳	178	68.5%	43.3%	36.5%	29.8%	23.6%	15.7%
状況・別就学	通学している	1,505	60.3%	44.3%	39.0%	30.2%	22.0%	12.1%
	仕事を主にしている	62	54.8%	40.3%	33.9%	24.2%	27.4%	14.5%
	通学が主で仕事もしている	300	59.0%	39.0%	36.7%	28.7%	24.7%	13.3%
		有効回答数	すりわ表現の自由に関する対応	うが憤りを感じるなど	い放だ一つおかげで、見る	その他	わからない	
全体	今回	2,002	21.6%	22.2%	5.6%	2.1%	6.5%	
	平成20年度調査(20歳以上)	1,378	14.7%	21.1%	4.4%	3.6%	9.5%	
性別	男性	844	21.4%	23.7%	6.9%	2.6%	5.8%	
	女性	1,103	21.7%	21.3%	4.9%	1.8%	7.0%	
年齢別	15歳	187	23.5%	17.1%	5.9%	1.6%	8.6%	
	16歳	382	20.9%	18.3%	4.7%	2.1%	10.2%	
	17歳	415	20.7%	22.4%	6.5%	1.0%	5.1%	
	18歳	399	22.1%	23.8%	6.3%	3.8%	4.3%	
	19歳	382	22.3%	24.6%	4.5%	2.4%	5.8%	
	20歳	178	21.3%	28.1%	7.9%	1.7%	5.6%	
状況・別就学	通学している	1,505	22.1%	21.8%	5.4%	2.0%	6.4%	
	仕事を主にしている	62	14.5%	12.9%	6.5%	3.2%	6.5%	
	通学が主で仕事もしている	300	22.0%	28.0%	6.0%	1.7%	5.3%	

性別にみると、男女ともに「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである」が最も多く、次いで、「法律で厳しく取り締まるべきである」となっている。大差ではないが、「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである」や「行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」、「個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」は女性が男性に比べて4ポイント程度多い。逆に、「問題と感じた人が、掲示板に、誤りを指摘する書き込みをしたらよい」は男性が女性に比べて4.5ポイント多い。

年齢別にみると、各年齢とも「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである」が最も多く、以下、18歳以外では「法律で厳しく取り締まるべきである」、「行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである」となっている。また、「憤りは感じるが、個人ではどうしようもない」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。

就労・就学状況別にみると、就労・就学状況にかかわらず「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである」が最も多いが、通学している人と通学が主で仕事もしている人では約60%と仕事を主にしている人が54.8%であるのに比べて多い。

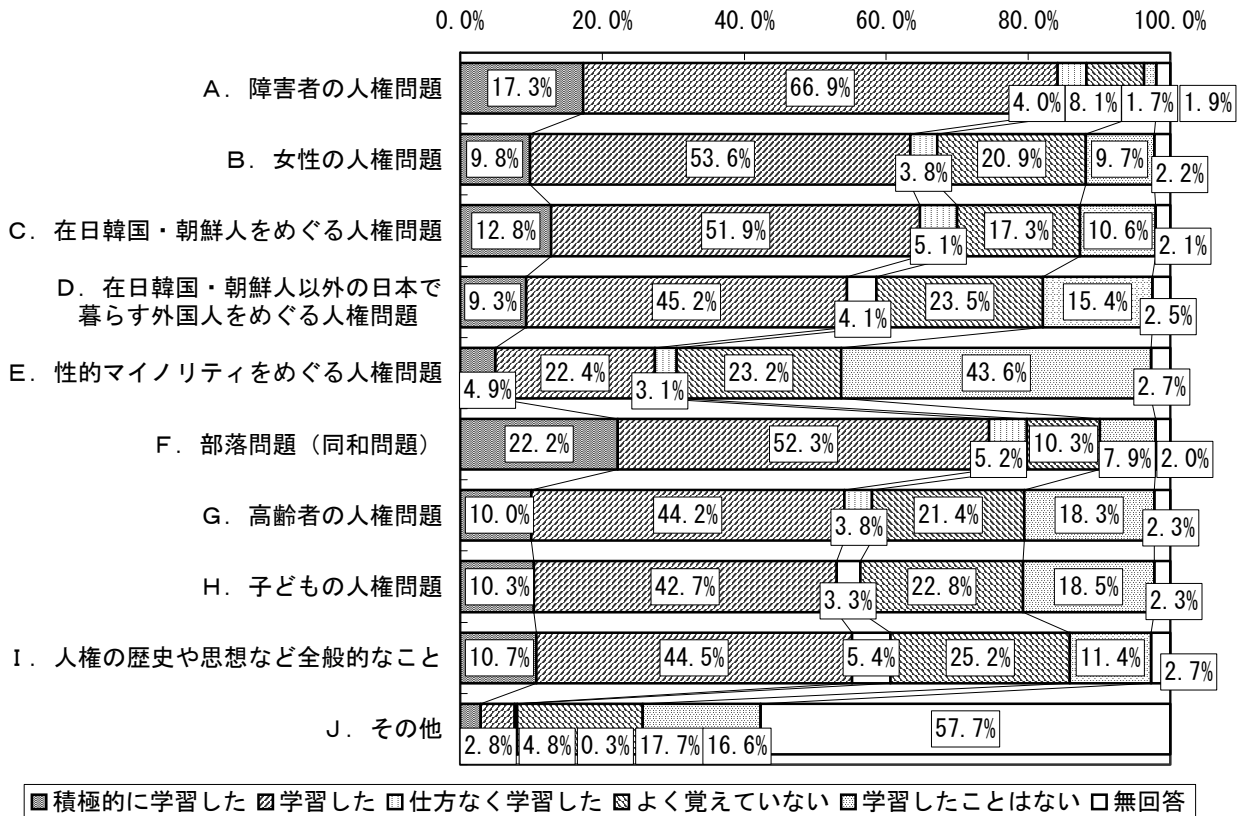
#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- 法律での裁きではなく、違反者に対してのマナー講習会等の制度を設けるべきだ。
- 時と場合による。ばらまきをされた方にもそれだけの何かがあるなら話も変わってくる。
- 個人情報流出を防ぐために、毎度、何らかの調査をすべきだと思う。
- 問題と感じた人が、随時削除する。
- それを真に受けない人が増えれば自然と消える。
- 一般市民の情報が出ることに対しては少々規制した方がよい。
- 個人のモラルを向上させる。
- 理想は、みんなが常識的に考えられるようになること。
- 各個人の意識
- 改善は無理である。
- 悪口等を書かなければよい。
- そのような人間は人間ではないと思う。
- 直接話し合う。
- 個人が行政機関にとりあえず知らせる。
- 書き込みをさせるようなサイトをなくす。使えないようにする。
- 個人的に言ってこないなら無視したらよい。
- 結局、何か対策を練った所で、完全に直るものではない。
- 憤りすら感じない。
- そのような物が存在する限り仕方がない。
- いじめについて
- 取り締まっても悪化するだけ。改善するのは現実的に不可能。一人一人のモラルを向上させることで、いくらかマシにはなると思う。
- 選択肢5. は、悪化する原因であったり、混乱の元であるから避けた方がよいと強く思う。
- 自己の確立
- そのような情報を鵜呑みにする利用者にはたいした行動力もなければ、どんな対策も効力を持たないと考えるので、取り立てて対処する必要はないと思う。
- その人に謝罪してもらおう。反省がない場合、PCやインターネット等を一時停止にする。
- 書く方に問題もある。
- そうは言っても今の世の中、効果が上がらないと思う。
- そういったサイトを巡回し、事実確認、書き込みをした人間に対し処罰、罰金等を課すべき。
- 愚痴専門サイトか何かを作り、カウンセリングの人が話を聞き、気分を楽にさせ、愚痴に出てくる教師、友達、親への対応を教える。カウンセリングは政府が用意し、公務員としての給料を出せばよい。
- 問題を起こした人間を特定しやすいネット環境を作る。
- 18歳以下からパソコンを取り上げる。

## 第5章 人権啓発や人権尊重の社会づくりに向けた意識について

問17 あなたは、ホームルームや学校の授業のなかで人権問題についてどのように学習しましたか。A～Jのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をしてください。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢



ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢をたずねたところ、「積極的に学習した」は「F. 部落問題（同和問題）」が22.2%で最も多く、以下、「A. 障害者の人権問題」が17.3%、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」が12.8%などとなっている。

「積極的に学習した」・「学習した」・「仕方なく学習した」をあわせた学習経験がある人が最も多いのは「A. 障害者の人権問題」（88.2%）で、以下、「F. 部落問題（同和問題）」（79.7%）、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」（69.8%）、「B. 女性の人権問題」（67.2%）、「I. 人権の歴史や思想など全般的なこと」（60.6%）などとなっている。

「積極的に学習した」と「学習した」をあわせて、比較的学习姿勢が意欲的な人が最も多いのは「A. 障害者の人権問題」（84.2%）で、以下、「F. 部落問題（同和問題）」（74.5%）、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」（64.7%）、「B. 女性の人権問題」（63.4%）などとなっている。

これに対し、「仕方なく学習した」は、「I. 人権の歴史や思想など全般的なこと」（5.4%）や「F. 部落問題（同和問題）」（5.2%）、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」（5.1%）は5%台となっており、他の分野に比べてわずかに多い。また、「学習したことはない」は「E. 性的マイノリティをめぐる人権問題」が43.6%で最も多く、このほか、「H. 子どもの人権問題」（18.5%）や「G. 高齢者の人権問題」（18.3%）、「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」（15.4%）なども10%台後半とやや多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「A. 障害者の人権問題」



「A. 障害者の人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は女性が89.2%、男性が87.2%で2.0ポイント差となっており、大差はないが、「積極的に学習した」は女性（19.2%）が男性（14.5%）に比べて4.7ポイント多い。

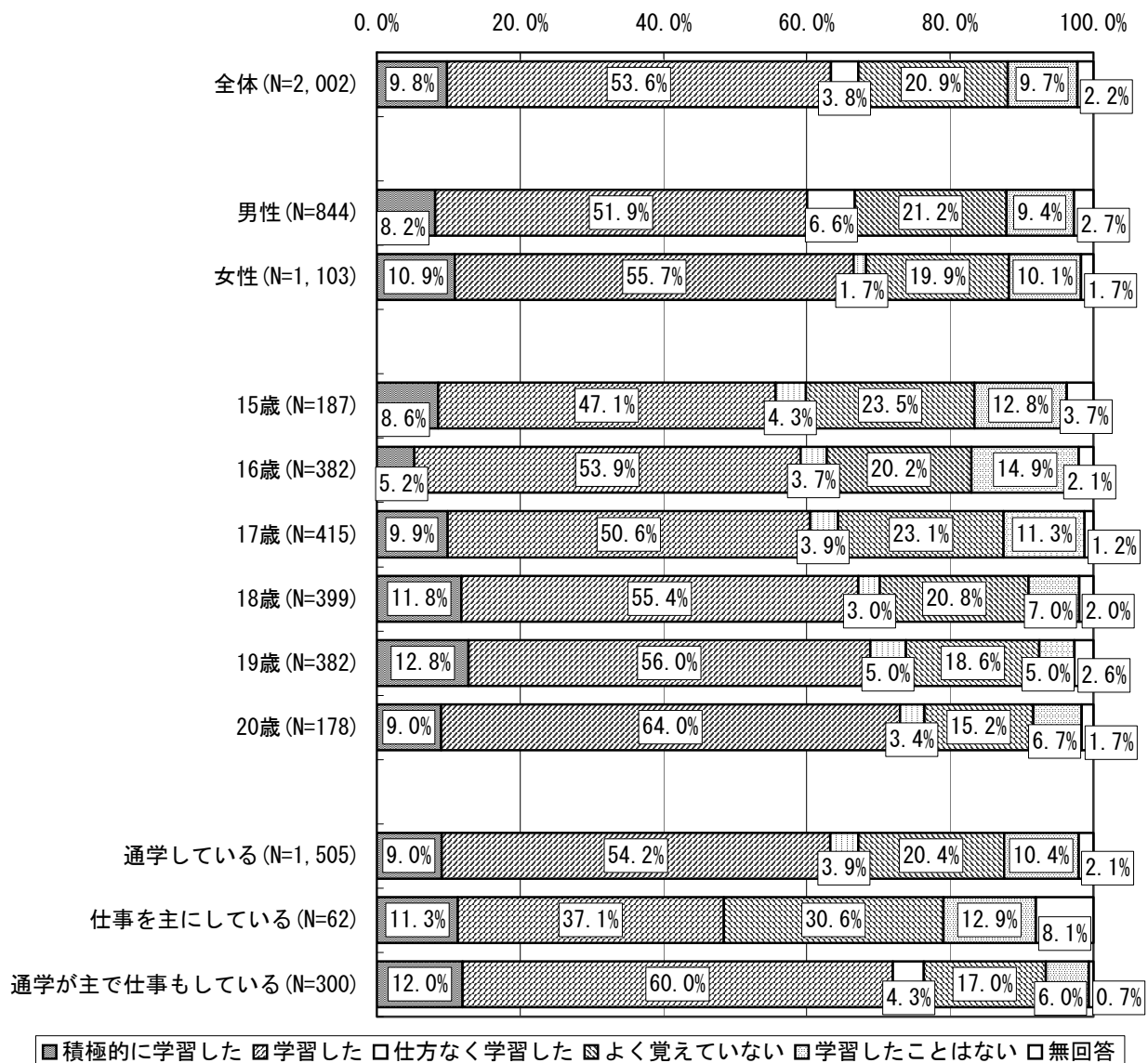
年齢別にみると、学習経験がある人は各年齢とも80%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が92.0%で最も多く、以下、通学している人が89.2%、仕事を主にしている人が74.2%となっている。



図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「B. 女性の人権問題」



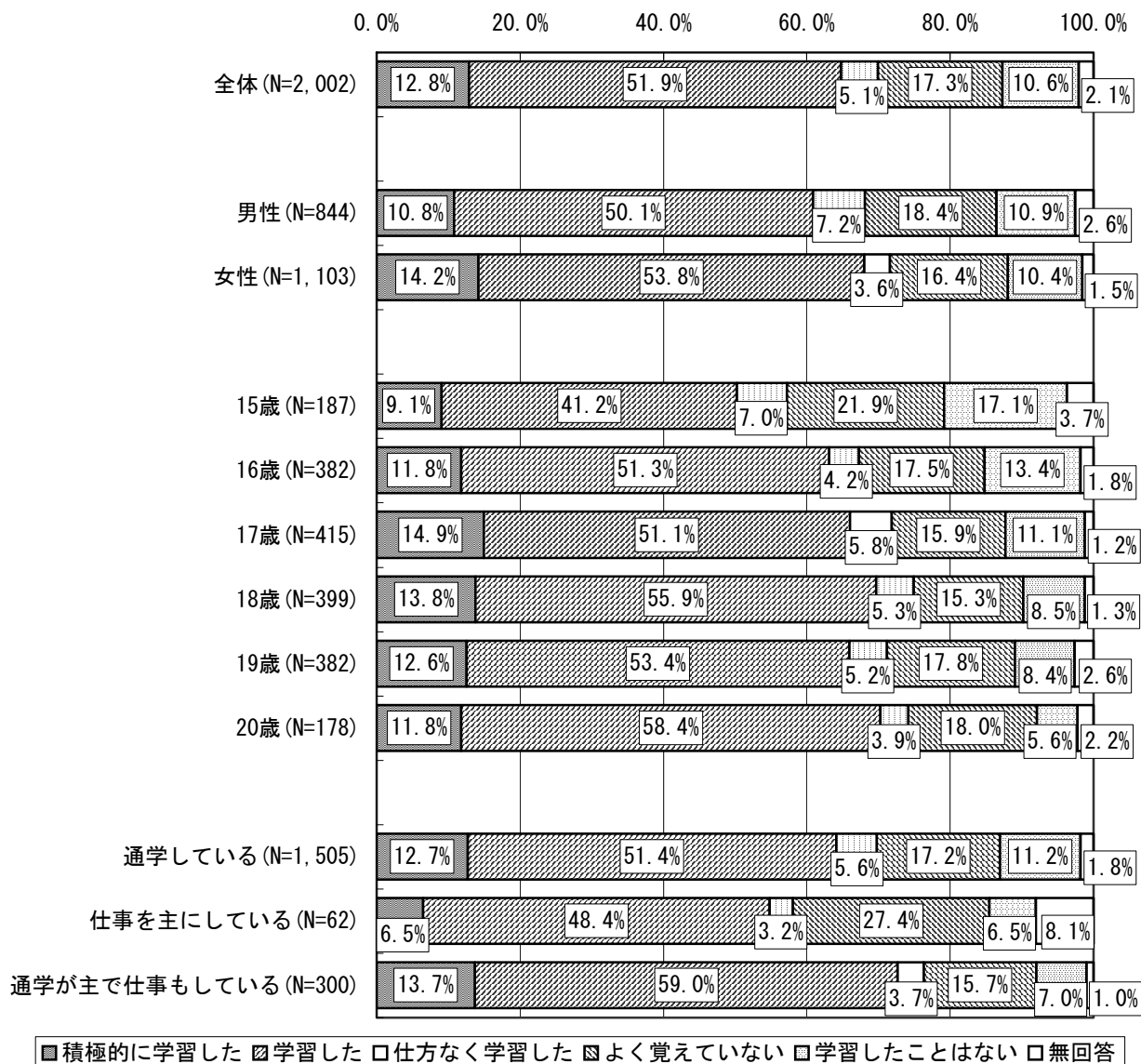
「B. 女性の人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は女性が68.3%、男性が66.7%で1.6ポイント差となっており、大差はないが、比較的学習姿勢が意欲的な人は女性（66.6%）が男性（60.1%）に比べて6.5ポイント多い。

年齢別にみると、学習経験がある人は年齢が高いほど多い傾向がみられ、比較的学習姿勢が意欲的な人も同様の傾向がみられる。また、顕著な傾向ではないが、「学習したことはない」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、17歳以下では10%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が76.3%で最も多く、以下、通学している人が67.1%、仕事を主にしている人が48.4%となっている。「学習したことはない」は仕事を主にしている人と通学している人では10%以上を占めている。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」



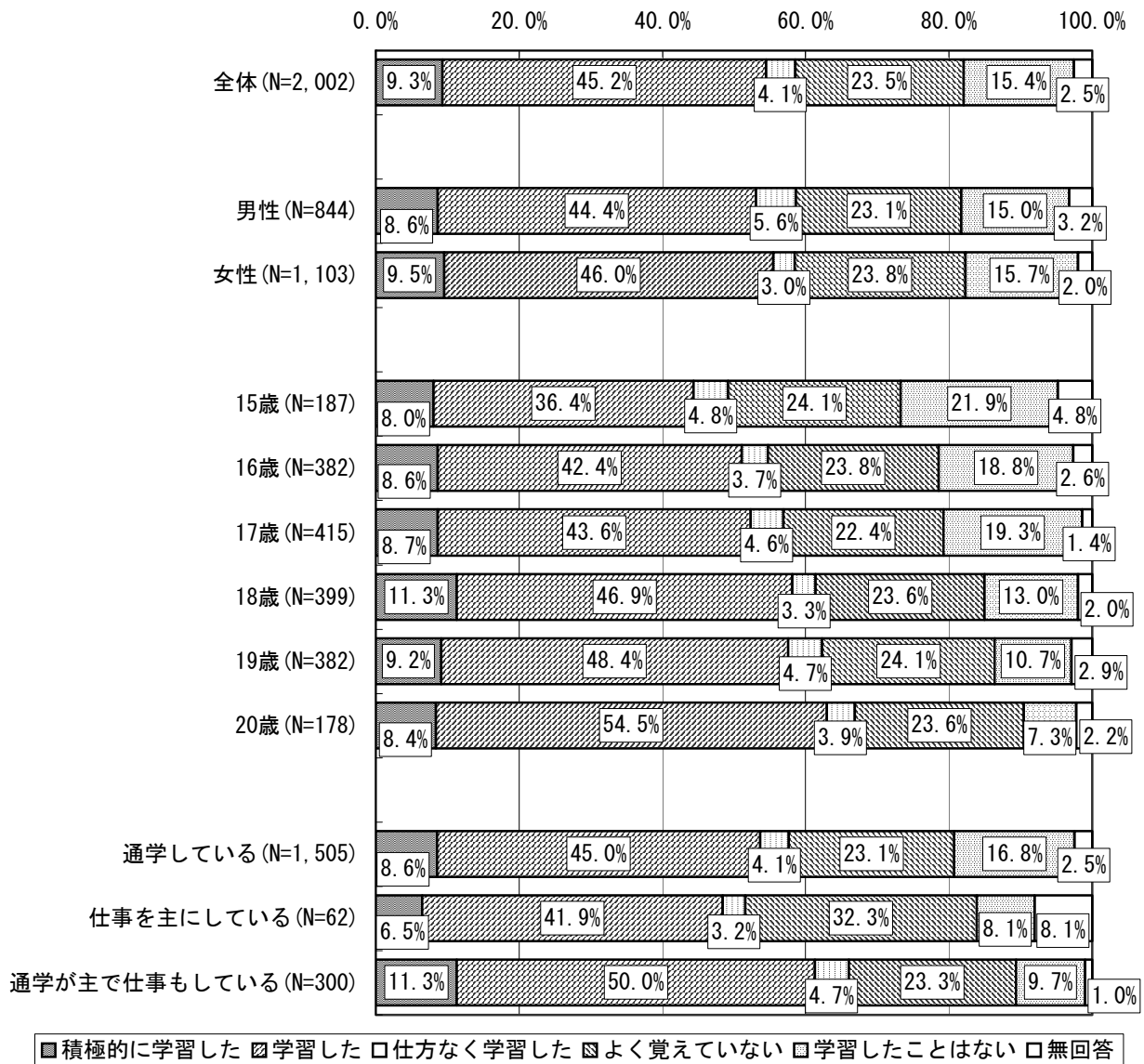
「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は女性（71.6%）が男性（68.1%）に比べて3.5ポイント多く、比較的学習姿勢が意欲的な人も女性（68.0%）が男性（60.9%）に比べて7.1ポイント多い。「学習したことはない」は男女ともにほぼ同率で、大差はない。

年齢別にみると、学習経験がある人は18歳にかけては年齢が高いほど多い傾向がみられ、18歳では75.0%を占めている。「学習したことはない」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、17歳以下では10%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が76.4%で最も多く、以下、通学している人が69.7%、仕事を主にしている人が58.1%となっている。「学習したことはない」は通学している人が11.2%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」



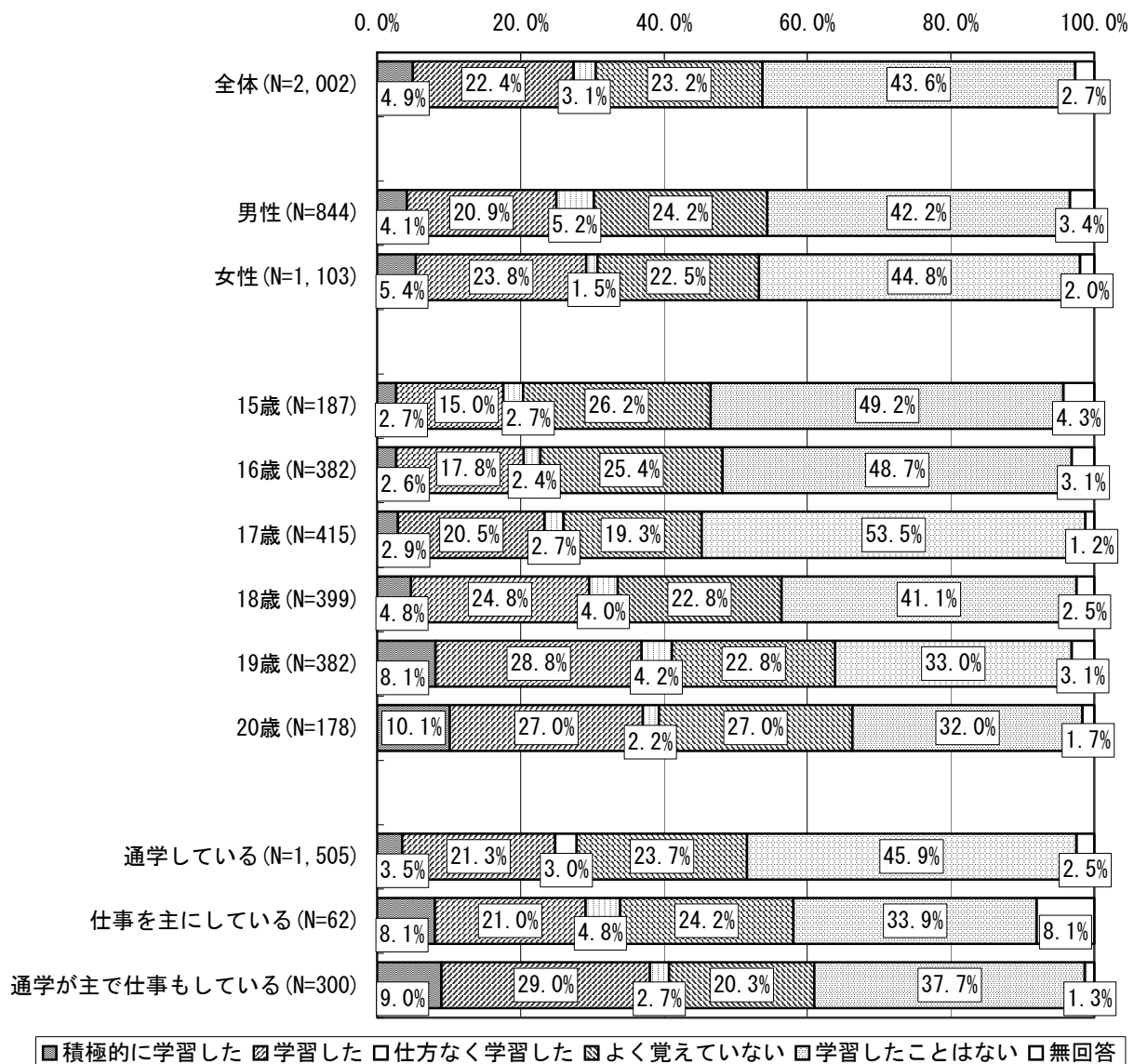
「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は男性が58.6%、女性が58.5%でほぼ同率となっている。回答傾向全体として、男女間での大差はない。

年齢別にみると、学習経験がある人は年齢が高いほど多い傾向がみられ、18歳以上では60%以上を占めている。「学習したことはない」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、17歳以下では約20%となっている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が66.0%で最も多く、以下、通学している人が57.7%、仕事を主にしている人が51.6%となっている。「学習したことはない」は通学している人が16.8%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「E. 性的マイノリティをめぐる人権」



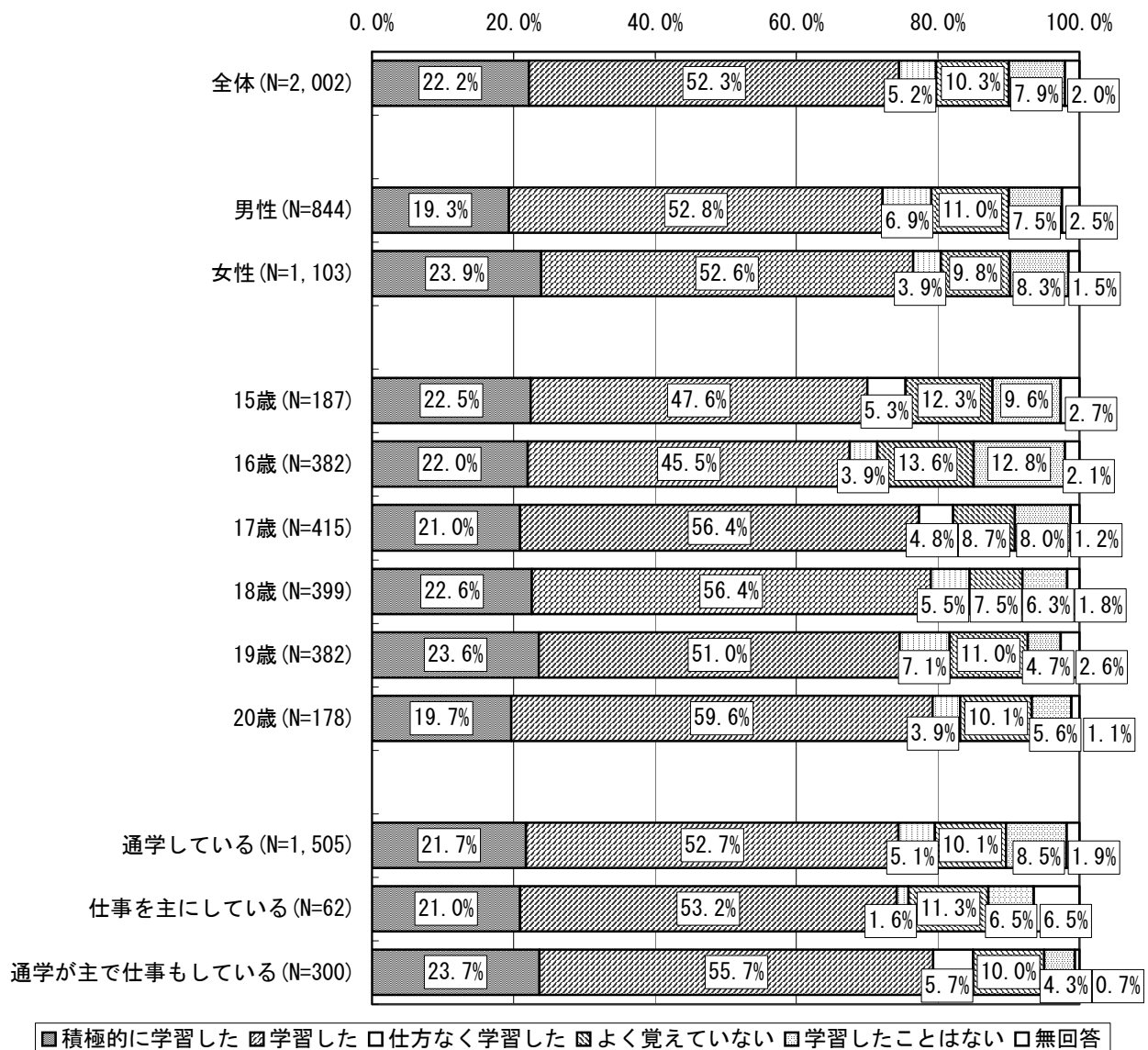
「E. 性的マイノリティをめぐる人権」について、性別にみると、「学習したことはない」が男女ともに40%以上を占め、学習経験がある人は男性が30.2%、女性が30.7%となっており、ほぼ同率となっている。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、学習経験がある人は年齢が高いほど多い傾向がみられ、19歳以上では約40%と多い。「学習したことはない」は17歳以下では約半数を占め、18歳以上に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が40.7%で最も多く、以下、仕事を主にしている人が33.9%、通学している人が27.8%となっており、「学習したことはない」は通学している人が45.9%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「F. 部落問題（同和問題）」



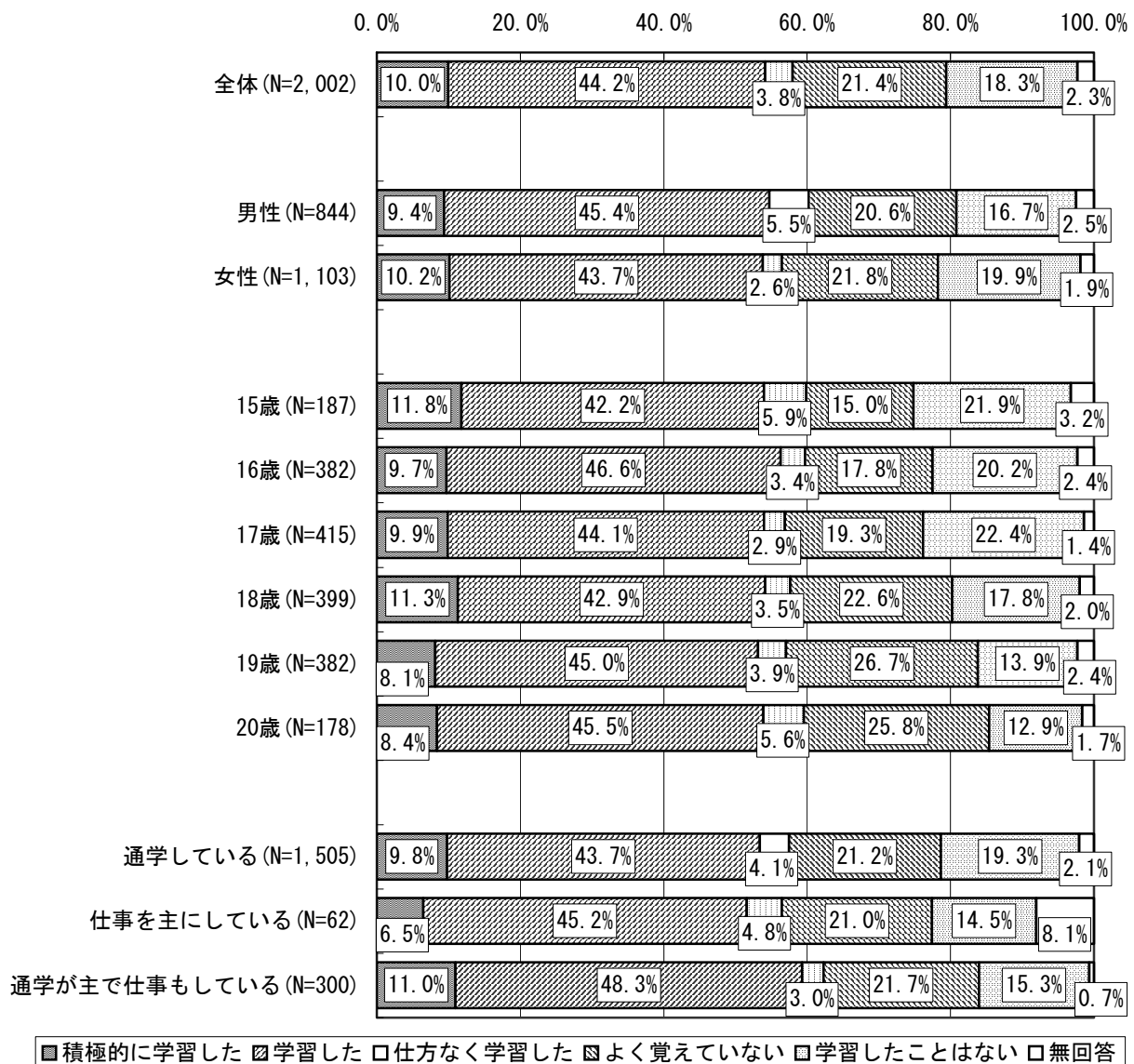
「F. 部落問題（同和問題）」について、性別にみると、学習経験がある人は女性が80.4%、男性が79.0%で1.4ポイント差となっており、大差はないが、「積極的に学習した」は女性（23.9%）が男性（19.3%）に比べて4.6ポイント多くなっている。

年齢別にみると、学習経験がある人は15歳と16歳では70%台であるのに対し、17歳以上では80%以上を占めている。「学習したことはない」は16歳が12.8%で最も多い。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が85.1%で最も多く、以下、通学している人が79.5%、仕事を主にしている人が75.8%となっている。「学習したことはない」は通学している人が8.5%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「G. 高齢者の人権問題」



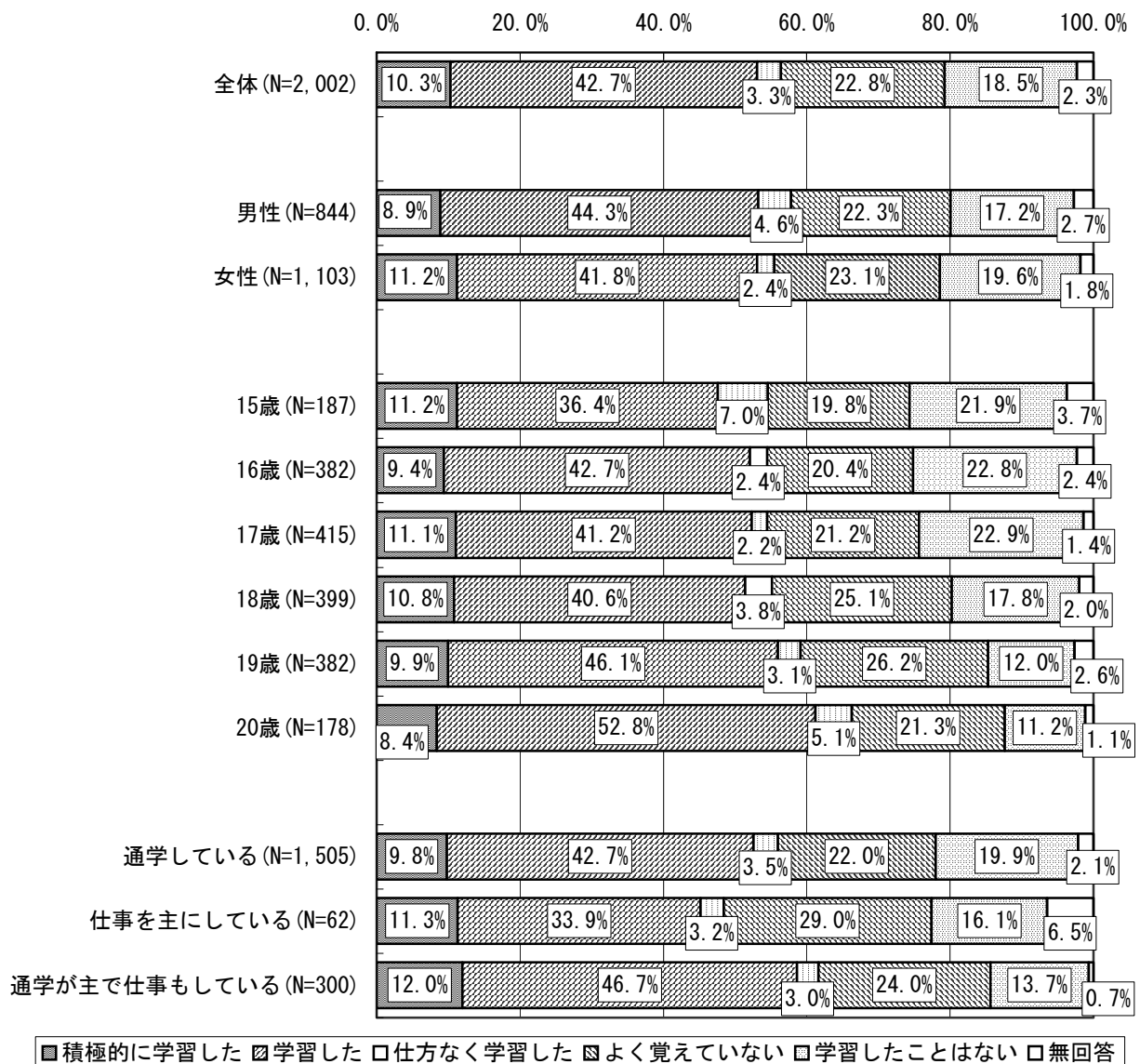
「G. 高齢者の人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は男性が60.3%、女性が56.5%で3.8ポイント差となっており、大差はない。

年齢別にみると、各年齢とも学習経験がある人は50%台後半となっており、年齢間での大差はない。他方、「よく覚えていない」は年齢が高いほど多い傾向がみられ、19歳と20歳では25%以上を占めている。また、顕著な傾向ではないが、「学習したことはない」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、17歳以下では20%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が62.3%で最も多く、以下、通学している人が57.6%、仕事を主にしている人が56.5%となっている。「学習したことはない」は通学している人が19.3%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「H. 子どもの人権問題」



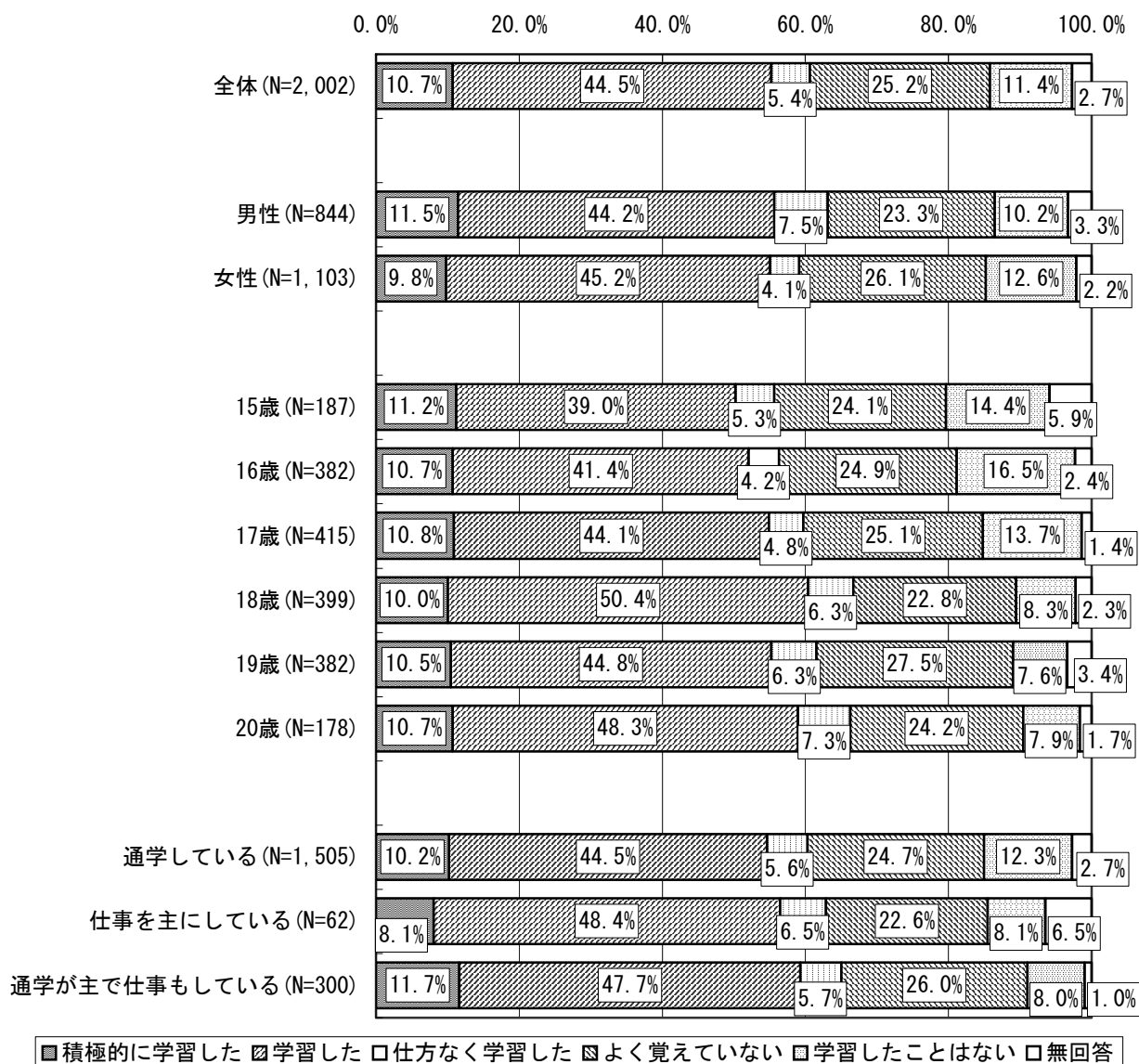
「H. 子どもの人権問題」について、性別にみると、学習経験がある人は男性が57.8%、女性が55.4%で2.4ポイント差となっており、大差はみられない。

年齢別にみると、学習経験がある人は18歳以下では約55%となっているが、19歳は59.1%、20歳は66.3%となっており、18歳以下に比べてやや多い。「学習したことはない」は年齢が低いほど多い傾向がみられ、17歳以下では20%以上を占めている。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が61.7%で最も多く、以下、通学している人が56.0%、仕事を主にしている人が48.4%となっている。「学習したことはない」は通学している人が19.9%で最も多い。

図表 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

「I. 人権の歴史や思想など全般的なこと」



「I. 人権の歴史や思想など全般的なこと」について、性別にみると、学習経験がある人は男性（63.2%）が女性（59.1%）に比べて4.1ポイント多い。

年齢別にみると、学習経験がある人は17歳以下では50%台後半であるのに対し、18歳以上では60%以上を占めている。「積極的に学習した」は年齢間での大差はなく、ほぼ同率となっている。「学習したことはない」は17歳以下では10%以上を占め、18歳以上に比べて多い。

就労・就学状況別にみると、学習経験がある人は通学が主で仕事もしている人が65.1%で最も多く、以下、仕事を主にしている人が63.0%、通学している人が60.3%となっており、「学習したことはない」は通学している人が12.3%で最も多い。

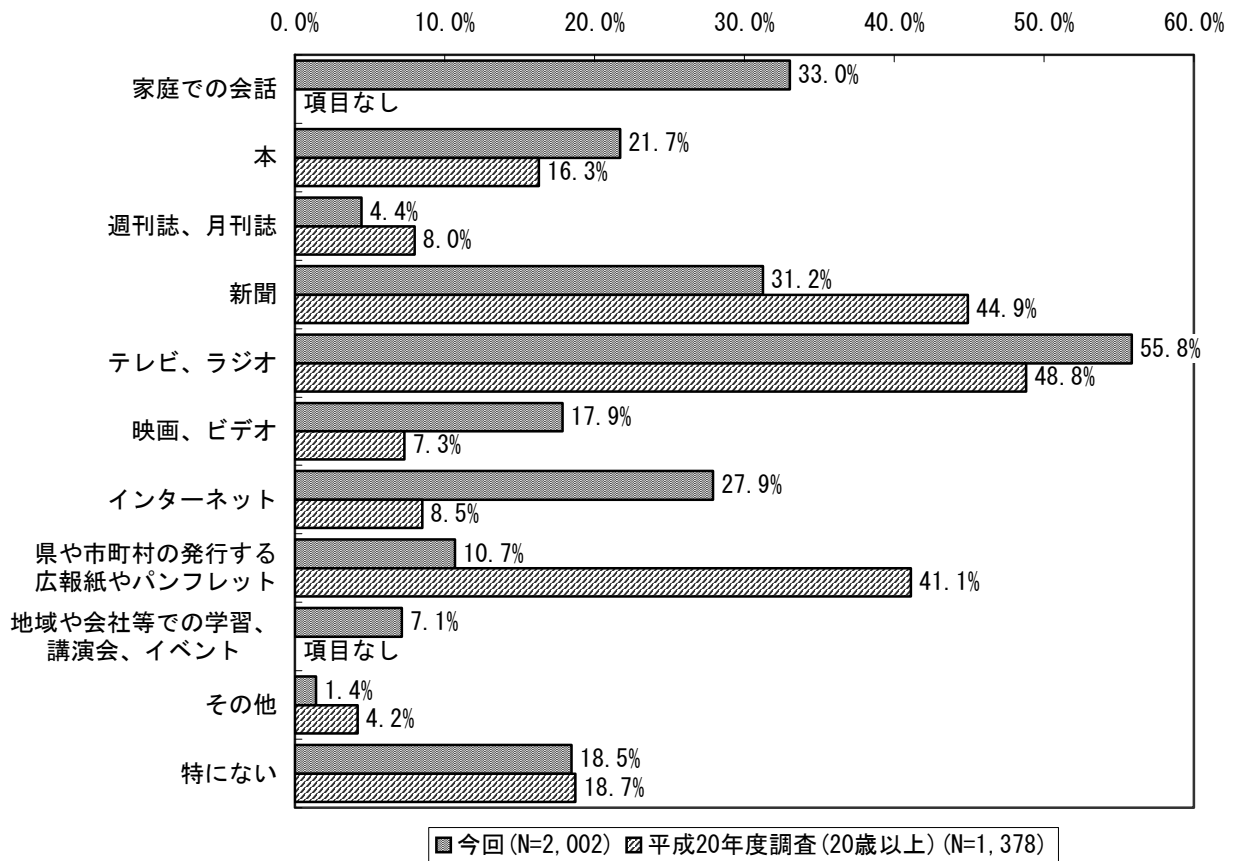


<「J. その他」の具体的な回答内容>

- 物事の視点について
- ホームレスの方の生活
- 世界の民族対立による人権の非保障
- バリアフリー
- 職業による差別
- 感染症（エイズとか）に罹った人への差別
- アイヌ民族について
- DV
- 発展途上国での人権
- いじめ／個人の考え方
- 全国水平社
- いじめに関する問題
- 黒人・白人の問題（人種差別）
- 戦争
- 外国で起こっている紛争について等
- 外国人の地方参政権
- 就職差別について
- 個人の権利
- DV、デートDV
- 犯罪者の家族の人権問題
- ネットの悪口書き込みの人権問題
- 在日外国人をめぐる人権問題
- ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン
- 外国人の移民について
- 母子・父子家庭の差別
- ヒロシマ
- 悪いサイトのこと
- 男女共同参画社会
- 性差別の問題
- 場合による
- えた、非人、死んだ鹿の話
- 被爆者について
- 偏見に関して気をつけるべき言葉づかいについて
- パワーハラスメント
- 中国残留孤児
- 沖縄返還密約問題、アイヌ民族
- 道徳
- 表現の自由（例：マスメディア）とプライバシー（例：芸能人）について
- 冤罪事件
- 沖縄の問題
- 学歴に関する差別
- 個人情報
- 食育
- 履歴書の書く項目について
- ヒトラーのユダヤ人迫害
- 西光万吉
- 薬物
- 人権とはそもそも何かについて考えた。
- あいりん地区の人権問題

問18 あなたは人権問題について、学校以外でどのような方法、機会を通じて情報を得たり、学習したりしていますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

図表 学校以外での人権問題の学習機会や情報収集の方法（複数回答）



※平成20年度調査の設問は「人権問題について情報を得たり、学習するためによく利用するものは何ですか」であった。選択肢「家庭での会話」・「地域や会社等での学習、講演会、イベント」は今回調査のみ。

学校以外での人権問題の学習機会や情報収集の方法をたずねたところ、「テレビ、ラジオ」が55.8%で最も多く、以下、「家庭での会話」が33.0%、「新聞」が31.2%、「インターネット」が27.9%などとなっている。

平成20年度調査と比較すると、「県や市町村の発行する広報誌やパンフレット」は今回が30.4ポイント少ない。また、「インターネット」は今回が19.4ポイント多い。

図表 性別、年齢別、通学している学校種別 学校以外での人権問題の学習機会や情報収集の方法（複数回答）

		有効回答数	家庭での会話	本	週刊誌、月刊誌	新聞	テレビ、ラジオ	映画、ビデオ
全体	今回	2,002	33.0%	21.7%	4.4%	31.2%	55.8%	17.9%
	平成20年度調査(20歳以上)	1,378	項目なし	16.3%	8.0%	44.9%	48.8%	7.3%
性別	男性	844	28.8%	21.2%	4.9%	30.7%	52.0%	14.8%
	女性	1,103	35.7%	21.5%	3.9%	31.6%	58.9%	20.1%
年齢別	15歳	187	29.9%	19.8%	3.2%	26.7%	54.0%	16.0%
	16歳	382	30.9%	20.4%	3.7%	29.1%	58.4%	14.7%
	17歳	415	30.8%	21.0%	4.8%	29.2%	54.0%	14.5%
	18歳	399	32.6%	22.1%	3.8%	28.8%	56.1%	20.1%
	19歳	382	36.6%	22.3%	4.7%	35.3%	57.1%	22.3%
	20歳	178	36.0%	24.2%	5.6%	41.6%	55.6%	21.3%
状況・別就学	通学している	1,505	31.6%	21.6%	3.8%	31.4%	55.6%	15.7%
	仕事を主にしている	62	32.3%	19.4%	6.5%	24.2%	51.6%	19.4%
	通学が主で仕事もしている	300	35.7%	20.3%	4.7%	30.3%	57.3%	26.0%
		有効回答数	インターネット	パ行県、会、の地域、学、習、や、会、社、等、で	その他	特にな		
全体	今回	2,002	27.9%	10.7%	7.1%	1.4%	18.5%	
	平成20年度調査(20歳以上)	1,378	8.5%	41.1%	項目なし	4.2%	18.7%	
性別	男性	844	29.7%	10.0%	7.6%	1.1%	22.0%	
	女性	1,103	26.3%	11.1%	7.1%	1.5%	16.0%	
年齢別	15歳	187	23.5%	10.7%	10.7%	1.1%	27.3%	
	16歳	382	26.7%	9.9%	7.3%	1.3%	19.1%	
	17歳	415	28.4%	9.2%	5.5%	1.0%	19.0%	
	18歳	399	25.8%	10.3%	5.8%	2.0%	18.8%	
	19歳	382	31.2%	13.9%	8.1%	1.3%	16.8%	
	20歳	178	30.9%	10.1%	8.4%	0.6%	11.2%	
状況・別就学	通学している	1,505	27.2%	10.2%	7.4%	1.2%	19.6%	
	仕事を主にしている	62	21.0%	12.9%	8.1%	1.6%	21.0%	
	通学が主で仕事もしている	300	31.0%	11.0%	6.3%	1.7%	15.0%	

性別にみると、男女ともに「テレビ、ラジオ」が最も多く、これに次いで、男性では「新聞」、「インターネット」などとなっており、女性では「家庭での会話」、「新聞」などとなっている。男女差が特に大きいのは、「家庭での会話」・「テレビ、ラジオ」（ともに6.9ポイント差）、「映画、ビデオ」（5.3ポイント差）となっており、いずれも女性が男性に比べて多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、「家庭での会話」や「本」、「新聞」、「インターネット」は年齢が高いほど多い傾向がみられる。「映画、ビデオ」は18歳以上では20%を超えており、17歳以下では約15%であるのに比べて多い。また、「地域や会社等での学習、講演会、イベント」は15歳が10.7%となっており、他の年齢に比べてやや多い。

就労・就学状況別にみると、いずれの就労・就学状況でも「テレビ、ラジオ」が最も多く、次いで、「家庭での会話」となっている。「新聞」は通学している人と通学が主で仕事もしている人では30%を超えており、仕事を主にしている人が24.2%であるのに比べて多い。また、「インターネット」は通学が主で仕事もしている人が31.0%で最も多く、通学している人や仕事を主にしている人に比べて3.8～10.0ポイント多い。同様に、「映画、ビデオ」も通学が主で仕事もしている人が26.0%で最も多く、通学している人や仕事を主にしている人に比べて6.6～10.3ポイント多い。

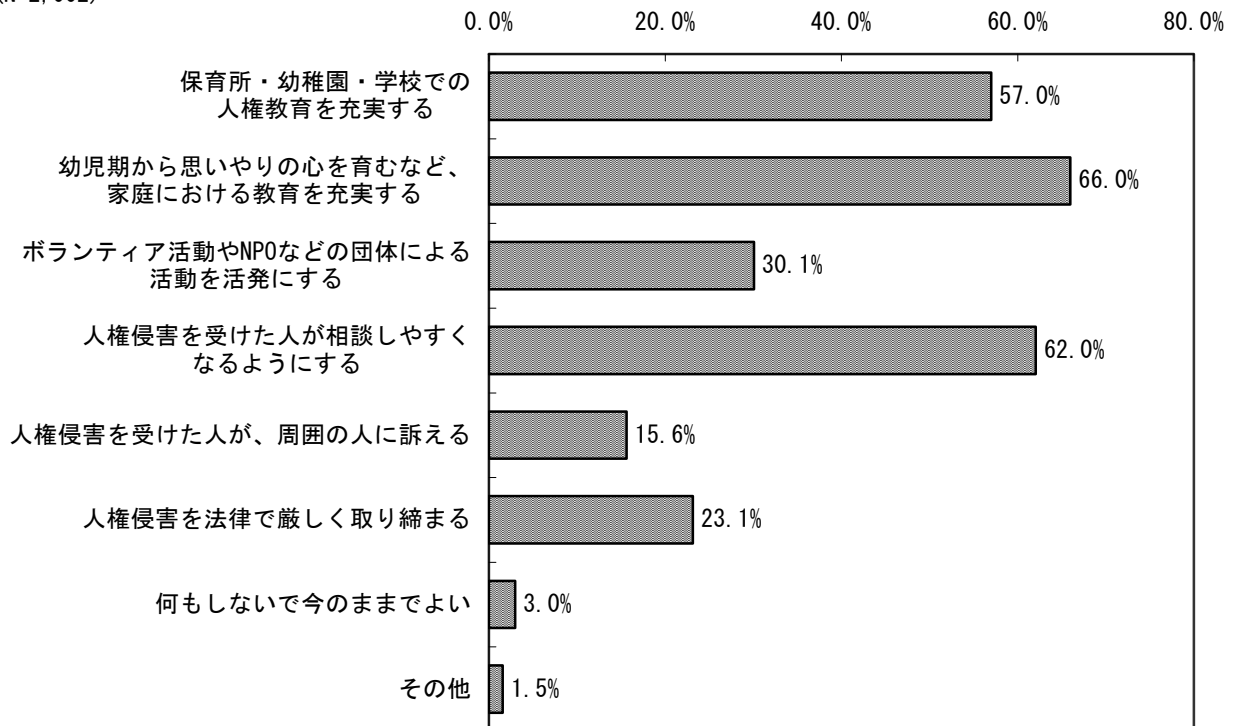
#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- バイト先の店長に部落の地域に住む実状を聞いたことがある。
- 父の仕事の関係で、海外で生活をしていた時（東南アジア）、貧富の差を感じた。
- 反戦や平和について
- 夜間中学で
- 友人との会話
- ガールスカウト
- 人権作文
- 大学の人権教育
- 人権作文を書くための資料を集めている際に
- 常識
- 親が子供に伝える。
- 塾
- 普通に生きていたら知ること。
- 全てを積極的に行うべきだと思うが、子供の関心を集められなければ結果は同じだと…。
- 地域の資料館
- 学校の教師

問19 人権の尊重された社会をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

図表 人権の尊重された社会をつくるために重要だと思うこと（複数回答）

(N=2,002)

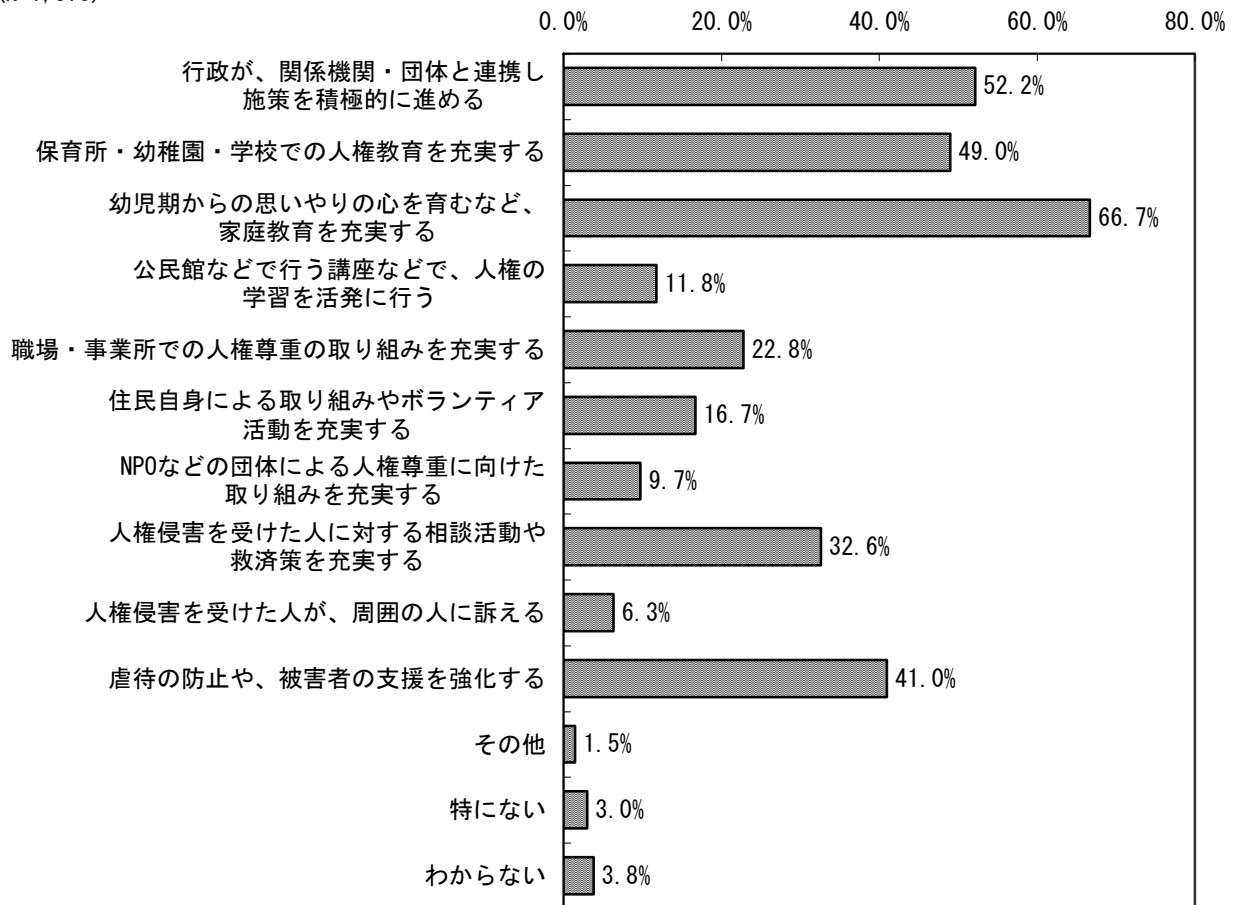


人権の尊重された社会をつくるために重要だと思うことをたずねたところ、「幼児期から思いやりの心を育むなど、家庭における教育を充実する」が66.0%で最も多く、以下、「人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする」が62.0%、「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」が57.0%などとなっている。

《参考：人権に関する県民意識調査》

図表 人権の尊重された社会をつくるには何が重要だと思うか（複数回答）

(N=1,378)



※資料：「人権に関する県民意識調査 報告書」P.121（平成21年3月、奈良県）

図表 性別、年齢別、通学している学校種別 人権の尊重された社会をつくるために重要だと思うこと（複数回答）

		有効 回答数	人権教育を充実する	幼児期から思いやりを育むなど、家庭における教育を充実する	ボランティア活動やNPOなどの団体による活動を活発にする	人権侵害を受けやすくなるようにする	人権侵害を受けた人が、周囲の人に訴える	人権侵害を法律で厳しく取り締まる	いもしないで今のままでよい	その他
全体		2,002	57.0%	66.0%	30.1%	62.0%	15.6%	23.1%	3.0%	1.5%
性別	男性	844	53.7%	60.8%	27.1%	57.0%	16.1%	23.3%	4.1%	2.1%
	女性	1,103	59.5%	70.3%	32.4%	66.2%	15.1%	22.9%	1.8%	1.1%
年齢別	15歳	187	53.5%	59.4%	29.4%	61.5%	15.0%	26.7%	4.3%	1.6%
	16歳	382	57.1%	68.6%	30.4%	60.2%	15.4%	24.3%	2.9%	1.6%
	17歳	415	54.7%	64.8%	30.8%	63.9%	14.5%	23.1%	2.7%	1.4%
	18歳	399	58.4%	68.7%	30.3%	60.9%	17.8%	22.8%	3.0%	1.0%
	19歳	382	59.4%	66.0%	31.4%	64.9%	15.7%	23.6%	1.6%	2.1%
	20歳	178	57.3%	66.3%	25.8%	61.8%	15.2%	16.9%	3.9%	2.2%
就労・就学状況別	通学している	1,505	57.2%	66.4%	30.0%	61.3%	15.4%	23.9%	3.1%	1.6%
	仕事を主にしている	62	61.3%	53.2%	33.9%	62.9%	11.3%	21.0%	3.2%	1.6%
	通学が主で仕事もしている	300	56.3%	69.7%	28.7%	66.0%	17.0%	18.3%	1.3%	1.0%

性別にみると、男女ともに「幼児期から思いやりを育むなど、家庭における教育を充実する」が最も多く、以下、「人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする」、「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」、「ボランティア活動やNPOなどの団体による活動を活発にする」などとなっており、いずれも女性が男性に比べて5ポイント以上多い。

年齢別にみると、15歳では「人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする」が最も多く、他の年齢では「幼児期から思いやりを育むなど、家庭における教育を充実する」が最も多い。「人権侵害を法律で厳しく取り締まる」は19歳以下では20%を超えているが、20歳では16.9%と19歳以下に比べて5ポイント以上少ない。

就労・就学状況別にみると、通学している人と通学が主で仕事もしている人では「幼児期から思いやりを育むなど、家庭における教育を充実する」が最も多く、次いで、「人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする」となっている。これに対し、仕事を主にしている人では「人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする」が最も多く、次いで、「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」となっている。「幼児期から思いやりを育むなど、家庭における教育を充実する」は通学している人と通学が主で仕事もしている人では60%代後半となっており、仕事を主にしている人が53.2%であるのに比べて10ポイント以上多く、差が大きい。

#### <選択肢「その他」の具体的な回答内容>

- もっと行政、国がきちんとすべき
- たのしく人権について学べたらよい。
- 時間の経過することにより、相互の理解が深まるようになるはずだ。
- 人権問題と言っているだけでは、話が抽象的になりやすく、何をすべきであって、何をすべきではないというような社会の規範はなぜそう言えるのかを今一度深く考えることが必要で、その上で、それぞれの人間が、自分に恥じない正しい行いをできるように努力すべきである。
- 狭山事件

- おばあちゃんが障害者なので、いろいろ学べる。
- 選択肢4.に加えて、相談できる電話があるなら、テレビ・ラジオを通して広める。
- あまり気にしないこと。
- ボランティア
- 人権侵害はなくなることはない。
- ある程度は環境も大事。しかし、各個人の中の問題。どうしようもない部分が多い。
- 特別扱いせず、普通の人と同じように接する。
- 人々が気にしなくなればよいだけの話である。
- 人権問題を題材にした授業をするとき、個人の主観的意見や表層部分にしか触れていないので、もっと客観的意見を取り入れてほしいと思う。
- 個人では動きにくいことなので、集団で動きをつくってほしい。
- 「人権」という単語は、あやふやで、示すものが多すぎるので、言葉をつくる。
- 子供も問題だが、それ以前にその子供を教育する親にも問題がある。虐待等子供の人権を無視した行動も最近数多くある。また、近年は無知で幼稚な子供と親が増えている。小・中・高の教育に力を入れるのは勿論のこと、幼少の子供を持つ親の教育にも力を入れるべきである。
- 部落については学校で言い過ぎているので、それが余計に差別につながっていると思う。
- 人は全員が平等でないと考えるべきである。
- 個人個人の考え方を曲げないこと。
- 様々な本や映画を見ることのできる環境をつくる。言葉で説明するよりも、見たり感じたりすることが必要。
- しっかりとした行政を作る必要がある。
- 根本的に、幼児期からのしつけ、あるいは教育のあり方を考え直すこと。
- 民主主義じゃ無理。
- 差別されている方の特権をなくして、差別されている方がよいと思っている人達の存在をなくす。
- 人権侵害を受けた人が、学校とかに行行って人権の大切さとかを教える。
- 社会全体で広く学習すること。
- 関心を持たせる。
- あんまり人権人権と騒ぎすぎるとさらにややこしくする人がいると思う。
- その地域で部落差別があったことを内緒にしておく。
- 子どもが部落差別等についてまだ何も知らないときに大人（親や教師）がそのような差別についての知識を植え付けない。大人が部落出身は一概にダメだという意識を子どもにさせてしまう事が差別がなくなる原因の一つであると思う。
- 今の大人にも人権教育の機会を与える。何歳になろうとも人権教育は必要である。
- お互いが自分の考えていることを認識しあえる環境・場所をつくるべき。
- こんなアンケートをつくる前に、県が社会を作るために動くべきだ。



## 第6章 自由回答意見

問20 あなたが人権問題について考えておられることや県に対するご提案やご意見がありましたら、以下にご自由にお書きください。

人権問題について考えていることや県に対する提案・意見を記述方式で回答を求めたところ、延べ471件の回答が寄せられた（1人の回答者が明らかに異なる複数のテーマ・内容の記述をしている場合は、それぞれのテーマ・内容を1件の回答として分類し、集計した）。

回答内容を分類した結果は、以下のとおりである。

大分類	中分類	小分類	計
同和問題	同和行政の現状に対する意見	同和行政による逆差別や優遇で不平等もあるのではないかな	5
	同和問題に関する差別意識	部落差別をあまり意識していない若者の世代でなくすることができるのではないかな	6
		部落差別がまだまだ残っていることを感じる	4
		自分は差別の気持ちを持っていなくても周囲の目・意見を気にしてしまう	3
		同和問題について考えを深めていきたい	2
		差別・被差別をこえた相互交流で自分の固定観念を変えたい	1
		学校での同和問題の学習の仕方や扱い方は適切か・問題を助長していないか	7
	同和問題に関する教育への意見	学校での同和問題の学習は意義深い	1
	その他	部落差別の改善・撤廃を望む	6
	小計		
女性の人権	女性の人権についての意識	そもそも男と女では特質が違うものだ	2
		過度に女性の人権が強調されている	2
	小計		
障害者の人権	障害のある人への対応の仕方・教育のあり方に対する意見	「障害があるから」といってしかるべき教育・対応をしないことへの疑問	2
		外見だけではわからない障害児・者への理解・対応がほしい	2
		法的取り締まりにおいて健常者と同等の対応をするべき	2
		障害者への理解のための学習がかえって差別を増幅させているのではないかな	1
		ゆとり教育で障害者の人と交流を持つことができた	1
	福祉の充実	バリアフリー化の促進・福祉の充実を望む	4
小計			12
外国人の人権	在日韓国・朝鮮人問題について	反日教育を受けている在日韓国・朝鮮人とは相容れない	2
		在日韓国・朝鮮人の方々と意見を交わす場を持ちたい	1
		在日韓国・朝鮮人は「郷に入っては郷に従え」で日本の文化に慣れ親しむべき	1
		在日韓国・朝鮮人への先入観で攻撃的な差別や発言がされている	1
		在日韓国・朝鮮人問題に政府は反応しすぎているのではないかな	1
		日韓の政治的問題について偏りのない報道・教育を望む	1
	人権侵害救済法案、外国人参政権等について	人権侵害救済法案、外国人参政権などについては慎重に考えるべき	3
	その他	「外国人」という表記を（「友国人」等に）変えてみてはどうか	1
		外国人への差別が根強く残っていて人権を主張しにくい人もいるだろう	1
		外国人労働者の働きやすさは保障されているのか・待遇が心配	1
日本に住んでいる外国人を差別するべきではない		1	
小計			14

大分類	中分類	小分類	計	
新たな人権問題・身近な人権問題	いじめについて	いじめはよくない・なくすべき	5	
		いじめ防止の為に調査・いじめによる不登校児への代替施設・組織や通信教育を充実させる	4	
		いじめをなくすことは難しい	3	
		いじめがなくなるような人権の重みを伝える教育やボランティアなどの取り組みが必要	3	
		小・中学生の年頃のいじめはある程度は仕方なく教師・大人がうまく対処すべき	2	
		いじめをする・される各々にも何らかの背景がある	2	
	インターネット上での人権侵害・個人情報の漏洩	個人情報の漏洩しないようにしてほしい	2	
		インターネット上での人権侵害の監視・取り締まりを強化する	2	
		インターネット上での悪口は許されない	1	
		インターネット上での人権侵害の怖さについてもっと教育する	1	
		犯罪者の家族の立場・人権のあり方	1	
	性的マイノリティー	同性愛、性的マイノリティーについての理解がほしい	2	
		同性愛者だが、特に世間からの差別を感じない	1	
		同性愛者への差別についてもっと取り上げてほしい	1	
	小計			30
	人権政策全般など行政における取組のあり方	教育・啓発・広報活動の充実	行政が学校での教育の充実を推進する	5
			行政主体の人権問題に関するフォーラム開催・話し合う機会づくり・人権問題についての活動内容の広報	5
TVなどで人権問題についての啓発を行うべき			2	
中高生の自殺等が起こった場合の学校・教育委員会の適切な対応を望む			2	
人権政策の取り組み方に対する意見		行政が主体的に人権政策を推進する	11	
		人権に対して法律・条例で厳しく取り締まってほしい	8	
		格差の是正や機会の均等を確保する行政を望む	7	
		人権問題は法律・条例での取り締まりで解決するべきではない・解決できない	5	
		行政が人権問題に取り組んでも解決しない	3	
		行政は人権に関する相談所・相談員を配置する	2	
いじめにつながる低俗な番組の規制を行う	1			
小計			51	
人権教育について	家庭や地域内での人権教育	子どもの頃から人権教育を行うべき	18	
		学校のみならず家庭や地域での教育が重要	14	
		子どもの手本となる大人に対して人権教育を行うべき	11	
		人を思いやることができ、人の感情を理解できるようになる教育が大切	5	
		まずは大人が社会の諸問題に向き合い子どもを導くべき	3	
		子どもの頃から人権教育を行うべきでない	2	
		子どもは「人権」の重みをまだ理解できないものだ	1	
	学校での人権教育	学校教育の中で人権問題をより深めたい・学習時間の確保・増加を望む	29	
		人権教育の題材・教材に興味を持てるもの・身近なものにし、自発的・能動的な学習を行う	19	
		人権問題に対する学校・教師の意識の強化、対応の徹底を望む	15	
人権学習がかえって差別の植え付けやゆがんだ理解を生むのではないか		11		
人権問題に関する調査や講演会の開催を推進する	4			
小計			132	

大分類	中分類	小分類	計	
人権問題全般	人権問題に対する意識	些細なことで人権侵害などと訴える人が増えた・人権には「権利」とともに「義務」が存在する	19	
		一人ひとりの意識と行動が人権問題解決の糸口となる	17	
		互いに尊重しあい意識を高めることが大切	15	
		人権問題をなくす事は難しい	14	
		人権問題で悩みを抱える人が相談しやすいような施設・制度・環境をつくる	12	
		アンケートを通じて人権問題をより知ろうと思った	6	
		人権問題について考えることは大切・意義がある	6	
		住民同士のつながりの深い交流のある地域づくりを行う	5	
		人権問題を身近に感じるができない・問題を感じない	3	
		見た目目で判断することはよくない	1	
		人権侵害される立場の人の理解を深める機会づくりも必要である	1	
		人権問題の定義を明示しないと前に進まない	1	
		日本から世界へ人権問題の解決策を積極的に発信すべき	1	
		差別について	差別はよくない・差別の撤廃を望む	12
			差別をなくすことは難しい	4
	一概に差別する側が悪いと言えない・差別は悪い事とは思わない		3	
	差別をなくすには個人を尊重する心を養うべき		2	
	過去にとらわれず前進すれば差別はなくなる		1	
	その他		高齢者への人権教育も必要である	2
		「希望の人権展」へ行くつもりにしている	1	
		結婚は本人同士の問題なので本人同士がよければそれでよい	1	
		障害者、高齢者は介護・老人ホームに入るのがよい	1	
		不自由のない暮らしをしている生活保護受給者への疑問	1	
		不適切な発言について世間から過度な批判がある	1	
	小計			130
	その他	アンケートに対する意見		17
		行政に対する提言・要望		42
		その他		4
		小計		
	総計			471

※大分類「その他」は、本設問の趣旨に合致しない意見や本調査自体に対する意見など。

## 〈第1部まとめ〉

ここでは、平成20年度調査との比較及び性別など属性等とのクロス集計で目立ったものについて、まとめてみた。

問1（生活や社会に対する意識）では、平成20年度調査における成人の意識と比較とすると、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」、「F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする」に肯定的な意識が多く、「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」に肯定的な意識が少ない傾向が、それぞれ10ポイント以上の差でみられた。努力すれば報われるといった将来に前向きな意識が多い反面、世の中の厳しい現実を強く意識している若者像が浮かびあがる結果といえる。

問2（自己イメージ）では、平成20年度調査と比較すると、「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」、「B. いろいろな良い素質を持っている」に肯定的な意識がそれぞれ10ポイント程度少なく、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」に肯定的な意識が20ポイント程度多いという、自分に自信が持てない傾向がみられた。また、当然のことかもしれないが、たとえば「B. いろいろな良い素質を持っている」に肯定的な人は、問1「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」にも肯定的な傾向がみられた。

問3（人権や差別についての考え方）では、平成20年度調査と比較すると、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」に肯定的な意識は多く、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」、「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」に肯定的な意識は少なく、それぞれ10ポイント以上の差がみられた。また、たとえば問1「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」、問2「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」に肯定的な人は、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」にも肯定的な傾向がみられた。生活や社会に対する意識、自己イメージとの関係については、第2部に記載している。

問4、問5（いじめについて）では、半分以上の人が、「いじめを人権侵害だ」と考えているが、「C. 誰かがいじめられているのを見て見ぬふりをした」ことがある人が6割近くにのぼる。「C. 誰かがいじめられているのを見て見ぬふりをした」ことがある人は、「A. 自分がいじめられたこと」、「B. 自分がいじめる側にまわったこと」を体験した割合が高い傾向にあった。また、「A. 自分がいじめられたこと」がある人に、問2「D. 自分には我慢できるところがあまりない」、「K. 傷つきやすいほうである」と答える割合が高い傾向がみられた。「いじめられたこと」、「いじめる側にまわったこと」、「いじめを見て見ぬふりをした」ことはそれぞれが関係しあって、自己イメージに影響を与えていると考えられる。

問6（人権侵害された経験等）関係では、人権侵害された経験のある人は、問1「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」、問2「D. 自分には我慢できるところがあまりない」と答える割合が高く、問1「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」、問2「C. 物事を人並みには、うまくやれる」と答える割合が低い傾向にある。

また、問6-3（人権侵害への対応）について、平成20年度調査と比較すると、「相談した」が多く、相談した相手として「家族・親戚」、「学校の先生」が大幅に多くなっている。問2「A. 少なくとも、人並みには価値ある人間である」、「B. いろいろな良い素質を持っている」、「I. 多くの

人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と思う人は、「黙って我慢した」と答える割合が低く、「D. 自分には我慢できるところがあまりない」、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」、「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」と思う人は、「黙って我慢した」と答える割合が高い傾向がみられた。

問8（部落差別の認知度等）関係では、「部落差別をよく知っている」人、「部落差別を一番初めに先生から知った」人は、問13結婚相手が「A. 同和地区出身者」に「問題にしない」と答える割合が高い傾向がみられた。

問9（同和地区かどうか問い合わせしようとする親の態度）関係では、平成20年度調査と比較すると、設問に違いはあるが、「問題だとは思わない」が20ポイント程度低くなっている。また、第2部の分析・考察と重複するが、問1「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」と思う人は「問題だと思う」割合が高く、一方で、問2「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」、「B. いろいろな良い素質を持っている」と思わない人、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だ」と思う人も「問題だと思う」割合が高い傾向がみられた。

ところが、「問題だと思う」人がとる態度については、問2「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」、「B. いろいろな良い素質を持っている」と思う人は、「その場で、差別的発言であると指摘する」割合が高い傾向がみられ、いわゆる自尊感情と人権意識、問題と思ったときの行動との間の複雑な関係性をみることができる。当然のことかもしれないが、問2「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」、「L. 好奇心が強いほうである」と思う人は「その場で、差別的発言であると指摘する」割合が高く、「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」、「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」と思う人は、「その場で、差別的発言であると指摘する」割合が低い傾向がみられた。

問11（貸し主が、家や部屋を外国人、高齢者、母子・父子家庭、障害者に貸さないこと）では、平成20年度調査と比較して、「差別だと思う」人が大幅に多くなっている。

問12（結婚相手に求めるもの）では、男性は「家事能力」、女性は「収入・財産」を結婚相手に求める傾向が顕著にみられた。

問13（結婚相手が、同和地区出身者、在日韓国・朝鮮人、日系ブラジル人、車椅子が必要な人、精神の障害で通院している人、親が破産宣告を受けた人、親が刑を終えて出所した人の場合にとる態度）についても、設問に違いはあるが、平成20年度調査と比較して、「問題にしない」人が大幅に多くなっている。生活や社会に対する意識、自己イメージとの相関関係については、第2部に記載している。

なお、問11など多くの設問では女性の人権意識の高さが目立つが、問13のA、E、F、Gでは男性の人権意識のほうが高くなっており、結婚に関しては、女性の意識に何らかの複雑な思いが影響しているように考えられる。

問14についても、平成20年度調査と比較できるⅡ（障害者が地域住民と生活するのは当然）、Ⅲ（日本に住む外国人の母国の文化や慣習は尊重されるべき）、Ⅳ（女性というだけで介護しなくてははいけないというのは差別）において、平成20年度調査より人権意識が高い傾向が認められる。

問15（インターネットなどでの悪口等の書き込み）では、平成20年度調査と比較して、「見たこと

がある」人の割合は、当然、高くなっているが、設問に違いはあるものの、「許せない人権侵害だ」と思う人の割合も大幅に高くなっている。

問17（学校での人権問題学習姿勢）では、他のほとんどの設問については、「積極的に学習した」人の人権意識が高い傾向がみられた。問7（人権関連用語の知識）、問18（学校以外での人権の学びの媒体）との関係については、第2部に記載している。

問18（学校以外での人権の学びの媒体）では、平成20年度調査と比較すると、「インターネット」、「映画、ビデオ」と答えた人が多く、「新聞」、「広報紙等」は少なかった。また、顕著な傾向とはいえないかもしれないが、問3「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」と思わない人、問4「B. 自分がいじめる側にまわったこと」がある人、問9「同和地区を問い合わせる親の態度」を「問題だとは思わない」人、問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚を考え直す人は、「インターネット」と答える割合が高い傾向がみられた。

問9「同和地区を問い合わせる親の態度」を「問題だとは思わない」人、問10（本人の責任でないことで結婚に反対されること）に「当然のことであるから、そのような意見を尊重する」、「おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う」人、問13「A. 同和地区出身者」との結婚を考え直す人は、「家庭での会話」と答える割合が高い傾向がみられた。

さらに、問11「A. 外国人に家や部屋を貸さないこと」を「差別とはいえない」と思う人は「本」、問15(1)「インターネットなどでの悪口等書き込み」をしたことがある人は、「週刊誌、月刊誌」と答える割合が高い傾向がみられた。なお、顕著な傾向ではないが、「地域や会社等での学習、講演会、イベント」と答えた人は、問1「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」、問3「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と思う人が多く、問4「C. 誰かがいじめられているのを、見て見ぬふりをしたこと」が少ない反面、問9-1「その場で、差別的発言であると指摘する」が少ない面がみられた。

## 第2部 人権意識に関する分析・考察





# 第1章 社会に対する考え方、自尊感情と人権意識

## § 1. 社会に対する考え方（問1）

問1では、社会に対する考え方8項目を示して、それについての考え方を聞いた。意見の分布は、第1部第1章で示されている。ここでは、8項目の間での相関をみてみよう（表1-1）。

もっとも強い相関を示しているのは、「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」と「F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする」であり、スピアマンの順位相関係数<sup>1</sup>は、.336である。両者の意見は、世渡りが上手なものが成功し、正直ものが損をするという考え方が共通しているために相関が高くなったのであろう。次いで相関が高いのは、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」と「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」であり、順位相関係数は .303である。これらの意見は、世の中を前向きにとらえていこうという方向性で共通するものである。

しかしながら、この「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」と、先の「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」とは -.233と逆相関しているのが興味深い。

他方、「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」と「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」との間も .267であり、かなり相関は高い。この二つの意見は、権利主張に反対し、福祉依存に批判的な考え方である。いわゆる弱者に対する政策には冷淡な考え方を示している。

表1-1 問1の8項目間の相関関係

	A	B	C	D	E	F	G	H
	うまく立ち回る人が得	努力が報われる	権利主張は混乱を	仕組みを変えることができる	福祉依存は困る	本音と建前の使い分け	自分を反省すべき	分相応の生活
A	1	-.233**	.124**	-.124**	.138**	.336**	-.005	.055*
B	-.233**	1	-0.015	.303**	.03	-.131**	.233**	.106**
C	.124**	-0.015	1	.073**	.267**	.195**	.105**	.076**
D	-.124**	.303**	.073**	1	.106**	-.095**	.171**	.125**
E	.138**	.03	.267**	.106**	1	.230**	.200**	.075**
F	.336**	-.131**	.195**	-.095**	.230**	1	.075**	.045*
G	-.005	.233**	.105**	.171**	.200**	.075**	1	.230**
H	.055*	.106**	.076**	.125**	.075**	.045*	.230**	1

※ \* 5%危険率の水準<sup>2</sup>で有意な相関

\*\* 1%危険率の水準で有意な相関

<sup>1</sup> スピアマンの順位相関係数：2つの変数（質問項目や選択肢）に直線的な相関（正規分布）がない場合やデータの順位だけしかわかっていないときに、双方の順位について関係の強さを求めたもので、スピアマンのロー（ $\rho$ ）ともいう。この係数は-1～+1の間の値をとり、+1に近いほど正の相関が強く、-1に近いほど負の相関が強いことを示す。0に近ければ2つの項目の間には関係がみられないことを示す。相関係数の表現にあたっては、たとえば0.336は「0（ゼロ）」を省略して「.336」と表現している。また、プラス、マイナスの符号については、選択肢の順序によって機械的につけたものであり、表中の左上から右下の対角線上に回答が集中する場合にはプラスになり、逆に右上から左下に回答が集中する場合にはマイナスになる。

<sup>2</sup> 危険率（有意水準）：統計的仮説の検定において、検定の対象として設定した仮説が正しいにもかかわらず、誤っていると判定してしまう確率のこと。

## § 2. 人権や差別についての考え方（問3）

問3では、人権や差別についての考え方について10項目をあげ、それに対する意見を聞いた。ここでは、10項目間の相関関係をみてみよう（表1-2）。ここではピアソンの相関係数<sup>3</sup>を計算した。相互に強い相関がみられる。たとえば、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」と「C. 差別は法律で禁止する必要がある」との間には.397と極めて強い相関がみられる。また、「C. 差別は法律で禁止する必要がある」と「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」との間にも.377と極めて強い相関がみられる。

表1-2 問3の10項目間のピアソンの相関係数

	A 人権が大切にされている	B 差別は恥ずべきこと	C 差別は法律で禁止	D 差別はきりがない	E 被差別の声を聞く	F 行政は努力を	G 権利ばかり主張	H もっと学ぶ機会を	I 自分には関係ない	J 思いやりをもてば解決する
A 人権が大切にされている	1	0.098	0.098	0.056	0.073	0.089	0.154	0.135	0.112	0.16
B 差別は恥ずべきこと	0.098	1	0.377	-0.092	0.316	0.336	0.041	0.244	-0.083	0.265
C 差別は法律で禁止	0.098	0.377	1	-0.09	0.206	0.397	0.086	0.201	0.037	0.225
D 差別はきりがない	0.056	-0.092	-0.09	1	0.008	-0.013	0.240	0.007	0.174	-0.071
E 被差別の声を聞く	0.073	0.316	0.206	0.008	1	0.38	-0.005	0.249	-0.075	0.15
F 行政は努力を	0.089	0.336	0.397	-0.013	0.38	1	0.097	0.297	0.004	0.223
G 権利ばかり主張	0.154	0.041	0.086	0.240	-0.005	0.097	1	0.258	0.123	0.027
H もっと学ぶ機会を	0.135	0.244	0.201	0.007	0.249	0.297	0.258	1	-0.017	0.178
I 自分には関係ない	0.112	-0.083	0.037	0.174	-0.075	0.004	0.123	-0.017	1	0.084
J 思いやりをもてば解決する	0.160	0.265	0.225	-0.071	0.150	0.223	0.027	0.178	0.084	1

表1-2によって、10項目のそれぞれの関係をながめれば、どのような構造があるのか読み取れるが、それをわかりやすく捉えるために、主成分分析<sup>4</sup>を行った。それによると、3つの因子が抽出された（表1-3）。第1因子に大きな付加がかかっているのは、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」（因子負荷量.719）と「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」（因子負荷量.687）、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」（因子負荷量.659）の3つである。これらは、被差別者側の心情に共感を示した意見といえよう。そこで「被差別者への共感因子」と名付けることができる。

また、第2因子に高い付加量がかかっているのは、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」（因子負荷量.733）と「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」（因子負荷量.721）である。この第2因子は、弱者への冷淡な意識を示しているので、冷淡因子とでも名付けられるだろう。

さらに、第3因子の付加量が高いのは、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自

<sup>3</sup> ピアソンの相関係数（積率相関係数）：2つの変数（質問項目や選択肢）間の関係の強さを示す指標で、-1～+1の間の値をとり、+1に近いほど正の相関が強く、-1に近いほど負の相関が強いことを示す。0に近いれば2つの項目の間には関係がみられないことを示す。

<sup>4</sup> 主成分分析：多くの変数（設問項目や選択肢）を少数の合成変数（共通因子）に集約したり、元の変数間の相関関係から潜在的な変数（共通因子）を抽出して分析する手法。個々の変数は何らかの程度で共通因子の影響を受けており、変数と共通因子との関係の強さを示したものが因子負荷量で、-1～+1の値で示される。絶対値が1に近いほどその変数と共通因子との関係が強いことを示す。人の心理や感性の分析の際によく利用される。

分には関係がない」(因子負荷量 .682) であり、「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」(因子負荷量 .579) であり、「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」(因子負荷量 .572) である。これらは、あからさまに人権問題に敵対的な意見を示すものではなく、一見、人権問題には理解を示すようではあるが、真剣にとりくむべき差し迫った問題であるとはとらえていない。そういう意味では、この因子は、他者化因子ととらえることができるだろう。因子のもつ意味は以上のように解釈できる。それぞれの項目はこの3つの因子との位置関係で3次元の立体的空間のなかに付置される。

表1-3 問3の10項目の主成分分析：回転後の成分行列

	第1因子	第2因子	第3因子
A 人権が大切にされている	0.120	0.149	0.579
B 差別は恥ずべきこと	0.687	-0.152	0.103
C 差別は法律で禁止	0.600	-0.126	0.277
D 差別はきりがいい	-0.121	0.721	0.048
E 被差別の声を聞く	0.659	0.058	-0.156
F 行政は努力を	0.719	0.063	0.080
G 権利ばかり主張	0.151	0.733	0.160
H もっと学ぶ機会を	0.578	0.355	0.014
I 自分には関係ない	-0.216	0.218	0.682
J 思いやりをもてば解決する	0.367	-0.246	0.572

※因子分析法：主成分分析

回転法はKaiserの正規化を伴うバリマックス法

6回の反復で回転が収束した。

### § 3. 社会に対する考え方（問1）と人権や差別についての考え方（問3）

それでは、問1の「社会に対する考え方」8項目が問3の「人権や差別についての考え方」にどのような影響を及ぼしているのかみてみよう。

表1-4は、両者の順位相関係数を示したものである。第1因子である共感因子の中心になっている「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」という意見に影響を及ぼしているのは、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」(.205)と「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」(.188)である。

これとは逆に、第2因子の冷淡因子の中心となっていた「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」に影響を与えているのは、「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」(.267)や「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」(.255)や「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」(.200)といった意見である。

さらに、「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」という意見に影響を与えているのは、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」が .317と極めて高い相関を示している。また、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」(.245)も影響を与えている。これらの楽観的で前向きの姿勢をもつものが、この意見を支持する傾向がみられる。

また、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」という意見については、問1のほとんどの項目群は有意な相関を示さないが、唯一、微弱であるが有意な相関をもつのが、「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」(.111)である。

表1-4 問1の8項目と問3の10項目との相関（スピアマンの順位相関係数）

	A 人権が大 切にされ ている	B 差別は恥 ずべきこ と	C 差別は法 律で禁止	D 差別はさ りがない	E 被差別の 声を聞く	F 行政は努 力を	G 権利ばか り主張	H もっと学 ぶ機会を	I 自分には 関係ない	J 思いやり をもてば 解決する
A うまく立ち回る人 が得をする	.019	-0.031	.03	.175**	-.033	.048*	.200**	.048*	.078**	-.042
B まじめに努力すれ ば報われる	.061**	.199**	.126**	-.083**	.196**	.130**	-.035	.127**	-.043	.245**
C 権利ばかり主張す ると混乱	.051*	.071**	.025	.137**	.073**	.041	.267**	.110**	.022	.022
D 皆で努力すれば世 の中変えられる	.103**	.205**	.162**	-.091**	.215**	.175**	.005	.233**	-.084**	.317**
E 福祉依存の人が増 えると困る	.065**	.080**	.042	.158**	.076**	.061**	.255**	.137**	-.034	.067**
F 本音と建前を上手 に使い分け	.037	-.013	-.005	.182**	.043	.065**	.192**	.061**	.067**	-.041
G 自分の失敗を社会 のせいにするな	.019	.188**	.095**	.038	.207**	.119**	.135**	.135**	-.063**	.138**
H 分相応の生活、不 満を持つな	.094**	.093**	.117**	.087**	.006	.054*	.171**	.115**	.111**	.168**

※ \* 5%危険率の水準で有意な相関

\*\* 1%危険率の水準で有意な相関

#### § 4. 自尊感情（問2）

問2は、14項目にわたり自尊感情、同調指向など自分自身をどのように捉えているのかを聞いている。それらのピアソンの相関係数を示したのが、表1-5である。「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」と「B. いろいろな良い素質を持っている」との間には.567と極めて高い相関がある。また、「B. いろいろな良い素質を持っている」と「C. 物事を人並みには、うまくやれる」との間には.460と高い相関がある。このように、A、B、Cの3つは相互に密接に相関しあっている。これに対して、「D. 自分には自慢できるところがあまりない」と「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思ふ」とは.464と強い結びつきをしており、これら二つの自己をネガティブにみる見方と、先のポジティブな自尊感情を示すA、B、Cの3つとはマイナスの逆相関関係にある。このように相関マトリックスを詳細にながめると、これらの項目間の関係が浮き彫りになってくる。

表1-5 問2の14項目のピアソンの相関係数

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
	価値がある人間	よい素質	人並みにうまくやれる	とりえがない	役に立たない人間	友達にあわせる	服装は気になる	人目を気にする	自分を主張	話し好き	傷つきやすい	好奇心が強い	几帳面なほう	親切なほう
A 価値がある人間	1	0.567	0.472	-0.217	-0.151	0.058	-0.008	-0.050	0.130	0.179	0.022	0.199	0.109	0.287
B よい素質	0.567	1	0.460	-0.270	-0.158	0.025	0.002	-0.091	0.146	0.174	-0.009	0.191	0.129	0.322
C 人並みにうまくやれる	0.472	0.460	1	-0.201	-0.184	0.038	0.015	-0.098	0.161	0.200	-0.052	0.204	0.199	0.276
D とりえがない	-0.217	-0.270	-0.201	1	0.464	0.067	0.076	0.178	-0.086	-0.147	0.163	-0.114	-0.057	-0.123
E 役に立たない人間	-0.151	-0.158	-0.184	0.464	1	0.109	0.09	0.182	-0.062	-0.134	0.215	-0.071	0.028	-0.075
F 友達にあわせる	0.058	0.025	0.038	0.067	0.109	1	0.155	0.232	-0.08	-0.008	0.038	-0.076	0.035	0.059
G 服装は気になる	-0.008	0.002	0.015	0.076	0.090	0.155	1	0.182	-0.105	0.096	0.233	0.035	0.058	0.008
H 人目を気にする	-0.05	-0.091	-0.098	0.178	0.182	0.232	0.182	1	-0.269	-0.144	0.107	-0.155	0.045	0.022
I 自分を主張	0.13	0.146	0.161	-0.086	-0.062	-0.08	-0.105	-0.269	1	0.143	-0.013	0.235	0.072	0.141
J 話し好き	0.179	0.174	0.200	-0.147	-0.134	-0.008	0.096	-0.144	0.143	1	0.095	0.362	0.115	0.223
K 傷つきやすい	0.022	-0.009	-0.052	0.163	0.215	0.038	0.233	0.107	-0.013	0.095	1	0.096	0.131	0.113
L 好奇心が強い	0.199	0.191	0.204	-0.114	-0.071	-0.076	0.035	-0.155	0.235	0.362	0.096	1	0.118	0.182
M 几帳面なほう	0.109	0.129	0.199	-0.057	0.028	0.035	0.058	0.045	0.072	0.115	0.131	0.118	1	0.251
N 親切なほう	0.287	0.322	0.276	-0.123	-0.075	0.059	0.008	0.022	0.141	0.223	0.113	0.182	0.251	1

次に、これらの13項目について主成分分析をすると3つの因子が取り出せる。第1因子に因子負荷量が多いのは、「B. いろいろな良い素質を持っている」(因子負荷量 .756)、「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」(因子負荷量 .752)、「C. 物事を人並みには、うまくやれる」(因子負荷量 .710)が突出している。それに対してマイナスと逆方向に負荷量が多いのは、「D. 自分には自慢できるところがあまりない」(因子負荷量 -.398)と「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」(因子負荷量 -.280)である。このため第1因子は、自己に対して、有能感や自信をもっている因子と解釈できる。これを、自尊感情因子と名付けておく。

ついで第2因子に負荷量の多いのは、「K. 傷つきやすいほうである」(因子負荷量 .666)、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」(因子負荷量 .616)、「D. 自分には自慢できるところがあまりない」(因子負荷量 .542)である。このことから考えると第2因子は、繊細で自己評価が低い自己認識と読み取ることができる。第1因子と正反対の因子のようにもみえるが、因子の負荷量のかかり具合からすると、必ずしもそうではなくて、第2因子は対人関係における消極性を含んでいる。そのために対人関係消極因子と名付けておく。

さらに第3因子をみると、この因子に負荷量の多いのは、「L. 好奇心が強いほうである」(因子負荷量 .615)、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」(因子負荷量 .597)、「J. 話し好きなほうである」(因子負荷量 .504)であり、逆にマイナスの負荷量をもつのは、「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」(因子負荷量 -.471)である。ここから読み取れるのは、第3因子は、逆に他者の目や世間体を気にする因子と解釈できる。自己中心-世間体因子と名付けておこう。

表1-6 問2の14項目の主成分分析：回転後の成分行列

	第1因子	第2因子	第3因子
A 価値がある人間	0.752	-0.091	0.018
B よい素質	0.756	-0.131	0.047
C 人並みにうまくやれる	0.710	-0.105	0.088
D とりえがない	-0.398	0.542	-0.111
E 役に立たない人間	-0.280	0.616	-0.106
F 友達にあわせる	0.235	0.259	-0.471
G 服装は気になる	0.135	0.488	-0.161
H 人目を気にする	0.054	0.365	-0.622
I 自分を主張	0.127	-0.042	0.597
J 話し好き	0.334	0.175	0.504
K 傷つきやすい	0.046	0.666	0.138
L 好奇心が強い	0.286	0.185	0.615
M 几帳面なほう	0.349	0.304	0.110
N 親切なほう	0.573	0.186	0.136

※因子分析法：主成分分析

回転法はKaiserの正規化を伴うバリマックス法

6回の反復で回転が収束した。

## § 5. 自尊感情（問2）と人権や差別についての考え方（問3）

自尊感情（問2）が人権や差別についての考え方（問3）にどのような影響を及ぼしているのだろうか。まず、概観をとらえるために、問2の主成分分析によって抽出された3つの因子と問3の主成分分析によって抽出された3つの因子の相関関係をみてみよう。

いずれの因子も相互に有意な相関を示している。なかでも問2の「対人関係消極因子」は、問3の「共感因子」との結びつきが.202と強い。他人との関係で傷つきやすく、自己を弱者ととらえている認識が、被差別者に対する共感を生み出しているのだろうか。

また、問2の「自尊感情因子」と問3の「他者化因子」との結びつきが強い(.185)。「他者化因子」というのは、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」や「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」や「J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する」などの意見に含まれる因子である。自己を肯定的にとらえる考え方が、差別問題には距離をおく見方につながっているのだろうか。

問2の「自己中心-世間体因子」は、問3の「冷淡因子」との相関は.0143とほどほどにあるが、問3の「共感因子」とは.052と微弱な相関で、5%の水準でかろうじて有意な相関となっているが、問3の「他者化因子」とは-.058とマイナスで微弱な相関を示している。他者の意向を気にせずに突き進むタイプは、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」や「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」というような人権問題に冷淡な態度につながる傾向が認められる。

このように自己をどのような人間ととらえているかということと、差別に対するとらえ方との間には、相関が認められる。これは極めて興味深いことである。

表1-7 問2の因子と問3の因子の相関関係

	共感因子	冷淡因子	他者化因子
自尊感情因子	.152**	.120**	.185**
対人関係消極因子	.202**	.097**	.085**
自己中心因子	.052*	.143**	-.058

※ \*\* 相関係数は1%水準で有意 (両側)

\* 相関係数は5%水準で有意 (両側)

以上のように問2の因子と問3の因子の間には相関がみられる。そこで念のために問2の14項目と問3の10項目との間の相関関係を表に示しておく。

「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」と相関が比較的高いのは、「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」(.152)、「B. いろいろな良い素質を持っている」(.132)、「C. 物事を人並みには、うまくやれる」(.105)などの「自尊感情因子」関連項目のほか、「N. 親切なほうである」(.133)や「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」(.114)との相関が比較的高い。

「C. 差別は法律で禁止する必要がある」という意見に対しては、「D. 自分には自慢できるところがあまりない」(.108)、「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」(.107)、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」(.103)、「N. 親切なほうである」(.102)が相関をもつ。

「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」という意見に対しては、「J. 話し好きなほうである」(.134)、「L. 好奇心が強いほうである」(.129)、「K. 傷つきやすいほうである」(.123)が相関をもつ。

また、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」という意見に対しては、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」(.129)、「N. 親切なほうである」(.125)、「L. 好奇心が強いほうである」(.118)、「C. 物事を人並みには、うまくやれる」(.108)との相関が比較的高い。

表1-8 問2の14項目と問3の10項目との間の相関表

	A 人権が大 切にされ ている	B 差別は恥 ずべきこ と	C 差別は法 律で禁止	D 差別はき りがない	E 被差別の 声を聞く	F 行政は努 力を	G 権利ばか り主張	H もっと学 ぶ機会を	I 自分には 関係ない	J 思いやり をもてば 解決する
A 価値がある人間	0.152	0.051	0.031	0.061	0.050	0.085	0.110	0.104	0.019	0.085
B よい素質	0.132	0.026	0.036	0.029	0.007	0.069	0.080	0.089	0.035	0.087
C 人並みにうまくやれる	0.105	-0.015	-0.017	0.041	0.024	0.046	0.108	0.063	0.036	0.051
D とりえがない	-0.021	0.027	0.108	0.039	0.041	0.029	0.015	0.003	0.021	-0.032
E 役に立たない人間	-0.005	0.035	0.103	0.036	0.029	0.029	0.042	0.002	0.068	-0.001
F 友達にあわせる	0.114	0.015	0.107	-0.036	-0.045	0.017	0.029	-0.006	0.103	0.047
G 服装は気になる	-0.008	0.035	0.052	0.017	0.074	0.080	0.019	0.059	0.017	0.032
H 人目を気にする	0.083	0.028	0.092	-0.029	-0.025	0.001	-0.048	-0.026	0.059	0.054
I 自分を主張	0.060	0.011	0.007	0.105	0.068	0.017	0.129	0.116	0.054	0.022
J 話し好き	0.040	0.066	0.041	0.047	0.134	0.065	0.058	0.125	-0.003	0.084
K 傷つきやすい	-0.001	0.103	0.075	0.033	0.123	0.121	0.082	0.106	-0.064	0.041
L 好奇心が強い	0.035	0.086	0.003	0.104	0.129	0.058	0.118	0.150	-0.055	0.031
M 几帳面なほう	0.065	0.043	0.047	0.019	0.027	0.036	0.022	0.049	0.013	0.045
N 親切なほう	0.133	0.118	0.102	0.032	0.083	0.107	0.125	0.124	-0.024	0.167

※スピアマンの順位相関係数

## 第2章 結婚についての考え方

### § 1. 結婚忌避（問13の7項目の相関）

結婚相手として望ましいと思われる条件を備えている結婚相手が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますかとして、「A. 同和地区出身者」をはじめ、7種類のさまざまなマイノリティ状況にある人について聞いた。第1部でみたように、「A. 同和地区出身者」「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」などについては回答の結果はほぼ同じであり、「迷うので一人では決められない」や「考え直す」と躊躇する人が、4割から5割の人を占める。なかでも、最も厳しい状況におかれているのは、「E. 精神の障害で通院している人」で、8割弱の人が躊躇する。

さて、これら7つのマイノリティ状況による結婚忌避について、相互の関係をみたものが表2-1である。「A. 同和地区出身者」「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」の3つは、相互に極めて高い相関を示している。なかでも最も高いのは、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」と「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」が.710である（表2-2参照）。総数に占める割合をみると、両者ともに「問題にしない」は50%、両者ともに「迷うので一人では決められない」は20%、両者ともに「考え直す」は10%であり、どちらか一方の態度が決まれば、他の方も同じ態度を示す。二つが一致した態度を示すのは、全体の80%を占める。

「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」と「A. 同和地区出身者」の間の相関も.495と極めて高い相関を示している（表2-3）。これら両者に対する態度がともに「問題にしない」で一致しているのは47%、両者ともに「迷うので一人では決められない」は16%、両者ともに「考え直す」は5%であり、全体の69%（四捨五入）である。他方、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚については、「問題ない」としているものが、「A. 同和地区出身者」との結婚については、「迷う」とか「考え直す」という態度を示すものは、全体の9%であるが、逆に「A. 同和地区出身者」との結婚については、「問題ない」としているものが、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚については、「迷う」とか「考え直す」という態度を示すものは、それよりもやや多く、全体の16%を占めている。このように両者について、不一致のケースをみると、やや「A. 同和地区出身者」よりも「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」が忌避される傾向が認められる。これは微細な差異であり、それよりも全体としてみた場合、結婚忌避という問題については、「A. 同和地区出身者」、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」、「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」とも共通した構造があることに注目すべきであろう。

また、「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」と「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」との間も.583とこれも極めて高い相関を示している。両者は、ともに結婚の当事者の属性ではなく、親の状況による結婚の躊躇である（表2-4）。

さらに、「D. 車椅子が必要な人」と「E. 精神の障害で通院している人」との間の相関は.543である（表2-5）。

このように、その他において結婚相手として望ましいと思われる条件を備えていても、ただ一点、上記のようなことが加わっただけで、「迷うので一人では決められない」や「考え直す」というようになる。どうして若者層の間でこのようなことが起こるのか、その心理の微妙な揺れ動きの背景にあるものを探求し、人権教育の課題としていかなければならないだろう。



表2-1 結婚忌避の相関関係（問13の7項目）

	A 同和地区出身者	B 在日韓国・朝鮮人	C 日系ブラジル人	D 車椅子が必須な人	E 精神の障害で通院している人	F 親が破産宣告を受けた人	G 親が刑を終えて出所した人
A 同和地区出身者	1	0.495	0.447	0.379	0.301	0.348	0.421
B 在日韓国人	0.495	1	0.710	0.383	0.293	0.307	0.361
C 日系ブラジル人	0.447	0.71	1	0.413	0.301	0.304	0.345
D 車イスの人	0.379	0.383	0.413	1	0.543	0.425	0.391
E 精神障害	0.301	0.293	0.301	0.543	1	0.448	0.438
F 親が破産宣告	0.348	0.307	0.304	0.425	0.448	1	0.583
G 親が出所者	0.421	0.361	0.345	0.391	0.438	0.583	1

表2-2 クロス表 「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」と「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」

		C 日系ブラジル人				
		問題にしない	迷う	考え直す	合計	
B 在日韓国・朝鮮人	問題にしない	989	94	26	1,109	度数
		89.2%	8.5%	2.3%	100.0%	行の%
		85.8%	17.1%	9.7%	56.2%	列の%
		50.2%	4.8%	1.3%	56.2%	総和の%
	迷う	103	391	38	532	度数
		19.4%	73.5%	7.1%	100.0%	行の%
		8.9%	71.0%	14.2%	27.0%	列の%
		5.2%	19.8%	1.9%	27.0%	総和の%
	考え直す	61	66	204	331	度数
		18.4%	19.9%	61.6%	100.0%	行の%
		5.3%	12.0%	76.1%	16.8%	列の%
		3.1%	3.3%	10.3%	16.8%	総和の%
合計	1,153	551	268	1,972	度数	
	58.5%	27.9%	13.6%	100.0%	行の%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	列の%	
	58.5%	27.9%	13.6%	100.0%	総和の%	

スピアマン相関係数 0.71、ガンマ係数<sup>5</sup> 0.863

表2-3 クロス表 「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」と「A. 同和地区出身者」

		A 同和地区出身者				
		問題にしない	迷う	考え直す	合計	
B 在日韓国・朝鮮人	問題にしない	923	164	11	1,098	度数
		84.1%	14.9%	1.0%	100.0%	行の%
		74.9%	27.8%	8.2%	56.1%	列の%
		47.2%	8.4%	0.6%	56.1%	総和の%
	迷う	186	320	23	529	度数
		35.2%	60.5%	4.3%	100.0%	行の%
		15.1%	54.3%	17.2%	27.0%	列の%
		9.5%	16.4%	1.2%	27.0%	総和の%
	考え直す	124	105	100	329	度数
		37.7%	31.9%	30.4%	100.0%	行の%
		10.1%	17.8%	74.6%	16.8%	列の%
		6.3%	5.4%	5.1%	16.8%	総和の%
合計	1,233	589	134	1,956	度数	
	63.0%	30.1%	6.9%	100.0%	行の%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	列の%	
	63.0%	30.1%	6.9%	100.0%	総和の%	

スピアマン相関係数 0.495、ガンマ係数 0.703

<sup>5</sup> ガンマ係数：グッドマンとクラスカルの順序連関係数のこと。大小や高低、優劣など一定の序列を表す変数（順序尺度）同士のクロス集計表において、独立変数（分析する側の設問項目や選択肢）と従属変数（分析される側の設問項目や選択肢）との関係の方向性とその強さを示す指標。-1～+1の間の値をとり、値が正であれば、一方の変数の値が高ければ他方の変数の値も高く、値が負であれば、一方の変数の値が低ければ他方の変数の値も低くなることを示し、絶対値が1に近いほど、その関係の方向性と強さが強い（そう言える）ことを表す。

表2-4 クロス表 「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」と「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」

		G 親が刑を終えて出所した人				
		問題にしない	迷う	考え直す	合計	
F 親が破産宣告を受けた人	問題にしない	481	123	42	646	度数
		74.5%	19.0%	6.5%	100.0%	行の %
		62.6%	17.4%	8.4%	32.7%	列の %
		24.4%	6.2%	2.1%	32.7%	総和の %
	迷う	231	479	130	840	度数
		27.5%	57.0%	15.5%	100.0%	行の %
		30.1%	67.8%	26.1%	42.6%	列の %
		11.7%	24.3%	6.6%	42.6%	総和の %
	考え直す	56	105	327	488	度数
		11.5%	21.5%	67.0%	100.0%	行の %
		7.3%	14.9%	65.5%	24.7%	列の %
		2.8%	5.3%	16.6%	24.7%	総和の %
合計	768	707	499	1,974	度数	
	38.9%	35.8%	25.3%	100.0%	行の %	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	列の %	
	38.9%	35.8%	25.3%	100.0%	総和の %	

スピアマン相関係数 0.583、ガンマ係数 0.744

表2-5 クロス表 「D. 車椅子が必要な人」と「E. 精神の障害で通院している人」

		E 精神の障害で通院している人				
		問題にしない	迷う	考え直す	合計	
D 車椅子が必要な人	問題にしない	400	385	166	951	度数
		42.1%	40.5%	17.5%	100.0%	行の %
		89.3%	47.5%	23.5%	48.4%	列の %
		20.3%	19.6%	8.4%	48.4%	総和の %
	迷う	40	408	251	699	度数
		5.7%	58.4%	35.9%	100.0%	行の %
		8.9%	50.3%	35.5%	35.6%	列の %
		2.0%	20.8%	12.8%	35.6%	総和の %
	考え直す	8	18	290	316	度数
		2.5%	5.7%	91.8%	100.0%	行の %
		1.8%	2.2%	41.0%	16.1%	列の %
		0.4%	0.9%	14.8%	16.1%	総和の %
合計	448	811	707	1,966	度数	
	22.8%	41.3%	36.0%	100.0%	行の %	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	列の %	
	22.8%	41.3%	36.0%	100.0%	総和の %	

スピアマン相関係数 0.543、ガンマ係数 0.743

## § 2. 結婚忌避（問13）と本人の責任でないことを理由に反対すること（問10）

問10では、「結婚にあたり、家柄、出身地、財産、国籍、親の仕事、社会的地位など、本人たちの責任でないことを理由にして、周りから反対されることについて、あなたはどのように思いますか」とたずねた。家柄、出身地など具体的事例を列挙しているが、本人の責任ではないことがらを理由に家族など周囲のものが反対することについて聞いている。これと先の結婚忌避との関係を見てみよう。選択肢は、「1. 当然のことであるから、そのような意見を尊重する」、「2. おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う」、「3. こうした考えをなくしていかなければならないと思う」の他、「4. その他」、「5. わからない」を設けたが、順位相関係数を計算するときは、「4. その他」、「5. わからない」は欠損値としてあつかった。

問13の結婚忌避と問10の間には、いずれも相関が認められる。なかでも高い相関を示すのは、「A. 同和地区出身者」との結婚の場合である。相関係数は  $-0.343$  である。他方、最も相関が低いのは、「E. 精神の障害で通院している人」である。それでも  $-0.213$  であり、かなりの相関がある（表2-6）。

また、具体的にクロス表では、どのような意見の分布になっているのか、みておこう。表2-7では、「A. 同和地区出身者」との結婚についてみたものである。

「本人たちの責任でないことを理由にして、周りから反対されること」を「当然のことであるから、そのような意見を尊重する」とするものは、91人であったが、そのうち、「A. 同和地区出身者」との結婚を、「考え直す」とするものは31%、「迷うので一人では決められない」は32%であり、3分の2のものは、躊躇する。他方、「こうした考えをなくしていかなければならないと思う」とするものは1,244人と多数を占めるが、この意見をもつもののうち73%が、「問題にしない」としている。

表2-6 結婚忌避（問13）と本人の責任でないことを理由に反対（問10）との相関関係

A 同和地区出身者	-0.343
B 在日韓国人	-0.318
C 日系ブラジル人	-0.256
D 車イスの人	-0.251
E 精神障害	-0.213
F 親が破産宣告	-0.221
G 親が出所者	-0.249

※スピアマンの順位相関係数

表2-7 クロス表 本人の責任でないことを理由に反対（問10）と問13「A. 同和地区出身者」との結婚

		A 同和地区出身者との結婚			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
反対 本人 との 責任 理由 で な	反対は当然	34 37.4%	29 31.9%	28 30.8%	91 100.0%
	おかしいとは思いますが従う	62 33.2%	92 49.2%	33 17.6%	187 100.0%
	間違っている	907 72.9%	307 24.7%	30 2.4%	1,244 100.0%
	合計	1,003 65.9%	428 28.1%	91 6.0%	1,522 100.0%

表2-8 クロス表 本人の責任でないことを理由に反対（問10）と問13「E. 精神の障害で通院している人」との結婚

		E 精神の障害で通院している人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
反対 本人 との 責任 理由 で な	反対は当然	14 15.4%	23 25.3%	54 59.3%	91 100.0%
	おかしいとは思いますが従う	18 9.6%	64 34.0%	106 56.4%	188 100.0%
	間違っている	322 25.8%	547 43.8%	380 30.4%	1,249 100.0%
	合計	354 23.2%	634 41.5%	540 35.3%	1,528 100.0%

### § 3. 社会についての意見（問1）と結婚忌避（問13）

問1の社会に対する考え方8項目が、結婚忌避の態度（問13）に影響を及ぼしているのだろうか。これを調べるために、順位相関係数を計算した。その結果は、表2-9の通りである。結婚忌避の態度に有意に与えているのは、8項目のうち、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」、それに「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」の3項目のみである。

そのなかでも、比較的強い影響を与えているのは、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のし

くみを変えることができる」という考え方であり、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」(.113)、「A. 同和地区出身」(.101)をはじめとし、「D. 車椅子が必要とする人」(.096)、「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」(.089)など、対象者7項目のすべてについて1%の危険率水準で有意の相関を示している。

また、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」という考え方が影響を及ぼしているのは、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」(.099)、「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」(.085)、「D. 車椅子が必要な人」(.077)であり、「A. 同和地区出身者」(.067)は、かろうじて1%の危険率水準で有意となっており、それ以外では有意な相関は認められなかった。

さらに、「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」という考え方は、「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」(.088)と「A. 同和地区出身者」(.086)の二つのみに有意な影響をあたえている。

このように社会への変革可能性を信じているものや楽観的な見通しをもつものは、マイノリティとの結婚に「問題はない」とするものが多くなっている。

なお、例示として、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」と「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」とのクロス表を表2-10に示しておく。

表2-9 社会についての意見(問1)と結婚忌避(問13)との相関表

	A 同和地区出身者	B 在日韓国・朝鮮人	C 日系ブラジル人	D 車椅子が必要な人	E 精神の障害で通院している人	F 親が破産宣告を受けた人	G 親が刑を終えて出所した人
A うまく立ち回る人が得	-0.036	-0.076	-0.076	-0.058	-0.037	-0.045	-0.032
B 努力が報われる	0.067	0.099	0.085	0.077	0.052	0.055	0.033
C 権利主張は混乱を	0.010	-0.007	0.018	-0.019	-0.028	-0.007	0.017
D 仕組みを変えることができる	0.101	0.113	0.079	0.096	0.081	0.089	0.074
E 福祉依存は困る	0.008	0.027	0.015	-0.015	-0.059	0.016	0.029
F 本音と建前の使い分け	-0.019	-0.058	-0.037	-0.065	-0.042	-0.035	-0.015
G 自分を反省すべき	0.086	0.048	0.088	0.030	0.006	0.024	0.040
H 分相応の生活	-0.060	-0.053	-0.063	-0.037	-0.050	-0.040	-0.043

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表2-10 クロス表 問1「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」と

問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚

		B 在日韓国・朝鮮人との結婚			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
こD と が仕 で組 み を 変 え る	そう思う	478	225	99	802
		59.6%	28.1%	12.3%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	374	176	103	653
		57.3%	27.0%	15.8%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	129	69	65	263
		49.0%	26.2%	24.7%	100.0%
	そう思わない	74	35	51	160
	46.2%	21.9%	31.9%	100.0%	
	合計	1,055	505	318	1,878
		56.2%	26.9%	16.9%	100.0%

#### § 4. 自尊感情(問2)と結婚忌避(問13)

問2の自尊感情に関連する14項目がどのような結婚忌避的態度にどのような影響を与えているのか、スピアマンの順位相関係数を示したのが、表2-11である。全般的にみれば、影響を及ぼしている項目は少ない。第1章で検討したように問2の14項目から抽出できた3つの因子のうち、

「自己中心—世間体因子」が影響を及ぼしており、「自尊感情因子」や「対人関係消極因子」は、あまり影響を及ぼしていない。

「自己中心—世間体因子」のなかでも興味深いのは、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」であり、7つのすべての対象グループとの結婚の態度に影響を与えて行くことである。相関の強さからいえば、「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」との結婚である(.166)が最も強い。「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と思うものは、「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」であれ「問題にしない」と答える傾向にある(表2-12)。また、「A. 同和地区出身者」との結婚についてもかなりの影響を及ぼしている(.134)「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と思うもののうち、「A. 同和地区出身者」の76%は、「問題にしない」と答えているが、「そう思わない」としたものでは54%にまで減少している(表2-13)。

逆に、「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」や「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」、「G. 服装は、皆から変に思われなにかどうか、いつも気にしている」などなマイナスの影響を与えており、他者の目を気にするタイプは、マイノリティとの結婚を躊躇する傾向がある(表2-14、表2-15)。この他者志向や世間体の問題は、結婚忌避を考える上で、極めて重要なポイントである。

表2-11 自尊感情(問2)と結婚忌避(問13)との相関表

	A 同和地区出身者	B 在日韓国・朝鮮人	C 日系ブラジル人	D 車椅子が必要な人	E 精神の障害で通院している人	F 親が破産宣告を受けた人	G 親が刑を終えて出所した人
A 価値がある人間	-0.020	-0.016	0.002	-0.037	-0.098	0.002	-0.047
B よい素質	-0.040	0.001	0.027	-0.035	-0.038	0.014	-0.067
C 人並みにうまくやれる	0.011	0.022	0.050	0.005	-0.043	0.029	0.012
D とりえがない	0.045	0.017	-0.004	0.017	0.051	0.016	0.070
E 役に立たない人間	0.072	0.027	-0.002	0.060	0.122	0.025	0.074
F 友達にあわせる	-0.100	-0.041	-0.088	-0.071	-0.068	-0.060	-0.067
G 服装は気になる	-0.055	-0.008	0.011	-0.048	-0.026	-0.034	-0.046
H 人目を気にする	-0.078	-0.077	-0.102	-0.079	-0.029	-0.085	-0.064
I 自分を主張	0.134	0.092	0.110	0.111	0.103	0.120	0.166
J 話し好き	-0.005	0.051	0.063	0.027	-0.009	0.026	0.007
K 傷つきやすい	-0.038	-0.035	-0.006	-0.020	-0.014	-0.007	-0.033
L 好奇心が強い	0.055	0.091	0.105	0.085	0.036	0.059	0.104
M 几帳面なほう	-0.003	-0.013	-0.041	0.000	-0.003	0.035	-0.011
N 親切なほう	0.020	-0.005	0.007	0.051	0.014	0.065	0.009

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表2-12 クロス表 問2「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と

問13「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」との結婚

		G 親が刑を終えて出所した人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
I 自分 を 主 張	そう思う	174 59.4%	65 22.2%	54 18.4%	293 100.0%
	どちらかといえばそう思う	189 40.6%	168 36.1%	109 23.4%	466 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	237 35.9%	267 40.4%	157 23.8%	661 100.0%
	そう思わない	121 30.6%	139 35.1%	136 34.3%	396 100.0%
	合計	721 39.7%	639 35.2%	456 25.1%	1,816 100.0%

表2-13 クロス表 問2「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と

問13「A. 同和地区出身者」との結婚

		A 同和地区出身者			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
I 自分 を 主 張	そう思う	224	48	21	293
		76.5%	16.4%	7.2%	100.0%
	どちらかといえばそう思 う	307	124	31	462
		66.5%	26.8%	6.7%	100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	407	215	36	658
		61.9%	32.7%	5.5%	100.0%
そう思わない	210	143	35	388	
	54.1%	36.9%	9.0%	100.0%	
合計		1,148	530	123	1,801
		63.7%	29.4%	6.8%	100.0%

表2-14 クロス表 問2「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」と

問13「A. 同和地区出身者」との結婚

		A 同和地区出身者			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
F 友 達 に あ わ せ る	そう思う	62	47	9	118
		52.5%	39.8%	7.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思 う	136	107	17	260
		52.3%	41.2%	6.5%	100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	217	109	17	343
		63.3%	31.8%	5.0%	100.0%
そう思わない	736	287	75	1,098	
	67.0%	26.1%	6.8%	100.0%	
合計		1,151	550	118	1,819
		63.3%	30.2%	6.5%	100.0%

表2-15 クロス表 問2「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」と

問13「D. 車椅子が必要な人」との結婚

		D 車椅子が必要な人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
H 人 目 を 気 に す る	そう思う	127	103	55	285
		44.6%	36.1%	19.3%	100.0%
	どちらかといえばそう思 う	264	262	88	614
		43.0%	42.7%	14.3%	100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	276	186	68	530
		52.1%	35.1%	12.8%	100.0%
そう思わない	241	108	81	430	
	56.0%	25.1%	18.8%	100.0%	
合計		908	659	292	1,859
		48.8%	35.4%	15.7%	100.0%

## § 5. 人権や差別についての考え方（問3）と結婚忌避（問13）

人権や差別についての考え方（問3）は、問1や問2よりも、より直接的に結婚忌避の問題に関係があると予想される。そこで、人権や差別についての考え方（問3）の10項目と結婚忌避（問13）の7項目との、スピアマンの順位相関係数を示したのが、表2-16である。10項目のなかでも、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」や「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」という意見と、結婚忌避との間には、強い相関が認められる。しかし、興味深いことには、「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」という意見は、結婚についての態度と無関係である。また、「C. 差別は法律で禁止する必要がある」と有意な相関をもつ対象項目は少ない。

表2-16 人権や差別についての考え方（問3）と結婚忌避（問13）との相関表

	A 同和地区出身者	B 在日韓国・朝鮮人	C 日系ブラジル人	D 車椅子が必要な人	E 精神の障害で通院している人	F 親が破産宣告を受けた人	G 親が刑を終えて出所した人
A 人権が大切にされている	0.011	0.035	0.027	-0.004	-0.039	0.025	-0.003
B 差別は恥ずべきこと	0.149	0.157	0.114	0.085	0.081	0.103	0.098
C 差別は法律で禁止	0.058	0.031	0.013	0.012	0.091	0.019	0.016
D 差別はさきがない	-0.034	-0.107	-0.049	-0.058	-0.092	-0.027	0.003
E 被差別の声を聞く	0.179	0.176	0.156	0.176	0.131	0.105	0.123
F 行政は努力を	0.094	0.138	0.105	0.079	0.082	0.046	0.013
G 権利ばかり主張	-0.016	-0.068	-0.018	0.011	-0.029	0.005	0.008
H もっと学ぶ機会を	0.059	0.082	0.052	0.109	0.106	0.055	0.078
I 自分には関係ない	-0.118	-0.123	-0.118	-0.137	-0.113	-0.067	-0.065
J 思いやりをもてば解決する	0.074	0.081	0.058	0.041	0.062	0.074	0.023

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表2-17 クロス表 問3「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と

問13「A. 同和地区出身者」との結婚

		A 同和地区出身者			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
く E 被差別の声を聞く	そう思う	813 70.0%	300 25.8%	48 4.1%	1,161 100.0%
	どちらかといえばそう思う	353 53.4%	250 37.8%	58 8.8%	661 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	26 51.0%	12 23.5%	13 25.5%	51 100.0%
	そう思わない	11 61.1%	1 5.6%	6 33.3%	18 100.0%
	合計	1,203 63.6%	563 29.8%	125 6.6%	1,891 100.0%

表2-18 クロス表 問3「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」と

問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚

		B 在日韓国・朝鮮人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
こ B 差別は恥ずべき	そう思う	670 62.2%	273 25.3%	135 12.5%	1,078 100.0%
	どちらかといえばそう思う	300 50.0%	182 30.3%	118 19.7%	600 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	58 47.2%	37 30.1%	28 22.8%	123 100.0%
	そう思わない	31 40.3%	15 19.5%	31 40.3%	77 100.0%
	合計	1,059 56.4%	507 27.0%	312 16.6%	1,878 100.0%

表2-19 クロス表 問3「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」と

問13「D. 車椅子が必要な人」との結婚

		D 車椅子が必要な人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
い I 自分には関係ない	そう思う	36 54.5%	11 16.7%	19 28.8%	66 100.0%
	どちらかといえばそう思う	41 39.8%	35 34.0%	27 26.2%	103 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	187 37.9%	219 44.3%	88 17.8%	494 100.0%
	そう思わない	633 53.8%	392 33.3%	151 12.8%	1,176 100.0%
	合計	897 48.8%	657 35.7%	285 15.5%	1,839 100.0%

表2-20 クロス表 問3「C. 差別は法律で禁止する必要がある」と問13「E. 精神の障害で通院している人」との結婚

		E 精神の障害で通院している人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
止C 差別は法律で禁	そう思う	150 26.4%	232 40.8%	186 32.7%	568 100.0%
	どちらかといえばそう思う	103 19.1%	261 48.4%	175 32.5%	539 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	77 22.1%	127 36.4%	145 41.5%	349 100.0%
	そう思わない	57 22.1%	79 30.6%	122 47.3%	258 100.0%
	合計	387 22.6%	699 40.8%	628 36.6%	1,714 100.0%

表2-21 クロス表 問3「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」と

問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚

		B 在日韓国・朝鮮人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
いD 差別はきりがな	そう思う	293 52.6%	125 22.4%	139 25.0%	557 100.0%
	どちらかといえばそう思う	343 53.9%	188 29.6%	105 16.5%	636 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	213 57.9%	112 30.4%	43 11.7%	368 100.0%
	そう思わない	165 65.0%	64 25.2%	25 9.8%	254 100.0%
	合計	1,014 55.9%	489 26.9%	312 17.2%	1,815 100.0%

表2-22 クロス表 問3「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」と

問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚

		B 在日韓国・朝鮮人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
F 行政は努力を	そう思う	537 63.0%	199 23.3%	117 13.7%	853 100.0%
	どちらかといえばそう思う	373 50.4%	240 32.4%	127 17.2%	740 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	66 43.4%	43 28.3%	43 28.3%	152 100.0%
	そう思わない	39 57.4%	8 11.8%	21 30.9%	68 100.0%
	合計	1,015 56.0%	490 27.0%	308 17.0%	1,813 100.0%

表2-23 クロス表 問3「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」と

問13「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」との結婚

		B 在日韓国・朝鮮人			
		問題にしない	迷う	考え直す	合計
G 権利ばかり主張	そう思う	389 54.6%	177 24.9%	146 20.5%	712 100.0%
	どちらかといえばそう思う	367 55.6%	196 29.7%	97 14.7%	660 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	130 61.6%	50 23.7%	31 14.7%	211 100.0%
	そう思わない	39 72.2%	11 20.4%	4 7.4%	54 100.0%
	合計	925 56.5%	434 26.5%	278 17.0%	1,637 100.0%



## § 6. さまざまな要因が結婚に対する態度に及ぼす影響の相対的な位置

以上のように、問1、問2、問3がマイノリティとの結婚に対して及ぼす影響をみてきたが、最後にまとめをかねて、問13「A. 同和地区出身者」との結婚、及び問10「本人の責任ではないことを理由にした周囲の反対についての意見」との関係性をみておこう（表2-24）。

一目でわかるように、問1、問2、問3は、問10「本人の責任ではないことを理由にした周囲の反対についての意見」よりも問13「A. 同和地区出身者」との結婚に強い影響を及ぼしている。

問13「A. 同和地区出身者」との結婚について、強い影響を及ぼしているものから順にあげると、第1位は問3「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」(.179)、第2位は、問3「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」(.149)、第3位は問2「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」(.134)、第4位は問3「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」(-.118)、第5位は問1「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」(.101)、第6位は問2「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」(-.100)、第7位は問3「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」(.094)、第8位は問1「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」(.086)である。厳密には、相互の影響を排除して相関をみるべきであるが、順位尺度レベルでは、そこまで厳密の数値を計算してもあまり意味がない。これらのことを参考にしながら、人権教育や啓発の内容や教材を検討すべきであろう。

表2-24 さまざまな要因が、同和地区出身者との結婚に及ぼす影響

		問13 A 同和地区出身者との結婚	問10 本人の責任ではないことを理由に結婚に反対
問1	A うまく立ち回る人が得	-0.036	0.118
	B 努力が報われる	0.067	-0.086
	C 権利主張は混乱を	0.010	0.014
	D 仕組みを変えることができる	0.101	-0.045
	E 福祉依存は困る	0.008	0.026
	F 本音と建前の使い分け	-0.019	0.093
	G 自分を反省すべき	0.086	0.000
	H 分相応の生活	-0.060	0.069
問2	A 価値がある人間	-0.020	0.012
	B よい素質	-0.040	0.047
	C 人並みにうまくやれる	0.011	0.018
	D とりえがない	0.045	-0.044
	E 役に立たない人間	0.072	-0.053
	F 友達にあわせる	-0.100	0.059
	G 服装は気になる	-0.055	0.007
	H 人目を気にする	-0.078	0.035
	I 自分を主張	0.134	-0.050
	J 話し好き	-0.005	0.009
	K 傷つきやすい	-0.038	0.036
	L 好奇心が強い	0.055	0.001
	M 几帳面なほう	-0.003	0.012
M 親切なほう	0.020	0.008	
問3	A 人権が大切にされている	0.011	0.034
	B 差別は恥ずべきこと	0.149	-0.129
	C 差別は法律で禁止	0.058	-0.116
	D 差別はきりが無い	-0.034	0.127
	E 被差別の声を聞く	0.179	-0.128
	F 行政は努力を	0.094	-0.139
	G 権利ばかり主張	-0.016	0.048
	H もっと学ぶ機会を	0.059	-0.084
	I 自分には関係ない	-0.118	0.099
	J 思いやりをもてば解決する	0.074	-0.054

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、問10の選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

## 第3章 同和地区忌避の態度について

### § 1. 同和地区であるかどうかの問い合わせ

問9の不動産物件が同和地区であるかどうかを市町村に問い合わせること(以下、「問い合わせ」と略)について、どう思うかについて聞いてみたところ、「問題だと思わない」は7%と少ないが、「問題だと思う」は多くはなく、24%にとどまり、「問題があるとはいちがいにいけない」が27%とかなりある。また、「わからない」というのが、34%と最も多い。青年層であるためか、同和地区であるかどうかを市町村に問い合わせることの意味をあまり理解していないものが多い。

「わからない」と回答したことの意味を考えることは、それはそれで重要なことであるが、他の質問との関係を見るにあたっては、「わからない」と答えたもの、あるいは無回答であったものを除いた1,167人を、以下の分析では考察する。

社会についての意見(問1)との関係をみてみよう。

問1の社会に対する考え方8項目が、同和地区についての問い合わせ(問9)に影響を及ぼしているのだろうか。これを調べるために、順位相関係数を計算した。その結果は、表3-1の通りである。同和地区についての問い合わせに有意な相関を与えているのは、8項目のうち4項目のみである。なかでも相対的に強い相関を示すのは、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」(.150)、次いで、「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」(.139)、それに「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」(.093)であり、これらの意見に「そう思う」と考えるものは、同和地区についての問い合わせを「問題だと思う」と答える傾向がある。マイナスの相関を示しているのは、「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」(-.101)であり、この意見に「そう思う」と答えたものは、同和地区についての問い合わせを「問題だとは思わない」と答える傾向がある。

表3-1 問9と問1との相関関係

A うまく立ち回る人が得	-0.101
B 努力が報われる	0.139
C 権利主張は混乱を	-0.015
D 仕組みを変えることができる	0.150
E 福祉依存は困る	-0.065
F 本音と建前の使い分け	-0.070
G 自分を反省すべき	0.093
H 分相応の生活	0.006

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、問9の選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表3-2 クロス表 問1「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
こD と が仕 組 み を 変 え る	そう思う	233	190	46	469
		49.7%	40.5%	9.8%	100.0%
	どちらかといえばそう思 う	141	202	45	388
		36.3%	52.1%	11.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	56	77	32	165
		33.9%	46.7%	19.4%	100.0%
	そう思わない	35	47	20	102
		34.3%	46.1%	19.6%	100.0%
	合計	465	516	143	1,124
		41.4%	45.9%	12.7%	100.0%

表3-3 クロス表 問1「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
人A が 得 う ま く 立 ち 回 る	そう思う	103	127	56	286
		36.0%	44.4%	19.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思 う	217	266	49	532
		40.8%	50.0%	9.2%	100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	62	63	19	144
		43.1%	43.8%	13.2%	100.0%
	そう思わない	72	54	15	141
		51.1%	38.3%	10.6%	100.0%
	合計	454	510	139	1,103
		41.2%	46.2%	12.6%	100.0%

## § 2. 自尊感情（問2）と問い合わせ（問9）

問2の自尊感情に関連する14項目がどのような「問い合わせ」にどのような影響を与えているのか、スピアマンの順位相関係数を示したのが、表3-4である。14項目のうち、有意な相関を示しているのは、唯一、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」のみである。それも .098とそれほど強い相関ではない。「自分は役に立たない人間だと思う」人は、同和地区かどうかの問い合わせを「問題だと思う」傾向がある（表3-5）。

表3-4 自尊感情（問2）と問い合わせ（問9）との相関関係

A 価値がある人間	-0.058
B よい素質	-0.047
C 人並みにうまくやれる	-0.006
D とりえがない	0.044
E 役に立たない人間	0.098
F 友達にあわせる	-0.032
G 服装は気になる	-0.004
H 人目を気にする	0.052
I 自分を主張	0.032
J 話し好き	0.034
K 傷つきやすい	-0.010
L 好奇心が強い	0.025
M 几帳面なほう	-0.006
N 親切なほう	0.046

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、問9の選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表3-5 クロス表 問2「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
問 E 役に 立た ない 人	そう思う	58 53.2%	37 33.9%	14 12.8%	109 100.0%
	どちらかといえばそう思 う	111 46.8%	100 42.2%	26 11.0%	237 100.0%
	どちらかといえばそう思 わない	154 40.3%	188 49.2%	40 10.5%	382 100.0%
	そう思わない	134 36.7%	177 48.5%	54 14.8%	365 100.0%
	合計	457 41.8%	502 45.9%	134 12.3%	1,093 100.0%

### § 3. 人権や差別についての考え方（問3）と問い合わせ（問9）

人権や差別についての考え方（問3）と問い合わせ（問9）との関係を見てみよう（表3-6）。人権や差別についての考え方（問3）の10項目のうち、「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」を除いて、9項目と有意な相関が認められる。なかでも、最も強い相関を示しているのは「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」である（.244）。その他、「C. 差別は法律で禁止する必要がある」（.204）、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」（.187）など、比較的強い相関があり、これらの意見に賛成するものは、同和地区についての問い合わせについては、「問題があると思う」と受けとめる傾向がある。逆に、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」（-.193）や「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」（-.174）、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」（-.118）は、逆相関しており、このように考えるものは、同和地区についての問い合わせについて、「問題だとは思わない」と受けとめる傾向がある。

表3-6 問3と問9との相関関係

A 人権が大切にされている	-0.025
B 差別は恥ずべきこと	0.244
C 差別は法律で禁止	0.204
D 差別はきりがない	-0.193
E 被差別の声を聞く	0.187
F 行政は努力を	0.153
G 権利ばかり主張	-0.118
H もっと学ぶ機会を	0.146
I 自分には関係ない	-0.174
J 思いやりをもてば解決する	0.101

※スピアマンの順位相関係数

順位相関係数の計算にあたっては、問9の選択肢の「5. わからない」は欠損値として処理して、計算の対象から除いた。

表3-7 クロス表 問3「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
こ と 差 別 は 恥 ず べ き	そう思う	317	259	50	626
		50.6%	41.4%	8.0%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	120	186	48	354
		33.9%	52.5%	13.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	17	42	22	81
		21.0%	51.9%	27.2%	100.0%
そう思わない	15	22	22	59	
	25.4%	37.3%	37.3%	100.0%	
合計	469	509	142	1,120	
	41.9%	45.4%	12.7%	100.0%	

表3-8 クロス表 問3「C. 差別は法律で禁止する必要がある」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
止 C 差 別 は 法 律 で 禁	そう思う	182	109	26	317
		57.4%	34.4%	8.2%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	123	175	30	328
		37.5%	53.4%	9.1%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	68	104	31	203
		33.5%	51.2%	15.3%	100.0%
そう思わない	63	76	42	181	
	34.8%	42.0%	23.2%	100.0%	
合計	436	464	129	1,029	
	42.4%	45.1%	12.5%	100.0%	

表3-9 クロス表 問3「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
く E 被 差 別 の 声 を 聞	そう思う	347	282	77	706
		49.2%	39.9%	10.9%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	121	216	47	384
		31.5%	56.2%	12.2%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	3	10	10	23
		13.0%	43.5%	43.5%	100.0%
そう思わない	2	5	5	12	
	16.7%	41.7%	41.7%	100.0%	
合計	473	513	139	1,125	
	42.0%	45.6%	12.4%	100.0%	

表3-10 クロス表 問3「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
い D 差 別 は き り が な	そう思う	113	154	70	337
		33.5%	45.7%	20.8%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	145	195	49	389
		37.3%	50.1%	12.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	105	100	5	210
		50.0%	47.6%	2.4%	100.0%
そう思わない	88	56	15	159	
	55.3%	35.2%	9.4%	100.0%	
合計	451	505	139	1,095	
	41.2%	46.1%	12.7%	100.0%	

表3-11 クロス表 問3「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
い I 自分には関係ない	そう思う	13	8	10	31
		41.9%	25.8%	32.3%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	9	30	15	54
		16.7%	55.6%	27.8%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	91	157	36	284
		32.0%	55.3%	12.7%	100.0%
そう思わない	354	305	79	738	
	48.0%	41.3%	10.7%	100.0%	
合計	467	500	140	1,107	
	42.2%	45.2%	12.6%	100.0%	

表3-12 クロス表 問3「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」と問い合わせ（問9）

		土地問い合わせ			合計
		問題だと思う	いちがいにはいえない	問題だと思わない	
G 権利ばかり主張	そう思う	173	207	84	464
		37.3%	44.6%	18.1%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	158	193	33	384
		41.1%	50.3%	8.6%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	65	52	10	127
		51.2%	40.9%	7.9%	100.0%
そう思わない	18	10	6	34	
	52.9%	29.4%	17.6%	100.0%	
合計	414	462	133	1,009	
	41.0%	45.8%	13.2%	100.0%	

#### § 4. 問い合わせを「問題だ」としたものの対応のしかた（問9-1）

問9-1は、問9の不動産物件が同和地区であるかどうかを市町村に問い合わせることを「問題だと思う」と答えたものについて、その対応のしかたを問うものである。これを、「1. その場で、差別的発言であると指摘する」、「2. 問題だと思うが、何も言わない」「3. いろいろな考え方がるので、何も言わない」が、厳しい対応から甘い対応という順に並べられると仮定すると順位相関係数を求められる。

問1、問2、問3についてみると、問9-1は、全般的に問9よりも相関が弱くなっている。しかし、その中でも、問9より高い相関を示しているものが数少ないがいくつかある。それは、問2の「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」(-.221)や「H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ」(-.196)、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」(.167)である。他人の目を気にするタイプは、「その場で、差別的発言であると指摘する」人が少なくなり、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」は、「その場で、差別的発言であると指摘する」傾向にある。また「L. 好奇心が強いほうである」と問9-1との相関もかなり高い(.189)。

表3-13 問1、問2、問3と対処のしかた（問9-1）との相関関係

		問9-1
問1	A うまく立ち回る人が得	-0.031
	B 努力が報われる	0.060
	C 権利主張は混乱を	-0.031
	D 仕組みを変えることができる	0.116
	E 福祉依存は困る	0.032
	F 本音と建前の使い分け	0.056
	G 自分を反省すべき	0.093
	H 分相応の生活	-0.032
問2	A 価値がある人間	0.077
	B よい素質	0.103
	C 人並みにうまくやれる	0.061
	D とりえがない	-0.047
	E 役に立たない人間	-0.054
	F 友達にあわせる	-0.221
	G 服装は気になる	-0.063
	H 人目を気にする	-0.196
	I 自分を主張	0.167
	J 話し好き	0.056
	K 傷つきやすい	0.016
	L 好奇心が強い	0.189
	M 几帳面なほう	0.033
	N 親切なほう	0.066
問3	A 人権が大切にされている	-0.079
	B 差別は恥ずべきこと	0.116
	C 差別は法律で禁止	0.087
	D 差別はきりが無い	-0.036
	E 被差別の声を聞く	0.125
	F 行政は努力を	0.093
	G 権利ばかり主張	0.046
	H もっと学ぶ機会を	0.085
	I 自分には関係ない	-0.098
	J 思いやりをもてば解決する	0.106

※スピアマンの順位相関係数

表3-14 クロス表 「F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ」と問9-1

		問9-1			
		差別発言だと指摘する	問題だと思うが何もいわない	いろいろな考えがあるので何もいわない	合計
F 友達にあわせる	そう思う	10	9	7	26
		38.5%	34.6%	26.9%	100.0%
	どちらかといえばそう思う	21	21	17	59
		35.6%	35.6%	28.8%	100.0%
	どちらかといえばそう思わない	34	25	10	69
		49.3%	36.2%	14.5%	100.0%
	そう思わない	167	69	32	268
		62.3%	25.7%	11.9%	100.0%
	合計	232	124	66	422
		55.0%	29.4%	15.6%	100.0%

表3-15 クロス表 「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」と問9-1

		問9-1			合計
		差別発言だと指摘する	問題だと思うが何もいわない	いろいろな考えがあるので何もいわない	
I 自分 を 主 張	そう思う	59 72.8%	15 18.5%	7 8.6%	81 100.0%
	どちらかといえばそう思う	59 60.2%	20 20.4%	19 19.4%	98 100.0%
	どちらかといえばそう思わない	75 47.8%	56 35.7%	26 16.6%	157 100.0%
	そう思わない	34 47.2%	28 38.9%	10 13.9%	72 100.0%
	合計	227 55.6%	119 29.2%	62 15.2%	408 100.0%



## 第4章 啓発、教育の効果について

### § 1. 学校での人権問題学習

問17では、学校での人権問題学習について9項目をあげ、学習したかどうかを聞いた。学習した側の印象ではあるが、人権問題学習は、よくやっていると思われる学校と、ほとんどやっているとと思われる学校など学校での較差は大きい。しかし、ここでは事実として人権学習が熱心にとりくまれていたかという聞き方ではなく、積極的に学習したかどうかという学習姿勢で聞いた。選択肢は、「1. 積極的に学習した」、「2. 学習した」、「3. 仕方なく学習した」、「4. よく覚えていない」、「5. 学習したことはない」を順位尺度と考えて、順位相関係数を計算した。1から3までは、積極性－消極性を軸とする順位尺度と考えることができるが、「4. よく覚えていない」、「5. 学習したことはない」は、順位として考えることには少し無理はあるが、おおよその見当をつけるものとして、1から5までの順位尺度としてあえて仮定した。表4-1は、9項目間で、順位相関係数を計算した結果である。

全般的にみて、9項目の間で、ほとんどの各項目間で有意な相関がみられる。なかでも高い相関を示すのは、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」と「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」の間で .672と極めて高い相関を示す。

また、「H. 子どもの人権問題」と「G. 高齢者の人権問題」も .598と高い相関を示す。さらに、「H. 子どもの人権問題」と「B. 女性の人権問題」も .408と高い。

「F. 部落問題（同和問題）」と最も関連しているのは、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」との間であり、.404である。

全項目間で相関がみられるということは、人権問題学習をよくやっていると思われる学校と、やっているとと思われる学校に分かれていること、及びある項目で、「積極的に学習した」と答えている人は、他の項目でも「積極的に学習した」と答える傾向にあるということである。

表4-1 学校での人権問題学習についての9項目相互の関係

	A 障害者	B 女性	C 在日韓国 人	D その他の 外国人	E 性的マイノ リティー	F 部落問題	G 高齢者	H 子ども	I 人権の歴史	J その他
A 障害者	1	0.365	0.337	0.280	0.082	0.373	0.321	0.265	0.287	0.127
B 女性	0.365	1	0.319	0.360	0.293	0.256	0.350	0.408	0.343	0.146
C 在日韓国人	0.337	0.319	1	0.672	0.138	0.404	0.197	0.141	0.279	0.147
D その他の外国人	0.280	0.360	0.672	1	0.276	0.324	0.285	0.242	0.304	0.128
E 性的マイノリティー	0.082	0.293	0.138	0.276	1	0.029	0.320	0.335	0.186	0.248
F 部落問題	0.373	0.256	0.404	0.324	0.029	1	0.180	0.111	0.301	0.084
G 高齢者	0.321	0.350	0.197	0.285	0.320	0.180	1	0.598	0.287	0.173
H 子ども	0.265	0.408	0.141	0.242	0.335	0.111	0.598	1	0.366	0.231
I 人権の歴史	0.287	0.343	0.279	0.304	0.186	0.301	0.287	0.366	1	0.215
J その他	0.127	0.146	0.147	0.128	0.248	0.084	0.173	0.231	0.215	1

※スピアマンの順位相関係数

### § 2. 学校での人権問題学習（問17）と差別についての考え方（問3）

問17の学校での人権問題学習と問3の差別についての考え方との関連をみたのが、表4-2である。かなり多くの項目のペアで、有意な相関が認められる。つまり、学校での人権問題の学習姿勢は、差別についての考え方に影響を及ぼしている。

たとえば、「F. 部落問題（同和問題）」を積極的に学習したものは、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考え、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であっ

て自分には関係がない」とは考えず、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」、「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」と考え、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」と考え、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」とは考えない傾向がある（相関係数の高い順）。

また、「A. 障害者の人権問題」を積極的に学習したものは、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考え、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と考える傾向がある。

さらに、「B. 女性の人権問題」を積極的に学習したものは、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考える傾向にある。加えて、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」を積極的に学習したものは、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と考え、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考える傾向がある。

表4-2 学校での人権問題学習（問17）と差別についての考え方（問3）との相関表

	A 人権が大切にされている	B 差別は恥ずべきこと	C 差別は法律で禁止	D 差別はきりがない	E 被差別の声を聞く	F 行政は努力を	G 権利ばかり主張	H もっと学ぶ機会を	I 自分には関係ない	J 思いやりをもてば解決する
A 障害者	0.043	0.160	0.119	-0.141	0.195	0.111	0.001	0.202	-0.200	0.088
B 女性	0.051	0.089	0.068	-0.041	0.087	0.057	0.035	0.129	-0.094	0.034
C 在日韓国人	-0.003	0.090	0.041	-0.115	0.142	0.105	-0.073	0.124	-0.160	0.041
D その他の外国人	0.006	0.048	0.049	-0.055	0.120	0.073	-0.015	0.088	-0.119	0.045
E 性的マイノリティー	0.000	-0.028	0.030	0.018	-0.044	-0.018	0.040	0.039	0.003	-0.029
F 部落問題	0.001	0.130	0.077	-0.097	0.138	0.127	-0.019	0.155	-0.145	0.047
G 高齢者	-0.012	0.126	0.146	-0.091	0.059	0.077	-0.005	0.126	-0.104	0.083
H 子ども	0.017	0.064	0.105	-0.016	0.053	0.047	0.040	0.142	-0.098	0.039
I 人権の歴史	0.080	0.057	0.053	-0.036	0.090	0.053	0.052	0.130	-0.099	0.047
J その他	0.055	0.014	0.012	-0.033	-0.002	0.040	-0.071	0.104	-0.039	0.011

※スピアマンの順位相関係数

表4-3 クロス表 問17「F. 部落問題（同和問題）」と問3「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」

		H もっと学ぶ機会を				合計
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
題 F 部落問題 (同和問)	積極的に勉強した	223 53.1%	159 37.9%	27 6.4%	11 2.6%	420 100.0%
	学習した	324 34.1%	496 52.2%	108 11.4%	23 2.4%	951 100.0%
	しかたなく学習した	27 27.8%	38 39.2%	18 18.6%	14 14.4%	97 100.0%
	よく覚えていない	62 34.8%	83 46.6%	27 15.2%	6 3.4%	178 100.0%
	学習したことはない	50 34.7%	69 47.9%	16 11.1%	9 6.2%	144 100.0%
	合計	686 38.3%	845 47.2%	196 10.9%	63 3.5%	1,790 100.0%

表4-4 クロス表 問17「A. 障害者の人権問題」と問3「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」

		E 被差別の声を聞く				合計
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
A 障害者の 人権問題	積極的に勉強した	274 80.8%	62 18.3%	2 0.6%	1 0.3%	339 100.0%
	学習した	762 58.7%	489 37.7%	37 2.9%	10 0.8%	1,298 100.0%
	しかたなく学習した	27 35.1%	40 51.9%	6 7.8%	4 5.2%	77 100.0%
	よく覚えていない	73 49.7%	65 44.2%	6 4.1%	3 2.0%	147 100.0%
	学習したことはない	23 74.2%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%	31 100.0%
	合計	1,159 61.3%	664 35.1%	51 2.7%	18 1.0%	1,892 100.0%

### § 3. 学校での人権問題学習（問17）と人権関連用語の知識（問7）

問17の学校での人権問題学習と問7の人権関連用語の知識との関係をみたのが表4-5である。学校での人権問題学習が人権関連用語の知識として定着しているのかがこれによってわかる。

表をみてみるといくつかの問題がわかる。たとえば、「A. 障害者の人権問題」と「児童の権利に関する条約」とは -.144、「世界人権宣言」とは -.132「ノーマライゼーション」とは -.124であるが、「バリアフリー」とは -.065と微弱である。これは意外な結果である。これはどのような解釈すればいいのだろうか。今の学校での「A. 障害者の人権問題」では、「バリアフリー」はあまり語られていないのだろうか。選択肢に「ユニバーサルデザイン」がなかったことが影響しているのだろう。

また、「F. 部落問題（同和問題）」との相関で見れば、「同和地区」（-.166）、「世界人権宣言」（-.157）、「ノーマライゼーション」（-.137）、「児童の権利に関する条約」（-.135）、「ジェンダー」（-.134）とかなり多くの項目に影響をあたえている。これは、「F. 部落問題（同和問題）」の学習が、いろいろな課題とともに語られていることを示していると解釈できる。

さらに、「B. 女性の人権問題」と「ジェンダー」との相関は -.153であり、これはそれなりの相関が認められる。さらに「B. 女性の人権問題」と「性的マイノリティー」との相関も -.179と高い。

「エンパワーメント」については、「I. 人権の歴史」が -.106と相関を示しているが、他の学習項目とは有意な相関は認められない。また、「ドメスティック・バイオレンス」も、すべての学習項目と有意な相関は認められない。まだ学校での人権学習のなかでは「ドメスティック・バイオレンス」はとりあげられていないのだろう。

「E. 性的マイノリティーをめぐる人権問題」を積極的に学習したものは、当然、全員が「性的マイノリティー」という言葉を聞いたことがあるとするはずであるが、55%にとどまっている。

このように、学習項目と人権関連用語の相関マトリックスをみると、さまざまなことが浮かび上がってくる。

表4-5 学校での人権問題学習（問17）と人権関連用語の知識（問7）の相関表

	エンパワメント	性的マイノリティー	同和地区	児童権利条約	世界人権宣言	バリアフリー	ジェンダー	DV	ノーマライゼーション
A 障害者	-0.076	-0.110	0.003	-0.144	-0.132	-0.065	-0.061	-0.036	-0.124
B 女性	-0.093	-0.179	-0.054	-0.128	-0.120	-0.050	-0.153	-0.070	-0.124
C 在日韓国人	-0.046	-0.077	-0.094	-0.163	-0.149	-0.107	-0.133	-0.065	-0.151
D その他の外国人	-0.056	-0.088	-0.073	-0.115	-0.124	-0.043	-0.114	-0.021	-0.106
E 性的マイノリティー	-0.049	-0.191	-0.025	0.036	0.015	0.033	-0.043	0.037	-0.036
F 部落問題	-0.049	-0.063	-0.166	-0.135	-0.157	-0.063	-0.134	-0.063	-0.137
G 高齢者	-0.056	-0.086	0.043	-0.040	-0.081	-0.010	0.019	0.053	-0.080
H 子ども	-0.077	-0.128	0.011	-0.140	-0.079	0.011	-0.048	0.009	-0.065
I 人権の歴史	-0.106	-0.151	-0.112	-0.136	-0.134	-0.053	-0.128	-0.042	-0.099
J その他	-0.137	-0.122	-0.102	-0.038	0.016	0.053	-0.127	-0.055	-0.113

※スピアマンの順位相関係数

表4-6 クロス表 問17「A. 障害者の人権問題」と問7「ノーマライゼーション」

		ノーマライゼーション		
		なし	あり	合計
A 障害者 の人 権 問 題	積極的に勉強した	142	204	346
		41.0%	59.0%	100.0%
	学習した	678	661	1,339
		50.6%	49.4%	100.0%
	しかたなく学習した	50	31	81
		61.7%	38.3%	100.0%
	よく覚えていない	104	58	162
64.2%		35.8%	100.0%	
学習したことはない	22	13	35	
	62.9%	37.1%	100.0%	
合計		996	967	1,963
		50.7%	49.3%	100.0%

表4-7 クロス表 問17「A. 障害者の人権問題」と問7「バリアフリー」

		バリアフリー		
		なし	あり	合計
A 障害者 の人 権 問 題	積極的に勉強した	9	337	346
		2.6%	97.4%	100.0%
	学習した	57	1,282	1,339
		4.3%	95.7%	100.0%
	しかたなく学習した	2	79	81
		2.5%	97.5%	100.0%
	よく覚えていない	13	149	162
8.0%		92.0%	100.0%	
学習したことはない	5	30	35	
	14.3%	85.7%	100.0%	
合計		86	1,877	1,963
		4.4%	95.6%	100.0%

表4-8 クロス表 問17「F. 部落問題（同和問題）」と問7「同和地区」

		同和地区		
		なし	あり	合計
題 F 部 落 問 題 （ 同 和 問 題）	積極的に勉強した	215	229	444
		48.4%	51.6%	100.0%
	学習した	541	507	1,048
		51.6%	48.4%	100.0%
	しかたなく学習した	58	47	105
		55.2%	44.8%	100.0%
	よく覚えていない	153	53	206
74.3%		25.7%	100.0%	
学習したことはない	123	35	158	
	77.8%	22.2%	100.0%	
合計		1,090	871	1,961
		55.6%	44.4%	100.0%

表4-9 クロス表 問17「B. 女性の人権問題」と問7「性的マイノリティー」

		性的マイノリティー		
		なし	あり	合計
B 女性 の人 権 問題	積極的に勉強した	124	72	196
		63.3%	36.7%	100.0%
	学習した	796	277	1,073
		74.2%	25.8%	100.0%
	しかたなく学習した	58	18	76
		76.3%	23.7%	100.0%
	よく覚えていない	364	54	418
87.1%		12.9%	100.0%	
学習したことはない	172	22	194	
	88.7%	11.3%	100.0%	
合計		1,514	443	1,957
		77.4%	22.6%	100.0%

表4-10 クロス表 問17「E. 性的マイノリティをめぐると問7「性的マイノリティー」

		性的マイノリティー		
		なし	あり	合計
のE 人 権 問 題 マ イ ノ リ テ ィ ー	積極的に勉強した	45	54	99
		45.5%	54.5%	100.0%
	学習した	308	141	449
		68.6%	31.4%	100.0%
	しかたなく学習した	49	13	62
		79.0%	21.0%	100.0%
	よく覚えていない	374	91	465
80.4%		19.6%	100.0%	
学習したことはない	731	142	873	
	83.7%	16.3%	100.0%	
合計		1,507	441	1,948
		77.4%	22.6%	100.0%

#### § 4. 学校以外での人権の学びの媒体

学校以外での人権の学びについてたずねたのが問18である。その結果については、第1部で紹介されているように、もっとも多いのは、「テレビ、ラジオ」(56%)、ついで「家庭での会話」(33%)、「新聞」(31%)、「インターネット」(28%)となっている。これらの媒体による学習は、相互に補強しあい、関連していると予想される。そこで、これらの項目間の関係をみてみよう。

表4-11は、項目間の相関を計算したものである。これにみるように、ほとんどの項目間では、有意な相関が認められ、相互に補強しあっていることがわかる。なかでも、もっとも結びつきが強いのは、「新聞」と「テレビ、ラジオ」である(.300)。これらはマスメディアといわれるものであり、「新聞」で人権問題関連の記事を読んだものは、「テレビ、ラジオ」の人権関係の報道・番組をみている傾向がある。

それを通して情報を得ている人が比較的少ない「本」(22%)や「週刊・月刊誌」(4%)については、これらから情報を得ているとしたものは、他のメディアからも情報を得ていることが多い。逆に、「地域や会社等での学習、講演会、イベント」は、この調査の対象が若者のために、まだ社会人になっているものが少ないためか、有意な相関を示す項目が少ない。

また、注目されるのは「家庭での会話」である。これと多くの他のメディアとの間に有意な相関が認められる。たとえば、「家庭での会話」と「本」との間には.192の相関が認められる。「テレビ、ラジオ」や「映画、ビデオ」がきっかけとなって「家庭での会話」になり、それがさらに「本」などに結びついているのだろうか。

表4-11 学校以外での学習の媒体相互の関係

	家庭での会話	本	週刊・月刊誌、新聞	テレビ、ラジオ	映画、ビデオ	インターネット	県市の広報誌	地域や会社での講演会	その他
家庭での会話	1	0.192	0.127	0.095	0.098	0.124	0.108	0.108	0.065
本	0.192	1	0.157	0.217	0.168	0.225	0.231	0.104	0.056
週刊・月刊誌、新聞	0.127	0.157	1	0.148	0.123	0.190	0.201	0.121	0.128
テレビ、ラジオ	0.095	0.217	0.148	1	0.300	0.099	0.126	0.105	0.085
映画、ビデオ	0.098	0.168	0.123	0.300	1	0.234	0.206	0.037	0.047
インターネット	0.124	0.225	0.190	0.099	0.234	1	0.148	0.079	0.119
県市の広報誌	0.108	0.231	0.201	0.126	0.206	0.148	1	0.019	0
地域や会社での講演会	0.108	0.104	0.121	0.105	0.037	0.079	0.019	1	0.224
その他	0.065	0.056	0.128	0.085	0.047	0.119	0	0.224	1
その他	0.016	0.009	0.057	-0.016	-0.057	0	0.021	0.041	0.033

※スピアマンの順位相関係数

表4-12 クロス表 メディア「家庭での会話」と「本」

		本		
		なし	あり	合計
話 家庭での会話	なし	1,124	217	1,341
		83.8%	16.2%	100.0%
	あり	443	218	661
		67.0%	33.0%	100.0%
合計		1,567	435	2,002
		78.3%	21.7%	100.0%

## § 5. 学校での人権問題学習（問17）と学校以外での人権の学びの媒体（問18）

問17の学校での人権問題学習と問18の学校以外での人権の学びとの関係をみたのが、表4-13である。「H. 子どもの人権問題」と「インターネット」との相関は-.154と最も高い。そのほか、「H. 子どもの人権問題」は、「本」(-.140)「新聞」(-.133)、「テレビ、ラジオ」(-.118)、「映画、ビデオ」(-.106)とかなりの影響を及ぼしている。つまり、「子どもの人権問題」を学校で学習したものは、学校以外で他のメディアを通して学習する機会をもっている。

また、「A. 障害者の人権問題」と「テレビ、ラジオ」(-.129)、「G. 高齢者の人権問題」と「テレビ、ラジオ」(-.127)、「新聞」(-.110)、「B. 女性の人権問題」と「本」(-.109)、「テレビ、ラジオ」(-.104)などが影響を与えている。しかし、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」、「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」、「F. 部落問題（同和問題）」などは、学校以外で他のメディアには影響を与えていない。これはどのように解釈すればよいのだろうか。学校で、これらの人権問題を学習したものは、もう十分だと感じて、みずから進んで他のメディアでの学習をもととしないためなのだろうか。もし、そうだとしたら深刻な事態である。

表4-13 学校での人権問題学習（問17）と学校以外での人権の学びの媒体（問18）の相関表

	家庭での会話	本	週刊・月刊誌、新聞	テレビ、ラジオ	映画、ビデオ	インターネット	県市の広報誌	地域や会社での講演会	その他	特になし
A 障害者	-0.071	-0.064	0.002	-0.068	-0.129	-0.084	-0.052	-0.029	-0.057	0.008
B 女性	-0.052	-0.109	-0.059	-0.095	-0.104	-0.075	-0.094	0.006	-0.022	0.002
C 在日韓国	-0.031	-0.078	0.001	-0.080	-0.041	-0.047	-0.005	-0.043	-0.019	-0.028
D その他の外国人	-0.041	-0.075	-0.045	-0.081	-0.062	-0.033	-0.032	-0.039	-0.005	-0.059
E 性的マイノリティー	0.005	-0.066	-0.070	-0.068	-0.047	-0.032	-0.091	-0.014	-0.023	-0.022
F 部落問題	-0.020	-0.041	0.026	-0.040	-0.011	-0.002	-0.012	-0.047	-0.037	-0.022
G 高齢者	-0.020	-0.090	-0.060	-0.110	-0.127	-0.051	-0.066	-0.037	-0.083	0.039
H 子ども	-0.052	-0.140	-0.077	-0.133	-0.118	-0.106	-0.154	-0.034	-0.050	-0.021
I 人権の歴史	-0.076	-0.135	-0.020	-0.115	-0.053	-0.090	-0.080	-0.020	0.022	-0.054
J その他	-0.059	-0.074	-0.058	-0.116	-0.020	-0.021	-0.039	-0.093	-0.047	-0.067

※スピアマンの順位相関係数

## § 6. 学校以外での学習の媒体（問18）と差別についての考え方（問3）

問18の学校以外での学習の媒体（10項目）が問3の差別についての考え方（10項目）にどのような影響を及ぼしているのかみたのが表4-14である。

強い相関は見当たらないが、いくつかの項目間でそれほど高くないが、有意な相関がみられる。たとえば、「家庭での会話」があるものは、ないものより「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考える傾向がある。また、人権問題に関連して「テレビ、ラジオ」を視聴したものは、ないものより「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」、「C. 差別は法律で禁止する必要がある」、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」と考える傾向にあり、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」という意見に反対する傾向にある。また、こうした学習の機会を「特にない」と答えるものは、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」と考え、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」には反対する傾向にある。

なお、「地域や会社等での学習、講演会、イベント」は、人権についての考え方には、あまり影響を与えていない。

表4-14 学校以外での学習の媒体（問18）と差別についての考え方（問3）の相関表

	A 人権が大切にされている	B 差別は恥ずべきこと	C 差別は法律で禁止	D 差別はきりがない	E 被差別の声を聞く	F 行政は努力を	G 権利ばかり主張	H もっと学ぶ機会を	I 自分には関係ない	J 思いやりをもてば解決する
家庭での会話	-0.012	-0.034	0.008	0.012	-0.023	-0.053	-0.064	-0.107	0.084	-0.013
本	-0.038	0.010	-0.013	0.036	-0.053	-0.026	-0.023	-0.076	0.091	0.037
週刊・月刊誌、 新聞	0.016	-0.026	-0.021	-0.074	0.010	0.001	-0.049	-0.068	0.012	-0.067
テレビ、ラジオ	0.007	-0.041	-0.074	0.048	-0.016	-0.009	-0.019	-0.105	0.075	-0.010
映画、ビデオ	-0.002	-0.064	-0.108	0.061	-0.073	-0.070	0.007	-0.092	0.147	-0.070
映画、ビデオ	-0.020	-0.027	-0.002	-0.004	-0.071	-0.037	0.012	-0.047	0.043	-0.027
インターネット	0.031	0.012	0.031	-0.067	-0.049	0.029	-0.045	-0.098	0.030	-0.010
県市の広報誌	0.011	-0.019	-0.063	0.083	-0.049	-0.063	0.015	-0.086	0.055	-0.031
地域や会社での講演会	0.021	-0.009	-0.046	0.034	-0.022	-0.055	-0.027	-0.075	0.023	-0.053
その他	-0.010	-0.007	0.047	-0.027	0.009	0.031	-0.018	0.008	0.033	0.012
特にない	0.029	0.053	0.082	-0.051	0.059	0.046	0.074	0.165	-0.146	0.050

※スピアマンの順位相関係数

表4-15 クロス表 問18「家庭での会話」と問3「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」

		H. もっと学ぶ機会を				合計
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
話家庭での会	なし	425	576	153	50	1,204
		35.3%	47.8%	12.7%	4.2%	100.0%
	あり	274	280	49	14	617
		44.4%	45.4%	7.9%	2.3%	100.0%
合計	699	856	202	64	1,821	
		38.4%	47.0%	11.1%	3.5%	100.0%

表4-16 クロス表 問18「テレビ、ラジオ」と問3「C. 差別は法律で禁止する必要がある」

		C 差別は法律で禁止				合計
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
ジテオレ ビ、 ラ	なし	225	227	181	138	771
		29.2%	29.4%	23.5%	17.9%	100.0%
	あり	353	315	174	123	965
		36.6%	32.6%	18.0%	12.7%	100.0%
合計	578	542	355	261	1,736	
		33.3%	31.2%	20.4%	15.0%	100.0%

表4-17 クロス表 問18「特にない」と問3「1. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」

		I 自分には関係ない				合計
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
特にない	なし	43	80	385	1,026	1,534
		2.8%	5.2%	25.1%	66.9%	100.0%
	あり	24	26	117	162	329
		7.3%	7.9%	35.6%	49.2%	100.0%
合計	67	106	502	1,188	1,863	
		3.6%	5.7%	26.9%	63.8%	100.0%

## § 7. 学校以外での学習の媒体（問18）と人権関連用語の知識（問7）

問7では、人権関連用語を9つあげ、聞いたことがあるものを選択してもらった。それに、問18の学校以外での学習の媒体（10項目）がどのような影響を及ぼしているのかをみたものが、表4-18である。全般的にながめると、問18の各項目は、人権関連用語の知識とはあまり関係がない。しかし、いくつかの用語については、影響を及ぼしている。たとえば、「家庭での会話」があるとしたものは、「同和地区」という言葉を聞いたことがあるとする傾向がある。また、人権問題関係の「本」を読んだことがあるとするものは、「性的マイノリティー」、「児童の権利に関する条約」、「ジェンダー」、「エンパワーメント」、「世界人権宣言」（以上、相関係数の高い順）という言葉を見たことがあるとする傾向がある。

「インターネット」で人権問題に関する記事を読んでいるものは、「性的マイノリティー」や「エンパワーメント」、「ジェンダー」、「児童の権利に関する条約」（以上、相関係数の高い順）の言葉を見たことがあるとしている。

他方、「週刊・月刊誌」や「県や市町村の発行する広報紙やパンフレット」は、これらの言葉を見たことがあるかないかにあまり影響を及ぼしていない。

表4-18 学校以外での学習の媒体（問18）と人権関連用語の知識（問7）の相関表

	エンパワーメント	性的マイノリティー	同和地区	児童権利条約	世界人権宣言	バリアフリー	ジェンダー	DV	ノーマライゼーション
家庭での会話	0.052	0.048	0.145	0.017	0.038	0.017	-0.016	0.073	-0.044
本	0.098	0.165	0.039	0.122	0.096	0.035	0.111	0.058	0.055
週刊・月刊誌、	0.023	0.028	-0.032	-0.003	-0.005	-0.034	-0.004	-0.01	-0.013
新聞	0.041	0.108	0.056	0.081	0.087	0.035	0.097	0.031	0.058
テレビ、ラジオ	-0.037	0.037	-0.079	0.034	0.054	0.045	-0.02	0.023	0.014
映画、ビデオ	0.045	0.116	0.006	0.082	0.067	0.034	0.064	0.053	0.085
インターネット	0.093	0.122	0.007	0.071	0.039	0.041	0.072	0.048	0.018
県市の広報誌	0.043	0.037	0.020	0.016	0.016	-0.032	0.035	0.010	0.004
地域や会社での講演会	0.009	-0.006	0.014	-0.012	-0.007	0.005	-0.037	-0.006	-0.012
その他	0.026	0.037	0.031	0.023	0.009	-0.035	0.022	0.003	0.045
特にない	-0.030	-0.085	-0.073	-0.070	-0.036	-0.018	-0.032	-0.044	-0.029

※スピアマンの順位相関係数

表4-19 クロス表 問18「家庭での会話」と問7「同和地区」という言葉を聞いたことがある

		同和地区		
		なし	あり	合計
話家庭での会	なし	814	527	1,341
		60.7%	39.3%	100.0%
	あり	300	361	661
		45.4%	54.6%	100.0%
合計	1,114	888	2,002	
		55.6%	44.4%	100.0%



表4-20 クロス表 問18「本」と問7「児童の権利に関する条約」という言葉を聞いたことがある

		児童権利条約		
		なし	あり	合計
本	なし	761	806	1,567
		48.6%	51.4%	100.0%
	あり	147	288	435
		33.8%	66.2%	100.0%
	合計	908	1,094	2,002
		45.4%	54.6%	100.0%

表4-21 クロス表 問18「インターネット」と問7「性的マイノリティー」という言葉を聞いたことがある

		性的マイノリティー		
		なし	あり	合計
ネット ト タ ー	なし	1,163	280	1,443
		80.6%	19.4%	100.0%
	あり	387	172	559
		69.2%	30.8%	100.0%
	合計	1,550	452	2,002
		77.4%	22.6%	100.0%

表4-22 人権関連用語の知識（問7の9項目）相互の関係

	エンパワ メント	性的マイ ノリ ティー	同和地区	児童権利 条約	世界人権 宣言	バリアフ リー	ジェンダー	DV	ノーマライ ゼーション
エンパワメント	1	0.238	0.149	0.127	0.064	0.005	0.153	0.046	0.179
性的マイノリティー	0.238	1	0.194	0.223	0.126	0.101	0.240	0.130	0.233
同和地区	0.149	0.194	1	0.135	0.098	0.057	0.158	0.170	0.066
児童権利条約	0.127	0.223	0.135	1	0.380	0.203	0.302	0.199	0.285
世界人権宣言	0.064	0.126	0.098	0.380	1	0.330	0.220	0.253	0.213
バリアフリー	0.005	0.101	0.057	0.203	0.330	1	0.169	0.426	0.196
ジェンダー	0.153	0.240	0.158	0.302	0.220	0.169	1	0.210	0.369
DV	0.046	0.130	0.170	0.199	0.253	0.426	0.210	1	0.207
ノーマライゼーション	0.179	0.233	0.066	0.285	0.213	0.196	0.369	0.207	1

## 〈第2部まとめ〉

第2部では、人権問題意識をめぐるさまざまな意識や態度の間の相互の関係を分析した。

### 1. 第1章のまとめ

- 1) 第1章では、(1)社会に対する考え方(問1)、(2)自尊感情(問2)、(3)人権や差別についての考え方(問3)をとりあげた。
- 2) 問1の社会に対する考え方についての8項目は、大きく分けて社会を弱肉強食的なもので、人間のもつ善意には懐疑的な見方をするA、C、E、Fと、「人の世に光あれ」と社会に対する信頼や変革可能性を信じる考え方B、D、Gに分かれる。これが、自尊感情(問2)、人権や差別についての考え方(問3)にどのように関係するのかをみた。
- 3) 問3の人権や差別についての考え方10項目を主成分分析すると、「被差別者への共感因子」、「冷淡因子」、「他者化因子」の3つの因子が析出された。これらの因子と問1の社会に対する考え方との関係をみると、
  - a) 「被差別者への共感因子」は、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」と「G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ」といった考え方と強く結びついている。
  - b) 「冷淡因子」は、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」という考え方や、「C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する」や「E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る」という考え方と強く結びついている。
  - c) 「他者化因子」は、「H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない」という考え方と結びついている。
- 4) 問2の自尊感情など14項目を主成分分析すると、「自尊感情因子」、「対人関係消極因子」、「自己中心—世間体因子」の3つの因子が析出された。興味深いのは、「対人関係消極因子」は、問3の「被差別者への共感因子」に影響を与えていることだ。自分を控えめにみたり、気が弱く、自分には取り柄がないといったとらえ方が、社会的弱者への共感を示している。他方、「自尊感情因子」は、問3の「冷淡因子」と結びついている。自分が有能であると自信をもっているものは、差別問題には距離を置き、社会的弱者救済に冷淡な態度を示す。こうした、「B. いろいろな良い素質を持っている」、「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」、「C. 物事を人並みには、うまくやれる」といった肯定的に自己をみる見方は、一見好ましいように思えるが、こうした側面もあることも踏まえておく必要がある。あらためて、社会的弱者や被差別者に対する思いやりや共感を育てることの重要性を認識する必要がある。

## 2. 第2章のまとめ

- 1) 第2章では、問13の結婚忌避をとりあげた。結婚相手として望ましいと思われる条件を備えている結婚相手が「A. 同和地区出身者」、「B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人」、「C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人」、「D. 車椅子が必要な人」、「E. 精神の障害で通院している人」、「F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人」、「G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人」などであるとわかったときに、どのような態度をとるのかを聞いた。その結果は、相互に強く結びついている。つまり、社会的ハンデをもっている人との結婚を避けるという態度には共通したものがみられる。すなわち、相手側の個別具体的な状況や特性を嫌ったのではなく、マイノリティー状況にある人と結婚すれば「不幸になる」といった漠然とした不安感や、「自分も差別されるのではないか」といった恐れに基づいて結婚を忌避しているのではないかと考えられる。こうした不安感を払拭することができなければ、本人の意図とはかかわりなく、差別する側に回ってしまうことになりかねない。

とすれば、不安感を払拭するためには、何が必要なのか、どんな力が必要なのか。こうした問題意識をもって人権教育に取り組む必要があるだろう。この課題を明らかにするために問1、問2、問3との関係をみた。

- 2) 問1で変革可能性を信じる考え方「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」は、結婚を忌避しない傾向が認められる。
- 3) 問2の「自己中心―世間体因子」が関係している。特に、「I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ」とするものは、結婚を忌避しない傾向があり、世間体を気にするものは、結婚を忌避する傾向がある。
- 4) 問3の人権や差別についての考え方は、結婚忌避と関係をもつ「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と考える人や、「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」と考える人は、マイノリティーとの結婚を「問題にしない」と考える人が多く、逆に、「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」と考える人は、マイノリティーとの結婚を「考え直す」という人が多くなっている。また、興味深いことには、「A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う」という意見は、結婚についての態度と無関係である。つまり、自己の結婚についての態度とは切り離して、人権状況を現状肯定的にみている。

## 3. 第3章のまとめ

- 1) 第3章では、問9の不動産物件が同和地区であるかどうかを市町村に問い合わせることを取り上げた。問1の社会に対する考え方では、「D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる」や「B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる」と考えるものは、同和地区についての問い合わせを「問題だと思う」と答える傾向がある。逆に、「A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする」と考えるものは、同和地区についての問い合わせを「問題だとは思わない」と答える傾向がある。
- 2) 問2の自尊感情との関係では、「E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」ととらえているものは、同和地区かどうかの問い合わせを「問題だと思う」傾向がある。
- 3) 問3の人権や差別についての考え方との関係では、9項目のうち8項目との間で有意な相関が認められる。なかでも、「B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」や「C. 差別は法律で禁止する必要がある」、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」などでは強い相関があり、これらの意見に賛成するものは、同和地区についての問い合

わせについては、「問題があると思う」と受けとめる傾向がある。

逆に、「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」や「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」、「G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている」とは逆相関しており、このように考えるものは、同和地区についての問い合わせについて、「問題だとは思わない」と受けとめる傾向がある。

#### 4. 第4章のまとめ

- 1) 問17では、学校での人権問題学習について9項目をあげ、学習したかどうかを聞いた。9項目の間で、ほとんどの項目間で有意な相関がみられる。つまり、学習した側の印象ではあるが、人権問題をよくやっているとされる学校と、やっていないと思われる学校に分かれていること、及び、ある項目で、「積極的に学習した」と答えている人は、他の項目でも「積極的に学習した」と答える傾向にある。
- 2) 問17の学校での人権問題学習と問3の差別についての考え方との関連をみると、「F. 部落問題（同和問題）」を積極的に学習したものは、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考え、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と考える傾向があり、逆に「I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」や「D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」という意見に反対する傾向がある。  
その他、「A. 障害者の人権問題」、「B. 女性の人権問題」、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」についても同じような傾向が認められる。
- 3) 問17の学校での人権問題学習と問7の人権関連用語の知識との相関マトリックスをみると、さまざまなことが浮かび上がってくる。たとえば、「B. 女性の人権問題」と「ジェンダー」との間に相関が認められるのは当然としても、「B. 女性の人権問題」と「性的マイノリティー」との相関もかなり高く、最近、女性の人権問題の文脈で、「性的マイノリティー」が語られるようになってきているようだ。また、重要な概念である「エンパワーメント」については、「I. 人権の歴史や思想など全般的なこと」と相関が認められるが、他の学習項目とは、有意な相関は認められない。
- 4) 問18は、学校以外での人権の学びについてたずねた。「テレビ、ラジオ」、「新聞」、「インターネット」、「家庭での会話」など、これらのほとんどの項目間では有意な相関が認められ、相互に補強しあっていることがわかる。注目されるのは「家庭での会話」である。これと多くの他のメディアとの間に有意な相関が認められる。たとえば、「家庭での会話」と「本」との間には、かなりの相関が認められる。「テレビ、ラジオ」や「映画、ビデオ」がきっかけとなって「家庭での会話」になり、それがさらに「本」という行為につながっているのだろうか。
- 5) 学校での人権問題学習（問17）と学校以外での人権の学びの媒体（問18）とは、相互に関連しあっている。「H. 子どもの人権問題」を学校で学習したものは、学校以外の他のメディアを通して学習する機会をもっている。しかしながら、「C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題」、「D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題」、「F. 部落問題（同和問題）」などは、学校以外の他のメディアには影響を与えていない。学校でこれらの人権問題を学習したものは、もう十分だと感じて、みずから進んで他のメディアでの学習をしようと思わないためなのであろうか。そうだとしたら懸念される事態である。
- 6) 学校以外での学習の媒体（問18）と差別についての考え方（問3）との間には、強い相関は見当たらないが、いくつかの項目間でそれほど高くないが、有意な相関がみられる。たと

えば、「家庭での会話」があるものは、「H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ」と考える傾向がある。また、人権問題に関連して「テレビ、ラジオ」を視聴したものは、「C. 差別は法律で禁止する必要がある」と考え、「E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある」と考え、「F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」と考える傾向がある。対象者が20歳以下の若者であるために、学校以外の学習媒体で人権問題を学ぶ機会はあまりないようだが、多様なメディアや多様な機会の人権問題に触れる重要性は指摘しておきたい。

なお、第2部では、時間的な制約から、限られた質問についての分析に限定せざるを得なかった。たとえば、「いじめ、人権侵害に関する体験」や「インターネット上の人権侵害」などについては分析できなかった。今後、より効果的な人権教育・啓発、相談・支援等人権施策につなげるため、さらなる分析・考察をする必要があるだろう。



# 資 料





集 計 表

問1 今の社会についてどのように思っているか

A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする

		そう思う	ばど そちら かとい え	ばど そちら かわい いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		452 22.6%	906 45.3%	240 12.0%	253 12.6%	120 6.0%	31 1.5%	2,002 100.0%
性別	男性	224 26.5%	360 42.7%	94 11.1%	110 13.0%	39 4.6%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	212 19.2%	523 47.4%	139 12.6%	135 12.2%	80 7.3%	14 1.3%	1,103 100.0%
	無回答	16 29.1%	23 41.8%	7 12.7%	8 14.5%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	52 27.8%	75 40.1%	26 13.9%	18 9.6%	14 7.5%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	84 22.0%	162 42.4%	36 9.4%	53 13.9%	38 9.9%	9 2.4%	382 100.0%
	17歳	93 22.4%	194 46.7%	47 11.3%	47 11.3%	30 7.2%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	73 18.3%	218 54.6%	39 9.8%	46 11.5%	14 3.5%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	94 24.6%	157 41.1%	56 14.7%	57 14.9%	14 3.7%	4 1.0%	382 100.0%
	20歳	38 21.3%	76 42.7%	29 16.3%	24 13.5%	8 4.5%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	18 30.5%	24 40.7%	7 11.9%	8 13.6%	2 3.4%	0 0.0%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	328 21.8%	690 45.8%	167 11.1%	197 13.1%	100 6.6%	23 1.5%	1,505 100.0%
	家事をしている	6 33.3%	8 44.4%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	8 34.8%	3 13.0%	3 13.0%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	23 37.1%	15 24.2%	7 11.3%	9 14.5%	3 4.8%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	63 21.0%	142 47.3%	51 17.0%	31 10.3%	10 3.3%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	25 28.7%	39 44.8%	10 11.5%	10 11.5%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	251 22.0%	530 46.5%	124 10.9%	140 12.3%	78 6.8%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	94 19.8%	230 48.4%	59 12.4%	65 13.7%	21 4.4%	6 1.3%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	20 23.0%	36 41.4%	13 14.9%	11 12.6%	6 6.9%	1 1.1%	87 100.0%
	無回答	26 25.2%	36 35.0%	22 21.4%	12 11.7%	5 4.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	8 23.5%	10 29.4%	6 17.6%	7 20.6%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	65 22.4%	135 46.6%	49 16.9%	27 9.3%	9 3.1%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	12 33.3%	12 33.3%	3 8.3%	6 16.7%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか  
 B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる

		そう思う	ぱど そちら かう いえ	ぱど そちら かわ ない いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		701 35.0%	773 38.6%	248 12.4%	189 9.4%	66 3.3%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	285 33.8%	298 35.3%	108 12.8%	106 12.6%	31 3.7%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	397 36.0%	449 40.7%	137 12.4%	78 7.1%	33 3.0%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	19 34.5%	26 47.3%	3 5.5%	5 9.1%	2 3.6%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	77 41.2%	65 34.8%	15 8.0%	23 12.3%	5 2.7%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	138 36.1%	143 37.4%	52 13.6%	30 7.9%	12 3.1%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	162 39.0%	150 36.1%	47 11.3%	37 8.9%	14 3.4%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	118 29.6%	162 40.6%	59 14.8%	37 9.3%	16 4.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	130 34.0%	154 40.3%	50 13.1%	37 9.7%	9 2.4%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	55 30.9%	73 41.0%	22 12.4%	19 10.7%	8 4.5%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	21 35.6%	26 44.1%	3 5.1%	6 10.2%	2 3.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	544 36.1%	567 37.7%	190 12.6%	130 8.6%	55 3.7%	19 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	6 33.3%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	7 30.4%	2 8.7%	6 26.1%	1 4.3%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	21 33.9%	25 40.3%	6 9.7%	5 8.1%	2 3.2%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	92 30.7%	126 42.0%	38 12.7%	36 12.0%	6 2.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	30 34.5%	37 42.5%	8 9.2%	9 10.3%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	422 37.0%	421 36.9%	145 12.7%	97 8.5%	38 3.3%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	151 31.8%	203 42.7%	55 11.6%	46 9.7%	17 3.6%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	31 35.6%	30 34.5%	12 13.8%	12 13.8%	2 2.3%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	32 31.1%	39 37.9%	16 15.5%	11 10.7%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	8 23.5%	17 50.0%	7 20.6%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	94 32.4%	118 40.7%	31 10.7%	35 12.1%	8 2.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	9 25.0%	19 52.8%	4 11.1%	4 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか

C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する

		そう思う	ばど そちら かとい え	ばど そちら かとい え	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		1,057 52.8%	601 30.0%	128 6.4%	58 2.9%	131 6.5%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	465 55.1%	241 28.6%	45 5.3%	26 3.1%	52 6.2%	15 1.8%	844 100.0%
	女性	557 50.5%	346 31.4%	82 7.4%	29 2.6%	78 7.1%	11 1.0%	1,103 100.0%
	無回答	35 63.6%	14 25.5%	1 1.8%	3 5.5%	1 1.8%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	96 51.3%	51 27.3%	19 10.2%	3 1.6%	15 8.0%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	185 48.4%	121 31.7%	24 6.3%	13 3.4%	32 8.4%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	231 55.7%	125 30.1%	25 6.0%	5 1.2%	26 6.3%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	200 50.1%	131 32.8%	24 6.0%	10 2.5%	26 6.5%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	206 53.9%	112 29.3%	25 6.5%	16 4.2%	21 5.5%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	104 58.4%	43 24.2%	10 5.6%	8 4.5%	10 5.6%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	35 59.3%	18 30.5%	1 1.7%	3 5.1%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	777 51.6%	468 31.1%	103 6.8%	40 2.7%	100 6.6%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	9 50.0%	6 33.3%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	13 56.5%	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	34 54.8%	18 29.0%	4 6.5%	0 0.0%	3 4.8%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	167 55.7%	83 27.7%	14 4.7%	12 4.0%	21 7.0%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	52 59.8%	21 24.1%	2 2.3%	4 4.6%	4 4.6%	4 4.6%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	583 51.1%	352 30.9%	82 7.2%	29 2.5%	79 6.9%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	258 54.3%	146 30.7%	24 5.1%	17 3.6%	26 5.5%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	48 55.2%	20 23.0%	7 8.0%	2 2.3%	10 11.5%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	55 53.4%	33 32.0%	4 3.9%	4 3.9%	6 5.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	18 52.9%	10 29.4%	2 5.9%	0 0.0%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	172 59.3%	77 26.6%	14 4.8%	8 2.8%	14 4.8%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	12 33.3%	11 30.6%	3 8.3%	4 11.1%	6 16.7%	0 0.0%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか

D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる

		そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		816 40.8%	658 32.9%	266 13.3%	162 8.1%	72 3.6%	28 1.4%	2,002 100.0%
性別	男性	339 40.2%	271 32.1%	99 11.7%	88 10.4%	31 3.7%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	454 41.2%	374 33.9%	155 14.1%	70 6.3%	38 3.4%	12 1.1%	1,103 100.0%
	無回答	23 41.8%	13 23.6%	12 21.8%	4 7.3%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	80 42.8%	56 29.9%	22 11.8%	20 10.7%	6 3.2%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	158 41.4%	128 33.5%	48 12.6%	28 7.3%	12 3.1%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	172 41.4%	143 34.5%	51 12.3%	32 7.7%	12 2.9%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	152 38.1%	144 36.1%	52 13.0%	27 6.8%	18 4.5%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	156 40.8%	118 30.9%	61 16.0%	31 8.1%	14 3.7%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	76 42.7%	53 29.8%	19 10.7%	20 11.2%	7 3.9%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	22 37.3%	16 27.1%	13 22.0%	4 6.8%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	607 40.3%	516 34.3%	197 13.1%	110 7.3%	55 3.7%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	9 50.0%	3 16.7%	4 22.2%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	10 43.5%	8 34.8%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	25 40.3%	15 24.2%	7 11.3%	7 11.3%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	126 42.0%	87 29.0%	41 13.7%	36 12.0%	6 2.0%	4 1.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	35 40.2%	26 29.9%	15 17.2%	7 8.0%	3 3.4%	1 1.1%	87 100.0%	
学校 の種 類別	高等学校・高等専門学校	460 40.4%	393 34.5%	151 13.2%	86 7.5%	32 2.8%	18 1.6%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	188 39.6%	162 34.1%	62 13.1%	36 7.6%	22 4.6%	5 1.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	39 44.8%	15 17.2%	17 19.5%	10 11.5%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	46 44.7%	33 32.0%	8 7.8%	14 13.6%	1 1.0%	1 1.0%	103 100.0%
働 き 方 別	正規の社員として働いて いる	16 47.1%	9 26.5%	4 11.8%	2 5.9%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	124 42.8%	84 29.0%	35 12.1%	33 11.4%	8 2.8%	6 2.1%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	12 33.3%	10 27.8%	6 16.7%	7 19.4%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか  
 E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る

	そう思う	どちらかという	どちらかと思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計	
全体	1,150 57.4%	545 27.2%	128 6.4%	54 2.7%	101 5.0%	24 1.2%	2,002 100.0%	
性別	男性	518 61.4%	190 22.5%	65 7.7%	22 2.6%	35 4.1%	14 1.7%	844 100.0%
	女性	602 54.6%	341 30.9%	57 5.2%	29 2.6%	64 5.8%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	30 54.5%	14 25.5%	6 10.9%	3 5.5%	2 3.6%	2 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	108 57.8%	44 23.5%	15 8.0%	7 3.7%	11 5.9%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	207 54.2%	118 30.9%	19 5.0%	8 2.1%	23 6.0%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	247 59.5%	117 28.2%	26 6.3%	7 1.7%	14 3.4%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	226 56.6%	112 28.1%	25 6.3%	9 2.3%	21 5.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	219 57.3%	101 26.4%	27 7.1%	12 3.1%	20 5.2%	3 0.8%	382 100.0%
	20歳	111 62.4%	39 21.9%	10 5.6%	7 3.9%	10 5.6%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	32 54.2%	14 23.7%	6 10.2%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	869 57.7%	417 27.7%	98 6.5%	31 2.1%	72 4.8%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	7 38.9%	8 44.4%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	11 47.8%	5 21.7%	4 17.4%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	30 48.4%	16 25.8%	2 3.2%	5 8.1%	6 9.7%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	187 62.3%	70 23.3%	16 5.3%	8 2.7%	17 5.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	42 48.3%	26 29.9%	7 8.0%	6 6.9%	5 5.7%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	659 57.8%	319 28.0%	73 6.4%	21 1.8%	53 4.6%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	282 59.4%	118 24.8%	30 6.3%	16 3.4%	25 5.3%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	56 64.4%	20 23.0%	5 5.7%	0 0.0%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	59 57.3%	30 29.1%	6 5.8%	2 1.9%	5 4.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	17 50.0%	10 29.4%	2 5.9%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	177 61.0%	70 24.1%	13 4.5%	9 3.1%	17 5.9%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	24 66.7%	6 16.7%	3 8.3%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか  
 F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする

		そう思う	ぱど そちら かう いえ	ぱど そちら かわ ない いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		869 43.4%	711 35.5%	162 8.1%	73 3.6%	160 8.0%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	388 46.0%	279 33.1%	73 8.6%	29 3.4%	59 7.0%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	458 41.5%	412 37.4%	85 7.7%	41 3.7%	96 8.7%	11 1.0%	1,103 100.0%
	無回答	23 41.8%	20 36.4%	4 7.3%	3 5.5%	5 9.1%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	76 40.6%	59 31.6%	26 13.9%	10 5.3%	14 7.5%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	148 38.7%	134 35.1%	33 8.6%	12 3.1%	47 12.3%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	188 45.3%	145 34.9%	32 7.7%	8 1.9%	37 8.9%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	178 44.6%	154 38.6%	27 6.8%	9 2.3%	25 6.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	176 46.1%	135 35.3%	28 7.3%	22 5.8%	19 5.0%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	78 43.8%	63 35.4%	13 7.3%	9 5.1%	12 6.7%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	25 42.4%	21 35.6%	3 5.1%	3 5.1%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	640 42.5%	539 35.8%	128 8.5%	53 3.5%	126 8.4%	19 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	9 50.0%	7 38.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	8 34.8%	2 8.7%	2 8.7%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	27 43.5%	18 29.0%	7 11.3%	2 3.2%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	147 49.0%	106 35.3%	17 5.7%	10 3.3%	17 5.7%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	38 43.7%	29 33.3%	5 5.7%	6 6.9%	8 9.2%	1 1.1%	87 100.0%	
学校 の種 類別	高等学校・高等専門学校	475 41.7%	403 35.4%	106 9.3%	33 2.9%	107 9.4%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	220 46.3%	179 37.7%	26 5.5%	22 4.6%	24 5.1%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	40 46.0%	31 35.6%	8 9.2%	5 5.7%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	52 50.5%	32 31.1%	5 4.9%	3 2.9%	9 8.7%	2 1.9%	103 100.0%
働 き 方 別	正規の社員として働いて いる	13 38.2%	12 35.3%	4 11.8%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	144 49.7%	98 33.8%	17 5.9%	9 3.1%	17 5.9%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	16 44.4%	14 38.9%	3 8.3%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問1 今の社会についてどのように思っているか

G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ

		そう思う	ばど そちら かとい え	ばど そちら かわい いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		923 46.1%	830 41.5%	114 5.7%	32 1.6%	78 3.9%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	398 47.2%	339 40.2%	53 6.3%	14 1.7%	25 3.0%	15 1.8%	844 100.0%
	女性	490 44.4%	475 43.1%	59 5.3%	18 1.6%	52 4.7%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	35 63.6%	16 29.1%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	90 48.1%	71 38.0%	12 6.4%	5 2.7%	6 3.2%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	177 46.3%	152 39.8%	27 7.1%	5 1.3%	14 3.7%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	190 45.8%	178 42.9%	21 5.1%	10 2.4%	13 3.1%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	179 44.9%	171 42.9%	18 4.5%	4 1.0%	21 5.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	169 44.2%	167 43.7%	27 7.1%	6 1.6%	11 2.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	82 46.1%	73 41.0%	7 3.9%	2 1.1%	12 6.7%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	36 61.0%	18 30.5%	2 3.4%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	686 45.6%	625 41.5%	87 5.8%	25 1.7%	64 4.3%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	7 38.9%	8 44.4%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	9 39.1%	8 34.8%	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	29 46.8%	24 38.7%	4 6.5%	0 0.0%	2 3.2%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	142 47.3%	130 43.3%	14 4.7%	5 1.7%	7 2.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	49 56.3%	29 33.3%	5 5.7%	0 0.0%	2 2.3%	2 2.3%	87 100.0%
学校 の種 類別	高等学校・高等専門学校	530 46.5%	469 41.1%	67 5.9%	18 1.6%	41 3.6%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	205 43.2%	212 44.6%	23 4.8%	7 1.5%	24 5.1%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	42 48.3%	36 41.4%	4 4.6%	1 1.1%	4 4.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	51 49.5%	38 36.9%	7 6.8%	4 3.9%	2 1.9%	1 1.0%	103 100.0%
働 き 方 別	正規の社員として働いている	18 52.9%	12 35.3%	2 5.9%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	135 46.6%	124 42.8%	15 5.2%	5 1.7%	7 2.4%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	14 38.9%	20 55.6%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	



問1 今の社会についてどのように思っているか

H. 人間には、それぞれに応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない

		そう思う	ばど そちら かう といえ	ばど そちら かわ ない え	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		300 15.0%	575 28.7%	527 26.3%	371 18.5%	204 10.2%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	141 16.7%	243 28.8%	180 21.3%	183 21.7%	80 9.5%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	147 13.3%	318 28.8%	329 29.8%	180 16.3%	121 11.0%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	12 21.8%	14 25.5%	18 32.7%	8 14.5%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	35 18.7%	64 34.2%	46 24.6%	26 13.9%	14 7.5%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	51 13.4%	117 30.6%	100 26.2%	61 16.0%	46 12.0%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	69 16.6%	114 27.5%	99 23.9%	78 18.8%	51 12.3%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	57 14.3%	110 27.6%	98 24.6%	90 22.6%	38 9.5%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	52 13.6%	107 28.0%	114 29.8%	77 20.2%	29 7.6%	3 0.8%	382 100.0%
	20歳	22 12.4%	49 27.5%	50 28.1%	32 18.0%	23 12.9%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	14 23.7%	14 23.7%	20 33.9%	7 11.9%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	224 14.9%	430 28.6%	387 25.7%	276 18.3%	170 11.3%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	7 38.9%	4 22.2%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	7 30.4%	2 8.7%	8 34.8%	5 21.7%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	11 17.7%	19 30.6%	13 21.0%	13 21.0%	3 4.8%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	41 13.7%	89 29.7%	89 29.7%	59 19.7%	19 6.3%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	18 20.7%	20 23.0%	30 34.5%	12 13.8%	6 6.9%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	179 15.7%	343 30.1%	273 23.9%	205 18.0%	125 11.0%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	62 13.1%	122 25.7%	148 31.2%	94 19.8%	45 9.5%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	7 8.0%	25 28.7%	27 31.0%	20 23.0%	8 9.2%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	17 16.5%	29 28.2%	28 27.2%	16 15.5%	11 10.7%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	5 14.7%	12 35.3%	9 26.5%	5 14.7%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	40 13.8%	89 30.7%	80 27.6%	57 19.7%	19 6.6%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	6 16.7%	8 22.2%	13 36.1%	9 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観

A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である

		そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とないえ	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		559 27.9%	696 34.8%	269 13.4%	180 9.0%	272 13.6%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	267 31.6%	272 32.2%	101 12.0%	68 8.1%	118 14.0%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	275 24.9%	405 36.7%	160 14.5%	107 9.7%	148 13.4%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	17 30.9%	19 34.5%	8 14.5%	5 9.1%	6 10.9%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	61 32.6%	53 28.3%	36 19.3%	10 5.3%	25 13.4%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	102 26.7%	121 31.7%	56 14.7%	45 11.8%	52 13.6%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	121 29.2%	150 36.1%	49 11.8%	40 9.6%	51 12.3%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	105 26.3%	145 36.3%	49 12.3%	27 6.8%	64 16.0%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	99 25.9%	136 35.6%	53 13.9%	39 10.2%	54 14.1%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	52 29.2%	72 40.4%	17 9.6%	15 8.4%	19 10.7%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	19 32.2%	19 32.2%	9 15.3%	4 6.8%	7 11.9%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	423 28.1%	534 35.5%	200 13.3%	119 7.9%	211 14.0%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	6 26.1%	6 26.1%	5 21.7%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	18 29.0%	18 29.0%	4 6.5%	11 17.7%	8 12.9%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	84 28.0%	104 34.7%	41 13.7%	33 11.0%	36 12.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	28 32.2%	26 29.9%	13 14.9%	7 8.0%	11 12.6%	2 2.3%	87 100.0%	
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	335 29.4%	389 34.1%	156 13.7%	92 8.1%	152 13.3%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	126 26.5%	182 38.3%	58 12.2%	39 8.2%	67 14.1%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	20 23.0%	35 40.2%	14 16.1%	7 8.0%	11 12.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	26 25.2%	32 31.1%	13 12.6%	14 13.6%	17 16.5%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	10 29.4%	9 26.5%	3 8.8%	7 20.6%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	86 29.7%	99 34.1%	35 12.1%	34 11.7%	32 11.0%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	6 16.7%	14 38.9%	6 16.7%	3 8.3%	7 19.4%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
B. いろいろな良い素質を持っている

		そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		369 18.4%	677 33.8%	423 21.1%	253 12.6%	255 12.7%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	179 21.2%	293 34.7%	151 17.9%	101 12.0%	104 12.3%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	178 16.1%	363 32.9%	263 23.8%	144 13.1%	146 13.2%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	12 21.8%	21 38.2%	9 16.4%	8 14.5%	5 9.1%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	42 22.5%	56 29.9%	46 24.6%	21 11.2%	19 10.2%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	56 14.7%	146 38.2%	71 18.6%	44 11.5%	59 15.4%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	84 20.2%	125 30.1%	98 23.6%	62 14.9%	42 10.1%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	70 17.5%	143 35.8%	80 20.1%	41 10.3%	59 14.8%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	71 18.6%	119 31.2%	89 23.3%	57 14.9%	45 11.8%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	33 18.5%	67 37.6%	29 16.3%	20 11.2%	26 14.6%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	13 22.0%	21 35.6%	10 16.9%	8 13.6%	5 8.5%	2 3.4%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	276 18.3%	520 34.6%	330 21.9%	175 11.6%	188 12.5%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	4 22.2%	4 22.2%	4 22.2%	2 11.1%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	7 30.4%	6 26.1%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	12 19.4%	19 30.6%	8 12.9%	13 21.0%	7 11.3%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	58 19.3%	95 31.7%	59 19.7%	40 13.3%	46 15.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	18 20.7%	28 32.2%	15 17.2%	14 16.1%	10 11.5%	2 2.3%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	211 18.5%	392 34.4%	250 21.9%	133 11.7%	139 12.2%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	95 20.0%	161 33.9%	100 21.1%	59 12.4%	58 12.2%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	9 10.3%	33 37.9%	22 25.3%	10 11.5%	13 14.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	19 18.4%	29 28.2%	17 16.5%	13 12.6%	24 23.3%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	6 17.6%	12 35.3%	6 17.6%	6 17.6%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	58 20.0%	92 31.7%	53 18.3%	40 13.8%	43 14.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	5 13.9%	10 27.8%	8 22.2%	7 19.4%	6 16.7%	0 0.0%	36 100.0%

問2 自分自身に対する評価・価値観  
C. 物事を人並みには、うまくやれる

		そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とないえ	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		399 19.9%	827 41.3%	407 20.3%	218 10.9%	124 6.2%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	183 21.7%	318 37.7%	186 22.0%	84 10.0%	55 6.5%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	207 18.8%	488 44.2%	209 18.9%	124 11.2%	66 6.0%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	9 16.4%	21 38.2%	12 21.8%	10 18.2%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	34 18.2%	73 39.0%	50 26.7%	15 8.0%	12 6.4%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	64 16.8%	164 42.9%	77 20.2%	49 12.8%	21 5.5%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	89 21.4%	172 41.4%	79 19.0%	46 11.1%	25 6.0%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	77 19.3%	170 42.6%	81 20.3%	39 9.8%	25 6.3%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	83 21.7%	146 38.2%	81 21.2%	42 11.0%	28 7.3%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	42 23.6%	78 43.8%	27 15.2%	18 10.1%	10 5.6%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	10 16.9%	24 40.7%	12 20.3%	9 15.3%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	295 19.6%	637 42.3%	305 20.3%	156 10.4%	94 6.2%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	8 44.4%	4 22.2%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	7 30.4%	8 34.8%	6 26.1%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	14 22.6%	21 33.9%	9 14.5%	11 17.7%	4 6.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	74 24.7%	122 40.7%	57 19.0%	24 8.0%	21 7.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 14.9%	30 34.5%	21 24.1%	16 18.4%	5 5.7%	2 2.3%	87 100.0%
学校 の 種類 別	高等学校・高等専門学校	223 19.6%	488 42.8%	227 19.9%	114 10.0%	72 6.3%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	110 23.2%	199 41.9%	91 19.2%	46 9.7%	27 5.7%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	14 16.1%	36 41.4%	19 21.8%	10 11.5%	8 9.2%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	22 21.4%	36 35.0%	25 24.3%	10 9.7%	8 7.8%	2 1.9%	103 100.0%
働 き 方 別	正規の社員として働いて いる	7 20.6%	12 35.3%	6 17.6%	7 20.6%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	74 25.5%	114 39.3%	54 18.6%	25 8.6%	19 6.6%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 16.7%	14 38.9%	9 25.0%	3 8.3%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%

問2 自分自身に対する評価・価値観  
D. 自分には自慢できるところがあまりない

		そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		363 18.1%	617 30.8%	519 25.9%	371 18.5%	109 5.4%	23 1.1%	2,002 100.0%
性別	男性	146 17.3%	239 28.3%	212 25.1%	180 21.3%	51 6.0%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	209 18.9%	364 33.0%	295 26.7%	171 15.5%	57 5.2%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	8 14.5%	14 25.5%	12 21.8%	20 36.4%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	30 16.0%	65 34.8%	39 20.9%	40 21.4%	11 5.9%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	71 18.6%	115 30.1%	104 27.2%	66 17.3%	19 5.0%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	74 17.8%	131 31.6%	109 26.3%	78 18.8%	19 4.6%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	68 17.0%	126 31.6%	106 26.6%	64 16.0%	28 7.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	85 22.3%	112 29.3%	98 25.7%	65 17.0%	21 5.5%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	25 14.0%	54 30.3%	50 28.1%	37 20.8%	10 5.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	10 16.9%	14 23.7%	13 22.0%	21 35.6%	1 1.7%	0 0.0%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	264 17.5%	471 31.3%	390 25.9%	281 18.7%	82 5.4%	17 1.1%
家事をしている		6 33.3%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
その他		11 47.8%	6 26.1%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%
仕事を主にしている		18 29.0%	11 17.7%	13 21.0%	10 16.1%	7 11.3%	3 4.8%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		48 16.0%	99 33.0%	88 29.3%	50 16.7%	13 4.3%	2 0.7%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		13 14.9%	24 27.6%	19 21.8%	25 28.7%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	197 17.3%	351 30.8%	300 26.3%	220 19.3%	57 5.0%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	72 15.2%	170 35.8%	125 26.3%	79 16.6%	27 5.7%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	18 20.7%	25 28.7%	25 28.7%	13 14.9%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	25 24.3%	24 23.3%	28 27.2%	19 18.4%	5 4.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	5 14.7%	10 29.4%	6 17.6%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	54 18.6%	91 31.4%	81 27.9%	45 15.5%	15 5.2%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	4 11.1%	14 38.9%	10 27.8%	6 16.7%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観

E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う

		そう 思う	ば ど ち ら か と い え	ば ど ち ら か と い え	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		178 8.9%	413 20.6%	645 32.2%	598 29.9%	141 7.0%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	64 7.6%	156 18.5%	245 29.0%	296 35.1%	64 7.6%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	106 9.6%	244 22.1%	386 35.0%	283 25.7%	76 6.9%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	8 14.5%	13 23.6%	14 25.5%	19 34.5%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	10 5.3%	44 23.5%	56 29.9%	57 30.5%	17 9.1%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	42 11.0%	65 17.0%	128 33.5%	114 29.8%	26 6.8%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	46 11.1%	99 23.9%	123 29.6%	113 27.2%	30 7.2%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	32 8.0%	74 18.5%	136 34.1%	118 29.6%	30 7.5%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	28 7.3%	84 22.0%	128 33.5%	121 31.7%	20 5.2%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	13 7.3%	33 18.5%	60 33.7%	55 30.9%	15 8.4%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	14 23.7%	14 23.7%	20 33.9%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	134 8.9%	302 20.1%	486 32.3%	454 30.2%	109 7.2%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	8 44.4%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	4 17.4%	5 21.7%	7 30.4%	5 21.7%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	8 12.9%	9 14.5%	18 29.0%	19 30.6%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	18 6.0%	68 22.7%	107 35.7%	86 28.7%	19 6.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	9 10.3%	20 23.0%	19 21.8%	31 35.6%	7 8.0%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	108 9.5%	227 19.9%	363 31.8%	340 29.8%	84 7.4%	18 1.6%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	33 6.9%	103 21.7%	164 34.5%	145 30.5%	28 5.9%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	5 5.7%	18 20.7%	30 34.5%	28 32.2%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	6 5.8%	22 21.4%	36 35.0%	27 26.2%	10 9.7%	2 1.9%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	4 11.8%	7 20.6%	9 26.5%	11 32.4%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	20 6.9%	59 20.3%	107 36.9%	84 29.0%	16 5.5%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	3 8.3%	10 27.8%	10 27.8%	8 22.2%	5 13.9%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観

F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ

	そう思う	ぱど どちらか というえ	ぱど どちらか とないえ	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計	
全体	121 6.0%	264 13.2%	352 17.6%	1,117 55.8%	121 6.0%	27 1.3%	2,002 100.0%	
性別	男性	53 6.3%	115 13.6%	139 16.5%	450 53.3%	69 8.2%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	63 5.7%	143 13.0%	205 18.6%	632 57.3%	51 4.6%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	5 9.1%	6 10.9%	8 14.5%	35 63.6%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	22 11.8%	24 12.8%	35 18.7%	89 47.6%	15 8.0%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	24 6.3%	51 13.4%	64 16.8%	208 54.5%	27 7.1%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	19 4.6%	53 12.8%	66 15.9%	256 61.7%	16 3.9%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	17 4.3%	55 13.8%	80 20.1%	212 53.1%	27 6.8%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	26 6.8%	48 12.6%	67 17.5%	216 56.5%	24 6.3%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	8 4.5%	27 15.2%	32 18.0%	98 55.1%	11 6.2%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	5 8.5%	6 10.2%	8 13.6%	38 64.4%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	90 6.0%	207 13.8%	277 18.4%	817 54.3%	94 6.2%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	4 22.2%	2 11.1%	10 55.6%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	14 60.9%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	2 3.2%	7 11.3%	8 12.9%	36 58.1%	6 9.7%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	20 6.7%	35 11.7%	51 17.0%	180 60.0%	12 4.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 6.9%	8 9.2%	13 14.9%	55 63.2%	4 4.6%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	69 6.1%	148 13.0%	208 18.2%	633 55.5%	65 5.7%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	28 5.9%	62 13.1%	94 19.8%	259 54.5%	30 6.3%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	4 4.6%	17 19.5%	11 12.6%	49 56.3%	5 5.7%	1 1.1%	87 100.0%
	無回答	9 8.7%	15 14.6%	15 14.6%	56 54.4%	6 5.8%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	4 11.8%	6 17.6%	4 11.8%	16 47.1%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	17 5.9%	30 10.3%	47 16.2%	181 62.4%	11 3.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	2 5.6%	4 11.1%	7 19.4%	20 55.6%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観

G. 服装は、皆から変に思われないかどうか、いつも気にしている

		そう思う	ばど どちらか という	ばど どちらか とない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		456 22.8%	652 32.6%	395 19.7%	437 21.8%	37 1.8%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	173 20.5%	246 29.1%	180 21.3%	206 24.4%	21 2.5%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	269 24.4%	390 35.4%	203 18.4%	218 19.8%	16 1.5%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	14 25.5%	16 29.1%	12 21.8%	13 23.6%	0 0.0%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	51 27.3%	52 27.8%	41 21.9%	35 18.7%	6 3.2%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	89 23.3%	133 34.8%	70 18.3%	73 19.1%	10 2.6%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	98 23.6%	132 31.8%	77 18.6%	98 23.6%	5 1.2%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	91 22.8%	127 31.8%	83 20.8%	84 21.1%	6 1.5%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	86 22.5%	123 32.2%	78 20.4%	87 22.8%	7 1.8%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	27 15.2%	67 37.6%	36 20.2%	44 24.7%	3 1.7%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	14 23.7%	18 30.5%	10 16.9%	16 27.1%	0 0.0%	1 1.7%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	345 22.9%	499 33.2%	298 19.8%	316 21.0%	28 1.9%	19 1.3%
家事をしている		5 27.8%	8 44.4%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
その他		5 21.7%	7 30.4%	5 21.7%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		13 21.0%	10 16.1%	10 16.1%	23 37.1%	3 4.8%	3 4.8%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		62 20.7%	104 34.7%	60 20.0%	68 22.7%	4 1.3%	2 0.7%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		25 28.7%	22 25.3%	17 19.5%	22 25.3%	0 0.0%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	276 24.2%	364 31.9%	229 20.1%	232 20.4%	22 1.9%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	96 20.2%	168 35.4%	99 20.8%	103 21.7%	7 1.5%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	19 21.8%	34 39.1%	10 11.5%	23 26.4%	0 0.0%	1 1.1%	87 100.0%
	無回答	16 15.5%	37 35.9%	20 19.4%	26 25.2%	3 2.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	7 20.6%	6 17.6%	5 14.7%	13 38.2%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	58 20.0%	95 32.8%	60 20.7%	69 23.8%	4 1.4%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	9 25.0%	15 41.7%	5 13.9%	7 19.4%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%	



問2 自分自身に対する評価・価値観

H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ

		そう思う	ばど どちらか という	ばど どちらか わかない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		288 14.4%	625 31.2%	537 26.8%	435 21.7%	93 4.6%	24 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	122 14.5%	238 28.2%	232 27.5%	195 23.1%	42 5.0%	15 1.8%	844 100.0%
	女性	155 14.1%	366 33.2%	294 26.7%	228 20.7%	51 4.6%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	11 20.0%	21 38.2%	11 20.0%	12 21.8%	0 0.0%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	26 13.9%	57 30.5%	63 33.7%	30 16.0%	9 4.8%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	67 17.5%	118 30.9%	104 27.2%	70 18.3%	17 4.5%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	53 12.8%	122 29.4%	127 30.6%	92 22.2%	18 4.3%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	55 13.8%	125 31.3%	99 24.8%	99 24.8%	13 3.3%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	58 15.2%	112 29.3%	91 23.8%	93 24.3%	27 7.1%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	19 10.7%	68 38.2%	42 23.6%	39 21.9%	8 4.5%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	10 16.9%	23 39.0%	11 18.6%	12 20.3%	1 1.7%	2 3.4%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	216 14.4%	473 31.4%	415 27.6%	312 20.7%	73 4.9%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	6 33.3%	4 22.2%	3 16.7%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	7 30.4%	4 17.4%	7 30.4%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	10 16.1%	20 32.3%	9 14.5%	16 25.8%	4 6.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	39 13.0%	89 29.7%	82 27.3%	77 25.7%	11 3.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	14 16.1%	31 35.6%	21 24.1%	17 19.5%	3 3.4%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	162 14.2%	354 31.1%	331 29.0%	230 20.2%	48 4.2%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	67 14.1%	154 32.4%	117 24.6%	107 22.5%	28 5.9%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	12 13.8%	25 28.7%	24 27.6%	22 25.3%	4 4.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	14 13.6%	29 28.2%	25 24.3%	30 29.1%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	7 20.6%	14 41.2%	5 14.7%	6 17.6%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	36 12.4%	82 28.3%	75 25.9%	79 27.2%	14 4.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	7 19.4%	12 33.3%	9 25.0%	8 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観

1. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ

		そう 思う	ば ど そ う か と い え	ば ど そ う か と い え	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		298 14.9%	470 23.5%	670 33.5%	399 19.9%	141 7.0%	24 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	162 19.2%	200 23.7%	263 31.2%	148 17.5%	56 6.6%	15 1.8%	844 100.0%
	女性	125 11.3%	256 23.2%	394 35.7%	237 21.5%	82 7.4%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	11 20.0%	14 25.5%	13 23.6%	14 25.5%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	28 15.0%	42 22.5%	67 35.8%	38 20.3%	10 5.3%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	55 14.4%	92 24.1%	119 31.2%	81 21.2%	29 7.6%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	72 17.3%	92 22.2%	147 35.4%	67 16.1%	34 8.2%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	62 15.5%	97 24.3%	130 32.6%	72 18.0%	29 7.3%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	52 13.6%	87 22.8%	126 33.0%	90 23.6%	26 6.8%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	19 10.7%	45 25.3%	66 37.1%	36 20.2%	10 5.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	10 16.9%	15 25.4%	15 25.4%	15 25.4%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	224 14.9%	349 23.2%	512 34.0%	293 19.5%	112 7.4%	15 1.0%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	2 11.1%	5 27.8%	10 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	5 21.7%	4 17.4%	5 21.7%	4 17.4%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	7 11.3%	14 22.6%	17 27.4%	17 27.4%	4 6.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	46 15.3%	75 25.0%	102 34.0%	57 19.0%	16 5.3%	4 1.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	14 16.1%	22 25.3%	27 31.0%	18 20.7%	5 5.7%	1 1.1%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	182 16.0%	270 23.7%	385 33.8%	208 18.2%	81 7.1%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	51 10.7%	115 24.2%	166 34.9%	104 21.9%	36 7.6%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	16 18.4%	17 19.5%	26 29.9%	22 25.3%	5 5.7%	1 1.1%	87 100.0%
	無回答	21 20.4%	22 21.4%	37 35.9%	16 15.5%	6 5.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	2 5.9%	8 23.5%	11 32.4%	11 32.4%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	49 16.9%	72 24.8%	98 33.8%	52 17.9%	14 4.8%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いて いる	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	2 5.6%	10 27.8%	8 22.2%	11 30.6%	4 11.1%	1 2.8%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
J. 話し好きなほうである

		そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答	合計
全体		765 38.2%	575 28.7%	348 17.4%	216 10.8%	73 3.6%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	287 34.0%	229 27.1%	155 18.4%	117 13.9%	38 4.5%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	459 41.6%	328 29.7%	181 16.4%	95 8.6%	33 3.0%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	19 34.5%	18 32.7%	12 21.8%	4 7.3%	2 3.6%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	74 39.6%	50 26.7%	25 13.4%	29 15.5%	7 3.7%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	163 42.7%	99 25.9%	64 16.8%	32 8.4%	16 4.2%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	175 42.2%	113 27.2%	66 15.9%	40 9.6%	18 4.3%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	143 35.8%	111 27.8%	87 21.8%	38 9.5%	13 3.3%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	129 33.8%	122 31.9%	66 17.3%	52 13.6%	11 2.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	62 34.8%	60 33.7%	27 15.2%	21 11.8%	6 3.4%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	19 32.2%	20 33.9%	13 22.0%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	574 38.1%	426 28.3%	261 17.3%	165 11.0%	62 4.1%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	5 27.8%	6 33.3%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	4 17.4%	5 21.7%	6 26.1%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	24 38.7%	18 29.0%	8 12.9%	7 11.3%	1 1.6%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	120 40.0%	92 30.7%	53 17.7%	25 8.3%	8 2.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	31 35.6%	28 32.2%	18 20.7%	7 8.0%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	460 40.4%	316 27.7%	188 16.5%	116 10.2%	45 3.9%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	159 33.5%	147 30.9%	93 19.6%	55 11.6%	19 4.0%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	31 35.6%	28 32.2%	13 14.9%	12 13.8%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	44 42.7%	27 26.2%	20 19.4%	7 6.8%	3 2.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	10 29.4%	7 20.6%	5 14.7%	0 0.0%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	120 41.4%	86 29.7%	50 17.2%	23 7.9%	7 2.4%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	13 36.1%	12 33.3%	5 13.9%	4 11.1%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
K. 傷つきやすいほうである

	そう思う	ぱど どちらか という	ぱど どちらか とないえ	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計	
全体	658 32.9%	685 34.2%	378 18.9%	168 8.4%	90 4.5%	23 1.1%	2,002 100.0%	
性別	男性	225 26.7%	274 32.5%	190 22.5%	99 11.7%	40 4.7%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	415 37.6%	389 35.3%	175 15.9%	68 6.2%	49 4.4%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	18 32.7%	22 40.0%	13 23.6%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	43 23.0%	61 32.6%	44 23.5%	24 12.8%	13 7.0%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	134 35.1%	119 31.2%	78 20.4%	33 8.6%	11 2.9%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	144 34.7%	133 32.0%	82 19.8%	33 8.0%	20 4.8%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	127 31.8%	150 37.6%	55 13.8%	40 10.0%	20 5.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	141 36.9%	132 34.6%	65 17.0%	28 7.3%	15 3.9%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	51 28.7%	66 37.1%	40 22.5%	9 5.1%	10 5.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	18 30.5%	24 40.7%	14 23.7%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	471 31.3%	517 34.4%	293 19.5%	138 9.2%	70 4.7%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	7 38.9%	7 38.9%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	9 39.1%	8 34.8%	4 17.4%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	28 45.2%	10 16.1%	11 17.7%	5 8.1%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	112 37.3%	110 36.7%	43 14.3%	20 6.7%	13 4.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	28 32.2%	32 36.8%	21 24.1%	3 3.4%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	368 32.3%	371 32.5%	222 19.5%	110 9.6%	55 4.8%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	156 32.8%	177 37.3%	85 17.9%	33 6.9%	22 4.6%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	24 27.6%	40 46.0%	16 18.4%	6 6.9%	1 1.1%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	35 34.0%	39 37.9%	13 12.6%	9 8.7%	5 4.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	17 50.0%	4 11.8%	8 23.5%	3 8.8%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	105 36.2%	107 36.9%	40 13.8%	19 6.6%	15 5.2%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	18 50.0%	10 27.8%	6 16.7%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
L. 好奇心が強いほうである

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答	合計	
全体	780 39.0%	712 35.6%	324 16.2%	104 5.2%	58 2.9%	24 1.2%	2,002 100.0%	
性別	男性	322 38.2%	290 34.4%	140 16.6%	49 5.8%	26 3.1%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	439 39.8%	400 36.3%	176 16.0%	51 4.6%	30 2.7%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	19 34.5%	22 40.0%	8 14.5%	4 7.3%	2 3.6%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	74 39.6%	65 34.8%	31 16.6%	8 4.3%	7 3.7%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	138 36.1%	142 37.2%	63 16.5%	21 5.5%	11 2.9%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	182 43.9%	140 33.7%	64 15.4%	16 3.9%	10 2.4%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	157 39.3%	137 34.3%	66 16.5%	22 5.5%	9 2.3%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	148 38.7%	133 34.8%	65 17.0%	20 5.2%	15 3.9%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	63 35.4%	70 39.3%	26 14.6%	13 7.3%	4 2.2%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	18 30.5%	25 42.4%	9 15.3%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	582 38.7%	547 36.3%	244 16.2%	71 4.7%	44 2.9%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	9 50.0%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	6 26.1%	5 21.7%	1 4.3%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	26 41.9%	20 32.3%	4 6.5%	6 9.7%	3 4.8%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	131 43.7%	94 31.3%	51 17.0%	16 5.3%	6 2.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	27 31.0%	33 37.9%	17 19.5%	7 8.0%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	457 40.1%	412 36.1%	175 15.4%	50 4.4%	32 2.8%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	173 36.4%	173 36.4%	87 18.3%	26 5.5%	13 2.7%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	34 39.1%	25 28.7%	18 20.7%	7 8.0%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	49 47.6%	31 30.1%	15 14.6%	4 3.9%	2 1.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	12 35.3%	11 32.4%	4 11.8%	5 14.7%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	132 45.5%	91 31.4%	45 15.5%	13 4.5%	5 1.7%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	12 33.3%	11 30.6%	7 19.4%	4 11.1%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
M. きちようめんなほうである

		そう 思う	ば ど そ う 思 う か と い え	ば ど そ う 思 わ な い え	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		351 17.5%	609 30.4%	510 25.5%	420 21.0%	91 4.5%	21 1.0%	2,002 100.0%
性別	男性	172 20.4%	232 27.5%	195 23.1%	189 22.4%	42 5.0%	14 1.7%	844 100.0%
	女性	167 15.1%	364 33.0%	302 27.4%	218 19.8%	45 4.1%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	12 21.8%	13 23.6%	13 23.6%	13 23.6%	4 7.3%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	31 16.6%	43 23.0%	51 27.3%	47 25.1%	13 7.0%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	79 20.7%	114 29.8%	93 24.3%	67 17.5%	23 6.0%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	69 16.6%	122 29.4%	114 27.5%	92 22.2%	15 3.6%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	65 16.3%	130 32.6%	96 24.1%	84 21.1%	17 4.3%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	58 15.2%	138 36.1%	94 24.6%	80 20.9%	11 2.9%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	37 20.8%	45 25.3%	49 27.5%	37 20.8%	8 4.5%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	12 20.3%	17 28.8%	13 22.0%	13 22.0%	4 6.8%	0 0.0%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	282 18.7%	448 29.8%	380 25.2%	307 20.4%	73 4.9%	15 1.0%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	10 55.6%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	4 17.4%	3 13.0%	8 34.8%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	4 6.5%	10 16.1%	20 32.3%	21 33.9%	4 6.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	40 13.3%	115 38.3%	73 24.3%	62 20.7%	8 2.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	16 18.4%	20 23.0%	26 29.9%	20 23.0%	5 5.7%	0 0.0%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	202 17.7%	342 30.0%	286 25.1%	241 21.1%	55 4.8%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	81 17.1%	168 35.4%	120 25.3%	86 18.1%	18 3.8%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	14 16.1%	21 24.1%	26 29.9%	21 24.1%	5 5.7%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	25 24.3%	32 31.1%	21 20.4%	21 20.4%	3 2.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	7 20.6%	13 38.2%	11 32.4%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	36 12.4%	104 35.9%	71 24.5%	67 23.1%	8 2.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	8 22.2%	13 36.1%	10 27.8%	4 11.1%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問2 自分自身に対する評価・価値観  
N. 親切なほうである

		そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答	合計
全体		485 24.2%	947 47.3%	244 12.2%	95 4.7%	207 10.3%	24 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	253 30.0%	367 43.5%	92 10.9%	40 4.7%	75 8.9%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	214 19.4%	554 50.2%	150 13.6%	53 4.8%	125 11.3%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	18 32.7%	26 47.3%	2 3.6%	2 3.6%	7 12.7%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	43 23.0%	85 45.5%	22 11.8%	15 8.0%	20 10.7%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	87 22.8%	178 46.6%	41 10.7%	23 6.0%	46 12.0%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	102 24.6%	195 47.0%	51 12.3%	21 5.1%	43 10.4%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	92 23.1%	193 48.4%	53 13.3%	14 3.5%	40 10.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	104 27.2%	175 45.8%	53 13.9%	14 3.7%	34 8.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	38 21.3%	93 52.2%	22 12.4%	6 3.4%	17 9.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	19 32.2%	28 47.5%	2 3.4%	2 3.4%	7 11.9%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	368 24.5%	712 47.3%	182 12.1%	68 4.5%	159 10.6%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	8 44.4%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	16 25.8%	26 41.9%	3 4.8%	4 6.5%	10 16.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	68 22.7%	151 50.3%	44 14.7%	10 3.3%	25 8.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	23 26.4%	36 41.4%	8 9.2%	9 10.3%	9 10.3%	2 2.3%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	278 24.4%	538 47.2%	133 11.7%	53 4.6%	124 10.9%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	112 23.6%	239 50.3%	65 13.7%	20 4.2%	37 7.8%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	17 19.5%	42 48.3%	14 16.1%	2 2.3%	12 13.8%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	29 28.2%	44 42.7%	14 13.6%	3 2.9%	11 10.7%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	9 26.5%	16 47.1%	3 8.8%	1 2.9%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	66 22.8%	141 48.6%	40 13.8%	13 4.5%	26 9.0%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 16.7%	22 61.1%	4 11.1%	1 2.8%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%

問3 人権・差別に対する意識・考え方

A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う

	そう 思う	ば ど そ う か う い え	ば ど そ う か わ い え	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計	
全体	130 6.5%	625 31.2%	599 29.9%	437 21.8%	185 9.2%	26 1.3%	2,002 100.0%	
性別	男性	72 8.5%	269 31.9%	233 27.6%	189 22.4%	64 7.6%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	52 4.7%	343 31.1%	346 31.4%	236 21.4%	117 10.6%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	6 10.9%	13 23.6%	20 36.4%	12 21.8%	4 7.3%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	13 7.0%	58 31.0%	64 34.2%	37 19.8%	13 7.0%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	27 7.1%	126 33.0%	102 26.7%	85 22.3%	35 9.2%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	28 6.7%	120 28.9%	138 33.3%	90 21.7%	36 8.7%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	22 5.5%	138 34.6%	113 28.3%	81 20.3%	37 9.3%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	23 6.0%	113 29.6%	109 28.5%	97 25.4%	37 9.7%	3 0.8%	382 100.0%
	20歳	12 6.7%	55 30.9%	52 29.2%	35 19.7%	22 12.4%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	5 8.5%	15 25.4%	21 35.6%	12 20.3%	5 8.5%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	102 6.8%	491 32.6%	451 30.0%	317 21.1%	127 8.4%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	4 22.2%	2 11.1%	7 38.9%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	4 17.4%	3 13.0%	9 39.1%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	1 1.6%	12 19.4%	16 25.8%	18 29.0%	11 17.7%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	17 5.7%	85 28.3%	94 31.3%	69 23.0%	32 10.7%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 6.9%	25 28.7%	31 35.6%	16 18.4%	8 9.2%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	75 6.6%	368 32.3%	347 30.4%	241 21.1%	94 8.2%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	34 7.2%	160 33.7%	137 28.8%	90 18.9%	50 10.5%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	3 3.4%	23 26.4%	31 35.6%	25 28.7%	5 5.7%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	7 6.8%	25 24.3%	30 29.1%	30 29.1%	10 9.7%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	8 23.5%	11 32.4%	8 23.5%	5 14.7%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	13 4.5%	82 28.3%	88 30.3%	68 23.4%	34 11.7%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	4 11.1%	7 19.4%	12 33.3%	10 27.8%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%	



問3 人権・差別に対する意識・考え方

B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである

	そう思う	ばど そちら かう いえ	ばど そちら かわ ない いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計	
全体	1,092 54.5%	606 30.3%	125 6.2%	78 3.9%	77 3.8%	24 1.2%	2,002 100.0%	
性別	男性	451 53.4%	232 27.5%	67 7.9%	46 5.5%	33 3.9%	15 1.8%	844 100.0%
	女性	614 55.7%	354 32.1%	54 4.9%	30 2.7%	42 3.8%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	27 49.1%	20 36.4%	4 7.3%	2 3.6%	2 3.6%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	117 62.6%	49 26.2%	9 4.8%	5 2.7%	5 2.7%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	213 55.8%	115 30.1%	18 4.7%	13 3.4%	15 3.9%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	242 58.3%	113 27.2%	27 6.5%	13 3.1%	16 3.9%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	203 50.9%	127 31.8%	31 7.8%	17 4.3%	14 3.5%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	196 51.3%	127 33.2%	25 6.5%	18 4.7%	15 3.9%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	93 52.2%	55 30.9%	9 5.1%	10 5.6%	9 5.1%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	28 47.5%	20 33.9%	6 10.2%	2 3.4%	3 5.1%	0 0.0%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	832 55.3%	458 30.4%	88 5.8%	60 4.0%	49 3.3%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	10 55.6%	7 38.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	12 52.2%	5 21.7%	1 4.3%	1 4.3%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	41 66.1%	10 16.1%	4 6.5%	1 1.6%	3 4.8%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	147 49.0%	100 33.3%	23 7.7%	12 4.0%	16 5.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	45 51.7%	25 28.7%	8 9.2%	4 4.6%	5 5.7%	0 0.0%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	652 57.2%	320 28.1%	68 6.0%	43 3.8%	40 3.5%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	230 48.4%	176 37.1%	30 6.3%	17 3.6%	20 4.2%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	45 51.7%	30 34.5%	6 6.9%	4 4.6%	2 2.3%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	52 50.5%	32 31.1%	7 6.8%	8 7.8%	3 2.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	19 55.9%	8 23.5%	2 5.9%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	151 52.1%	88 30.3%	23 7.9%	10 3.4%	14 4.8%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	18 50.0%	13 36.1%	1 2.8%	2 5.6%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方  
 C. 差別は法律で禁止する必要がある

	そう思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	そう思わない	わからない	無回答	合計	
全体	578 28.9%	542 27.1%	355 17.7%	261 13.0%	241 12.0%	25 1.2%	2,002 100.0%	
性別	男性	234 27.7%	218 25.8%	158 18.7%	129 15.3%	89 10.5%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	326 29.6%	307 27.8%	186 16.9%	126 11.4%	149 13.5%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	18 32.7%	17 30.9%	11 20.0%	6 10.9%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	73 39.0%	47 25.1%	32 17.1%	16 8.6%	17 9.1%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	123 32.2%	106 27.7%	51 13.4%	41 10.7%	54 14.1%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	137 33.0%	115 27.7%	66 15.9%	49 11.8%	44 10.6%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	97 24.3%	110 27.6%	79 19.8%	56 14.0%	50 12.5%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	84 22.0%	107 28.0%	82 21.5%	61 16.0%	47 12.3%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	46 25.8%	40 22.5%	32 18.0%	32 18.0%	25 14.0%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	18 30.5%	17 28.8%	13 22.0%	6 10.2%	4 6.8%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	443 29.4%	420 27.9%	252 16.7%	189 12.6%	184 12.2%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	8 44.4%	3 16.7%	5 27.8%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	10 43.5%	4 17.4%	3 13.0%	3 13.0%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	18 29.0%	16 25.8%	6 9.7%	10 16.1%	9 14.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	70 23.3%	74 24.7%	68 22.7%	48 16.0%	37 12.3%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	26 29.9%	23 26.4%	20 23.0%	8 9.2%	9 10.3%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	363 31.8%	309 27.1%	181 15.9%	135 11.8%	136 11.9%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	99 20.8%	132 27.8%	98 20.6%	81 17.1%	63 13.3%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	21 24.1%	25 28.7%	22 25.3%	7 8.0%	12 13.8%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	30 29.1%	28 27.2%	19 18.4%	14 13.6%	10 9.7%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	11 32.4%	5 14.7%	4 11.8%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	71 24.5%	66 22.8%	62 21.4%	48 16.6%	38 13.1%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	9 25.0%	12 33.3%	6 16.7%	5 13.9%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない

		そう思う	ばど どちらか という え	ばど どちらか と ない え	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		560 28.0%	645 32.2%	370 18.5%	259 12.9%	138 6.9%	30 1.5%	2,002 100.0%
性別	男性	273 32.3%	250 29.6%	134 15.9%	114 13.5%	53 6.3%	20 2.4%	844 100.0%
	女性	268 24.3%	381 34.5%	225 20.4%	136 12.3%	84 7.6%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	19 34.5%	14 25.5%	11 20.0%	9 16.4%	1 1.8%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	49 26.2%	59 31.6%	44 23.5%	26 13.9%	5 2.7%	4 2.1%	187 100.0%
	16歳	103 27.0%	120 31.4%	67 17.5%	49 12.8%	36 9.4%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	118 28.4%	130 31.3%	76 18.3%	57 13.7%	29 7.0%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	120 30.1%	138 34.6%	60 15.0%	50 12.5%	22 5.5%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	104 27.2%	122 31.9%	70 18.3%	49 12.8%	36 9.4%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	47 26.4%	61 34.3%	41 23.0%	19 10.7%	8 4.5%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	19 32.2%	15 25.4%	12 20.3%	9 15.3%	2 3.4%	2 3.4%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	417 27.7%	496 33.0%	278 18.5%	187 12.4%	106 7.0%	21 1.4%	1,505 100.0%
	家事をしている	8 44.4%	2 11.1%	3 16.7%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	4 17.4%	4 17.4%	3 13.0%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	17 27.4%	13 21.0%	13 21.0%	10 16.1%	6 9.7%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	83 27.7%	106 35.3%	50 16.7%	40 13.3%	18 6.0%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	28 32.2%	20 23.0%	20 23.0%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	318 27.9%	368 32.3%	211 18.5%	147 12.9%	77 6.8%	19 1.7%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	126 26.5%	173 36.4%	88 18.5%	49 10.3%	36 7.6%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	29 33.3%	26 29.9%	14 16.1%	14 16.1%	4 4.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	27 26.2%	35 34.0%	15 14.6%	17 16.5%	7 6.8%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	8 23.5%	6 17.6%	6 17.6%	9 26.5%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	81 27.9%	94 32.4%	54 18.6%	38 13.1%	18 6.2%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	8 22.2%	18 50.0%	4 11.1%	4 11.1%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある

	そう思う	ぱど そちら かう いえ	ぱど そちら かわ ない え	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計	
全体	1,179 58.9%	676 33.8%	52 2.6%	18 0.9%	53 2.6%	24 1.2%	2,002 100.0%	
性別	男性	489 57.9%	270 32.0%	32 3.8%	11 1.3%	25 3.0%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	659 59.7%	386 35.0%	18 1.6%	6 0.5%	27 2.4%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	31 56.4%	20 36.4%	2 3.6%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	115 61.5%	61 32.6%	6 3.2%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	215 56.3%	135 35.3%	11 2.9%	4 1.0%	10 2.6%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	260 62.7%	128 30.8%	13 3.1%	3 0.7%	8 1.9%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	223 55.9%	143 35.8%	12 3.0%	2 0.5%	12 3.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	230 60.2%	126 33.0%	5 1.3%	4 1.0%	16 4.2%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	105 59.0%	63 35.4%	2 1.1%	3 1.7%	3 1.7%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	31 52.5%	20 33.9%	3 5.1%	1 1.7%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	877 58.3%	525 34.9%	39 2.6%	12 0.8%	35 2.3%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	13 72.2%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	11 47.8%	6 26.1%	0 0.0%	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	44 71.0%	11 17.7%	1 1.6%	1 1.6%	2 3.2%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	180 60.0%	100 33.3%	6 2.0%	3 1.0%	9 3.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	48 55.2%	28 32.2%	6 6.9%	1 1.1%	3 3.4%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	682 59.8%	382 33.5%	30 2.6%	8 0.7%	22 1.9%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	267 56.2%	172 36.2%	12 2.5%	3 0.6%	19 4.0%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	45 51.7%	38 43.7%	0 0.0%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	63 61.2%	33 32.0%	3 2.9%	1 1.0%	2 1.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	23 67.6%	7 20.6%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	184 63.4%	86 29.7%	7 2.4%	2 0.7%	7 2.4%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	17 47.2%	17 47.2%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある

		そう思う	ぱど そちら かう いえ	ぱど そちら かわ ない いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		866 43.3%	746 37.3%	153 7.6%	68 3.4%	143 7.1%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	344 40.8%	307 36.4%	77 9.1%	41 4.9%	58 6.9%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	501 45.4%	416 37.7%	69 6.3%	23 2.1%	85 7.7%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	21 38.2%	23 41.8%	7 12.7%	4 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	89 47.6%	71 38.0%	13 7.0%	2 1.1%	9 4.8%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	165 43.2%	144 37.7%	23 6.0%	11 2.9%	32 8.4%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	183 44.1%	154 37.1%	36 8.7%	14 3.4%	25 6.0%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	172 43.1%	142 35.6%	25 6.3%	18 4.5%	35 8.8%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	165 43.2%	137 35.9%	36 9.4%	14 3.7%	28 7.3%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	72 40.4%	72 40.4%	14 7.9%	5 2.8%	12 6.7%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	20 33.9%	26 44.1%	6 10.2%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	649 43.1%	566 37.6%	108 7.2%	49 3.3%	115 7.6%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	12 66.7%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	13 56.5%	4 17.4%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	33 53.2%	17 27.4%	0 0.0%	4 6.5%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	127 42.3%	115 38.3%	26 8.7%	9 3.0%	20 6.7%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	29 33.3%	37 42.5%	13 14.9%	5 5.7%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%	
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	507 44.5%	424 37.2%	76 6.7%	34 3.0%	83 7.3%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	186 39.2%	189 39.8%	45 9.5%	17 3.6%	35 7.4%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	37 42.5%	29 33.3%	6 6.9%	4 4.6%	11 12.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	46 44.7%	39 37.9%	7 6.8%	3 2.9%	6 5.8%	2 1.9%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	17 50.0%	12 35.3%	1 2.9%	0 0.0%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	128 44.1%	105 36.2%	23 7.9%	10 3.4%	19 6.6%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	15 41.7%	15 41.7%	2 5.6%	2 5.6%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている

		そう思う	ばど そちら かう といえ	ばど そちら かわ ない え	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		724 36.2%	666 33.3%	213 10.6%	55 2.7%	319 15.9%	25 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	345 40.9%	263 31.2%	75 8.9%	21 2.5%	123 14.6%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	357 32.4%	383 34.7%	133 12.1%	32 2.9%	190 17.2%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	22 40.0%	20 36.4%	5 9.1%	2 3.6%	6 10.9%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	66 35.3%	62 33.2%	25 13.4%	4 2.1%	27 14.4%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	117 30.6%	129 33.8%	39 10.2%	11 2.9%	80 20.9%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	158 38.1%	130 31.3%	47 11.3%	10 2.4%	66 15.9%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	140 35.1%	142 35.6%	40 10.0%	11 2.8%	59 14.8%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	149 39.0%	129 33.8%	34 8.9%	11 2.9%	57 14.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	70 39.3%	53 29.8%	23 12.9%	6 3.4%	24 13.5%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	24 40.7%	21 35.6%	5 8.5%	2 3.4%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	544 36.1%	498 33.1%	158 10.5%	40 2.7%	247 16.4%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	8 44.4%	2 11.1%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	7 30.4%	2 8.7%	1 4.3%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	21 33.9%	20 32.3%	6 9.7%	2 3.2%	10 16.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	118 39.3%	100 33.3%	32 10.7%	7 2.3%	41 13.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	30 34.5%	29 33.3%	12 13.8%	3 3.4%	12 13.8%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	408 35.8%	367 32.2%	122 10.7%	26 2.3%	200 17.5%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	175 36.8%	163 34.3%	51 10.7%	17 3.6%	67 14.1%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	34 39.1%	32 36.8%	9 10.3%	2 2.3%	10 11.5%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	45 43.7%	36 35.0%	8 7.8%	2 1.9%	11 10.7%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	9 26.5%	15 44.1%	4 11.8%	1 2.9%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	118 40.7%	90 31.0%	30 10.3%	7 2.4%	41 14.1%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	10 27.8%	13 36.1%	5 13.9%	3 8.3%	5 13.9%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ

		そう思う	ぱど そちら かう いえ	ぱど そちら かわ ない いえ	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		699 34.9%	856 42.8%	202 10.1%	64 3.2%	155 7.7%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	292 34.6%	350 41.5%	93 11.0%	31 3.7%	59 7.0%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	386 35.0%	481 43.6%	107 9.7%	28 2.5%	94 8.5%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	21 38.2%	25 45.5%	2 3.6%	5 9.1%	2 3.6%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	61 32.6%	75 40.1%	24 12.8%	9 4.8%	15 8.0%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	127 33.2%	169 44.2%	32 8.4%	15 3.9%	32 8.4%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	138 33.3%	189 45.5%	45 10.8%	10 2.4%	29 7.0%	4 1.0%	415 100.0%
	18歳	130 32.6%	181 45.4%	42 10.5%	11 2.8%	28 7.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	149 39.0%	153 40.1%	35 9.2%	9 2.4%	34 8.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	73 41.0%	63 35.4%	21 11.8%	5 2.8%	14 7.9%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	21 35.6%	26 44.1%	3 5.1%	5 8.5%	3 5.1%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	517 34.4%	666 44.3%	148 9.8%	48 3.2%	107 7.1%	19 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	7 38.9%	9 50.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	10 43.5%	3 13.0%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	23 37.1%	20 32.3%	2 3.2%	2 3.2%	12 19.4%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	116 38.7%	111 37.0%	39 13.0%	5 1.7%	27 9.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	29 33.3%	35 40.2%	7 8.0%	9 10.3%	6 6.9%	1 1.1%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	386 33.9%	503 44.1%	113 9.9%	35 3.1%	86 7.5%	17 1.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	183 38.5%	189 39.8%	50 10.5%	11 2.3%	39 8.2%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	28 32.2%	43 49.4%	11 12.6%	3 3.4%	2 2.3%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	36 35.0%	42 40.8%	13 12.6%	4 3.9%	7 6.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	16 47.1%	2 5.9%	0 0.0%	5 14.7%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	117 40.3%	102 35.2%	32 11.0%	7 2.4%	28 9.7%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	11 30.6%	14 38.9%	8 22.2%	0 0.0%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%	

問3 人権・差別に対する意識・考え方

I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない

		そう思う	ぱど どちらか という え	ぱど どちらか 思わ ない え	そう 思わ ない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		67 3.3%	106 5.3%	502 25.1%	1,188 59.3%	111 5.5%	28 1.4%	2,002 100.0%
性別	男性	45 5.3%	57 6.8%	222 26.3%	444 52.6%	56 6.6%	20 2.4%	844 100.0%
	女性	21 1.9%	41 3.7%	267 24.2%	711 64.5%	55 5.0%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	1 1.8%	8 14.5%	13 23.6%	33 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	10 5.3%	17 9.1%	51 27.3%	98 52.4%	8 4.3%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	12 3.1%	21 5.5%	92 24.1%	229 59.9%	20 5.2%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	21 5.1%	18 4.3%	121 29.2%	229 55.2%	23 5.5%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	11 2.8%	21 5.3%	95 23.8%	246 61.7%	18 4.5%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	11 2.9%	16 4.2%	81 21.2%	240 62.8%	31 8.1%	3 0.8%	382 100.0%
	20歳	1 0.6%	5 2.8%	46 25.8%	114 64.0%	10 5.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	1 1.7%	8 13.6%	16 27.1%	32 54.2%	1 1.7%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	53 3.5%	82 5.4%	389 25.8%	880 58.5%	81 5.4%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	0 0.0%	1 5.6%	4 22.2%	12 66.7%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	0 0.0%	4 17.4%	13 56.5%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	1 1.6%	0 0.0%	16 25.8%	32 51.6%	9 14.5%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	8 2.7%	14 4.7%	62 20.7%	200 66.7%	14 4.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	4 4.6%	8 9.2%	24 27.6%	48 55.2%	2 2.3%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	43 3.8%	67 5.9%	291 25.5%	658 57.7%	63 5.5%	18 1.6%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	13 2.7%	19 4.0%	110 23.2%	304 64.0%	26 5.5%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	1 1.1%	2 2.3%	24 27.6%	58 66.7%	2 2.3%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	4 3.9%	8 7.8%	26 25.2%	60 58.3%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	1 2.9%	12 35.3%	16 47.1%	3 8.8%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	7 2.4%	12 4.1%	59 20.3%	189 65.2%	19 6.6%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	2 5.6%	1 2.8%	7 19.4%	25 69.4%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	



問3 人権・差別に対する意識・考え方

J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する

		そう思う	ぼど どちらか という	ぼど どちらか とない	そう 思わない	わ から ない	無 回 答	合 計
全体		594 29.7%	569 28.4%	360 18.0%	306 15.3%	150 7.5%	23 1.1%	2,002 100.0%
性別	男性	282 33.4%	216 25.6%	125 14.8%	144 17.1%	60 7.1%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	296 26.8%	339 30.7%	225 20.4%	151 13.7%	86 7.8%	6 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	16 29.1%	14 25.5%	10 18.2%	11 20.0%	4 7.3%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	70 37.4%	54 28.9%	24 12.8%	28 15.0%	8 4.3%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	124 32.5%	119 31.2%	63 16.5%	34 8.9%	35 9.2%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	120 28.9%	128 30.8%	72 17.3%	57 13.7%	35 8.4%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	109 27.3%	122 30.6%	73 18.3%	66 16.5%	23 5.8%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	106 27.7%	82 21.5%	81 21.2%	77 20.2%	34 8.9%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	50 28.1%	47 26.4%	38 21.3%	32 18.0%	10 5.6%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	15 25.4%	17 28.8%	9 15.3%	12 20.3%	5 8.5%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	446 29.6%	458 30.4%	253 16.8%	219 14.6%	113 7.5%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	5 27.8%	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	5 21.7%	5 21.7%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	24 38.7%	13 21.0%	7 11.3%	11 17.7%	4 6.5%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	84 28.0%	67 22.3%	73 24.3%	53 17.7%	21 7.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	25 28.7%	20 23.0%	18 20.7%	14 16.1%	8 9.2%	2 2.3%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	345 30.3%	352 30.9%	189 16.6%	150 13.2%	89 7.8%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	125 26.3%	123 25.9%	104 21.9%	88 18.5%	33 6.9%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	31 35.6%	24 27.6%	13 14.9%	15 17.2%	4 4.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	29 28.2%	26 25.2%	20 19.4%	19 18.4%	8 7.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	15 44.1%	9 26.5%	4 11.8%	4 11.8%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	83 28.6%	63 21.7%	65 22.4%	52 17.9%	23 7.9%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	12 33.3%	7 19.4%	10 27.8%	6 16.7%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	

問4 いじめの体験の有無  
A. 自分がいじめられたこと

		ある	ない	無回答	合計
全体		773 38.6%	1,214 60.6%	15 0.7%	2,002 100.0%
性別	男性	288 34.1%	549 65.0%	7 0.8%	844 100.0%
	女性	464 42.1%	631 57.2%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	21 38.2%	34 61.8%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	60 32.1%	124 66.3%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	130 34.0%	248 64.9%	4 1.0%	382 100.0%
		17歳	160 38.6%	253 61.0%	2 0.5%
	18歳	149 37.3%	247 61.9%	3 0.8%	399 100.0%
		19歳	168 44.0%	212 55.5%	2 0.5%
	20歳	82 46.1%	96 53.9%	0 0.0%	178 100.0%
		無回答	24 40.7%	34 57.6%	1 1.7%
通学・仕事の状況別	通学している	542 36.0%	949 63.1%	14 0.9%	1,505 100.0%
	家事をしている	11 61.1%	7 38.9%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	12 52.2%	11 47.8%	0 0.0%
	仕事を主にしている	26 41.9%	35 56.5%	1 1.6%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	143 47.7%	157 52.3%	0 0.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	36 41.4%	51 58.6%	0 0.0%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	407 35.7%	723 63.4%	10 0.9%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	190 40.0%	281 59.2%	4 0.8%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	38 43.7%	49 56.3%	0 0.0%
	無回答	50 48.5%	53 51.5%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	15 44.1%	19 55.9%	0 0.0%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	135 46.6%	154 53.1%	1 0.3%	290 100.0%
		契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	18 50.0%	18 50.0%	0 0.0%	36 100.0%

問4 いじめの体験の有無

B. 自分がいじめる側にまわったこと

		ある	ない	無回答	合計
全体		656 32.8%	1,325 66.2%	21 1.0%	2,002 100.0%
性別	男性	274 32.5%	558 66.1%	12 1.4%	844 100.0%
	女性	364 33.0%	730 66.2%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	18 32.7%	37 67.3%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	58 31.0%	124 66.3%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	113 29.6%	265 69.4%	4 1.0%	382 100.0%
		17歳	132 31.8%	279 67.2%	4 1.0%
	18歳	133 33.3%	262 65.7%	4 1.0%	399 100.0%
		19歳	136 35.6%	244 63.9%	2 0.5%
	20歳	66 37.1%	111 62.4%	1 0.6%	178 100.0%
		無回答	18 30.5%	40 67.8%	1 1.7%
通学・仕事の状況別	通学している	464 30.8%	1,024 68.0%	17 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	8 44.4%	10 55.6%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	7 30.4%	15 65.2%	1 4.3%
	仕事を主にしている	21 33.9%	39 62.9%	2 3.2%	62 100.0%
		通学が主で仕事もしている	128 42.7%	172 57.3%	0 0.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	26 29.9%	60 69.0%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	355 31.1%	771 67.6%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	161 33.9%	311 65.5%	3 0.6%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	25 28.7%	62 71.3%	0 0.0%
	無回答	51 49.5%	52 50.5%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	12 35.3%	22 64.7%	0 0.0%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	126 43.4%	163 56.2%	1 0.3%	290 100.0%
		契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	8 22.2%	28 77.8%	0 0.0%	36 100.0%

問4 いじめの体験の有無

C. 誰かがいじめられているのを、見て見ぬふりをしたこと

		ある	ない	無回答	合計
全体		1,146 57.2%	837 41.8%	19 0.9%	2,002 100.0%
性別	男性	478 56.6%	355 42.1%	11 1.3%	844 100.0%
	女性	629 57.0%	466 42.2%	8 0.7%	1,103 100.0%
	無回答	39 70.9%	16 29.1%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	96 51.3%	86 46.0%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	203 53.1%	176 46.1%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	227 54.7%	183 44.1%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	240 60.2%	156 39.1%	3 0.8%	399 100.0%
	19歳	230 60.2%	151 39.5%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	111 62.4%	66 37.1%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	39 66.1%	19 32.2%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	827 55.0%	662 44.0%	16 1.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	13 72.2%	5 27.8%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	12 52.2%	10 43.5%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	35 56.5%	26 41.9%	1 1.6%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	197 65.7%	103 34.3%	0 0.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	58 66.7%	28 32.2%	1 1.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	613 53.8%	513 45.0%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	288 60.6%	185 38.9%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	56 64.4%	31 35.6%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	67 65.0%	36 35.0%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	22 64.7%	12 35.3%	0 0.0%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	187 64.5%	102 35.2%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	23 63.9%	13 36.1%	0 0.0%	36 100.0%	

問5 いじめを人権侵害だと思うか

		害い だじ めは 人権 侵	害い では めは ない 人権 侵	ない ちが いに いえ	無 回 答	合 計
全体		1,116 55.7%	63 3.1%	813 40.6%	10 0.5%	2,002 100.0%
性別	男性	443 52.5%	41 4.9%	356 42.2%	4 0.5%	844 100.0%
	女性	647 58.7%	19 1.7%	431 39.1%	6 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	26 47.3%	3 5.5%	26 47.3%	0 0.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	111 59.4%	7 3.7%	68 36.4%	1 0.5%	187 100.0%
	16歳	235 61.5%	11 2.9%	133 34.8%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	244 58.8%	11 2.7%	160 38.6%	0 0.0%	415 100.0%
	18歳	202 50.6%	10 2.5%	184 46.1%	3 0.8%	399 100.0%
	19歳	204 53.4%	11 2.9%	165 43.2%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	94 52.8%	9 5.1%	74 41.6%	1 0.6%	178 100.0%
	無回答	26 44.1%	4 6.8%	29 49.2%	0 0.0%	59 100.0%
	通学・ 仕事の 状況別	通学している	857 56.9%	46 3.1%	595 39.5%	7 0.5%
家事をしている		14 77.8%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	18 100.0%
その他		11 47.8%	0 0.0%	12 52.2%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		28 45.2%	4 6.5%	30 48.4%	0 0.0%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		153 51.0%	8 2.7%	136 45.3%	3 1.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが 主で仕事もしている		4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		47 54.0%	5 5.7%	35 40.2%	0 0.0%	87 100.0%
学校 の種 類別		高等学校・高等専門学校	663 58.2%	31 2.7%	439 38.5%	7 0.6%
	大学・短期大学	250 52.6%	14 2.9%	209 44.0%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	42 48.3%	4 4.6%	41 47.1%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	55 53.4%	5 4.9%	42 40.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	14 41.2%	2 5.9%	18 52.9%	0 0.0%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	149 51.4%	10 3.4%	128 44.1%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	22 61.1%	0 0.0%	14 38.9%	0 0.0%	36 100.0%

問6 過去に自分の人権が侵害されたと思った経験の有無

		ある	ない	無回答	合計
全体		453 22.6%	1,442 72.0%	107 5.3%	2,002 100.0%
性別	男性	179 21.2%	619 73.3%	46 5.5%	844 100.0%
	女性	255 23.1%	793 71.9%	55 5.0%	1,103 100.0%
	無回答	19 34.5%	30 54.5%	6 10.9%	55 100.0%
年齢別	15歳	36 19.3%	144 77.0%	7 3.7%	187 100.0%
	16歳	77 20.2%	282 73.8%	23 6.0%	382 100.0%
	17歳	86 20.7%	311 74.9%	18 4.3%	415 100.0%
	18歳	81 20.3%	291 72.9%	27 6.8%	399 100.0%
	19歳	101 26.4%	266 69.6%	15 3.9%	382 100.0%
	20歳	54 30.3%	115 64.6%	9 5.1%	178 100.0%
	無回答	18 30.5%	33 55.9%	8 13.6%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	312 20.7%	1,117 74.2%	76 5.0%
家事をしている		9 50.0%	7 38.9%	2 11.1%	18 100.0%
その他		9 39.1%	11 47.8%	3 13.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		19 30.6%	41 66.1%	2 3.2%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		74 24.7%	213 71.0%	13 4.3%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		27 31.0%	49 56.3%	11 12.6%	87 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	235 20.6%	851 74.6%	54 4.7%
	大学・短期大学	99 20.8%	352 74.1%	24 5.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	27 31.0%	54 62.1%	6 6.9%	87 100.0%
	無回答	25 24.3%	73 70.9%	5 4.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	23 67.6%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	73 25.2%	206 71.0%	11 3.8%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	10 27.8%	23 63.9%	3 8.3%	36 100.0%

問6-1 最も印象に残っている人権侵害の経験の程度

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	合計	
全体		46 10.2%	44 9.7%	64 14.1%	62 13.7%	61 13.5%	45 9.9%	43 9.5%	42 9.3%	6 1.3%	36 7.9%	4 0.9%	453 100.0%	
性別	男性	16 8.9%	19 10.6%	20 11.2%	19 10.6%	26 14.5%	20 11.2%	21 11.7%	20 11.2%	5 2.8%	13 7.3%	0 0.0%	179 100.0%	
	女性	28 11.0%	22 8.6%	37 14.5%	43 16.9%	32 12.5%	24 9.4%	21 8.2%	22 8.6%	1 0.4%	21 8.2%	4 1.6%	255 100.0%	
	無回答	2 10.5%	3 15.8%	7 36.8%	0 0.0%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	19 100.0%	
年齢別	15歳	4 11.1%	4 11.1%	4 11.1%	6 16.7%	3 8.3%	4 11.1%	5 13.9%	2 5.6%	0 0.0%	3 8.3%	1 2.8%	36 100.0%	
	16歳	6 7.8%	10 13.0%	13 16.9%	13 16.9%	4 5.2%	8 10.4%	4 5.2%	8 10.4%	2 2.6%	9 11.7%	0 0.0%	77 100.0%	
	17歳	11 12.8%	6 7.0%	8 9.3%	12 14.0%	12 20.9%	12 14.0%	7 8.1%	9 10.5%	0 0.0%	3 3.5%	0 0.0%	86 100.0%	
	18歳	9 11.1%	7 8.6%	12 14.8%	10 12.3%	16 19.8%	6 7.4%	6 7.4%	7 8.6%	3 3.7%	4 4.9%	1 1.2%	81 100.0%	
	19歳	7 6.9%	9 8.9%	13 12.9%	10 9.9%	10 9.9%	11 10.9%	17 16.8%	14 13.9%	0 0.0%	10 9.9%	0 0.0%	101 100.0%	
	20歳	7 13.0%	5 9.3%	7 13.0%	11 20.4%	7 13.0%	3 5.6%	3 5.6%	2 3.7%	1 1.9%	6 11.1%	2 3.7%	54 100.0%	
	無回答	2 11.1%	3 16.7%	7 38.9%	0 0.0%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%	
	通学・仕事の状況別	通学している	32 10.3%	32 10.3%	37 11.9%	40 12.8%	46 14.7%	38 12.2%	29 9.3%	27 8.7%	5 1.6%	25 8.0%	1 0.3%	312 100.0%
家事をしている		1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	
その他		1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%	
仕事を主にしている		0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	19 100.0%	
通学が主で仕事もしている		10 13.5%	4 5.4%	16 21.6%	18 24.3%	2 2.7%	4 5.4%	9 12.2%	8 10.8%	0 0.0%	3 4.1%	0 0.0%	74 100.0%	
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
無回答		2 7.4%	4 14.8%	7 25.9%	1 3.7%	4 14.8%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 18.5%	1 3.7%	27 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	29 12.3%	20 8.5%	31 13.2%	33 14.0%	34 14.5%	24 10.2%	23 9.8%	19 8.1%	5 2.1%	17 7.2%	0 0.0%	235 100.0%	
	大学・短期大学	10 10.1%	10 10.1%	17 17.2%	17 17.2%	7 7.1%	15 15.2%	7 7.1%	9 9.1%	0 0.0%	6 6.1%	1 1.0%	99 100.0%	
	専門学校、専修学校	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%	0 0.0%	7 25.9%	0 0.0%	5 18.5%	5 18.5%	0 0.0%	4 14.8%	0 0.0%	27 100.0%	
	無回答	2 8.0%	3 12.0%	3 12.0%	8 32.0%	0 0.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100.0%	
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%	
	パート・アルバイトとして働いている	9 12.3%	5 6.8%	13 17.8%	16 21.9%	4 5.5%	4 5.5%	9 12.3%	9 12.3%	0 0.0%	3 4.1%	1 1.4%	73 100.0%	
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%		
	その他の形態で働いている	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
	無回答	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%	

問6-2 経験した人権侵害の内容

		性別に関して	家族や家庭の状況に関して	国籍に関して	容姿に関して	病気に関して	障害に関して	住んでいる地域に関して	学力や運動能力に関して	わからない	その他	無回答	合計	
全体		21 4.6%	17 3.8%	3 0.7%	139 30.7%	13 2.9%	15 3.3%	3 0.7%	69 15.2%	91 20.1%	77 17.0%	5 1.1%	453 100.0%	
性別	男性	3 1.7%	5 2.8%	1 0.6%	61 34.1%	5 2.8%	5 2.8%	1 0.6%	34 19.0%	37 20.7%	26 14.5%	1 0.6%	179 100.0%	
	女性	18 7.1%	11 4.3%	2 0.8%	74 29.0%	7 2.7%	10 3.9%	2 0.8%	30 11.8%	50 19.6%	47 18.4%	4 1.6%	255 100.0%	
	無回答	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	4 21.1%	4 21.1%	0 0.0%	19 100.0%	
年齢別	15歳	0 0.0%	2 5.6%	1 2.8%	8 22.2%	1 2.8%	4 11.1%	0 0.0%	5 13.9%	7 19.4%	6 16.7%	2 5.6%	36 100.0%	
	16歳	0 0.0%	3 3.9%	0 0.0%	26 33.8%	3 3.9%	3 3.9%	0 0.0%	8 10.4%	16 20.8%	18 23.4%	0 0.0%	77 100.0%	
	17歳	5 5.8%	2 2.3%	1 1.2%	24 27.9%	3 3.5%	1 1.2%	1 1.2%	10 11.6%	26 30.2%	13 15.1%	0 0.0%	86 100.0%	
	18歳	3 3.7%	3 3.7%	0 0.0%	29 35.8%	5 6.2%	2 2.5%	0 0.0%	11 13.6%	14 17.3%	13 16.0%	1 1.2%	81 100.0%	
	19歳	10 9.9%	3 3.0%	1 1.0%	28 27.7%	0 0.0%	3 3.0%	1 1.0%	18 17.8%	19 18.8%	18 17.8%	0 0.0%	101 100.0%	
	20歳	3 5.6%	3 5.6%	0 0.0%	20 37.0%	0 0.0%	2 3.7%	1 1.9%	12 22.2%	5 9.3%	6 11.1%	2 3.7%	54 100.0%	
	無回答	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%	
	通学・仕事の状況別	通学している	12 3.8%	9 2.9%	3 1.0%	93 29.8%	12 3.8%	11 3.5%	1 0.3%	45 14.4%	72 23.1%	52 16.7%	2 0.6%	312 100.0%
家事をしている		0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%	
その他		1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	
仕事を主にしている		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	6 31.6%	1 5.3%	19 100.0%	
通学が主で仕事もしている		7 9.5%	2 2.7%	0 0.0%	29 39.2%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	11 14.9%	9 12.2%	13 17.6%	1 1.4%	74 100.0%	
家事が主で仕事もしている		1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
無回答		0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%	4 14.8%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	6 22.2%	6 22.2%	5 18.5%	1 3.7%	27 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	7 3.0%	7 3.0%	2 0.9%	71 30.2%	9 3.8%	9 3.8%	1 0.4%	28 11.9%	59 25.1%	41 17.4%	1 0.4%	235 100.0%	
	大学・短期大学	10 10.1%	2 2.0%	0 0.0%	29 29.3%	2 2.0%	2 2.0%	1 1.0%	20 20.2%	16 16.2%	16 16.2%	1 1.0%	99 100.0%	
	専門学校、専修学校	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	11 40.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	4 14.8%	5 18.5%	1 3.7%	27 100.0%	
	無回答	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	11 44.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	6 24.0%	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%	25 100.0%	
	正規の社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%	
パート・アルバイトとして働いている	5 6.8%	2 2.7%	0 0.0%	29 39.7%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.7%	9 12.3%	8 11.0%	16 21.9%	1 1.4%	73 100.0%		
契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%		
その他の形態で働いている	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%		
無回答	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	10 100.0%		



問6-3 過去に人権を侵害されたとき、どのように対応したか

		相手に直接抗議	相手に対抗措置	相談した	無視した	黙って我慢した	逃げた	その他	無回答	合計
全体		53 11.7%	21 4.6%	101 22.3%	105 23.2%	154 34.0%	7 1.5%	9 2.0%	3 0.7%	453 100.0%
性別	男性	23 12.8%	18 10.1%	34 19.0%	40 22.3%	58 32.4%	2 1.1%	4 2.2%	0 0.0%	179 100.0%
	女性	28 11.0%	3 1.2%	64 25.1%	56 22.0%	92 36.1%	4 1.6%	5 2.0%	3 1.2%	255 100.0%
	無回答	2 10.5%	0 0.0%	3 15.8%	9 47.4%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%
年齢別	15歳	4 11.1%	4 11.1%	8 22.2%	10 27.8%	8 22.2%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
	16歳	13 16.9%	1 1.3%	21 27.3%	19 24.7%	19 24.7%	3 3.9%	1 1.3%	0 0.0%	77 100.0%
	17歳	8 9.3%	3 3.5%	21 24.4%	19 22.1%	30 34.9%	1 1.2%	3 3.5%	1 1.2%	86 100.0%
	18歳	5 6.2%	5 6.2%	20 24.7%	14 17.3%	34 42.0%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	81 100.0%
	19歳	15 14.9%	4 4.0%	19 18.8%	21 20.8%	39 38.6%	1 1.0%	2 2.0%	0 0.0%	101 100.0%
	20歳	6 11.1%	4 7.4%	9 16.7%	13 24.1%	20 37.0%	0 0.0%	2 3.7%	0 0.0%	54 100.0%
	無回答	2 11.1%	0 0.0%	3 16.7%	9 50.0%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	32 10.3%	19 6.1%	71 22.8%	74 23.7%	105 33.7%	4 1.3%	5 1.6%	2 0.6%
家事をしている		0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
その他		3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
仕事を主にしている		5 26.3%	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	7 36.8%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	19 100.0%
通学が主で仕事もしている		9 12.2%	1 1.4%	20 27.0%	15 20.3%	26 35.1%	0 0.0%	3 4.1%	0 0.0%	74 100.0%
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
無回答		4 14.8%	0 0.0%	6 22.2%	9 33.3%	6 22.2%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	27 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	29 12.3%	15 6.4%	57 24.3%	56 23.8%	70 29.8%	4 1.7%	3 1.3%	1 0.4%
	大学・短期大学	10 10.1%	3 3.0%	24 24.2%	20 20.2%	39 39.4%	0 0.0%	2 2.0%	1 1.0%	99 100.0%
	専門学校、専修学校	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%	8 29.6%	13 48.1%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	27 100.0%
	無回答	1 4.0%	1 4.0%	8 32.0%	5 20.0%	9 36.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100.0%
	働き方別	正規の社員として働いている	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
パート・アルバイトとして働いている		11 15.1%	1 1.4%	17 23.3%	11 15.1%	29 39.7%	0 0.0%	4 5.5%	0 0.0%	73 100.0%
契約社員・派遣社員として働いている		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
その他の形態で働いている		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答		1 10.0%	0 0.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%

問6-4 過去に人権を侵害された経験がある人が相談した相手（複数回答）

		家族・親戚	友人や身近な人	学校の先生	法務局	警察	教育機関	話の良いのちの電	スクールカウンセ	市町村や県の相	その他	有効回答数
全体		73 72.3%	44 43.6%	60 59.4%	2 2.0%	2 2.0%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.0%	3 3.0%	3 3.0%	101 100.0%
性別	男性	22 64.7%	10 29.4%	21 61.8%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.9%	0 0.0%	34 100.0%
	女性	48 75.0%	32 50.0%	37 57.8%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.7%	0 0.0%	2 3.1%	64 100.0%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
年齢別	15歳	6 75.0%	2 25.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
	16歳	14 66.7%	7 33.3%	13 61.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
	17歳	14 66.7%	9 42.9%	14 66.7%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
	18歳	17 85.0%	10 50.0%	9 45.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	20 100.0%
	19歳	12 63.2%	11 57.9%	10 52.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	19 100.0%
	20歳	7 77.8%	3 33.3%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	51 71.8%	27 38.0%	43 60.6%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.6%	2 2.8%	2 2.8%
家事をしている		2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
その他		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
仕事を主にしている		2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
通学が主で仕事もしている		13 65.0%	11 55.0%	10 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
家事が主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
無回答		5 83.3%	5 83.3%	5 83.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	6 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	40 70.2%	22 38.6%	36 63.2%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.0%	2 3.5%	1 1.8%	57 100.0%
	大学・短期大学	15 62.5%	10 41.7%	11 45.8%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	24 100.0%
	専門学校、専修学校	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	無回答	7 87.5%	6 75.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	11 64.7%	11 64.7%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
	その他の形態で働いている	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
	無回答	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%

問6-5 過去に人権を侵害された経験がある人が特に対応をしなかった理由

		我慢できる程度のことだった	今までの人間関係をこわしたくなかった	抗議できるような相手ではなかった	人にいえるようなことではなかった	相談した方がいいかわからなかった	相談すると、プライバイシーが守られないと思っただけ	役に立たなかった	過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり	その他	無回答	合計
全体		85 32.0%	30 11.3%	36 13.5%	16 6.0%	25 9.4%	6 2.3%	20 7.5%	45 16.9%	3 1.1%	266 100.0%	
性別	男性	29 29.0%	13 13.0%	13 13.0%	5 5.0%	12 12.0%	2 2.0%	7 7.0%	17 17.0%	2 2.0%	100 100.0%	
	女性	51 33.6%	14 9.2%	21 13.8%	9 5.9%	13 8.6%	4 2.6%	12 7.9%	27 17.8%	1 0.7%	152 100.0%	
	無回答	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	
年齢別	15歳	8 42.1%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	19 100.0%	
	16歳	7 17.1%	7 17.1%	6 14.6%	2 4.9%	5 12.2%	3 7.3%	2 4.9%	8 19.5%	1 2.4%	41 100.0%	
	17歳	17 34.0%	6 12.0%	5 10.0%	3 6.0%	4 8.0%	0 0.0%	3 6.0%	11 22.0%	1 2.0%	50 100.0%	
	18歳	18 36.7%	3 6.1%	12 24.5%	3 6.1%	2 4.1%	0 0.0%	4 8.2%	7 14.3%	0 0.0%	49 100.0%	
	19歳	20 32.8%	5 8.2%	6 9.8%	4 6.6%	10 16.4%	1 1.6%	5 8.2%	9 14.8%	1 1.6%	61 100.0%	
	20歳	10 30.3%	3 9.1%	5 15.2%	2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%	4 12.1%	6 18.2%	0 0.0%	33 100.0%	
	無回答	5 38.5%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%	
	通学・仕事の状況別	通学している	54 29.5%	23 12.6%	23 12.6%	8 4.4%	20 10.9%	4 2.2%	17 9.3%	33 18.0%	1 0.5%	183 100.0%
家事をしている		2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	7 100.0%	
その他		1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	
仕事を主にしている		4 40.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%	
通学が主で仕事もしている		19 46.3%	1 2.4%	5 12.2%	4 9.8%	3 7.3%	1 2.4%	1 2.4%	5 12.2%	2 4.9%	41 100.0%	
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
無回答		5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	41 31.5%	19 14.6%	12 9.2%	6 4.6%	13 10.0%	3 2.3%	11 8.5%	23 17.7%	2 1.5%	130 100.0%	
	大学・短期大学	22 37.3%	3 5.1%	11 18.6%	3 5.1%	7 11.9%	1 1.7%	5 8.5%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%	
	専門学校、専修学校	1 4.8%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	3 14.3%	0 0.0%	2 9.5%	8 38.1%	0 0.0%	21 100.0%	
	無回答	9 64.3%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	
働き方別	正規の社員として働いている	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%	
	パート・アルバイトとして働いている	16 40.0%	1 2.5%	6 15.0%	5 12.5%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%	6 15.0%	2 5.0%	40 100.0%	
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	
	その他の形態で働いている	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
	無回答	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	

問7 聞いたことがある人権問題に関わるキーワード（複数回答）

	トエン パ ワー メン	性的 マイ ノリ	同 和 地 区	す 児 童 の 権 利 に 関	世 界 人 権 宣 言	バ リ ア フ リ ー	ジ ェ ン ダ ー	ス ク ド メ ス ・ バ ス テ イ オ レ ン	シ ョ ン マ ラ イ ゼ ー	有 効 回 答 数	
全体	165 8.2%	452 22.6%	888 44.4%	1,094 54.6%	1,658 82.8%	1,910 95.4%	1,031 51.5%	1,846 92.2%	981 49.0%	2,002 100.0%	
性別	男性	74 8.8%	189 22.4%	403 47.7%	419 49.6%	678 80.3%	794 94.1%	416 49.3%	774 91.7%	388 46.0%	844 100.0%
	女性	88 8.0%	257 23.3%	461 41.8%	643 58.3%	936 84.9%	1,063 96.4%	583 52.9%	1,022 92.7%	565 51.2%	1,103 100.0%
	無回答	3 5.5%	6 10.9%	24 43.6%	32 58.2%	44 80.0%	53 96.4%	32 58.2%	50 90.9%	28 50.9%	55 100.0%
年齢別	15歳	8 4.3%	22 11.8%	72 38.5%	111 59.4%	163 87.2%	174 93.0%	52 27.8%	161 86.1%	64 34.2%	187 100.0%
	16歳	11 2.9%	56 14.7%	143 37.4%	216 56.5%	318 83.2%	366 95.8%	136 35.6%	338 88.5%	136 35.6%	382 100.0%
	17歳	23 5.5%	69 16.6%	158 38.1%	210 50.6%	333 80.2%	402 96.9%	196 47.2%	386 93.0%	193 46.5%	415 100.0%
	18歳	43 10.8%	101 25.3%	181 45.4%	212 53.1%	337 84.5%	382 95.7%	250 62.7%	375 94.0%	228 57.1%	399 100.0%
	19歳	51 13.4%	134 35.1%	204 53.4%	207 54.2%	319 83.5%	362 94.8%	242 63.4%	365 95.5%	227 59.4%	382 100.0%
	20歳	26 14.6%	64 36.0%	104 58.4%	104 58.4%	144 80.9%	171 96.1%	118 66.3%	170 95.5%	105 59.0%	178 100.0%
	無回答	3 5.1%	6 10.2%	26 44.1%	34 57.6%	44 74.6%	53 89.8%	37 62.7%	51 86.4%	28 47.5%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	109 7.2%	305 20.3%	633 42.1%	832 55.3%	1,264 84.0%	1,440 95.7%	750 49.8%	1,379 91.6%	720 47.8%
家事をしている		3 16.7%	6 33.3%	10 55.6%	6 33.3%	11 61.1%	15 83.3%	4 22.2%	14 77.8%	6 33.3%	18 100.0%
その他		3 13.0%	10 43.5%	8 34.8%	9 39.1%	13 56.5%	19 82.6%	7 30.4%	19 82.6%	9 39.1%	23 100.0%
仕事を主にしている		3 4.8%	12 19.4%	41 66.1%	21 33.9%	39 62.9%	55 88.7%	18 29.0%	58 93.5%	16 25.8%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		41 13.7%	103 34.3%	152 50.7%	177 59.0%	263 87.7%	293 97.7%	204 68.0%	293 97.7%	189 63.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%
無回答		6 6.9%	14 16.1%	39 44.8%	46 52.9%	62 71.3%	81 93.1%	47 54.0%	77 88.5%	39 44.8%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	55 4.8%	181 15.9%	445 39.0%	625 54.8%	958 84.0%	1,090 95.6%	504 44.2%	1,034 90.7%	490 43.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	74 15.6%	175 36.8%	255 53.7%	281 59.2%	409 86.1%	459 96.6%	358 75.4%	458 96.4%	319 67.2%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	10 11.5%	23 26.4%	38 43.7%	43 49.4%	73 83.9%	86 98.9%	32 36.8%	83 95.4%	46 52.9%	87 100.0%
	無回答	11 10.7%	29 28.2%	47 45.6%	60 58.3%	87 84.5%	98 95.1%	60 58.3%	97 94.2%	54 52.4%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	3 8.8%	23 67.6%	9 26.5%	21 61.8%	29 85.3%	9 26.5%	31 91.2%	11 32.4%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	34 11.7%	99 34.1%	146 50.3%	171 59.0%	247 85.2%	282 97.2%	186 64.1%	282 97.2%	172 59.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	3 60.0%	3 60.0%	5 100.0%	2 40.0%	5 100.0%	2 40.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	4 100.0%	3 75.0%	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%
	無回答	7 19.4%	12 33.3%	23 63.9%	16 44.4%	34 94.4%	35 97.2%	23 63.9%	35 97.2%	18 50.0%	36 100.0%

問8 部落差別の認知度

		よく知っている	知らない 言葉はよくは 知ってはい	全く知らない	無回答	合計
全体		826 41.3%	995 49.7%	139 6.9%	42 2.1%	2,002 100.0%
性別	男性	328 38.9%	433 51.3%	69 8.2%	14 1.7%	844 100.0%
	女性	475 43.1%	540 49.0%	66 6.0%	22 2.0%	1,103 100.0%
	無回答	23 41.8%	22 40.0%	4 7.3%	6 10.9%	55 100.0%
年齢別	15歳	63 33.7%	97 51.9%	22 11.8%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	132 34.6%	205 53.7%	37 9.7%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	160 38.6%	216 52.0%	33 8.0%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	180 45.1%	190 47.6%	20 5.0%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	177 46.3%	181 47.4%	19 5.0%	5 1.3%	382 100.0%
	20歳	88 49.4%	84 47.2%	4 2.2%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	26 44.1%	22 37.3%	4 6.8%	7 11.9%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	601 39.9%	768 51.0%	108 7.2%	28 1.9%
家事をしている		5 27.8%	10 55.6%	2 11.1%	1 5.6%	18 100.0%
その他		9 39.1%	10 43.5%	4 17.4%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		34 54.8%	26 41.9%	2 3.2%	0 0.0%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		141 47.0%	143 47.7%	13 4.3%	3 1.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		32 36.8%	37 42.5%	8 9.2%	10 11.5%	87 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	431 37.8%	597 52.4%	95 8.3%	17 1.5%
	大学・短期大学	225 47.4%	222 46.7%	17 3.6%	11 2.3%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	39 44.8%	43 49.4%	4 4.6%	1 1.1%	87 100.0%
	無回答	47 45.6%	49 47.6%	5 4.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	16 47.1%	17 50.0%	0 0.0%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	146 50.3%	128 44.1%	15 5.2%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 36.1%	20 55.6%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%

問8-1 部落差別を知っている人が初めて部落差別のことを知った時期

		小学校入学以前	小学生の頃	中学生の頃	中学校卒業後	無回答	合計
全体		11 0.6%	867 47.6%	770 42.3%	157 8.6%	16 0.9%	1,821 100.0%
性別	男性	6 0.8%	384 50.5%	294 38.6%	66 8.7%	11 1.4%	761 100.0%
	女性	5 0.5%	464 45.7%	452 44.5%	89 8.8%	5 0.5%	1,015 100.0%
	無回答	0 0.0%	19 42.2%	24 53.3%	2 4.4%	0 0.0%	45 100.0%
年齢別	15歳	0 0.0%	74 46.3%	81 50.6%	3 1.9%	2 1.3%	160 100.0%
	16歳	1 0.3%	132 39.2%	188 55.8%	15 4.5%	1 0.3%	337 100.0%
	17歳	2 0.5%	162 43.1%	165 43.9%	42 11.2%	5 1.3%	376 100.0%
	18歳	3 0.8%	183 49.5%	139 37.6%	42 11.4%	3 0.8%	370 100.0%
	19歳	2 0.6%	193 53.9%	125 34.9%	35 9.8%	3 0.8%	358 100.0%
	20歳	2 1.2%	103 59.9%	48 27.9%	18 10.5%	1 0.6%	172 100.0%
	無回答	1 2.1%	20 41.7%	24 50.0%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	4 0.3%	637 46.5%	610 44.6%	108 7.9%	10 0.7%
家事をしている		0 0.0%	6 40.0%	7 46.7%	1 6.7%	1 6.7%	15 100.0%
その他		1 5.3%	9 47.4%	5 26.3%	3 15.8%	1 5.3%	19 100.0%
仕事を主にしている		4 6.7%	30 50.0%	19 31.7%	6 10.0%	1 1.7%	60 100.0%
通学が主で仕事もしている		1 0.4%	151 53.2%	100 35.2%	32 11.3%	0 0.0%	284 100.0%
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
無回答		1 1.4%	30 43.5%	28 40.6%	7 10.1%	3 4.3%	69 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	5 0.5%	451 43.9%	490 47.7%	74 7.2%	8 0.8%
	大学・短期大学	0 0.0%	249 55.7%	149 33.3%	47 10.5%	2 0.4%	447 100.0%
	専門学校、専修学校	0 0.0%	46 56.1%	28 34.1%	8 9.8%	0 0.0%	82 100.0%
	無回答	0 0.0%	42 43.8%	43 44.8%	11 11.5%	0 0.0%	96 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	2 6.1%	13 39.4%	14 42.4%	3 9.1%	1 3.0%	33 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	3 1.1%	148 54.0%	92 33.6%	31 11.3%	0 0.0%	274 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	0 0.0%	18 54.5%	11 33.3%	4 12.1%	0 0.0%	33 100.0%

問8-2 部落差別を知っている人が初めて部落差別のことを教わったきっかけ

		先生から	友人から	両親から	祖父、 祖母、 親戚か	マス メディアか	書籍等 から	イン ター ネッ ト	その他	無 回 答	合 計
全体		1,420 78.0%	38 2.1%	169 9.3%	27 1.5%	52 2.9%	25 1.4%	18 1.0%	46 2.5%	26 1.4%	1,821 100.0%
性別	男性	596 78.3%	18 2.4%	59 7.8%	10 1.3%	26 3.4%	16 2.1%	7 0.9%	16 2.1%	13 1.7%	761 100.0%
	女性	791 77.9%	19 1.9%	105 10.3%	16 1.6%	25 2.5%	8 0.8%	11 1.1%	27 2.7%	13 1.3%	1,015 100.0%
	無回答	33 73.3%	1 2.2%	5 11.1%	1 2.2%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%	3 6.7%	0 0.0%	45 100.0%
年齢別	15歳	130 81.3%	2 1.3%	8 5.0%	3 1.9%	4 2.5%	6 3.8%	0 0.0%	3 1.9%	4 2.5%	160 100.0%
	16歳	251 74.5%	4 1.2%	36 10.7%	3 0.9%	14 4.2%	8 2.4%	6 1.8%	10 3.0%	5 1.5%	337 100.0%
	17歳	306 81.4%	5 1.3%	34 9.0%	6 1.6%	10 2.7%	1 0.3%	2 0.5%	7 1.9%	5 1.3%	376 100.0%
	18歳	286 77.3%	8 2.2%	36 9.7%	7 1.9%	12 3.2%	4 1.1%	5 1.4%	8 2.2%	4 1.1%	370 100.0%
	19歳	284 79.3%	10 2.8%	30 8.4%	6 1.7%	7 2.0%	3 0.8%	3 0.8%	9 2.5%	6 1.7%	358 100.0%
	20歳	129 75.0%	7 4.1%	18 10.5%	0 0.0%	4 2.3%	2 1.2%	2 1.2%	8 4.7%	2 1.2%	172 100.0%
	無回答	34 70.8%	2 4.2%	7 14.6%	2 4.2%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
	通学・ 仕事の 状況別	通学している	1,074 78.5%	23 1.7%	124 9.1%	17 1.2%	43 3.1%	21 1.5%	12 0.9%	36 2.6%	19 1.4%
家事をしている		12 80.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
その他		12 63.2%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	19 100.0%
仕事を主にしている		43 71.7%	5 8.3%	4 6.7%	2 3.3%	2 3.3%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	60 100.0%
通学が主で仕事もしている		225 79.2%	6 2.1%	30 10.6%	4 1.4%	5 1.8%	1 0.4%	3 1.1%	6 2.1%	4 1.4%	284 100.0%
家事が主で仕事もしている		2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
家事・通学以外のことが 主で仕事もしている		2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
無回答		50 72.5%	3 4.3%	8 11.6%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.3%	1 1.4%	69 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	813 79.1%	13 1.3%	90 8.8%	13 1.3%	35 3.4%	18 1.8%	8 0.8%	23 2.2%	15 1.5%	1,028 100.0%
	大学・短期大学	346 77.4%	10 2.2%	49 11.0%	4 0.9%	10 2.2%	4 0.9%	5 1.1%	13 2.9%	6 1.3%	447 100.0%
	専門学校、専修学校	61 74.4%	5 6.1%	9 11.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	5 6.1%	0 0.0%	82 100.0%
	無回答	79 82.3%	1 1.0%	6 6.3%	3 3.1%	3 3.1%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	2 2.1%	96 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	22 66.7%	4 12.1%	2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	1 3.0%	33 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	219 79.9%	6 2.2%	28 10.2%	3 1.1%	5 1.8%	3 1.1%	3 1.1%	3 1.1%	4 1.5%	274 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	24 72.7%	1 3.0%	3 9.1%	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.1%	0 0.0%	33 100.0%

問9 住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親に対する意識

		問題だ と思う	ない問 題が ある とい えは	な問 題だ とは思 わ	わ か ら な い	無 回 答	合 計
全体		486 24.3%	532 26.6%	149 7.4%	682 34.1%	153 7.6%	2,002 100.0%
性別	男性	188 22.3%	228 27.0%	83 9.8%	276 32.7%	69 8.2%	844 100.0%
	女性	284 25.7%	291 26.4%	60 5.4%	394 35.7%	74 6.7%	1,103 100.0%
	無回答	14 25.5%	13 23.6%	6 10.9%	12 21.8%	10 18.2%	55 100.0%
年齢別	15歳	36 19.3%	39 20.9%	11 5.9%	83 44.4%	18 9.6%	187 100.0%
	16歳	77 20.2%	86 22.5%	31 8.1%	160 41.9%	28 7.3%	382 100.0%
	17歳	98 23.6%	96 23.1%	29 7.0%	162 39.0%	30 7.2%	415 100.0%
	18歳	109 27.3%	115 28.8%	25 6.3%	126 31.6%	24 6.0%	399 100.0%
	19歳	103 27.0%	126 33.0%	30 7.9%	95 24.9%	28 7.3%	382 100.0%
	20歳	49 27.5%	57 32.0%	15 8.4%	43 24.2%	14 7.9%	178 100.0%
	無回答	14 23.7%	13 22.0%	8 13.6%	13 22.0%	11 18.6%	59 100.0%
	通学・ 仕事の 状況別	通学している	357 23.7%	387 25.7%	116 7.7%	532 35.3%	113 7.5%
家事をしている		3 16.7%	5 27.8%	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%	18 100.0%
その他		2 8.7%	8 34.8%	1 4.3%	12 52.2%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		23 37.1%	16 25.8%	2 3.2%	18 29.0%	3 4.8%	62 100.0%
通学が主で仕事もしてい る		78 26.0%	91 30.3%	20 6.7%	90 30.0%	21 7.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしてい る		2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが 主で仕事もしている		3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		18 20.7%	24 27.6%	8 9.2%	22 25.3%	15 17.2%	87 100.0%
学校 の種 類別	高等学校・高等専門学校	262 23.0%	266 23.3%	84 7.4%	450 39.5%	78 6.8%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	130 27.4%	159 33.5%	35 7.4%	109 22.9%	42 8.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	17 19.5%	26 29.9%	9 10.3%	29 33.3%	6 6.9%	87 100.0%
	無回答	26 25.2%	27 26.2%	8 7.8%	34 33.0%	8 7.8%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	11 32.4%	11 32.4%	1 2.9%	10 29.4%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	83 28.6%	79 27.2%	17 5.9%	91 31.4%	20 6.9%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	8 22.2%	15 41.7%	3 8.3%	7 19.4%	3 8.3%	36 100.0%



問9-1 住宅購入時に同和地区かどうかを確認しようとする親に対する態度

		指その 摘発の する場 で、差 と別	い が、問 題だ と何 も思 わな い	何 方 も 言 わ な い	い ろ い ろ な 考 え	そ の 他	わ か ら な い	合 計
全体		244 50.2%	130 26.7%	69 14.2%	26 5.3%	17 3.5%	486 100.0%	
性別	男性	95 50.5%	42 22.3%	30 16.0%	14 7.4%	7 3.7%	188 100.0%	
	女性	143 50.4%	82 28.9%	37 13.0%	12 4.2%	10 3.5%	284 100.0%	
	無回答	6 42.9%	6 42.9%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	
年齢別	15歳	23 63.9%	8 22.2%	4 11.1%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	
	16歳	43 55.8%	24 31.2%	6 7.8%	2 2.6%	2 2.6%	77 100.0%	
	17歳	55 56.1%	19 19.4%	13 13.3%	7 7.1%	4 4.1%	98 100.0%	
	18歳	50 45.9%	35 32.1%	16 14.7%	6 5.5%	2 1.8%	109 100.0%	
	19歳	45 43.7%	21 20.4%	23 22.3%	8 7.8%	6 5.8%	103 100.0%	
	20歳	22 44.9%	17 34.7%	5 10.2%	2 4.1%	3 6.1%	49 100.0%	
	無回答	6 42.9%	6 42.9%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	
	通学・仕事の状況別	通学している	180 50.4%	98 27.5%	48 13.4%	21 5.9%	10 2.8%	357 100.0%
家事をしている		2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
その他		1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
仕事を主にしている		14 60.9%	3 13.0%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%	
通学が主で仕事もしている		37 47.4%	19 24.4%	13 16.7%	3 3.8%	6 7.7%	78 100.0%	
家事が主で仕事もしている		1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
無回答		7 38.9%	7 38.9%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	147 56.1%	65 24.8%	31 11.8%	13 5.0%	6 2.3%	262 100.0%	
	大学・短期大学	54 41.5%	42 32.3%	22 16.9%	8 6.2%	4 3.1%	130 100.0%	
	専門学校、専修学校	6 35.3%	3 17.6%	3 17.6%	1 5.9%	4 23.5%	17 100.0%	
	無回答	10 38.5%	7 26.9%	5 19.2%	2 7.7%	2 7.7%	26 100.0%	
働き方別	正規の社員として働いている	4 36.4%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%	
	パート・アルバイトとして働いている	46 55.4%	17 20.5%	13 15.7%	2 2.4%	5 6.0%	83 100.0%	
	契約社員・派遣社員として働いている	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%	
	その他の形態で働いている	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	
	無回答	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%	

問10 本人の責任ではないことを理由に結婚を反対されることに対する意識

	を尊重する	当然のことである見	うが、従わなければならないと思	おかしなことだと思	うが、従わなければならないと思	らしいか考えをなく	その他	わからない	無回答	合計
全体	92 4.6%	191 9.5%	1,264 63.1%	131 6.5%	293 14.6%	31 1.5%	2,002 100.0%			
性別	男性	51 6.0%	79 9.4%	506 60.0%	55 6.5%	138 16.4%	15 1.8%	844 100.0%		
	女性	37 3.4%	103 9.3%	727 65.9%	72 6.5%	150 13.6%	14 1.3%	1,103 100.0%		
	無回答	4 7.3%	9 16.4%	31 56.4%	4 7.3%	5 9.1%	2 3.6%	55 100.0%		
年齢別	15歳	9 4.8%	16 8.6%	122 65.2%	5 2.7%	29 15.5%	6 3.2%	187 100.0%		
	16歳	22 5.8%	39 10.2%	222 58.1%	24 6.3%	70 18.3%	5 1.3%	382 100.0%		
	17歳	11 2.7%	30 7.2%	266 64.1%	26 6.3%	75 18.1%	7 1.7%	415 100.0%		
	18歳	18 4.5%	42 10.5%	261 65.4%	30 7.5%	44 11.0%	4 1.0%	399 100.0%		
	19歳	17 4.5%	37 9.7%	240 62.8%	34 8.9%	49 12.8%	5 1.3%	382 100.0%		
	20歳	10 5.6%	18 10.1%	118 66.3%	8 4.5%	21 11.8%	3 1.7%	178 100.0%		
	無回答	5 8.5%	9 15.3%	35 59.3%	4 6.8%	5 8.5%	1 1.7%	59 100.0%		
通学・仕事の状況別	通学している	65 4.3%	148 9.8%	940 62.5%	92 6.1%	235 15.6%	25 1.7%	1,505 100.0%		
	家事をしている	1 5.6%	4 22.2%	11 61.1%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%		
	その他	0 0.0%	3 13.0%	13 56.5%	1 4.3%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%		
	仕事を主にしている	3 4.8%	8 12.9%	41 66.1%	5 8.1%	5 8.1%	0 0.0%	62 100.0%		
	通学が主で仕事もしている	15 5.0%	15 5.0%	209 69.7%	27 9.0%	32 10.7%	2 0.7%	300 100.0%		
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%		
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%		
無回答	6 6.9%	12 13.8%	47 54.0%	6 6.9%	13 14.9%	3 3.4%	87 100.0%			
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	52 4.6%	105 9.2%	718 63.0%	64 5.6%	184 16.1%	17 1.5%	1,140 100.0%		
	大学・短期大学	20 4.2%	45 9.5%	300 63.2%	39 8.2%	62 13.1%	9 1.9%	475 100.0%		
	専門学校、専修学校	4 4.6%	8 9.2%	56 64.4%	7 8.0%	12 13.8%	0 0.0%	87 100.0%		
	無回答	4 3.9%	5 4.9%	75 72.8%	9 8.7%	9 8.7%	1 1.0%	103 100.0%		
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	6 17.6%	19 55.9%	3 8.8%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%		
	パート・アルバイトとして働いている	14 4.8%	12 4.1%	206 71.0%	27 9.3%	30 10.3%	1 0.3%	290 100.0%		
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%		
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%		
	無回答	4 11.1%	4 11.1%	22 61.1%	2 5.6%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%		

問11 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識

A. 外国人

		差別だ と思う	ない が い に い え	い 差 別 と は い え な	無 回 答	合 計
全体		1,261 63.0%	631 31.5%	99 4.9%	11 0.5%	2,002 100.0%
性別	男性	494 58.5%	277 32.8%	65 7.7%	8 0.9%	844 100.0%
	女性	739 67.0%	333 30.2%	29 2.6%	2 0.2%	1,103 100.0%
	無回答	28 50.9%	21 38.2%	5 9.1%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	139 74.3%	40 21.4%	6 3.2%	2 1.1%	187 100.0%
	16歳	259 67.8%	108 28.3%	15 3.9%	0 0.0%	382 100.0%
	17歳	276 66.5%	119 28.7%	17 4.1%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	230 57.6%	149 37.3%	20 5.0%	0 0.0%	399 100.0%
	19歳	228 59.7%	131 34.3%	22 5.8%	1 0.3%	382 100.0%
	20歳	98 55.1%	63 35.4%	14 7.9%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	31 52.5%	21 35.6%	5 8.5%	2 3.4%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	956 63.5%	479 31.8%	67 4.5%	3 0.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	13 72.2%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	9 39.1%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	23 100.0%
	仕事を主にしている	37 59.7%	19 30.6%	6 9.7%	0 0.0%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	194 64.7%	90 30.0%	14 4.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	46 52.9%	31 35.6%	6 6.9%	4 4.6%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	757 66.4%	336 29.5%	44 3.9%	3 0.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	267 56.2%	183 38.5%	24 5.1%	1 0.2%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	52 59.8%	29 33.3%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	74 71.8%	21 20.4%	7 6.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	20 58.8%	9 26.5%	4 11.8%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	191 65.9%	84 29.0%	14 4.8%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	21 58.3%	13 36.1%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	

問11 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識  
B. 高齢者

		差別だ と思う	ない がいに いえ	い差別 とはい えな	無 回 答	合 計
全体		1,084 54.1%	785 39.2%	122 6.1%	11 0.5%	2,002 100.0%
性別	男性	397 47.0%	368 43.6%	71 8.4%	8 0.9%	844 100.0%
	女性	654 59.3%	398 36.1%	49 4.4%	2 0.2%	1,103 100.0%
	無回答	33 60.0%	19 34.5%	2 3.6%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	111 59.4%	63 33.7%	10 5.3%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	215 56.3%	147 38.5%	20 5.2%	0 0.0%	382 100.0%
		17歳	237 57.1%	147 35.4%	29 7.0%	2 0.5%
	18歳	204 51.1%	175 43.9%	20 5.0%	0 0.0%	399 100.0%
		19歳	203 53.1%	154 40.3%	24 6.3%	1 0.3%
	20歳	79 44.4%	80 44.9%	16 9.0%	3 1.7%	178 100.0%
		無回答	35 59.3%	19 32.2%	3 5.1%	2 3.4%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	822 54.6%	593 39.4%	87 5.8%	3 0.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	11 61.1%	3 16.7%	4 22.2%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	8 34.8%	7 30.4%	6 26.1%	2 8.7%
	仕事を主にしている	35 56.5%	23 37.1%	4 6.5%	0 0.0%	62 100.0%
		通学が主で仕事もしている	152 50.7%	130 43.3%	16 5.3%	2 0.7%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	51 58.6%	28 32.2%	4 4.6%	4 4.6%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	637 55.9%	435 38.2%	65 5.7%	3 0.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	238 50.1%	208 43.8%	28 5.9%	1 0.2%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	40 46.0%	42 48.3%	5 5.7%	0 0.0%
	無回答	59 57.3%	38 36.9%	5 4.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	19 55.9%	12 35.3%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	153 52.8%	120 41.4%	16 5.5%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 36.1%	21 58.3%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%

問11 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識  
 C. 母子・父子家庭

		差別だ と思う	ない が い に い え	い 差 別 と は い え な	無 回 答	合 計
全体		1,523 76.1%	381 19.0%	85 4.2%	13 0.6%	2,002 100.0%
性別	男性	588 69.7%	194 23.0%	53 6.3%	9 1.1%	844 100.0%
	女性	895 81.1%	175 15.9%	31 2.8%	2 0.2%	1,103 100.0%
	無回答	40 72.7%	12 21.8%	1 1.8%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	143 76.5%	35 18.7%	6 3.2%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	294 77.0%	76 19.9%	12 3.1%	0 0.0%	382 100.0%
	17歳	325 78.3%	62 14.9%	26 6.3%	2 0.5%	415 100.0%
	18歳	297 74.4%	85 21.3%	17 4.3%	0 0.0%	399 100.0%
	19歳	294 77.0%	74 19.4%	12 3.1%	2 0.5%	382 100.0%
	20歳	129 72.5%	36 20.2%	10 5.6%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	41 69.5%	13 22.0%	2 3.4%	3 5.1%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	1,144 76.0%	292 19.4%	65 4.3%	4 0.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	16 88.9%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	14 60.9%	2 8.7%	5 21.7%	2 8.7%	23 100.0%
	仕事を主にしている	45 72.6%	13 21.0%	4 6.5%	0 0.0%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	235 78.3%	57 19.0%	6 2.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	64 73.6%	16 18.4%	2 2.3%	5 5.7%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	873 76.6%	216 18.9%	48 4.2%	3 0.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	359 75.6%	98 20.6%	16 3.4%	2 0.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	65 74.7%	19 21.8%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%
	無回答	82 79.6%	16 15.5%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	26 76.5%	5 14.7%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	228 78.6%	54 18.6%	7 2.4%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	24 66.7%	11 30.6%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%

問11 家や部屋を貸すときの貸し主による差別的対応に対する意識  
D. 障害者

		差別だ と思う	ない が い に い え	い 差 別 と は い え な	無 回 答	合 計
全体		1,214 60.6%	682 34.1%	98 4.9%	8 0.4%	2,002 100.0%
性別	男性	476 56.4%	297 35.2%	65 7.7%	6 0.7%	844 100.0%
	女性	703 63.7%	368 33.4%	31 2.8%	1 0.1%	1,103 100.0%
	無回答	35 63.6%	17 30.9%	2 3.6%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	121 64.7%	54 28.9%	9 4.8%	3 1.6%	187 100.0%
	16歳	245 64.1%	120 31.4%	17 4.5%	0 0.0%	382 100.0%
		17歳	269 64.8%	121 29.2%	23 5.5%	2 0.5%
	18歳	225 56.4%	156 39.1%	18 4.5%	0 0.0%	399 100.0%
		19歳	233 61.0%	130 34.0%	18 4.7%	1 0.3%
	20歳	84 47.2%	83 46.6%	10 5.6%	1 0.6%	178 100.0%
		無回答	37 62.7%	18 30.5%	3 5.1%	1 1.7%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	920 61.1%	504 33.5%	78 5.2%	3 0.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	11 61.1%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	15 65.2%	4 17.4%	3 13.0%	1 4.3%
	仕事を主にしている	39 62.9%	19 30.6%	4 6.5%	0 0.0%	62 100.0%
		通学が主で仕事もしている	171 57.0%	122 40.7%	6 2.0%	1 0.3%
	家事が主で仕事もしている	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	53 60.9%	27 31.0%	4 4.6%	3 3.4%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	719 63.1%	361 31.7%	57 5.0%	3 0.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	261 54.9%	194 40.8%	20 4.2%	0 0.0%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	49 56.3%	33 37.9%	5 5.7%	0 0.0%
	無回答	62 60.2%	38 36.9%	2 1.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	20 58.8%	12 35.3%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	172 59.3%	111 38.3%	7 2.4%	0 0.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	15 41.7%	20 55.6%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%

問12 結婚相手に求めるもの（複数回答）

	職業	性格	学歴	収入・財産	身なり・容姿	教養・センス	思想・信条	行動力・実行力	趣味・特技	健康状態	家庭環境	家事能力	有効回答数	
全体	334 16.7%	1,827 91.3%	50 2.5%	571 28.5%	603 30.1%	291 14.5%	362 18.1%	465 23.2%	346 17.3%	443 22.1%	187 9.3%	419 20.9%	2,002 100.0%	
性別	男性	58 6.9%	779 92.3%	15 1.8%	64 7.6%	330 39.1%	141 16.7%	165 19.5%	141 16.7%	169 20.0%	201 23.8%	81 9.6%	316 37.4%	844 100.0%
	女性	271 24.6%	999 90.6%	34 3.1%	497 45.1%	252 22.8%	140 12.7%	192 17.4%	302 27.4%	169 15.3%	229 20.8%	101 9.2%	92 8.3%	1,103 100.0%
	無回答	5 9.1%	49 89.1%	1 1.8%	10 18.2%	21 38.2%	10 18.2%	5 9.1%	22 40.0%	8 14.5%	13 23.6%	5 9.1%	11 20.0%	55 100.0%
年齢別	15歳	32 17.1%	173 92.5%	8 4.3%	52 27.8%	62 33.2%	19 10.2%	28 15.0%	42 22.5%	26 13.9%	37 19.8%	20 10.7%	49 26.2%	187 100.0%
	16歳	76 19.9%	346 90.6%	10 2.6%	112 29.3%	129 33.8%	46 12.0%	61 16.0%	80 20.9%	71 18.6%	83 21.7%	33 8.6%	80 20.9%	382 100.0%
	17歳	64 15.4%	375 90.4%	9 2.2%	117 28.2%	142 34.2%	53 12.8%	90 21.7%	97 23.4%	70 16.9%	82 19.8%	38 9.2%	86 20.7%	415 100.0%
	18歳	64 16.0%	372 93.2%	7 1.8%	108 27.1%	109 27.3%	72 18.0%	81 20.3%	86 21.6%	76 19.0%	88 22.1%	33 8.3%	85 21.3%	399 100.0%
	19歳	61 16.0%	353 92.4%	7 1.8%	117 30.6%	98 25.7%	68 17.8%	64 16.8%	87 22.8%	63 16.5%	97 25.4%	35 9.2%	74 19.4%	382 100.0%
	20歳	30 16.9%	156 87.6%	8 4.5%	55 30.9%	44 24.7%	23 12.9%	33 18.5%	49 27.5%	32 18.0%	40 22.5%	22 12.4%	33 18.5%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	52 88.1%	1 1.7%	10 16.9%	19 32.2%	10 16.9%	5 8.5%	24 40.7%	8 13.6%	16 27.1%	6 10.2%	12 20.3%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	256 17.0%	1,371 91.1%	43 2.9%	425 28.2%	465 30.9%	222 14.8%	281 18.7%	330 21.9%	261 17.3%	329 21.9%	141 9.4%	316 21.0%
家事をしている		4 22.2%	17 94.4%	1 5.6%	7 38.9%	1 5.6%	4 22.2%	5 27.8%	4 22.2%	2 11.1%	4 22.2%	1 5.6%	4 22.2%	18 100.0%
その他		4 17.4%	20 87.0%	0 0.0%	7 30.4%	10 43.5%	4 17.4%	3 13.0%	3 13.0%	3 13.0%	7 30.4%	3 13.0%	4 17.4%	23 100.0%
仕事を主にしている		11 17.7%	58 93.5%	0 0.0%	15 24.2%	16 25.8%	2 3.2%	11 17.7%	15 24.2%	13 21.0%	19 30.6%	6 9.7%	15 24.2%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		47 15.7%	277 92.3%	3 1.0%	103 34.3%	81 27.0%	45 15.0%	50 16.7%	82 27.3%	49 16.3%	63 21.0%	25 8.3%	60 20.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	4 100.0%
無回答		11 12.6%	77 88.5%	3 3.4%	12 13.8%	26 29.9%	14 16.1%	11 12.6%	31 35.6%	17 19.5%	20 23.0%	10 11.5%	18 20.7%	87 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	187 16.4%	1,037 91.0%	32 2.8%	326 28.6%	376 33.0%	151 13.2%	206 18.1%	253 22.2%	197 17.3%	239 21.0%	99 8.7%	260 22.8%
	大学・短期大学	88 18.5%	433 91.2%	13 2.7%	144 30.3%	113 23.8%	94 19.8%	90 18.9%	111 23.4%	83 17.5%	113 23.8%	53 11.2%	70 14.7%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	16 18.4%	80 92.0%	0 0.0%	29 33.3%	27 31.0%	10 11.5%	12 13.8%	22 25.3%	12 13.8%	24 27.6%	4 4.6%	22 25.3%	87 100.0%
	無回答	12 11.7%	98 95.1%	1 1.0%	29 28.2%	30 29.1%	12 11.7%	23 22.3%	26 25.2%	18 17.5%	16 15.5%	10 9.7%	24 23.3%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	6 17.6%	30 88.2%	0 0.0%	7 20.6%	14 41.2%	0 0.0%	6 17.6%	7 20.6%	5 14.7%	12 35.3%	3 8.8%	9 26.5%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	44 15.2%	273 94.1%	2 0.7%	99 34.1%	74 25.5%	44 15.2%	49 16.9%	79 27.2%	48 16.6%	60 20.7%	25 8.6%	59 20.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	4 100.0%
	無回答	7 19.4%	32 88.9%	1 2.8%	14 38.9%	11 30.6%	3 8.3%	5 13.9%	7 19.4%	8 22.2%	8 22.2%	4 11.1%	4 11.1%	36 100.0%

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度

A. 同和地区出身者

		問題にしない	は迷うので られない人 いで	考え直す	無回答	合計
全体		1,237 61.8%	589 29.4%	134 6.7%	42 2.1%	2,002 100.0%
性別	男性	560 66.4%	211 25.0%	53 6.3%	20 2.4%	844 100.0%
	女性	648 58.7%	361 32.7%	74 6.7%	20 1.8%	1,103 100.0%
	無回答	29 52.7%	17 30.9%	7 12.7%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	120 64.2%	49 26.2%	10 5.3%	8 4.3%	187 100.0%
	16歳	229 59.9%	124 32.5%	23 6.0%	6 1.6%	382 100.0%
	17歳	255 61.4%	127 30.6%	28 6.7%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	248 62.2%	110 27.6%	33 8.3%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	246 64.4%	110 28.8%	16 4.2%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	109 61.2%	51 28.7%	15 8.4%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	30 50.8%	18 30.5%	9 15.3%	2 3.4%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	925 61.5%	445 29.6%	104 6.9%	31 2.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	12 66.7%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	15 65.2%	6 26.1%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	38 61.3%	16 25.8%	5 8.1%	3 4.8%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	199 66.3%	84 28.0%	13 4.3%	4 1.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	45 51.7%	30 34.5%	9 10.3%	3 3.4%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	699 61.3%	343 30.1%	76 6.7%	22 1.9%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	296 62.3%	140 29.5%	30 6.3%	9 1.9%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	58 66.7%	20 23.0%	7 8.0%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	71 68.9%	26 25.2%	4 3.9%	2 1.9%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	16 47.1%	13 38.2%	2 5.9%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	197 67.9%	75 25.9%	13 4.5%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	23 63.9%	11 30.6%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	



問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
 B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人

		問題にしない	は迷うので れーな人で	考え直す	無回答	合計
全体		1,109 55.4%	532 26.6%	333 16.6%	28 1.4%	2,002 100.0%
性別	男性	452 53.6%	220 26.1%	156 18.5%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	631 57.2%	298 27.0%	164 14.9%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	26 47.3%	14 25.5%	13 23.6%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	97 51.9%	50 26.7%	34 18.2%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	198 51.8%	112 29.3%	70 18.3%	2 0.5%	382 100.0%
		17歳	241 58.1%	102 24.6%	70 16.9%	2 0.5%
	18歳	227 56.9%	104 26.1%	61 15.3%	7 1.8%	399 100.0%
		19歳	233 61.0%	95 24.9%	49 12.8%	5 1.3%
	20歳	87 48.9%	52 29.2%	35 19.7%	4 2.2%	178 100.0%
		無回答	26 44.1%	17 28.8%	14 23.7%	2 3.4%
	通学・仕事の状況別	通学している	825 54.8%	401 26.6%	258 17.1%	21 1.4%
家事をしている		12 66.7%	3 16.7%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	13 56.5%	6 26.1%	3 13.0%	1 4.3%
仕事を主にしている		33 53.2%	17 27.4%	10 16.1%	2 3.2%	62 100.0%
		通学が主で仕事もしている	183 61.0%	76 25.3%	40 13.3%	1 0.3%
家事が主で仕事もしている		1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		39 44.8%	27 31.0%	18 20.7%	3 3.4%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	608 53.3%	317 27.8%	201 17.6%	14 1.2%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	285 60.0%	112 23.6%	73 15.4%	5 1.1%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	48 55.2%	26 29.9%	11 12.6%	2 2.3%
	無回答	67 65.0%	22 21.4%	13 12.6%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	15 44.1%	11 32.4%	6 17.6%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	185 63.8%	68 23.4%	36 12.4%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	15 41.7%	13 36.1%	8 22.2%	0 0.0%	36 100.0%

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
 C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人

		問題にしない	は迷うので 一々 ないで	考え直す	無回答	合計
全体		1,154 57.6%	551 27.5%	268 13.4%	29 1.4%	2,002 100.0%
性別	男性	470 55.7%	244 28.9%	113 13.4%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	656 59.5%	292 26.5%	145 13.1%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	28 50.9%	15 27.3%	10 18.2%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	101 54.0%	50 26.7%	30 16.0%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	195 51.0%	126 33.0%	58 15.2%	3 0.8%	382 100.0%
		251 60.5%	112 27.0%	49 11.8%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	245 61.4%	98 24.6%	50 12.5%	6 1.5%	399 100.0%
		241 63.1%	96 25.1%	40 10.5%	5 1.3%	382 100.0%
	20歳	89 50.0%	54 30.3%	31 17.4%	4 2.2%	178 100.0%
		32 54.2%	15 25.4%	10 16.9%	2 3.4%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	850 56.5%	427 28.4%	206 13.7%	22 1.5%	1,505 100.0%
	家事をしている	14 77.8%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
		12 52.2%	6 26.1%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	37 59.7%	15 24.2%	8 12.9%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	195 65.0%	70 23.3%	34 11.3%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	42 48.3%	28 32.2%	14 16.1%	3 3.4%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	632 55.4%	333 29.2%	160 14.0%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	296 62.3%	114 24.0%	60 12.6%	5 1.1%	475 100.0%
		48 55.2%	25 28.7%	12 13.8%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	69 67.0%	25 24.3%	8 7.8%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	16 47.1%	11 32.4%	5 14.7%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	195 67.2%	62 21.4%	32 11.0%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	18 50.0%	12 33.3%	6 16.7%	0 0.0%	36 100.0%

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
D. 車椅子が必要な人

		問題にしない	は迷うので られない人 いで	考え直す	無回答	合計
全体		953 47.6%	701 35.0%	316 15.8%	32 1.6%	2,002 100.0%
性別	男性	417 49.4%	283 33.5%	127 15.0%	17 2.0%	844 100.0%
	女性	511 46.3%	401 36.4%	178 16.1%	13 1.2%	1,103 100.0%
	無回答	25 45.5%	17 30.9%	11 20.0%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	87 46.5%	56 29.9%	37 19.8%	7 3.7%	187 100.0%
	16歳	161 42.1%	160 41.9%	59 15.4%	2 0.5%	382 100.0%
	17歳	203 48.9%	143 34.5%	66 15.9%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	202 50.6%	125 31.3%	65 16.3%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	189 49.5%	145 38.0%	43 11.3%	5 1.3%	382 100.0%
	20歳	87 48.9%	52 29.2%	34 19.1%	5 2.8%	178 100.0%
	無回答	24 40.7%	20 33.9%	12 20.3%	3 5.1%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	710 47.2%	531 35.3%	240 15.9%	24 1.6%	1,505 100.0%
	家事をしている	10 55.6%	6 33.3%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	12 52.2%	7 30.4%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	29 46.8%	22 35.5%	9 14.5%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	150 50.0%	104 34.7%	45 15.0%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	38 43.7%	29 33.3%	16 18.4%	4 4.6%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	530 46.5%	398 34.9%	196 17.2%	16 1.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	242 50.9%	171 36.0%	57 12.0%	5 1.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	39 44.8%	31 35.6%	14 16.1%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	49 47.6%	35 34.0%	18 17.5%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	15 44.1%	11 32.4%	6 17.6%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	147 50.7%	100 34.5%	42 14.5%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	17 47.2%	14 38.9%	5 13.9%	0 0.0%	36 100.0%	

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
E. 精神の障害で通院している人

		問題にしない	は迷うので られない人 いで	考え直す	無回答	合計
全体		448 22.4%	812 40.6%	711 35.5%	31 1.5%	2,002 100.0%
性別	男性	219 25.9%	306 36.3%	300 35.5%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	222 20.1%	478 43.3%	393 35.6%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	7 12.7%	28 50.9%	18 32.7%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	35 18.7%	75 40.1%	71 38.0%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	77 20.2%	155 40.6%	147 38.5%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	103 24.8%	169 40.7%	140 33.7%	3 0.7%	415 100.0%
	18歳	100 25.1%	164 41.1%	129 32.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	95 24.9%	148 38.7%	133 34.8%	6 1.6%	382 100.0%
	20歳	31 17.4%	73 41.0%	70 39.3%	4 2.2%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	28 47.5%	21 35.6%	3 5.1%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	331 22.0%	612 40.7%	539 35.8%	23 1.5%	1,505 100.0%
	家事をしている	5 27.8%	7 38.9%	6 33.3%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	8 34.8%	8 34.8%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	21 33.9%	21 33.9%	18 29.0%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	69 23.0%	123 41.0%	107 35.7%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	14 16.1%	37 42.5%	32 36.8%	4 4.6%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	255 22.4%	451 39.6%	419 36.8%	15 1.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	98 20.6%	217 45.7%	154 32.4%	6 1.3%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	22 25.3%	26 29.9%	37 42.5%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	25 24.3%	41 39.8%	36 35.0%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	10 29.4%	13 38.2%	9 26.5%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	71 24.5%	124 42.8%	94 32.4%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	8 22.2%	10 27.8%	18 50.0%	0 0.0%	36 100.0%	

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
 F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人

		問題にしない	は迷うので れーな人で	考え直す	無回答	合計
全体		646 32.3%	841 42.0%	489 24.4%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	336 39.8%	309 36.6%	183 21.7%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	293 26.6%	509 46.1%	292 26.5%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	17 30.9%	23 41.8%	14 25.5%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	58 31.0%	73 39.0%	50 26.7%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	103 27.0%	184 48.2%	93 24.3%	2 0.5%	382 100.0%
	17歳	143 34.5%	159 38.3%	111 26.7%	2 0.5%	415 100.0%
	18歳	146 36.6%	154 38.6%	93 23.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	130 34.0%	165 43.2%	82 21.5%	5 1.3%	382 100.0%
	20歳	49 27.5%	80 44.9%	45 25.3%	4 2.2%	178 100.0%
	無回答	17 28.8%	26 44.1%	15 25.4%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	479 31.8%	628 41.7%	378 25.1%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	5 27.8%	8 44.4%	5 27.8%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	9 39.1%	5 21.7%	8 34.8%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	27 43.5%	22 35.5%	11 17.7%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	98 32.7%	136 45.3%	65 21.7%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	26 29.9%	38 43.7%	21 24.1%	2 2.3%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	367 32.2%	473 41.5%	287 25.2%	13 1.1%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	144 30.3%	210 44.2%	116 24.4%	5 1.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	28 32.2%	39 44.8%	18 20.7%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	38 36.9%	42 40.8%	22 21.4%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	12 35.3%	13 38.2%	7 20.6%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	104 35.9%	126 43.4%	59 20.3%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	8 22.2%	19 52.8%	9 25.0%	0 0.0%	36 100.0%

問13 結婚相手が次のような人であった場合にとる態度  
 G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人

		問題にしない	は迷うので られない人 いで	考え直す	無回答	合計
全体		768 38.4%	707 35.3%	500 25.0%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	386 45.7%	249 29.5%	193 22.9%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	366 33.2%	438 39.7%	290 26.3%	9 0.8%	1,103 100.0%
	無回答	16 29.1%	20 36.4%	17 30.9%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	60 32.1%	63 33.7%	58 31.0%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	140 36.6%	143 37.4%	97 25.4%	2 0.5%	382 100.0%
		17歳	170 41.0%	143 34.5%	101 24.3%	1 0.2%
	18歳	170 42.6%	121 30.3%	102 25.6%	6 1.5%	399 100.0%
		19歳	152 39.8%	139 36.4%	85 22.3%	6 1.6%
	20歳	59 33.1%	75 42.1%	40 22.5%	4 2.2%	178 100.0%
		無回答	17 28.8%	23 39.0%	17 28.8%	2 3.4%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	581 38.6%	527 35.0%	378 25.1%	19 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	7 38.9%	4 22.2%	7 38.9%	0 0.0%	18 100.0%
		その他	8 34.8%	7 30.4%	7 30.4%	1 4.3%
	仕事を主にしている	23 37.1%	24 38.7%	13 21.0%	2 3.2%	62 100.0%
		通学が主で仕事もしている	122 40.7%	109 36.3%	67 22.3%	2 0.7%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	25 28.7%	32 36.8%	27 31.0%	3 3.4%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	452 39.6%	386 33.9%	289 25.4%	13 1.1%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	170 35.8%	189 39.8%	110 23.2%	6 1.3%	475 100.0%
		専門学校、専修学校	38 43.7%	27 31.0%	20 23.0%	2 2.3%
	無回答	43 41.7%	34 33.0%	26 25.2%	0 0.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いている	10 29.4%	13 38.2%	9 26.5%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	118 40.7%	112 38.6%	58 20.0%	2 0.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	14 38.9%	10 27.8%	12 33.3%	0 0.0%	36 100.0%	

問14 自分の考えはどちらの意見に近いか

- I A. いじめはどんな理由であってもいじめる人が悪い  
 B. いじめは、いじめられる側にもそれなりの問題がある

		賛A 成の 意見 に	意いど 見うち にとら 賛Aか 成のと	意いど 見うち にとら 賛Bか 成のと	賛B 成の 意見 に	無回 答	合 計
全体		413 20.6%	669 33.4%	623 31.1%	270 13.5%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	170 20.1%	284 33.6%	259 30.7%	115 13.6%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	233 21.1%	366 33.2%	347 31.5%	147 13.3%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	10 18.2%	19 34.5%	17 30.9%	8 14.5%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	40 21.4%	56 29.9%	58 31.0%	29 15.5%	4 2.1%	187 100.0%
	16歳	73 19.1%	143 37.4%	107 28.0%	56 14.7%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	101 24.3%	133 32.0%	131 31.6%	50 12.0%	0 0.0%	415 100.0%
	18歳	73 18.3%	139 34.8%	129 32.3%	54 13.5%	4 1.0%	399 100.0%
	19歳	86 22.5%	112 29.3%	126 33.0%	52 13.6%	6 1.6%	382 100.0%
	20歳	30 16.9%	68 38.2%	50 28.1%	21 11.8%	9 5.1%	178 100.0%
	無回答	10 16.9%	18 30.5%	22 37.3%	8 13.6%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	317 21.1%	514 34.2%	459 30.5%	196 13.0%	19 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	8 44.4%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	6 26.1%	3 13.0%	8 34.8%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	13 21.0%	15 24.2%	24 38.7%	8 12.9%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしてい る	54 18.0%	97 32.3%	102 34.0%	46 15.3%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしてい る	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	17 19.5%	29 33.3%	25 28.7%	12 13.8%	4 4.6%	87 100.0%	
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	240 21.1%	386 33.9%	358 31.4%	147 12.9%	9 0.8%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	92 19.4%	167 35.2%	150 31.6%	58 12.2%	8 1.7%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	16 18.4%	30 34.5%	20 23.0%	18 20.7%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	23 22.3%	28 27.2%	33 32.0%	19 18.4%	0 0.0%	103 100.0%
働き方 別	正規の社員として働いて いる	7 20.6%	7 20.6%	12 35.3%	6 17.6%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	54 18.6%	93 32.1%	97 33.4%	45 15.5%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	7 19.4%	14 38.9%	12 33.3%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%

問14 自分の考えはどちらの意見に近いか

- Ⅱ A. 障害者施設の建設反対運動は、居住権を守るためなら人権侵害にあたらぬ  
 B. 障害者が地域住民とともに生活するのは当然であり、反対運動は人権侵害である

		賛A 成の 意見 に	意いど 見うち にとら 賛Aか 成のと	意いど 見うち にとら 賛Bか 成のと	賛B 成の 意見 に	無 回 答	合 計
全体		148 7.4%	465 23.2%	814 40.7%	545 27.2%	30 1.5%	2,002 100.0%
性別	男性	85 10.1%	214 25.4%	313 37.1%	213 25.2%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	56 5.1%	239 21.7%	481 43.6%	317 28.7%	10 0.9%	1,103 100.0%
	無回答	7 12.7%	12 21.8%	20 36.4%	15 27.3%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	18 9.6%	40 21.4%	69 36.9%	55 29.4%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	25 6.5%	79 20.7%	163 42.7%	112 29.3%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	37 8.9%	97 23.4%	179 43.1%	101 24.3%	1 0.2%	415 100.0%
	18歳	26 6.5%	116 29.1%	151 37.8%	101 25.3%	5 1.3%	399 100.0%
	19歳	22 5.8%	79 20.7%	154 40.3%	119 31.2%	8 2.1%	382 100.0%
	20歳	13 7.3%	41 23.0%	75 42.1%	42 23.6%	7 3.9%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	13 22.0%	23 39.0%	15 25.4%	1 1.7%	59 100.0%
	通学・ 仕事の 状況別	通学している	106 7.0%	354 23.5%	617 41.0%	406 27.0%	22 1.5%
家事をしている		0 0.0%	7 38.9%	5 27.8%	6 33.3%	0 0.0%	18 100.0%
その他		0 0.0%	7 30.4%	11 47.8%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
仕事を主にしている		4 6.5%	11 17.7%	22 35.5%	23 37.1%	2 3.2%	62 100.0%
通学が主で仕事もしてい る		26 8.7%	67 22.3%	123 41.0%	82 27.3%	2 0.7%	300 100.0%
家事が主で仕事もしてい る		0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが 主で仕事もしている		0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		12 13.8%	18 20.7%	33 37.9%	21 24.1%	3 3.4%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	83 7.3%	254 22.3%	480 42.1%	312 27.4%	11 1.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	32 6.7%	118 24.8%	187 39.4%	127 26.7%	11 2.3%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	5 5.7%	20 23.0%	31 35.6%	29 33.3%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	12 11.7%	29 28.2%	42 40.8%	20 19.4%	0 0.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	2 5.9%	4 11.8%	16 47.1%	10 29.4%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	24 8.3%	62 21.4%	119 41.0%	83 28.6%	2 0.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	4 11.1%	11 30.6%	9 25.0%	12 33.3%	0 0.0%	36 100.0%



問14 自分の考えはどちらの意見に近いか

Ⅲ A. 日本に住む外国人が母国の文化や慣習を大切にして生きることは尊重されるべきだ

B. 日本に住む外国人はできるだけ日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきだ

		賛A 成の 意見 に	意いど 見うち にとら 賛Aか 成のと	意いど 見うち にとら 賛Bか 成のと	賛B 成の 意見 に	無 回 答	合 計
全体		737 36.8%	719 35.9%	401 20.0%	119 5.9%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	289 34.2%	296 35.1%	178 21.1%	62 7.3%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	424 38.4%	408 37.0%	215 19.5%	50 4.5%	6 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	24 43.6%	15 27.3%	8 14.5%	7 12.7%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	78 41.7%	59 31.6%	33 17.6%	12 6.4%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	149 39.0%	139 36.4%	69 18.1%	23 6.0%	2 0.5%	382 100.0%
	17歳	153 36.9%	154 37.1%	79 19.0%	27 6.5%	2 0.5%	415 100.0%
	18歳	144 36.1%	142 35.6%	86 21.6%	23 5.8%	4 1.0%	399 100.0%
	19歳	139 36.4%	131 34.3%	86 22.5%	20 5.2%	6 1.6%	382 100.0%
	20歳	51 28.7%	76 42.7%	37 20.8%	8 4.5%	6 3.4%	178 100.0%
	無回答	23 39.0%	18 30.5%	11 18.6%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%
	通学・ 仕事の 状況別	通学している	556 36.9%	538 35.7%	300 19.9%	91 6.0%	20 1.3%
家事をしている		6 33.3%	5 27.8%	5 27.8%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
その他		6 26.1%	9 39.1%	6 26.1%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		26 41.9%	19 30.6%	13 21.0%	2 3.2%	2 3.2%	62 100.0%
通学が主で仕事もしてい る		111 37.0%	111 37.0%	64 21.3%	13 4.3%	1 0.3%	300 100.0%
家事が主で仕事もしてい る		1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが 主で仕事もしている		2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		29 33.3%	33 37.9%	13 14.9%	9 10.3%	3 3.4%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	437 38.3%	402 35.3%	220 19.3%	70 6.1%	11 1.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	152 32.0%	188 39.6%	102 21.5%	26 5.5%	7 1.5%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	36 41.4%	30 34.5%	14 16.1%	4 4.6%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	42 40.8%	29 28.2%	28 27.2%	4 3.9%	0 0.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	15 44.1%	12 35.3%	5 14.7%	0 0.0%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	111 38.3%	108 37.2%	59 20.3%	11 3.8%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 36.1%	11 30.6%	12 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%

問14 自分の考えはどちらの意見に近いか

- IV A. 女性だというだけで親の介護をしないとイケないのは女性を差別している  
 B. 介護は女性に向いている仕事なので、必ずしも女性を差別しているとはいえない

		賛A 成の 意見 に	意いど 見うち にとら 賛Aか 成のと	意いど 見うち にとら 賛Bか 成のと	賛B 成の 意見 に	無 回 答	合 計
全体		866 43.3%	741 37.0%	278 13.9%	91 4.5%	26 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	326 38.6%	327 38.7%	127 15.0%	45 5.3%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	513 46.5%	399 36.2%	143 13.0%	42 3.8%	6 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	27 49.1%	15 27.3%	8 14.5%	4 7.3%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	81 43.3%	67 35.8%	25 13.4%	9 4.8%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	159 41.6%	156 40.8%	44 11.5%	20 5.2%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	176 42.4%	150 36.1%	73 17.6%	16 3.9%	0 0.0%	415 100.0%
	18歳	179 44.9%	147 36.8%	50 12.5%	17 4.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	169 44.2%	134 35.1%	56 14.7%	16 4.2%	7 1.8%	382 100.0%
	20歳	74 41.6%	70 39.3%	22 12.4%	9 5.1%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	28 47.5%	17 28.8%	8 13.6%	4 6.8%	2 3.4%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	648 43.1%	561 37.3%	215 14.3%	61 4.1%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	10 55.6%	4 22.2%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	7 30.4%	9 39.1%	5 21.7%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	19 30.6%	25 40.3%	11 17.7%	5 8.1%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしてい る	142 47.3%	110 36.7%	33 11.0%	14 4.7%	1 0.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしてい る	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	38 43.7%	28 32.2%	11 12.6%	7 8.0%	3 3.4%	87 100.0%
学校 の種類 別	高等学校・高等専門学校	494 43.3%	424 37.2%	158 13.9%	53 4.6%	11 1.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	215 45.3%	171 36.0%	69 14.5%	12 2.5%	8 1.7%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	39 44.8%	33 37.9%	8 9.2%	5 5.7%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	42 40.8%	43 41.7%	13 12.6%	5 4.9%	0 0.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	11 32.4%	16 47.1%	3 8.8%	2 5.9%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	135 46.6%	103 35.5%	38 13.1%	13 4.5%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	16 44.4%	15 41.7%	3 8.3%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%

問14 自分の考えはどちらの意見に近いか

- V A. どのような学校を卒業したかはその後の人生で決定的に重要である  
 B. どのような学校を卒業したかはその後の人生に決定的に重要ではない

		賛A 成の 意見 に	意いど 見うち にとら 賛Aか 成のと	意いど 見うち にとら 賛Bか 成のと	賛B 成の 意見 に	無 回 答	合 計
全体		202 10.1%	422 21.1%	617 30.8%	734 36.7%	27 1.3%	2,002 100.0%
性別	男性	108 12.8%	188 22.3%	245 29.0%	284 33.6%	19 2.3%	844 100.0%
	女性	85 7.7%	224 20.3%	356 32.3%	431 39.1%	7 0.6%	1,103 100.0%
	無回答	9 16.4%	10 18.2%	16 29.1%	19 34.5%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	20 10.7%	45 24.1%	48 25.7%	69 36.9%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	45 11.8%	86 22.5%	121 31.7%	128 33.5%	2 0.5%	382 100.0%
	17歳	47 11.3%	84 20.2%	139 33.5%	145 34.9%	0 0.0%	415 100.0%
	18歳	35 8.8%	96 24.1%	121 30.3%	141 35.3%	6 1.5%	399 100.0%
	19歳	33 8.6%	64 16.8%	114 29.8%	163 42.7%	8 2.1%	382 100.0%
	20歳	13 7.3%	37 20.8%	55 30.9%	68 38.2%	5 2.8%	178 100.0%
	無回答	9 15.3%	10 16.9%	19 32.2%	20 33.9%	1 1.7%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	161 10.7%	334 22.2%	475 31.6%	515 34.2%	20 1.3%	1,505 100.0%
	家事をしている	2 11.1%	1 5.6%	5 27.8%	10 55.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	5 21.7%	5 21.7%	4 17.4%	8 34.8%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	4 6.5%	7 11.3%	17 27.4%	32 51.6%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしてい る	17 5.7%	58 19.3%	88 29.3%	135 45.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしてい る	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 14.9%	16 18.4%	27 31.0%	29 33.3%	2 2.3%	87 100.0%
学校の 種類別	高等学校・高等専門学校	127 11.1%	253 22.2%	367 32.2%	384 33.7%	9 0.8%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	37 7.8%	109 22.9%	148 31.2%	171 36.0%	10 2.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	5 5.7%	10 11.5%	26 29.9%	44 50.6%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	9 8.7%	20 19.4%	22 21.4%	51 49.5%	1 1.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	2 5.9%	3 8.8%	8 23.5%	19 55.9%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとし て働いている	16 5.5%	57 19.7%	81 27.9%	134 46.2%	2 0.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員とし て働いている	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	3 8.3%	6 16.7%	12 33.3%	15 41.7%	0 0.0%	36 100.0%

問15 インターネット上での差別的な書き込み等の閲覧や書き込みの経験があるか  
 (1) 自分が見たり、書き込みをしたりしているか

	を自分が した こと がある	自分で 実 際 に 見 た こ と が あ り ま す	た る 実 際 に 見 た こ と が あ り ま す	は が 聞 いた こ と は あ る こ と	ら 用 し な い の で 、 わ は か 利	無 回 答	合 計
全体	84 4.2%	816 40.8%	994 49.7%	86 4.3%	22 1.1%	2,002 100.0%	
性別	男性	34 4.0%	324 38.4%	430 50.9%	40 4.7%	16 1.9%	844 100.0%
	女性	49 4.4%	473 42.9%	533 48.3%	43 3.9%	5 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	1 1.8%	19 34.5%	31 56.4%	3 5.5%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	5 2.7%	53 28.3%	111 59.4%	14 7.5%	4 2.1%	187 100.0%
	16歳	15 3.9%	137 35.9%	209 54.7%	18 4.7%	3 0.8%	382 100.0%
	17歳	22 5.3%	161 38.8%	217 52.3%	14 3.4%	1 0.2%	415 100.0%
	18歳	15 3.8%	197 49.4%	164 41.1%	19 4.8%	4 1.0%	399 100.0%
	19歳	15 3.9%	162 42.4%	190 49.7%	9 2.4%	6 1.6%	382 100.0%
	20歳	11 6.2%	85 47.8%	73 41.0%	6 3.4%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	1 1.7%	21 35.6%	30 50.8%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	53 3.5%	590 39.2%	781 51.9%	63 4.2%	18 1.2%	1,505 100.0%
	家事をしている	2 11.1%	6 33.3%	8 44.4%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	0 0.0%	6 26.1%	14 60.9%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%
	仕事を主にしている	8 12.9%	22 35.5%	24 38.7%	6 9.7%	2 3.2%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	18 6.0%	154 51.3%	123 41.0%	5 1.7%	0 0.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	2 2.3%	34 39.1%	43 49.4%	6 6.9%	2 2.3%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	44 3.9%	425 37.3%	609 53.4%	52 4.6%	10 0.9%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	15 3.2%	226 47.6%	220 46.3%	8 1.7%	6 1.3%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	6 6.9%	43 49.4%	32 36.8%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	6 5.8%	50 48.5%	43 41.7%	4 3.9%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	4 11.8%	11 32.4%	13 38.2%	4 11.8%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	21 7.2%	141 48.6%	124 42.8%	4 1.4%	0 0.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	2 5.6%	22 61.1%	9 25.0%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%

問15 インターネット上での差別的な書き込み等の閲覧や書き込みの経験があるか  
 (2) 悪口やプライバシーを暴露する書き込みについて、どのように思うか

		書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う	ない人権侵害だと思わない、許せ	でたりたて騒ぐほどの問題ではない	よくわからない	無回答	合計
全体		78 3.9%	1,451 72.5%	237 11.8%	212 10.6%	24 1.2%	2,002 100.0%
性別	男性	45 5.3%	562 66.6%	125 14.8%	94 11.1%	18 2.1%	844 100.0%
	女性	32 2.9%	849 77.0%	103 9.3%	114 10.3%	5 0.5%	1,103 100.0%
	無回答	1 1.8%	40 72.7%	9 16.4%	4 7.3%	1 1.8%	55 100.0%
年齢別	15歳	6 3.2%	137 73.3%	16 8.6%	24 12.8%	4 2.1%	187 100.0%
	16歳	11 2.9%	286 74.9%	35 9.2%	46 12.0%	4 1.0%	382 100.0%
	17歳	18 4.3%	287 69.2%	55 13.3%	54 13.0%	1 0.2%	415 100.0%
	18歳	17 4.3%	296 74.2%	51 12.8%	31 7.8%	4 1.0%	399 100.0%
	19歳	15 3.9%	286 74.9%	43 11.3%	31 8.1%	7 1.8%	382 100.0%
	20歳	9 5.1%	118 66.3%	28 15.7%	20 11.2%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	2 3.4%	41 69.5%	9 15.3%	6 10.2%	1 1.7%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	59 3.9%	1,102 73.2%	163 10.8%	163 10.8%	18 1.2%
家事をしている		2 11.1%	12 66.7%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
その他		1 4.3%	15 65.2%	1 4.3%	6 26.1%	0 0.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		1 1.6%	42 67.7%	11 17.7%	6 9.7%	2 3.2%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		13 4.3%	215 71.7%	46 15.3%	25 8.3%	1 0.3%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答		2 2.3%	61 70.1%	12 13.8%	9 10.3%	3 3.4%	87 100.0%
学校の種類別		高等学校・高等専門学校	43 3.8%	829 72.7%	130 11.4%	128 11.2%	10 0.9%
	大学・短期大学	15 3.2%	358 75.4%	53 11.2%	42 8.8%	7 1.5%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	6 6.9%	62 71.3%	10 11.5%	7 8.0%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	8 7.8%	68 66.0%	16 15.5%	11 10.7%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	22 64.7%	5 14.7%	4 11.8%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	9 3.1%	213 73.4%	43 14.8%	24 8.3%	1 0.3%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	3 8.3%	22 61.1%	6 16.7%	5 13.9%	0 0.0%	36 100.0%

問16 インターネット上での差別的な書き込みなどの問題の改善に必要と思う対策(複数回答)

		育イルインターネットの啓発・教育を行うべきである	法律で厳しく取り締まるべきである	行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである	個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである	問題と感じた人が、掲示板に、誤りを指摘する書き込みをしたらい	プログラマーや掲示板・ブログの管理者の自主性に任せる	表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応するべきである	ど慣りは感じるが、個人では	一部の人が見るだけなので、放っておけばよい	その他	わからない	有効回答数
全体		1,190 59.4%	867 43.3%	760 38.0%	592 29.6%	450 22.5%	247 12.3%	432 21.6%	445 22.2%	113 5.6%	43 2.1%	130 6.5%	2,002 100.0%
性別	男性	485 57.5%	378 44.8%	301 35.7%	228 27.0%	210 24.9%	113 13.4%	181 21.4%	200 23.7%	58 6.9%	22 2.6%	49 5.8%	844 100.0%
	女性	676 61.3%	462 41.9%	440 39.9%	348 31.6%	225 20.4%	129 11.7%	239 21.7%	235 21.3%	54 4.9%	20 1.8%	77 7.0%	1,103 100.0%
	無回答	29 52.7%	27 49.1%	19 34.5%	16 29.1%	15 27.3%	5 9.1%	12 21.8%	10 18.2%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.3%	55 100.0%
年齢別	15歳	105 56.1%	83 44.4%	62 33.2%	53 28.3%	45 24.1%	23 12.3%	44 23.5%	32 17.1%	11 5.9%	3 1.6%	16 8.6%	187 100.0%
	16歳	227 59.4%	167 43.7%	149 39.0%	113 29.6%	88 23.0%	53 13.9%	80 20.9%	70 18.3%	18 4.7%	8 2.1%	39 10.2%	382 100.0%
	17歳	249 60.0%	169 40.7%	139 33.5%	130 31.3%	90 21.7%	57 13.7%	86 20.7%	93 22.4%	27 6.5%	4 1.0%	21 5.1%	415 100.0%
	18歳	219 54.9%	168 42.1%	174 43.6%	121 30.3%	99 24.8%	46 11.5%	88 22.1%	95 23.8%	25 6.3%	15 3.8%	17 4.3%	399 100.0%
	19歳	239 62.6%	177 46.3%	153 40.1%	107 28.0%	71 18.6%	35 9.2%	85 22.3%	94 24.6%	17 4.5%	9 2.4%	22 5.8%	382 100.0%
	20歳	122 68.5%	77 43.3%	65 36.5%	53 29.8%	42 23.6%	28 15.7%	38 21.3%	50 28.1%	14 7.9%	3 1.7%	10 5.6%	178 100.0%
	無回答	29 49.2%	26 44.1%	18 30.5%	15 25.4%	15 25.4%	5 8.5%	11 18.6%	11 18.6%	1 1.7%	1 1.7%	5 8.5%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	908 60.3%	666 44.3%	587 39.0%	455 30.2%	331 22.0%	182 12.1%	333 22.1%	328 21.8%	82 5.4%	30 2.0%	97 6.4%	1,505 100.0%
	家事をしている	10 55.6%	8 44.4%	6 33.3%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	その他	11 47.8%	12 52.2%	8 34.8%	6 26.1%	6 26.1%	4 17.4%	3 13.0%	6 26.1%	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%	23 100.0%
	仕事を主にしている	34 54.8%	25 40.3%	21 33.9%	15 24.2%	17 27.4%	9 14.5%	9 14.5%	8 12.9%	4 6.5%	2 3.2%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	177 59.0%	117 39.0%	110 36.7%	86 28.7%	74 24.7%	40 13.3%	66 22.0%	84 28.0%	18 6.0%	5 1.7%	16 5.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
	無回答	47 54.0%	36 41.4%	26 29.9%	22 25.3%	16 18.4%	7 8.0%	17 19.5%	16 18.4%	4 4.6%	4 4.6%	8 9.2%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	675 59.2%	486 42.6%	432 37.9%	355 31.1%	256 22.5%	146 12.8%	243 21.3%	234 20.5%	63 5.5%	22 1.9%	75 6.6%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	302 63.6%	221 46.5%	194 40.8%	145 30.5%	98 20.6%	48 10.1%	120 25.3%	129 27.2%	25 5.3%	10 2.1%	23 4.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	55 63.2%	39 44.8%	41 47.1%	13 14.9%	21 24.1%	11 12.6%	19 21.8%	25 28.7%	3 3.4%	1 1.1%	7 8.0%	87 100.0%
	無回答	53 51.5%	37 35.9%	30 29.1%	28 27.2%	30 29.1%	17 16.5%	17 16.5%	24 23.3%	9 8.7%	2 1.9%	8 7.8%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	17 50.0%	11 32.4%	11 32.4%	11 32.4%	8 23.5%	6 17.6%	2 5.9%	7 20.6%	3 8.8%	0 0.0%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	173 59.7%	112 38.6%	105 36.2%	80 27.6%	74 25.5%	40 13.8%	60 20.7%	74 25.5%	17 5.9%	6 2.1%	17 5.9%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	4 80.0%	2 40.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	19 52.8%	17 47.2%	15 41.7%	11 30.6%	6 16.7%	3 8.3%	10 27.8%	10 27.8%	2 5.6%	1 2.8%	1 2.8%	36 100.0%

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

A. 障害者の人権問題

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	よく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		346 17.3%	1,339 66.9%	81 4.0%	162 8.1%	35 1.7%	39 1.9%	2,002 100.0%
性別	男性	122 14.5%	564 66.8%	50 5.9%	68 8.1%	19 2.3%	21 2.5%	844 100.0%
	女性	212 19.2%	745 67.5%	28 2.5%	89 8.1%	14 1.3%	15 1.4%	1,103 100.0%
	無回答	12 21.8%	30 54.5%	3 5.5%	5 9.1%	2 3.6%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	33 17.6%	117 62.6%	11 5.9%	19 10.2%	3 1.6%	4 2.1%	187 100.0%
	16歳	61 16.0%	259 67.8%	14 3.7%	35 9.2%	8 2.1%	5 1.3%	382 100.0%
	17歳	67 16.1%	292 70.4%	14 3.4%	25 6.0%	11 2.7%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	71 17.8%	278 69.7%	13 3.3%	26 6.5%	4 1.0%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	72 18.8%	242 63.4%	17 4.5%	39 10.2%	2 0.5%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	29 16.3%	121 68.0%	10 5.6%	12 6.7%	3 1.7%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	13 22.0%	30 50.8%	2 3.4%	6 10.2%	4 6.8%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	257 17.1%	1,026 68.2%	59 3.9%	114 7.6%	24 1.6%	25 1.7%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	9 50.0%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	9 39.1%	1 4.3%	8 34.8%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	7 11.3%	37 59.7%	2 3.2%	10 16.1%	1 1.6%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	56 18.7%	207 69.0%	13 4.3%	20 6.7%	2 0.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	17 19.5%	47 54.0%	5 5.7%	8 9.2%	5 5.7%	5 5.7%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	187 16.4%	777 68.2%	43 3.8%	93 8.2%	21 1.8%	19 1.7%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	93 19.6%	325 68.4%	25 5.3%	25 5.3%	3 0.6%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	13 14.9%	59 67.8%	2 2.3%	9 10.3%	1 1.1%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	20 19.4%	72 69.9%	2 1.9%	7 6.8%	1 1.0%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	21 61.8%	2 5.9%	7 20.6%	1 2.9%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	60 20.7%	196 67.6%	11 3.8%	18 6.2%	2 0.7%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	5 13.9%	25 69.4%	2 5.6%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%	

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
B. 女性の人権問題

		た積 極的 に学 習し	学 習し た	た仕 方な く学 習し	いよ く覚 えて いな	な学 習し たこ とは	無 回 答	合 計
全体		196 9.8%	1,073 53.6%	76 3.8%	418 20.9%	194 9.7%	45 2.2%	2,002 100.0%
性別	男性	69 8.2%	438 51.9%	56 6.6%	179 21.2%	79 9.4%	23 2.7%	844 100.0%
	女性	120 10.9%	614 55.7%	19 1.7%	220 19.9%	111 10.1%	19 1.7%	1,103 100.0%
	無回答	7 12.7%	21 38.2%	1 1.8%	19 34.5%	4 7.3%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	16 8.6%	88 47.1%	8 4.3%	44 23.5%	24 12.8%	7 3.7%	187 100.0%
	16歳	20 5.2%	206 53.9%	14 3.7%	77 20.2%	57 14.9%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	41 9.9%	210 50.6%	16 3.9%	96 23.1%	47 11.3%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	47 11.8%	221 55.4%	12 3.0%	83 20.8%	28 7.0%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	49 12.8%	214 56.0%	19 5.0%	71 18.6%	19 5.0%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	16 9.0%	114 64.0%	6 3.4%	27 15.2%	12 6.7%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	20 33.9%	1 1.7%	20 33.9%	7 11.9%	4 6.8%	59 100.0%
通学・ 仕事の 状況別	通学している	136 9.0%	816 54.2%	59 3.9%	307 20.4%	156 10.4%	31 2.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	2 11.1%	9 50.0%	0 0.0%	5 27.8%	1 5.6%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	3 13.0%	9 39.1%	2 8.7%	6 26.1%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	7 11.3%	23 37.1%	0 0.0%	19 30.6%	8 12.9%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	36 12.0%	180 60.0%	13 4.3%	51 17.0%	18 6.0%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが 主で仕事もしている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	11 12.6%	34 39.1%	2 2.3%	26 29.9%	9 10.3%	5 5.7%	87 100.0%
学校 の種 類別	高等学校・高等専門学校	98 8.6%	583 51.1%	45 3.9%	252 22.1%	136 11.9%	26 2.3%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	54 11.4%	302 63.6%	19 4.0%	72 15.2%	24 5.1%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	8 9.2%	43 49.4%	4 4.6%	23 26.4%	6 6.9%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	12 11.7%	68 66.0%	4 3.9%	11 10.7%	8 7.8%	0 0.0%	103 100.0%
働き 方別	正規の社員として働いて いる	2 5.9%	12 35.3%	0 0.0%	13 38.2%	4 11.8%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして 働いている	37 12.8%	168 57.9%	10 3.4%	52 17.9%	20 6.9%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として 働いている	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いてい る	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	5 13.9%	21 58.3%	3 8.3%	4 11.1%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%



問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
 C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	いよく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		257 12.8%	1,040 51.9%	103 5.1%	347 17.3%	213 10.6%	42 2.1%	2,002 100.0%
性別	男性	91 10.8%	423 50.1%	61 7.2%	155 18.4%	92 10.9%	22 2.6%	844 100.0%
	女性	157 14.2%	593 53.8%	40 3.6%	181 16.4%	115 10.4%	17 1.5%	1,103 100.0%
	無回答	9 16.4%	24 43.6%	2 3.6%	11 20.0%	6 10.9%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	17 9.1%	77 41.2%	13 7.0%	41 21.9%	32 17.1%	7 3.7%	187 100.0%
	16歳	45 11.8%	196 51.3%	16 4.2%	67 17.5%	51 13.4%	7 1.8%	382 100.0%
	17歳	62 14.9%	212 51.1%	24 5.8%	66 15.9%	46 11.1%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	55 13.8%	223 55.9%	21 5.3%	61 15.3%	34 8.5%	5 1.3%	399 100.0%
	19歳	48 12.6%	204 53.4%	20 5.2%	68 17.8%	32 8.4%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	21 11.8%	104 58.4%	7 3.9%	32 18.0%	10 5.6%	4 2.2%	178 100.0%
	無回答	9 15.3%	24 40.7%	2 3.4%	12 20.3%	8 13.6%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	191 12.7%	774 51.4%	85 5.6%	259 17.2%	169 11.2%	27 1.8%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	10 55.6%	0 0.0%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	4 17.4%	7 30.4%	0 0.0%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	4 6.5%	30 48.4%	2 3.2%	17 27.4%	4 6.5%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	41 13.7%	177 59.0%	11 3.7%	47 15.7%	21 7.0%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	13 14.9%	38 43.7%	5 5.7%	13 14.9%	13 14.9%	5 5.7%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	145 12.7%	568 49.8%	62 5.4%	202 17.7%	140 12.3%	23 2.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	66 13.9%	276 58.1%	21 4.4%	74 15.6%	34 7.2%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	6 6.9%	46 52.9%	5 5.7%	15 17.2%	12 13.8%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	15 14.6%	61 59.2%	8 7.8%	15 14.6%	4 3.9%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	16 47.1%	2 5.9%	11 32.4%	2 5.9%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	41 14.1%	169 58.3%	8 2.8%	47 16.2%	21 7.2%	4 1.4%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 16.7%	20 55.6%	3 8.3%	4 11.1%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	よく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		186 9.3%	904 45.2%	83 4.1%	470 23.5%	308 15.4%	51 2.5%	2,002 100.0%
性別	男性	73 8.6%	375 44.4%	47 5.6%	195 23.1%	127 15.0%	27 3.2%	844 100.0%
	女性	105 9.5%	507 46.0%	33 3.0%	263 23.8%	173 15.7%	22 2.0%	1,103 100.0%
	無回答	8 14.5%	22 40.0%	3 5.5%	12 21.8%	8 14.5%	2 3.6%	55 100.0%
年齢別	15歳	15 8.0%	68 36.4%	9 4.8%	45 24.1%	41 21.9%	9 4.8%	187 100.0%
	16歳	33 8.6%	162 42.4%	14 3.7%	91 23.8%	72 18.8%	10 2.6%	382 100.0%
	17歳	36 8.7%	181 43.6%	19 4.6%	93 22.4%	80 19.3%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	45 11.3%	187 46.9%	13 3.3%	94 23.6%	52 13.0%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	35 9.2%	185 48.4%	18 4.7%	92 24.1%	41 10.7%	11 2.9%	382 100.0%
	20歳	15 8.4%	97 54.5%	7 3.9%	42 23.6%	13 7.3%	4 2.2%	178 100.0%
	無回答	7 11.9%	24 40.7%	3 5.1%	13 22.0%	9 15.3%	3 5.1%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	129 8.6%	678 45.0%	61 4.1%	347 23.1%	253 16.8%	37 2.5%	1,505 100.0%
	家事をしている	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%	5 27.8%	2 11.1%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	4 17.4%	7 30.4%	0 0.0%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	4 6.5%	26 41.9%	2 3.2%	20 32.3%	5 8.1%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	34 11.3%	150 50.0%	14 4.7%	70 23.3%	29 9.7%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	11 12.6%	33 37.9%	5 5.7%	18 20.7%	16 18.4%	4 4.6%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	96 8.4%	488 42.8%	50 4.4%	265 23.2%	209 18.3%	32 2.8%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	50 10.5%	245 51.6%	17 3.6%	108 22.7%	50 10.5%	5 1.1%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	3 3.4%	40 46.0%	3 3.4%	24 27.6%	14 16.1%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	14 13.6%	55 53.4%	5 4.9%	20 19.4%	9 8.7%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	13 38.2%	1 2.9%	13 38.2%	3 8.8%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	34 11.7%	146 50.3%	11 3.8%	69 23.8%	27 9.3%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	5 13.9%	14 38.9%	4 11.1%	7 19.4%	4 11.1%	2 5.6%	36 100.0%

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
 E. 性的マイノリティ（同性愛、性同一性障害など）をめぐる人権問題

		積極的に学習し	学習した	仕方なく学習し	よく覚えていな	学習したことは	無回答	合計
全体		99 4.9%	449 22.4%	62 3.1%	465 23.2%	873 43.6%	54 2.7%	2,002 100.0%
性別	男性	35 4.1%	176 20.9%	44 5.2%	204 24.2%	356 42.2%	29 3.4%	844 100.0%
	女性	60 5.4%	262 23.8%	17 1.5%	248 22.5%	494 44.8%	22 2.0%	1,103 100.0%
	無回答	4 7.3%	11 20.0%	1 1.8%	13 23.6%	23 41.8%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	5 2.7%	28 15.0%	5 2.7%	49 26.2%	92 49.2%	8 4.3%	187 100.0%
	16歳	10 2.6%	68 17.8%	9 2.4%	97 25.4%	186 48.7%	12 3.1%	382 100.0%
	17歳	12 2.9%	85 20.5%	11 2.7%	80 19.3%	222 53.5%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	19 4.8%	99 24.8%	16 4.0%	91 22.8%	164 41.1%	10 2.5%	399 100.0%
	19歳	31 8.1%	110 28.8%	16 4.2%	87 22.8%	126 33.0%	12 3.1%	382 100.0%
	20歳	18 10.1%	48 27.0%	4 2.2%	48 27.0%	57 32.0%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	4 6.8%	11 18.6%	1 1.7%	13 22.0%	26 44.1%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	53 3.5%	321 21.3%	45 3.0%	357 23.7%	691 45.9%	38 2.5%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	4 22.2%	1 5.6%	2 11.1%	6 33.3%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	5 21.7%	2 8.7%	8 34.8%	5 21.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	5 8.1%	13 21.0%	3 4.8%	15 24.2%	21 33.9%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	27 9.0%	87 29.0%	8 2.7%	61 20.3%	113 37.7%	4 1.3%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	6 6.9%	17 19.5%	3 3.4%	20 23.0%	36 41.4%	5 5.7%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	27 2.4%	211 18.5%	32 2.8%	260 22.8%	579 50.8%	31 2.7%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	39 8.2%	142 29.9%	14 2.9%	109 22.9%	164 34.5%	7 1.5%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	5 5.7%	20 23.0%	3 3.4%	26 29.9%	30 34.5%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	9 8.7%	35 34.0%	4 3.9%	23 22.3%	31 30.1%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	1 2.9%	8 23.5%	3 8.8%	9 26.5%	10 29.4%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	30 10.3%	85 29.3%	7 2.4%	57 19.7%	106 36.6%	5 1.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	3 8.3%	7 19.4%	1 2.8%	9 25.0%	15 41.7%	1 2.8%	36 100.0%	

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
F. 部落問題（同和問題）

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	いよく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		444 22.2%	1,048 52.3%	105 5.2%	206 10.3%	158 7.9%	41 2.0%	2,002 100.0%
性別	男性	163 19.3%	446 52.8%	58 6.9%	93 11.0%	63 7.5%	21 2.5%	844 100.0%
	女性	264 23.9%	580 52.6%	43 3.9%	108 9.8%	91 8.3%	17 1.5%	1,103 100.0%
	無回答	17 30.9%	22 40.0%	4 7.3%	5 9.1%	4 7.3%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	42 22.5%	89 47.6%	10 5.3%	23 12.3%	18 9.6%	5 2.7%	187 100.0%
	16歳	84 22.0%	174 45.5%	15 3.9%	52 13.6%	49 12.8%	8 2.1%	382 100.0%
	17歳	87 21.0%	234 56.4%	20 4.8%	36 8.7%	33 8.0%	5 1.2%	415 100.0%
	18歳	90 22.6%	225 56.4%	22 5.5%	30 7.5%	25 6.3%	7 1.8%	399 100.0%
	19歳	90 23.6%	195 51.0%	27 7.1%	42 11.0%	18 4.7%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	35 19.7%	106 59.6%	7 3.9%	18 10.1%	10 5.6%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	16 27.1%	25 42.4%	4 6.8%	5 8.5%	5 8.5%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	327 21.7%	793 52.7%	77 5.1%	152 10.1%	128 8.5%	28 1.9%	1,505 100.0%
	家事をしている	4 22.2%	7 38.9%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	3 13.0%	8 34.8%	0 0.0%	7 30.4%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	13 21.0%	33 53.2%	1 1.6%	7 11.3%	4 6.5%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	71 23.7%	167 55.7%	17 5.7%	30 10.0%	13 4.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	23 26.4%	38 43.7%	8 9.2%	7 8.0%	6 6.9%	5 5.7%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	243 21.3%	593 52.0%	56 4.9%	117 10.3%	108 9.5%	23 2.0%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	113 23.8%	268 56.4%	29 6.1%	39 8.2%	23 4.8%	3 0.6%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	15 17.2%	46 52.9%	4 4.6%	13 14.9%	6 6.9%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	27 26.2%	53 51.5%	5 4.9%	13 12.6%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	6 17.6%	17 50.0%	1 2.9%	4 11.8%	3 8.8%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	72 24.8%	159 54.8%	14 4.8%	30 10.3%	13 4.5%	2 0.7%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	6 16.7%	22 61.1%	3 8.3%	3 8.3%	1 2.8%	1 2.8%	36 100.0%	

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
G. 高齢者の人権問題

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	よく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		200 10.0%	884 44.2%	77 3.8%	429 21.4%	366 18.3%	46 2.3%	2,002 100.0%
性別	男性	79 9.4%	383 45.4%	46 5.5%	174 20.6%	141 16.7%	21 2.5%	844 100.0%
	女性	112 10.2%	482 43.7%	29 2.6%	240 21.8%	219 19.9%	21 1.9%	1,103 100.0%
	無回答	9 16.4%	19 34.5%	2 3.6%	15 27.3%	6 10.9%	4 7.3%	55 100.0%
年齢別	15歳	22 11.8%	79 42.2%	11 5.9%	28 15.0%	41 21.9%	6 3.2%	187 100.0%
	16歳	37 9.7%	178 46.6%	13 3.4%	68 17.8%	77 20.2%	9 2.4%	382 100.0%
	17歳	41 9.9%	183 44.1%	12 2.9%	80 19.3%	93 22.4%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	45 11.3%	171 42.9%	14 3.5%	90 22.6%	71 17.8%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	31 8.1%	172 45.0%	15 3.9%	102 26.7%	53 13.9%	9 2.4%	382 100.0%
	20歳	15 8.4%	81 45.5%	10 5.6%	46 25.8%	23 12.9%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	9 15.3%	20 33.9%	2 3.4%	15 25.4%	8 13.6%	5 8.5%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	147 9.8%	657 43.7%	61 4.1%	319 21.2%	290 19.3%	31 2.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	10 55.6%	0 0.0%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	2 8.7%	10 43.5%	0 0.0%	6 26.1%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	4 6.5%	28 45.2%	3 4.8%	13 21.0%	9 14.5%	5 8.1%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	33 11.0%	145 48.3%	9 3.0%	65 21.7%	46 15.3%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	12 13.8%	31 35.6%	4 4.6%	20 23.0%	14 16.1%	6 6.9%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	110 9.6%	496 43.5%	46 4.0%	220 19.3%	241 21.1%	27 2.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	49 10.3%	213 44.8%	16 3.4%	126 26.5%	67 14.1%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	7 8.0%	39 44.8%	5 5.7%	20 23.0%	14 16.1%	2 2.3%	87 100.0%
	無回答	14 13.6%	54 52.4%	3 2.9%	18 17.5%	14 13.6%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	16 47.1%	2 5.9%	9 26.5%	4 11.8%	3 8.8%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	32 11.0%	139 47.9%	7 2.4%	60 20.7%	49 16.9%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	6 16.7%	14 38.9%	3 8.3%	10 27.8%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
H. 子どもの人権問題

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	いよく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		207 10.3%	855 42.7%	67 3.3%	457 22.8%	370 18.5%	46 2.3%	2,002 100.0%
性別	男性	75 8.9%	374 44.3%	39 4.6%	188 22.3%	145 17.2%	23 2.7%	844 100.0%
	女性	124 11.2%	461 41.8%	27 2.4%	255 23.1%	216 19.6%	20 1.8%	1,103 100.0%
	無回答	8 14.5%	20 36.4%	1 1.8%	14 25.5%	9 16.4%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	21 11.2%	68 36.4%	13 7.0%	37 19.8%	41 21.9%	7 3.7%	187 100.0%
	16歳	36 9.4%	163 42.7%	9 2.4%	78 20.4%	87 22.8%	9 2.4%	382 100.0%
	17歳	46 11.1%	171 41.2%	9 2.2%	88 21.2%	95 22.9%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	43 10.8%	162 40.6%	15 3.8%	100 25.1%	71 17.8%	8 2.0%	399 100.0%
	19歳	38 9.9%	176 46.1%	12 3.1%	100 26.2%	46 12.0%	10 2.6%	382 100.0%
	20歳	15 8.4%	94 52.8%	9 5.1%	38 21.3%	20 11.2%	2 1.1%	178 100.0%
	無回答	8 13.6%	21 35.6%	0 0.0%	16 27.1%	10 16.9%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	148 9.8%	643 42.7%	52 3.5%	331 22.0%	299 19.9%	32 2.1%	1,505 100.0%
	家事をしている	1 5.6%	8 44.4%	1 5.6%	6 33.3%	1 5.6%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	12 52.2%	0 0.0%	5 21.7%	4 17.4%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	7 11.3%	21 33.9%	2 3.2%	18 29.0%	10 16.1%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	36 12.0%	140 46.7%	9 3.0%	72 24.0%	41 13.7%	2 0.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	13 14.9%	29 33.3%	2 2.3%	22 25.3%	15 17.2%	6 6.9%	87 100.0%	
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	106 9.3%	472 41.4%	40 3.5%	238 20.9%	257 22.5%	27 2.4%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	51 10.7%	224 47.2%	16 3.4%	124 26.1%	56 11.8%	4 0.8%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	10 11.5%	36 41.4%	3 3.4%	21 24.1%	14 16.1%	3 3.4%	87 100.0%
	無回答	17 16.5%	51 49.5%	2 1.9%	20 19.4%	13 12.6%	0 0.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	4 11.8%	13 38.2%	2 5.9%	7 20.6%	6 17.6%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	34 11.7%	134 46.2%	7 2.4%	72 24.8%	40 13.8%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
無回答	6 16.7%	12 33.3%	2 5.6%	10 27.8%	5 13.9%	1 2.8%	36 100.0%	

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢

I. 人権の歴史や思想など全般的なこと

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	いよく覚えていない	学習したことは	無回答	合計
全体		214 10.7%	891 44.5%	109 5.4%	504 25.2%	229 11.4%	55 2.7%	2,002 100.0%
性別	男性	97 11.5%	373 44.2%	63 7.5%	197 23.3%	86 10.2%	28 3.3%	844 100.0%
	女性	108 9.8%	499 45.2%	45 4.1%	288 26.1%	139 12.6%	24 2.2%	1,103 100.0%
	無回答	9 16.4%	19 34.5%	1 1.8%	19 34.5%	4 7.3%	3 5.5%	55 100.0%
年齢別	15歳	21 11.2%	73 39.0%	10 5.3%	45 24.1%	27 14.4%	11 5.9%	187 100.0%
	16歳	41 10.7%	158 41.4%	16 4.2%	95 24.9%	63 16.5%	9 2.4%	382 100.0%
	17歳	45 10.8%	183 44.1%	20 4.8%	104 25.1%	57 13.7%	6 1.4%	415 100.0%
	18歳	40 10.0%	201 50.4%	25 6.3%	91 22.8%	33 8.3%	9 2.3%	399 100.0%
	19歳	40 10.5%	171 44.8%	24 6.3%	105 27.5%	29 7.6%	13 3.4%	382 100.0%
	20歳	19 10.7%	86 48.3%	13 7.3%	43 24.2%	14 7.9%	3 1.7%	178 100.0%
	無回答	8 13.6%	19 32.2%	1 1.7%	21 35.6%	6 10.2%	4 6.8%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	154 10.2%	669 44.5%	84 5.6%	372 24.7%	185 12.3%	41 2.7%	1,505 100.0%
	家事をしている	3 16.7%	7 38.9%	0 0.0%	6 33.3%	1 5.6%	1 5.6%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	10 43.5%	0 0.0%	9 39.1%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%
	仕事を主にしている	5 8.1%	30 48.4%	4 6.5%	14 22.6%	5 8.1%	4 6.5%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	35 11.7%	143 47.7%	17 5.7%	78 26.0%	24 8.0%	3 1.0%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	14 16.1%	30 34.5%	3 3.4%	23 26.4%	12 13.8%	5 5.7%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	114 10.0%	495 43.4%	61 5.4%	282 24.7%	157 13.8%	31 2.7%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	51 10.7%	237 49.9%	29 6.1%	114 24.0%	37 7.8%	7 1.5%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	6 6.9%	34 39.1%	9 10.3%	28 32.2%	5 5.7%	5 5.7%	87 100.0%
	無回答	18 17.5%	46 44.7%	2 1.9%	26 25.2%	10 9.7%	1 1.0%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	3 8.8%	17 50.0%	2 5.9%	8 23.5%	2 5.9%	2 5.9%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	35 12.1%	138 47.6%	12 4.1%	76 26.2%	26 9.0%	3 1.0%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	4 11.1%	17 47.2%	5 13.9%	7 19.4%	1 2.8%	2 5.6%	36 100.0%

問17 ホームルームや学校の授業での人権問題の学習姿勢  
J. その他

		積極的に学習した	学習した	仕方なく学習した	よく覚えていない	学習したことは無い	無回答	合計
全体		57 2.8%	96 4.8%	7 0.3%	355 17.7%	332 16.6%	1,155 57.7%	2,002 100.0%
性別	男性	20 2.4%	33 3.9%	4 0.5%	145 17.2%	152 18.0%	490 58.1%	844 100.0%
	女性	32 2.9%	57 5.2%	3 0.3%	202 18.3%	173 15.7%	636 57.7%	1,103 100.0%
	無回答	5 9.1%	6 10.9%	0 0.0%	8 14.5%	7 12.7%	29 52.7%	55 100.0%
年齢別	15歳	2 1.1%	8 4.3%	0 0.0%	25 13.4%	47 25.1%	105 56.1%	187 100.0%
	16歳	13 3.4%	15 3.9%	0 0.0%	64 16.8%	74 19.4%	216 56.5%	382 100.0%
	17歳	10 2.4%	15 3.6%	3 0.7%	68 16.4%	76 18.3%	243 58.6%	415 100.0%
	18歳	14 3.5%	27 6.8%	2 0.5%	72 18.0%	57 14.3%	227 56.9%	399 100.0%
	19歳	6 1.6%	16 4.2%	1 0.3%	82 21.5%	44 11.5%	233 61.0%	382 100.0%
	20歳	7 3.9%	10 5.6%	1 0.6%	35 19.7%	26 14.6%	99 55.6%	178 100.0%
	無回答	5 8.5%	5 8.5%	0 0.0%	9 15.3%	8 13.6%	32 54.2%	59 100.0%
通学・仕事の状況別	通学している	38 2.5%	66 4.4%	5 0.3%	265 17.6%	264 17.5%	867 57.6%	1,505 100.0%
	家事をしている	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	1 5.6%	12 66.7%	18 100.0%
	その他	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%	2 8.7%	2 8.7%	14 60.9%	23 100.0%
	仕事を主にしている	2 3.2%	4 6.5%	0 0.0%	6 9.7%	8 12.9%	42 67.7%	62 100.0%
	通学が主で仕事もしている	9 3.0%	13 4.3%	1 0.3%	69 23.0%	47 15.7%	161 53.7%	300 100.0%
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	3 100.0%
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	4 100.0%
	無回答	6 6.9%	6 6.9%	1 1.1%	10 11.5%	10 11.5%	54 62.1%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	27 2.4%	46 4.0%	6 0.5%	184 16.1%	221 19.4%	656 57.5%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	13 2.7%	27 5.7%	0 0.0%	104 21.9%	68 14.3%	263 55.4%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	2 2.3%	2 2.3%	0 0.0%	24 27.6%	10 11.5%	49 56.3%	87 100.0%
	無回答	5 4.9%	4 3.9%	0 0.0%	22 21.4%	12 11.7%	60 58.3%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	0 0.0%	2 5.9%	0 0.0%	6 17.6%	4 11.8%	22 64.7%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	11 3.8%	13 4.5%	1 0.3%	58 20.0%	47 16.2%	160 55.2%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%
無回答	1 2.8%	2 5.6%	0 0.0%	9 25.0%	3 8.3%	21 58.3%	36 100.0%	



問18 学校以外での人権問題の学習機会や情報収集の方法（複数回答）

		家庭での会話	本	週刊誌、月刊誌	新聞	テレビ、ラジオ	映画、ビデオ	インターネット	県や市町村の発行するパンフレットや紙や	地域の学習や会社等で、イベント	その他	特にな	有効回答数
全体		661 33.0%	435 21.7%	89 4.4%	625 31.2%	1,118 55.8%	358 17.9%	559 27.9%	214 10.7%	143 7.1%	28 1.4%	370 18.5%	2,002 100.0%
性別	男性	243 28.8%	179 21.2%	41 4.9%	259 30.7%	439 52.0%	125 14.8%	251 29.7%	84 10.0%	64 7.6%	9 1.1%	186 22.0%	844 100.0%
	女性	394 35.7%	237 21.5%	43 3.9%	348 31.6%	650 58.9%	222 20.1%	290 26.3%	122 11.1%	78 7.1%	16 1.5%	177 16.0%	1,103 100.0%
	無回答	24 43.6%	19 34.5%	5 9.1%	18 32.7%	29 52.7%	11 20.0%	18 32.7%	8 14.5%	1 1.8%	3 5.5%	7 12.7%	55 100.0%
年齢別	15歳	56 29.9%	37 19.8%	6 3.2%	50 26.7%	101 54.0%	30 16.0%	44 23.5%	20 10.7%	20 10.7%	2 1.1%	51 27.3%	187 100.0%
	16歳	118 30.9%	78 20.4%	14 3.7%	111 29.1%	223 58.4%	56 14.7%	102 26.7%	38 9.9%	28 7.3%	5 1.3%	73 19.1%	382 100.0%
	17歳	128 30.8%	87 21.0%	20 4.8%	121 29.2%	224 54.0%	60 14.5%	118 28.4%	38 9.2%	23 5.5%	4 1.0%	79 19.0%	415 100.0%
	18歳	130 32.6%	88 22.1%	15 3.8%	115 28.8%	224 56.1%	80 20.1%	103 25.8%	41 10.3%	23 5.8%	8 2.0%	75 18.8%	399 100.0%
	19歳	140 36.6%	85 22.3%	18 4.7%	135 35.3%	218 57.1%	85 22.3%	119 31.2%	53 13.9%	31 8.1%	5 1.3%	64 16.8%	382 100.0%
	20歳	64 36.0%	43 24.2%	10 5.6%	74 41.6%	99 55.6%	38 21.3%	55 30.9%	18 10.1%	15 8.4%	1 0.6%	20 11.2%	178 100.0%
	無回答	25 42.4%	17 28.8%	6 10.2%	19 32.2%	29 49.2%	9 15.3%	18 30.5%	6 10.2%	3 5.1%	3 5.1%	8 13.6%	59 100.0%
	通学・仕事の状況別	通学している	475 31.6%	325 21.6%	57 3.8%	472 31.4%	837 55.6%	237 15.7%	409 27.2%	154 10.2%	111 7.4%	18 1.2%	295 19.6%
家事をしている		8 44.4%	6 33.3%	2 11.1%	7 38.9%	14 77.8%	7 38.9%	8 44.4%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%
その他		12 52.2%	5 21.7%	4 17.4%	9 39.1%	14 60.9%	5 21.7%	8 34.8%	6 26.1%	2 8.7%	1 4.3%	3 13.0%	23 100.0%
仕事を主にしている		20 32.3%	12 19.4%	4 6.5%	15 24.2%	32 51.6%	12 19.4%	13 21.0%	8 12.9%	5 8.1%	1 1.6%	13 21.0%	62 100.0%
通学が主で仕事もしている		107 35.7%	61 20.3%	14 4.7%	91 30.3%	172 57.3%	78 26.0%	93 31.0%	33 11.0%	19 6.3%	5 1.7%	45 15.0%	300 100.0%
家事が主で仕事もしている		2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
家事・通学以外のことが主で仕事もしている		0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
無回答		37 42.5%	24 27.6%	8 9.2%	28 32.2%	45 51.7%	18 20.7%	26 29.9%	10 11.5%	4 4.6%	3 3.4%	12 13.8%	87 100.0%
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	348 30.5%	238 20.9%	45 3.9%	326 28.6%	633 55.5%	178 15.6%	303 26.6%	112 9.8%	78 6.8%	13 1.1%	241 21.1%	1,140 100.0%
	大学・短期大学	170 35.8%	109 22.9%	16 3.4%	174 36.6%	265 55.8%	97 20.4%	143 30.1%	51 10.7%	37 7.8%	9 1.9%	70 14.7%	475 100.0%
	専門学校、専修学校	36 41.4%	20 23.0%	4 4.6%	31 35.6%	51 58.6%	16 18.4%	26 29.9%	14 16.1%	9 10.3%	0 0.0%	11 12.6%	87 100.0%
	無回答	28 27.2%	19 18.4%	6 5.8%	32 31.1%	60 58.3%	24 23.3%	30 29.1%	10 9.7%	6 5.8%	1 1.0%	18 17.5%	103 100.0%
働き方別	正規の社員として働いている	9 26.5%	5 14.7%	1 2.9%	4 11.8%	13 38.2%	6 17.6%	4 11.8%	5 14.7%	3 8.8%	1 2.9%	9 26.5%	34 100.0%
	パート・アルバイトとして働いている	102 35.2%	60 20.7%	13 4.5%	90 31.0%	168 57.9%	77 26.6%	93 32.1%	35 12.1%	17 5.9%	5 1.7%	47 16.2%	290 100.0%
	契約社員・派遣社員として働いている	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
	その他の形態で働いている	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	無回答	14 38.9%	7 19.4%	3 8.3%	12 33.3%	23 63.9%	8 22.2%	8 22.2%	1 2.8%	3 8.3%	0 0.0%	2 5.6%	36 100.0%

問19 人権の尊重された社会をつくるために重要だと思うこと（複数回答）

	るで保 育所・幼 稚園・学 校	おける 教育を充 実する	幼児期 から思い やりの	心育を 充実する	活動な どの活 動によ	るNPO などの 活動に よ	ボラン ティア 活動や よ	に相 談しや すくな くなる ようが	人権 侵害を 受けた 人が	が、人 権侵害 を受けた 人に訴 える	く人 権侵害 を法律 で厳し く	でよ いしな いで今 のまま	その他	有効 回答 数
全体	1,141 57.0%	1,321 66.0%	602 30.1%	1,242 62.0%	313 15.6%	463 23.1%	60 3.0%	31 1.5%	2,002 100.0%					
性別	男性	453 53.7%	513 60.8%	229 27.1%	481 57.0%	136 16.1%	197 23.3%	35 4.1%	18 2.1%	844 100.0%				
	女性	656 59.5%	775 70.3%	357 32.4%	730 66.2%	167 15.1%	253 22.9%	20 1.8%	12 1.1%	1,103 100.0%				
	無回答	32 58.2%	33 60.0%	16 29.1%	31 56.4%	10 18.2%	13 23.6%	5 9.1%	1 1.8%	55 100.0%				
年齢別	15歳	100 53.5%	111 59.4%	55 29.4%	115 61.5%	28 15.0%	50 26.7%	8 4.3%	3 1.6%	187 100.0%				
	16歳	218 57.1%	262 68.6%	116 30.4%	230 60.2%	59 15.4%	93 24.3%	11 2.9%	6 1.6%	382 100.0%				
	17歳	227 54.7%	269 64.8%	128 30.8%	265 63.9%	60 14.5%	96 23.1%	11 2.7%	6 1.4%	415 100.0%				
	18歳	233 58.4%	274 68.7%	121 30.3%	243 60.9%	71 17.8%	91 22.8%	12 3.0%	4 1.0%	399 100.0%				
	19歳	227 59.4%	252 66.0%	120 31.4%	248 64.9%	60 15.7%	90 23.6%	6 1.6%	8 2.1%	382 100.0%				
	20歳	102 57.3%	118 66.3%	46 25.8%	110 61.8%	27 15.2%	30 16.9%	7 3.9%	4 2.2%	178 100.0%				
	無回答	34 57.6%	35 59.3%	16 27.1%	31 52.5%	8 13.6%	13 22.0%	5 8.5%	0 0.0%	59 100.0%				
通学・仕事の状況別	通学している	861 57.2%	1,000 66.4%	451 30.0%	923 61.3%	232 15.4%	360 23.9%	47 3.1%	24 1.6%	1,505 100.0%				
	家事をしている	12 66.7%	13 72.2%	7 38.9%	15 83.3%	3 16.7%	8 44.4%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%				
	その他	13 56.5%	14 60.9%	12 52.2%	15 65.2%	7 30.4%	7 30.4%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%				
	仕事を主にしている	38 61.3%	33 53.2%	21 33.9%	39 62.9%	7 11.3%	13 21.0%	2 3.2%	1 1.6%	62 100.0%				
	通学が主で仕事もしている	169 56.3%	209 69.7%	86 28.7%	198 66.0%	51 17.0%	55 18.3%	4 1.3%	3 1.0%	300 100.0%				
	家事が主で仕事もしている	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%				
	家事・通学以外のことが主で仕事もしている	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%				
	無回答	45 51.7%	49 56.3%	23 26.4%	48 55.2%	11 12.6%	17 19.5%	5 5.7%	2 2.3%	87 100.0%				
学校の種類別	高等学校・高等専門学校	634 55.6%	750 65.8%	336 29.5%	698 61.2%	171 15.0%	269 23.6%	32 2.8%	19 1.7%	1,140 100.0%				
	大学・短期大学	288 60.6%	325 68.4%	150 31.6%	300 63.2%	83 17.5%	102 21.5%	13 2.7%	6 1.3%	475 100.0%				
	専門学校、専修学校	55 63.2%	60 69.0%	24 27.6%	57 65.5%	13 14.9%	24 27.6%	3 3.4%	1 1.1%	87 100.0%				
	無回答	53 51.5%	74 71.8%	27 26.2%	66 64.1%	16 15.5%	20 19.4%	3 2.9%	1 1.0%	103 100.0%				
働き方別	正規の社員として働いている	19 55.9%	18 52.9%	8 23.5%	20 58.8%	6 17.6%	8 23.5%	1 2.9%	1 2.9%	34 100.0%				
	パート・アルバイトとして働いている	168 57.9%	203 70.0%	89 30.7%	194 66.9%	52 17.9%	49 16.9%	3 1.0%	3 1.0%	290 100.0%				
	契約社員・派遣社員として働いている	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%				
	その他の形態で働いている	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%				
無回答	19 52.8%	20 55.6%	9 25.0%	22 61.1%	2 5.6%	12 33.3%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%					

調查票

# アンケートにご協力ください

奈良県では、あらゆる差別がなくなり、一人ひとりが尊重される自由で平等な社会の実現をめざしています。

そのために、今回若い県民の皆さんから、人権問題に関するお考えなどをお聞かせいただき、これからの奈良県の取組への参考とさせていただくため、「若者の人権意識調査」を実施することといたしました。

今回の調査は若者を対象に、県内全市町村から5,000人の方を無作為にお選びして実施するものです。お手数をおかけしますが、調査の趣旨についてご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、ご回答は無記名でお願いするとともに、その内容は統計的に処理いたしますので、あなたのお名前やご意見が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することはありません。

平成23年（2011年）9月

奈良県



## ご回答にあたってのお願い

1. 封筒の宛名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。
2. それぞれの問で、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。問によっては、番号を記入していただくところがあります。
3. 選択肢の中で「その他（具体的に：                   ）」を選ばれた場合には、（    ）内にその内容をご記入ください。
4. もし、誤った選択肢に○印をつけられた場合は、はっきりと×印を記入して訂正してください。
5. ご回答が済みましたら、お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、**平成23年9月22日（木）までにお近くの郵便ポストに投函**してください（切手は不要です）。
6. この調査は「無記名方式」ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前やご住所を書かれないよう、お願いします。
7. この調査についてわかりにくい点がございましたら、下記へお問い合わせください。

奈良県 暮らし創造部 人権施策課 啓発推進係

電 話 0742-27-8719（直通）（平日 8:30~17:15）

FAX 0742-27-8721

問1 今の社会について次のような意見があります。これらについて、あなたはどのように思われますか。A～Hのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう 思わない	5 わから ない
【回答例】今の社会は、○○である	1	2	3	4	5
A. 私たちの社会では、うまく立ち回っている人間だけが得をする	1	2	3	4	5
B. まじめに努力すれば、いつかは必ず報われる	1	2	3	4	5
C. みんなが権利ばかりを主張すると、社会は混乱する	1	2	3	4	5
D. みんなで協力すれば、今の世の中のしくみを変えることができる	1	2	3	4	5
E. 努力しないで、福祉に頼ろうとする人間が増えるのは困る	1	2	3	4	5
F. タテマエとホンネを上手に使い分けないと損をする	1	2	3	4	5
G. 自分の失敗を社会のせいにするのではなく、自分自身の努力が足りなかったことを反省すべきだ	1	2	3	4	5
H. 人間には、それぞれ分に応じた生活があるのだからあまり不満を持つべきではない	1	2	3	4	5

問2 あなたは自分自身をどのような人間だと思えますか。A～Nのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう 思わない	5 わから ない
A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である	1	2	3	4	5
B. いろいろな良い素質を持っている	1	2	3	4	5
C. 物事を人並みには、うまくやれる	1	2	3	4	5
D. 自分には自慢できるところがあまりない	1	2	3	4	5
E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う	1	2	3	4	5
F. 募金の額を決めるときは、友だちに合わせるほうだ	1	2	3	4	5
G. 服装は、皆から変に思われたいかどうか、いつも気にしている	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう 思わない	5 わか らない
H. おかしな制度や納得できないことでも、皆の目を気にして抗議できないタイプだ	1	2	3	4	5
I. 多くの人から孤立してでも自分の正しいと思う考えを主張するほうだ	1	2	3	4	5
J. 話し好きなほうである	1	2	3	4	5
K. 傷つきやすいほうである	1	2	3	4	5
L. 好奇心が強いほうである	1	2	3	4	5
M. きちようめんなほうである	1	2	3	4	5
N. 親切なほうである	1	2	3	4	5

問3 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。A～Jのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう 思わない	5 わか らない
A. 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う	1	2	3	4	5
B. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
C. 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
D. 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりが無い	1	2	3	4	5
E. 差別されている人の言葉をきちんと聞く必要がある	1	2	3	4	5
F. あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
G. 人権や権利ばかり主張して、我慢することができない人が増えている	1	2	3	4	5
H. 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ	1	2	3	4	5
I. 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない	1	2	3	4	5
J. 思いやりや、やさしさをみんなが持てば人権問題は解決する	1	2	3	4	5



問6-3 問6で「1. ある」と回答された方におたずねします。そのとき、あなたはどのように対応しましたか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 相手に直接抗議した	→	問7へお進みください
2. 相手に対抗措置をした（やりかえした、孤立させるよう働きかけた）	→	問7へお進みください
3. 相談した	→	問6-4にお答えください
4. 無視した	→	問6-5にお答えください
5. 黙って我慢した	→	問6-5にお答えください
6. 逃げた	→	問6-5にお答えください
7. その他（具体的に： _____）	→	問7へお進みください

問6-4 問6-3で「3. 相談した」と回答された方におたずねします。そのとき、あなたは誰に相談しましたか。相談した人や機関としてあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

1. 家族・親戚	2. 友人や身近な人
3. 学校の先生	4. 法務局（子どもの人権110番など）
5. 警察（ヤングいじめ110番など）	6. 教育機関（あすなるダイヤルなど）
7. 奈良いのちの電話	8. スクールカウンセラーなど
9. 市町村や県の相談窓口	10. その他（具体的に： _____）

問6-5 問6-3で「4. 無視した」「5. 黙って我慢した」「6. 逃げた」と回答された方におたずねします。あなたがそのように対応された理由は何でしょうか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 我慢できる程度のことだったので
2. 今までの人間関係をこわしたくなかったので
3. 抗議できるような相手ではなかった
4. 人にいえるようなことではなかった
5. 相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいかわからなかった
6. 相談すると、プライバシーが守られないと思った
7. 過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった
8. その他（具体的に： _____）

問7 次の言葉の中で、あなたが聞いたことがあるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

1. エンパワーメント	2. 性的マイノリティー
3. 同和地区	4. 児童の権利に関する条約
5. 世界人権宣言	6. バリアフリー
7. ジェンダー	8. ドメスティック・バイオレンス
9. ノーマライゼーション	



問8 あなたは、部落差別について知っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. よく知っている → 問8-1と問8-2にお答えください  
2. 言葉は知っているが、よくは知らない →  
3. 全く知らない → 問9へお進みください

問8-1 問8で「1. よく知っている」「2. 言葉は知っているが、よくは知らない」と回答された方におたずねします。あなたは、部落差別があることを一番初めに知ったのはいつ頃ですか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 小学校入学以前      2. 小学生の頃      3. 中学生の頃      4. 中学校卒業後

問8-2 問8で「1. よく知っている」「2. 言葉は知っているが、よくは知らない」と回答された方におたずねします。あなたは、そのことを一番初めに誰（何）から知りましたか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 先生から（学校の授業で）      2. 友人から  
3. 両親から      4. 祖父母、親戚から  
5. マスメディア（テレビ、新聞等）から      6. 書籍等から  
7. インターネットから      8. その他（具体的に：      )

問9 親が住宅を購入することについての話を親戚の人としている時に、親が「この物件は同和地区であるかどうか心配なので、市町村に問い合わせようと思う」と言いました。あなたは、親の態度についてどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 問題だと思う → 問9-1にお答えください  
2. 問題があるとはいちがいにいえない → 問10へお進みください  
3. 問題だとは思わない →  
4. わからない →

問9-1 問9で「1. 問題だと思う」と回答された方におたずねします。このような場合、あなたは、親にどのような態度をとると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. その場で、差別的発言であると指摘する  
2. 問題だと思うが、何も言わない  
3. いろいろな考え方があるので、何も言わない  
4. その他（具体的に：      )  
5. わからない

問10 結婚にあたり、家柄、出身地、財産、国籍、親の仕事、社会的地位など、本人たちの責任でないことを理由にして、周りから反対されることについて、あなたはどのように思いますか。  
あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

- 1. 当然のことであるから、そのような意見を尊重する
- 2. おかしいことだと思うが、従わなければならないと思う
- 3. こうした考えをなくしていかなければならないと思う
- 4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 5. わからない

問11 家や部屋を貸すときに、貸し主さんが次のような人には貸さないと言っていることについて、あなたはどのように思いますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1 差別だと思う	2 いちがいに いけない	3 差別とはい えない
A. 外国人	1	2	3
B. 高齢者	1	2	3
C. 母子・父子家庭	1	2	3
D. 障害者	1	2	3

問12 あなたがもし結婚するとした場合、結婚相手に求めるものとして重視するものはどれですか。  
あてはまるものを3つまで選び、その番号を右の回答欄に記入してください。

- 1. 職業
- 2. 性格
- 3. 学歴
- 4. 収入・財産
- 5. 身なり・容姿
- 6. 教養・センス
- 7. 思想・信条
- 8. 行動力・実行力
- 9. 趣味・特技
- 10. 健康状態
- 11. 家庭環境
- 12. 家事能力

**【回答欄】**

選択肢の番号を3つまで選んで記入

問13 あなたが問12で選んだ望ましいと思われる条件を備えている結婚相手が次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。A～Gのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1 問題にしない	2 迷うので一人では決められない	3 考え直す
A. 同和地区出身者	1	2	3
B. 日本で生まれ育った在日韓国・朝鮮人	1	2	3
C. 日本で働き、永住を希望している日系ブラジル人	1	2	3
D. 車椅子が必要な人	1	2	3
E. 精神の障害で通院している人	1	2	3
F. 結婚相手の親が破産宣告を受けた人	1	2	3
G. 結婚相手の親が刑を終えて出所した人	1	2	3

問14 次のような考え方について、あなたはAとBどちらの意見に賛成ですか。I～Vのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	1 Aの 意見に賛成	2 どちらかと いうとAの 意見に賛成	3 どちらかと いうとBの 意見に賛成	4 Bの 意見に賛成
<b>【回答例】</b> A. 奈良県は住みやすい B. 奈良県は住みにくい	○1	2	3	4
I A. いじめはどんな理由であってもいじめる人が悪い B. いじめは、いじめられる側にもそれなりの問題がある	1	2	3	4
II A. 住宅地域の中心に計画中の知的障害者のための生活施設の建設に対し、地元住民から反対運動が起こったとしても、それは自分たちの居住環境を守ろうとしているのであり、人権を侵害しているとはいえない B. 障害者が、地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは人権を侵害している	1	2	3	4
III A. 日本に住む外国人が、その人の母国の文化や慣習を大切にして生きることは尊重されるべきだ B. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や慣習に合わせる努力をするべきである	1	2	3	4

	1 Aの 意見に賛成	2 どちらかと いうとAの 意見に賛成	3 どちらかと いうとBの 意見に賛成	4 Bの 意見に賛成
IV A. 身体が不自由になった親の介護を誰がするか というとき、女性というだけで、介護をしな くてはいけないというのは、女性を差別して いる B. 介護は女性に向いている仕事なので、必ずし も女性を差別しているとはいえない	1	2	3	4
V A. 一般的にいて、どのような学校を卒業した かが、その後の人生で決定的に重要である B. 一般的にいて、どのような学校を卒業した かが、その後の人生に決定的に重要というわ けではない	1	2	3	4

問15 パソコンや携帯電話のインターネット上で、個人名を取り上げて、悪口やプライバシーを暴露する書き込みがあります。

(1) あなたは、それを見たり、自分でも書き込みをしたりしたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 自分で実際に見たことがあります、書き込みをしたことがある
2. 実際に見たことはあるが、書き込みをしたことがない
3. 聞いたことはあるが、実際に見たことはない
4. インターネットは利用しないので、わからない

(2) あなたは、悪口やプライバシーを暴露する書き込みについて、どのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う
2. 書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う
3. とりたてて騒ぐほどの問題ではない
4. よくわからない

問16 パソコンや携帯電話のインターネット上の差別的な書き込みや個人情報のばらまきなどの問題を改善するために、あなたはどうすればいいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

1. インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行うべきである
2. 法律で厳しく取り締まるべきである
3. 行政機関が、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである
4. 個人レベルで、プロバイダーへ情報停止、削除を求めるべきである
5. 問題と感じた人が、掲示板に、誤りを指摘する書き込みをしたらよい
6. プロバイダーや掲示板・ブログの管理者の自主性に任せる
7. 表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応するべきである
8. 憤りは感じるが、個人ではどうしようもない
9. 一部の人が見るだけなので、放っておけばよい
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
11. わからない

問17 あなたは、ホームルームや学校の授業のなかで人権問題についてどのように学習しましたか。A～Jのそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をしてください。

	1 積極的に 学習した	2 学習した	3 仕方なく 学習した	4 よく覚え ていない	5 学習した ことは ない
A. 障害者の人権問題	1	2	3	4	5
B. 女性の人権問題	1	2	3	4	5
C. 在日韓国・朝鮮人をめぐる人権問題	1	2	3	4	5
D. 在日韓国・朝鮮人以外の日本で暮らす外国人をめぐる人権問題	1	2	3	4	5
E. 性的マイノリティ（同性愛、性同一性障害など）をめぐる人権問題	1	2	3	4	5
F. 部落問題（同和問題）	1	2	3	4	5
G. 高齢者の人権問題	1	2	3	4	5
H. 子どもの人権問題	1	2	3	4	5
I. 人権の歴史や思想など全般的なこと	1	2	3	4	5
J. その他（A～I以外にどのようなことを学習しましたか） （具体的に： _____）	1	2	3	4	5

問18 あなたは人権問題について、学校以外でどのような方法、機会を通じて情報を得たり、学習したりしていますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

1. 家庭での会話
2. 本
3. 週刊誌、月刊誌
4. 新聞
5. テレビ、ラジオ
6. 映画、ビデオ
7. インターネット
8. 県や市町村の発行する広報紙やパンフレット
9. 地域や会社等での学習、講演会、イベント
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特にない

問19 人権の尊重された社会をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

1. 保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する
2. 幼児期から思いやりの心を育むなど、家庭における教育を充実する
3. ボランティア活動やNPOなどの団体による活動を活発にする
4. 人権侵害を受けた人が相談しやすくなるようにする
5. 人権侵害を受けた人が、周囲の人に訴える
6. 人権侵害を法律で厳しく取り締まる
7. 何もしないで今のままでよい
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問20 あなたが人権問題について考えておられることや県に対するご提案やご意見がありましたら、以下にご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---



---

若者の人権意識調査報告書

平成24年 3月

奈良県くらし創造部人権施策課  
〒630-8501 奈良市登大路町30番地  
電話 0742-27-8719

---